Printia LASER

B5WY-1481-01

Printia LASER XLシリーズ

ハードウェアガイド

ページプリンタ　XL-4360

FUJITSU

製品を安全に使用していただくために

安全にお使いいただくために

このマニュアルには、本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。
本製品をお使いになる前に、このマニュアルを熟読してください。特に、このマニュアル冒頭の「安全上のご注意」（→ P.7）をよくお読みになり、理解されたうえで本製品をお使いください。
また、このマニュアルは、本製品の使用中にいつでもご覧になれるよう大切に保管してください。

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。
VCCI-B

本製品は、日本工業規格（JIS C 6950）の漏えい電流基準に適合しております。

本製品は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品です。

本製品およびオプション品のハイセイフティ用途での使用について

本製品およびオプション品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用などの一般的用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。
お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。
ハイセイフティ用途とは、以下の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。

- 原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など

地球環境への配慮から本製品には一部リサイクル部品を使用しています。

本製品は、危険なレーザ光を出さない「クラス 1」のレーザシステムです。本書に従って操作してください。本書に書かれた以外の操作は行わないでください。思わぬ故障や事故を起こす原因になります。

クラス1レーザ製品

矩形波が出力される機器に接続すると、故障する場合があります。

推奨プロセスカートリッジについては、「サプライ品一覧」（→ P.198）をご覧ください。

本製品は、突入電流がありますので、UPS に接続しないでください。

梱包物の確認とプリンタの設置は済んでいますか

添付されている梱包物の確認や、プリンタの設置、および動作確認が済んでいない場合は、添付の『設置ガイド』をご覧になり、プリンタを使用するための準備を行ってください。

第 1 章 お使いになる前に

本製品の特長、および各部名称と機能について説明します。

1

第 2 章 プリンタを設置・接続する

本製品を設置し､単体で正しく動作することを確認するまでの注意事項と､パソコンやネットワークに接続する手順を説明します。

2

第 3 章 オプションを取り付ける

本製品のオプションには、プリンタ RAM モジュール、両面ユニット、および拡張給紙ユニットがあります。これらのオプションの取り付け方法を説明します。

3

第 4 章 日常の操作

本製品を使って印刷するときに必要となる、用紙のセットやプロセスカートリッジの交換などの日常的な操作について説明します。

4

第 5 章 オペレータパネルの操作

液晶ディスプレイに表示される内容と､オペレータパネルの操作方法について説明します。

5

第 6 章 使用できる用紙と保管方法

本製品で使用できる用紙と、その保管方法について説明します。

6

第 7 章 こんなときには

故障が発生したと思われるとき、紙詰まりのとき、各種メッセージが表示されたときの対処方法について説明します。

7

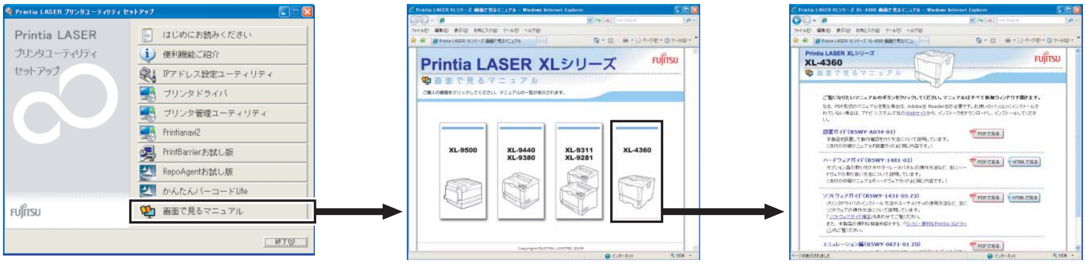
第 8 章 付録

本製品を使用するときに補助的に必要となることがらについて説明します。

8

このマニュアル以外の情報は「画面で見るマニュアル」をご覧ください

プリンタドライバのインストール方法など、このマニュアル以外の情報については、「画面で見るマニュアル」をご覧ください。添付の◎「Printia LASER プリンタユーティリティ」をパソコンにセットすると表示される「Printia LASER プリンタユーティリティ セットアップ」画面で、「画面で見るマニュアル」をクリックすると次の画面が表示されます。



「XL-4360」を選択後、ご覧になりたいマニュアル名をクリックすると、マニュアルが表示されます。

製品に関する注意事項

ここでは、お客様に特に見ていただきたいことや、注意していただきたい項目について概要を説明します。詳しくは、本文をよくお読みになったうえで本製品を正しくお使いください。

耐用期間（製品寿命）について

本製品の耐用期間は、次のいずれか早いほうです。

- 60 万ページ印刷（A4 サイズ縦送り（SEF）、片面印刷の場合）
  「SEF」については、「用紙をセットする向きについて」（→ P.58）をご覧ください。
- 5 年（8 時間 / 日）

なお、耐用期間は、用紙サイズや用紙種類、印刷条件、オプション構成、プリンタ本体の電源オン・オフおよび節電状態からの復帰に伴う初期化動作の頻度などにより、異なります。例えば、印刷ジョブの内容によっては、耐用期間が次のように変動します（単位 : 印刷ページ数）。

表：印刷ジョブ別の耐用期間値

印刷ジョブ	1 ページ／ジョブ	2 ページ／ジョブ	3 ページ／ジョブ	連続印刷
耐用期間	～約 37 万	～約 43 万	～約 60 万	～約 60 万

推奨日間印刷ページ数は平均 500 ページ、推奨月間印刷ページ数は 10000 ページ以下です（A4 サイズ縦送り（SEF）、片面印刷の場合）。

サプライ品（消耗品）について

プロセスカートリッジや用紙などは、本製品専用の純正サプライ品をお使いください。
純正品以外のサプライ品をお使いになったことによる、製品のトラブル、誤動作については当社は一切責任を負いかねますのでご了承ください。
詳しくは、「サプライ品一覧」（→ P.198）をご覧ください。

定期交換部品について

定期交換部品の交換時期の目安は、以下になります（単位：印刷ページ数）。

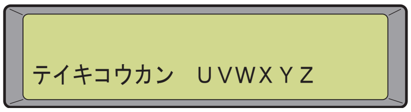
表：定期交換部品の交換時期の目安

定期交換部品	交換時期の目安			
	1 ページ／ジョブ	2 ページ／ジョブ	3 ページ／ジョブ	連続印刷
定着器	～約 5 万 6 千	～約 6 万 4 千	～約 9 万	～約 9 万
転写ローラー				
給紙コロ、フリクションパッド（給紙トレイ用）	～約 3 万			
給紙コロ、フリクションパッド（各給紙カセット用）	～約 9 万			

［注］上記は、A4 サイズ縦送り（SEF）／片面印刷での目安であり、これ以外の印刷の場合、交換時期がずれることがあります。

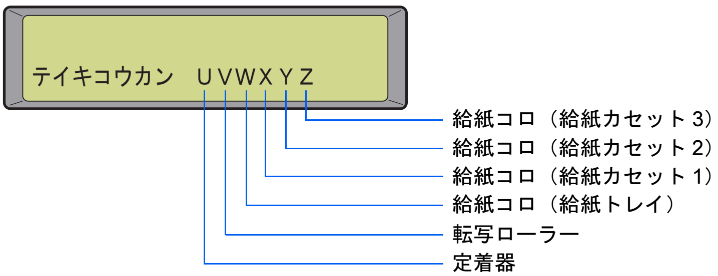
■交換時期に表示される、液晶ディスプレイのメッセージについて

定期交換部品の交換時期になると、オペレータパネルの液晶ディスプレイに、次のようなメッセージが表示されます。



「UVWXYZ」の部分には、「0」「1」「-」のいずれかの値が表示されます。

・各桁は、定期交換部品を表しています。



・各桁に表示される値は、交換の要否を表しています。

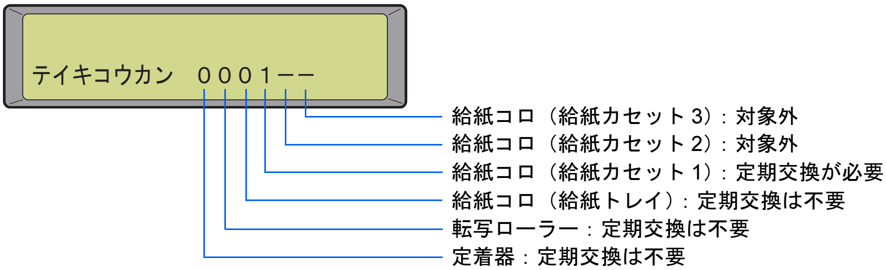
0：定期交換は不要

1：定期交換が必要

-：対象外

・表示例

「UVWXYZ」の部分が「0001--」の場合、次の状態を表します。



プリンタドライバのバージョンを確認する方法

本製品に関するお問い合わせをするときに、お問い合わせの内容によってプリンタドライバのバージョンをお聞きする場合があります。

プリンタドライバのバージョンをご確認のうえ、お問い合わせください。



プリンタドライバのバージョンを確認する方法については、「ソフトウェアガイド」の「第 5 章　プリンタドライバの機能と利用方法」をご覧ください。

冷却ファンについて

冷却ファンは、印刷終了後もしばらくの間、機内冷却のため回転したままになることがあります。冷却ファン回転中は、電源を切らないでください。

このマニュアルの表記について

安全にお使いいただくための絵記号について

このマニュアルでは、いろいろな絵表示を使用しています。これは本製品を安全に正しく使用していただき、あなたや他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を、未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解のうえ、お読みください。

表：安全にお使いいただくための絵記号

記号	内容
⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、物的損害が発生する可能性があることを示しています。

また、危害や損害の内容がどのような種類のものかを区別するために、上記の表示と同時に次のような記号を使っています。

表：危害や損害の内容を示す絵記号

記号	内容
	△ で示した記号は、警告・注意をうながす内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な警告内容が示されています。
	⃠ で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な禁止内容が示されています。
	● で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容が示されています。

画面例、イラストについて

- このマニュアルに掲載されている画面例の IP アドレスやホスト名などは一例であり、実際の入力内容を表すものではありません。
- 画面例でプリンタ名を「XL-XXXX」と表示している箇所があります。このときは、お使いのプリンタ名で読み替えてください。
- 機種、ソフトウェアのバージョン、OS によっては、画面例とは表示内容が一部異なることがあります。
- このマニュアルに掲載されているプリンタのイラストは、説明の都合上、本来接続されているケーブル類を省略していることがあります。

クリック操作について

このマニュアルは、マウスのクリック操作をダブルクリックで記述しています。お使いのパソコンの設定によっては、シングルクリックに読み替えてください。

本文中の記号について

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

表：本文中で使用する記号

記号	内容
重要	お使いになるときに注意していただきたいことや、してはいけないことを記述しています。必ずお読みください。
POINT	操作に関連することを記述しています。必要に応じてお読みください。
→	参照先を記述しています。
	印刷されたマニュアル（紙のマニュアル）を表しています。
	画面で見るマニュアルを表しています。起動方法は、「このマニュアル以外の情報は「画面で見るマニュアル」をご覧ください」（→ P.2）をご覧ください。
	CD-ROM/DVD-ROM を表しています。

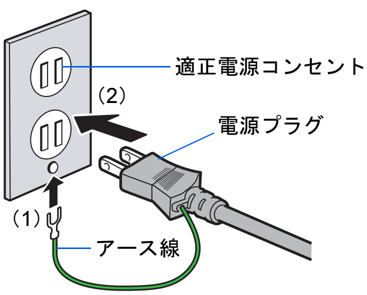
製品などの呼び方について

このマニュアルでは製品名称などを、次のように略して表記しています。

表：製品名称の表記

製品名称	このマニュアルでの表記		
Windows® 7 Ultimate（64 ビット版／ 32 ビット版）	7		Windows
Windows® 7 Enterprise（64 ビット版／ 32 ビット版）			
Windows® 7 Professional（64 ビット版／ 32 ビット版）			
Windows® 7 Home Premium（64 ビット版／ 32 ビット版）			
Windows® 7 Starter			
Microsoft® Windows Server® 2008 R2 Standard	2008 R2	2008	
Microsoft® Windows Server® 2008 R2 Enterprise			
Microsoft® Windows Server® 2008 Standard（64-bit/32-bit）	2008（R2 以外）		
Microsoft® Windows Server® 2008 Standard without Hyper-V™（64-bit/32-bit）			
Microsoft® Windows Server® 2008 Enterprise（64-bit/32-bit）			
Microsoft® Windows Server® 2008 Enterprise without Hyper-V™（64-bit/32-bit）			
Windows Vista® Ultimate（64 ビット版／ 32 ビット版）	Vista		
Windows Vista® Enterprise（64 ビット版／ 32 ビット版）			
Windows Vista® Business（64 ビット版／ 32 ビット版）			
Windows Vista® Home Premium（64 ビット版／ 32 ビット版）			
Windows Vista® Home Basic（64 ビット版／ 32 ビット版）			
Microsoft® Windows Server® 2003 R2, Standard Edition	2003		
Microsoft® Windows Server® 2003 R2, Enterprise Edition			
Microsoft® Windows Server® 2003, Standard x64 Edition			
Microsoft® Windows Server® 2003, Enterprise x64 Edition			
Microsoft® Windows Server® 2003, Standard Edition			
Microsoft® Windows Server® 2003, Enterprise Edition			
Windows® XP Professional x64 Edition	XP		
Windows® XP Professional			
Windows® XP Home Edition			
Microsoft® Windows® 2000 Professional	2000		
Microsoft® Windows® 2000 Server			

電源プラグとコンセント形状の表記について



本製品に添付されている電源コードの電源プラグは「平行 2 極プラグ」です。このマニュアルでは「電源プラグ」と表記しています。

接続先のコンセントには「平行 2 極接地極付プラグ（125V15A）用コンセント」をご利用ください。このマニュアルでは「コンセント」と表記しています。

搭載ソフトウェアの IPv6 対応について

本製品は、IPv6 Ready Logo Phase-2 テストに合格しています。

安全上のご注意

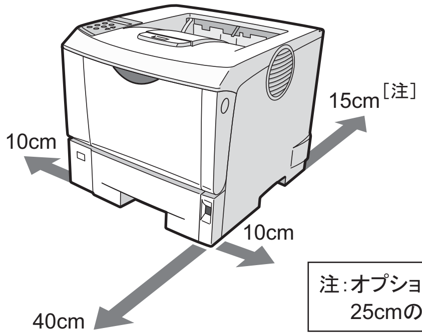
設置および移動に関するご注意

⚠ 警告

- 次の場所には設置しないでください。火災や感電の原因になります。
  火気のある場所
  ストーブやヒーター等の発熱器具に近い場所、高温になる場所
  アルコール、シンナー、ガソリン等の揮発性可燃物やカーテン等の燃えやすい物に近い場所
  風呂場、シャワー室等の水場、水気のある場所
- プリンタの上に次のような物を置かないでください。火災や感電の原因になります。
  花瓶、植木鉢、コップ等の水や液体の入った容器
  クリップ、アクセサリー等の金属物

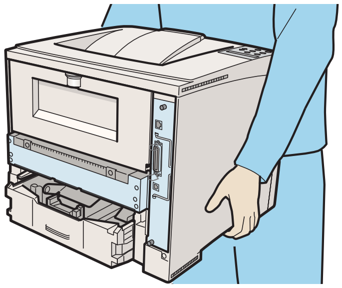
⚠注意

・プリンタの吸気口、および排気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。プリンタの操作および消耗品の交換、日常の点検など、プリンタを正しく使用し性能を維持するために、下図の設置スペースを確保してください。



注:オプションの両面ユニットを取り付けた場合は、両面ユニットから25cmの間隔を空けて設置してください。

・本製品は本体（消耗品を含む）で約 17.5kg の重さがあります。
プリンタを持ち上げるときは、腰を痛めないように充分に膝を折り、左右にあるくぼみをしっかりと持ってください。くぼみ以外を持って持ち上げることは絶対にしないでください。落下によりけがの原因になることがあります。
また、移動する際は足元に何も置かないようにしてください。転倒のおそれがあります。



・プリンタの重さに耐えられる丈夫で水平な場所に設置してください。
本製品は本体（消耗品を含む）で約 17.5kg、最大（フルオプション、用紙を含む）で約 42kg の重さがあります。

・次の場所には設置しないでください。火災や感電、けが、または故障の原因になります。
湿気・ほこり・油煙の多い場所
通気性の悪い場所
直射日光の当たる場所
振動の激しい場所や傾いた場所等の不安定な場所
温泉地など、硫黄の影響を受ける場所

・プリンタの上に重い物を置かないでください。また、衝撃を与えないでください。バランスが崩れて倒れたり、落下してけがの原因になることがあります。
・プリンタを移動する場合は、10°以上傾けないでください。
転倒などによりけがの原因になることがあります。

・プリンタを移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。また、接続ケーブル等も外してください。作業中は、足元に充分注意してください。
電源コードが傷つき、火災や感電の原因になったり、本製品が倒れたりしてけがの原因になることがあります。

電源に関するご注意

⚠警告

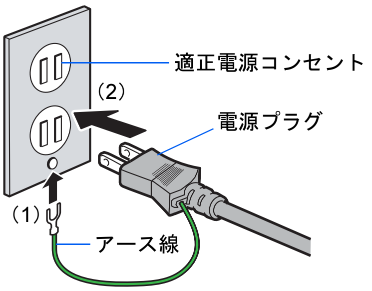
- 添付されている電源コード以外は使用しないでください。また、添付の電源コードは、他の製品に使用しないでください。
  火災や感電の原因になります。
- 電源プラグは、交流 100V、15A 以上のコンセント以外には差し込まないでください。本製品の定格電源は 100V、10A です。また、タコ足配線はしないでください。
  火災や感電の原因になります。
- 電源コードを傷つけたり、加工したりしないでください。また重い物を置いたり、引っ張ったり、無理に曲げたりしないでください。
  火災や感電の原因になります。
- 延長コードは、定格（125V、15A）未満の物は使用しないでください。特に容量不足の延長コードは絶対に使用しないでください。
  火災や感電の原因になります。
- 電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込み口がゆるいときは使用しないでください。
  火災や感電の原因になります。
- 矩形波が出力される機器に接続しないでください。
  火災の原因になります。

- 電源プラグおよびその周辺にほこりが付着しているときは、乾いた布でよく拭いてください。
  そのまま使用すると火災の原因になります。
- 電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込んでください。
  ほこりが付いたりして、火災や故障の原因になります。

- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
  感電の原因になります。

- 次のような箇所には絶対にアース線を接続しないでください。
  ガス管（引火や爆発の危険があります。）
  電話専用アース線および避雷針（落雷時に大量の電流が流れる場合があり危険です。）
  水道管や蛇口（配管の途中がプラスチック等になっている場合は、アースの役目を果たしません。）

- 電源プラグから出ているアース線は、必ず次のいずれかに接続してください。
  電源コンセントのアース線端子
  銅片等を 650 ㎜以上地中に埋めたもの
  D 種（旧：第 3 種）接地工事を行っている接地端子
- アース接続は必ず電源プラグを電源に差し込む前に行ってください。またアース接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から抜いてから行ってください。アース接続できない場合は「ハードウェア修理相談センター」（→ P.202）にご連絡ください。
  アース接続しないで使用すると、万一漏電した場合に火災や感電の原因になります。



⚠警告

・オプション品の取り付け、取り外しを行うときは、必ずプリンタ本体および接続されている機器の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いた後に行ってください。
感電の原因になります。

・近くで落雷が起きたときは､電源コードをコンセントから抜いて雷が治まるのを待ってください。
入れたままにしておきますと、雷によっては機器を破壊し火災の原因になります。

⚠注意

・プリンタの電源スイッチを入れたままでコンセントから電源プラグを抜き差ししないでください。
プラグが変形し、火災の原因になることがあります。

・電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張ると電源コードの芯線が露出したり断線したりして、火災や感電の原因になることがあります。

・1ヶ月に一度は次のようなことを点検してください。
電源プラグがコンセントにしっかりと差し込まれていますか？
電源プラグに異常な発熱および錆、変形などはありませんか？
電源プラグやコンセントにほこりが付いていませんか？
電源コードに亀裂や擦り傷などはありませんか？
アース線はアース接続端子に取り付けられていますか？
なお異常があるときは、「ハードウェア修理相談センター」（→ P.202）にご連絡ください。

・長期間プリンタを使用しないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
そのままにしておくと、劣化により火災や感電の原因になることがあります。

・プリンタの清掃、保守および故障の処置を行う場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
電源プラグを抜かずに清掃や保守を行うと、やけどや感電の原因になることがあります。

取り扱いに関するご注意

⚠警告

・プリンタに水をかけたり、濡らしたりしないでください。
火災や感電の原因になります。

・吸気口や排気口などの開口部から、内部に金属類や燃えやすい物などの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
火災や感電の原因になります。

・カバーを外した状態で電源プラグを差したり、電源スイッチを入れたりしないでください。
火災や感電の原因になります。

・プリンタの近くで可燃性のスプレーなどを使用しないでください。
火災や故障の原因になります。

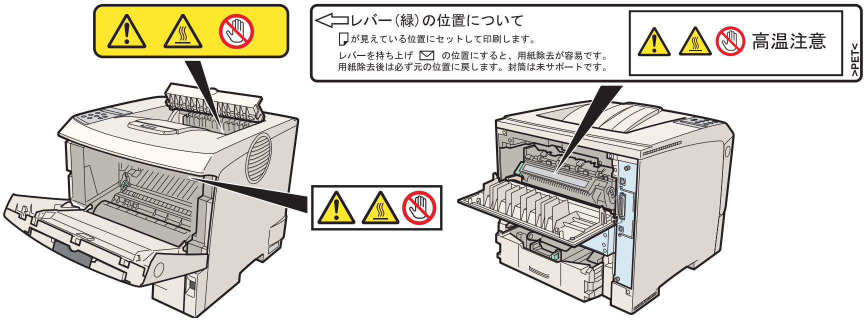
・次のようなときは、ただちに電源を切って電源プラグをコンセントから抜いてください。
発煙や発火、異臭、異常音がするなどの異常が発生したとき
異物（金属片、水などの液体）が内部に入ったとき
プリンタを落としたり、カバーなどを破損したとき
その後「ハードウェア修理相談センター」（→ P.202）にご連絡ください。お客様自身による修理は危険ですから絶対におやめください。そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

・プリンタ、オプション品、サプライ品（プロセスカートリッジなど）を分解したり改造したりしないでください。このマニュアルで指示している箇所以外のネジやカバーは絶対に外さないでください。
内部には電圧の高い部分があるため感電の原因になったり、レーザ光漏れにより失明するおそれがあります。

・プロセスカートリッジを火中に投じないでください。
トナー粉が跳ねてやけどの原因になります。使用済みのプロセスカートリッジを処分するときは、当社の回収サービスをご利用ください。
詳しくは、「使用済みプロセスカートリッジの回収サービス」（→ P.202）をご覧ください。

⚠注意

・プリンタを使用した直後は、定着器が非常に熱くなっています。「高温注意」をうながすラベルが貼ってある箇所（定着器やその周辺）には、絶対に触れないでください。
やけどの原因になることがあります。



・詰まった用紙を取り除くときは次の点に注意してください。
このマニュアル内の「紙詰まりになったとき」（→ P.134）をよくお読みください。
ネクタイやネックレス等を身に着けている場合は、プリンタ内部に巻き込まれないように、外してから操作してください。
鋭利部に触れないよう注意してください。
プリンタ内部に紙片が残らないようすべて取り除いてください。紙片が残ったままになっていると、火災などの原因になることがあります。
定着器やローラ部に用紙が巻き付いているときは、無理に取らないでただちに電源を切り、「ハードウェア修理相談センター」（→ P.202）にご連絡ください。

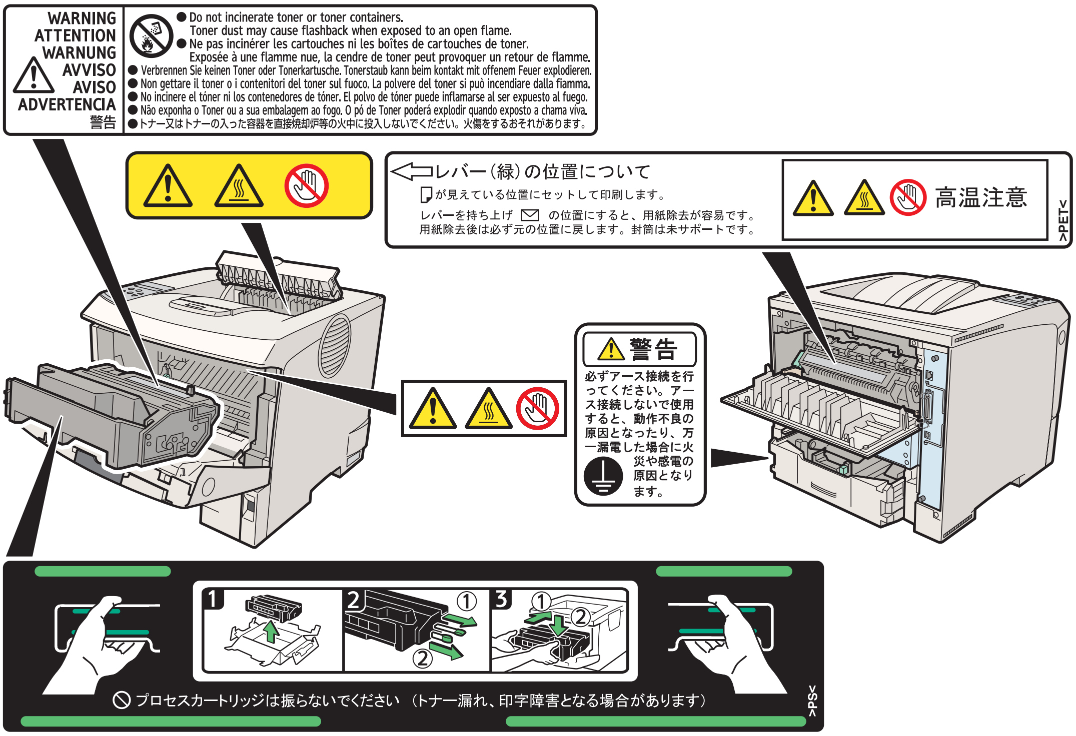
・使用中のプリンタは布などで覆ったり、包んだりしないでください。
熱がこもり、火災の原因になることがあります。
・プリンタ内部には磁気を帯びたマグネット類を近づけないでください。
プリンタが動作状態になる場合があり、けがの原因になることがあります。
・プロセスカートリッジを交換する際は、トナーが飛散しないように注意してください。
また、飛散した場合は、トナーが皮膚や衣服に付いたり、トナーを吸引したりしないよう注意してください。
・換気の悪い部屋で長時間ご使用になる場合や、大量印刷する場合は、充分な換気を行ってください。

・用紙排出部のローラが作動しているときは作動部には触れないでください。
指をはさみ、けがをする原因になることがあります。

・トナーが目や口に入らないように注意してください。手に付いた場合は速やかに洗い落としてください。
万一、目や口に入った場合は、ただちに医師と相談してください。
・プロセスカートリッジを保管する場合は､小さなお子様がトナーを誤って飲むことがないように、小さなお子様の手が届かない所に置いてください。
万一、お子様がトナーを飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

警告／注意の刻印、およびラベル

本製品には警告および注意喚起のために、刻印がされていたり、ラベルが貼られていたりします。指示内容をご覧になり、安全にご利用ください。
なお、警告ラベルや注意ラベルは、絶対にはがしたり、汚したりしないでください。



商標および著作権について

Microsoft、Windows、Windows Vista、Windows Server は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
ウイングアーク テクノロジーズ、SVF、Super Visual Formade、RDE、Report Director Enterprise は、ウイングアーク テクノロジーズ株式会社の日本およびその他の国における登録商標または商標です。
ESC/P、ESC/Page は、セイコーエプソン株式会社の登録商標です。
その他の製品名、会社名は各社の登録商標または商標です。

目次

運用編

第 4 章　日常の操作

第 5 章　オペレータパネルの操作

第 6 章　使用できる用紙と保管方法

第 7 章　こんなときには

第 8 章　付録

1

セットアップ編

第 1 章

お使いになる前に

この章では、本製品の特長、および各部名称と機能について説明します。

1 本製品の特長

本製品の特長は次のとおりです。

■高速で高品位な印刷

XL-4360 は最大で片面印刷時 36 ページ / 分、両面印刷時でも、33 ページ / 分の高速印刷が可能です。また、600dpi の高解像度で印刷できます。

■3 つのポートに対応

USB2.0、パラレル、LAN（1000Base-T/100Base-TX/10Base-T 対応）の 3 つのポートを標準装備しており、各ポートの同時接続による運用が可能です。

■高性能なプリンタドライバとネットワークソフトウェア

・プリンタドライバの設定により、ヘッダー／フッター、スタンプ機能、地紋印刷、N-up 印刷、拡大縮小印刷など、さまざまな印刷が可能です。
・双方向プリンティングシステム「Printianavi2」を利用することにより、Printia LASER XL シリーズプリンタの状態表示、印刷中止、印刷完了通知などの統合的な管理をパソコンで行うことができます。
・ネットワークソフトウェアにより、LAN やインターネット環境への対応や複数のプリンタの管理を実現します。

詳しくは、「ソフトウェアガイド」をご覧ください。

■さまざまな用紙に対応

・給紙トレイ（標準）を使用することで、簡単に用紙サイズを変更できます。
・定形では、最大 A4 サイズの用紙への印刷が可能です。また、はがき、ユーザ定義サイズ、厚紙（106g/ ㎡～ 162g/ ㎡）といった、さまざまな種類の用紙へ印刷することも可能です。

■便利な機能

・給紙カセットごとに、自動給紙の指定（有効／無効）が可能です（定形サイズ印刷時のみ）。
・給紙カセットから、ユーザ定義サイズの用紙への印刷が可能です。
・よく使うドライバの設定を「お気に入り」として登録しておくことで、ドライバの設定を毎回変更する手間を省くことができます。

■優れた拡張性

次のオプションを用意しており、使用環境に合わせて機能を拡張することができます。

・両面ユニットを取り付けることにより、用紙の両面に印刷することができます。
・拡張給紙ユニットを 2 段まで取り付けることができ、給紙トレイを合わせると最大 1600 枚の用紙をセットすることができます。

■次世代通信プロトコル IPv6 に対応

本製品に割り当てられた IPv6 アドレスや、設定したホスト名を用いることによって、対応アプリケーションから IPv6 通信で印刷できます（7/2008/Vista）。詳しくは、「IPv6 の場合」（→ P.118）をご覧ください。

■セキュリティ機能の充実

・ネットワーク経由でプリンタを使用する場合、指定した IP アドレスのホストのみにプリンタへのアクセスを許可したり、管理者以外のユーザーがプリンタの設定を勝手に変更したりできないようにするなど、セキュリティ面でも優れた機能をもっています。
・オプションの「認証印刷ユニット SecureLoginPrint（XL-SE100F）」と連携し、指紋認証によるセキュリティ印刷を行うことができます。

■E メール送信機能

消耗品や定期交換部品の交換要求やハードエラーが発生したときに、設定した E メールアドレスに、E メールを送信してお知らせします。E メールの送信先は 3 つまで設定できます。

■ユーザビリティへの配慮

・用紙のセット、プロセスカートリッジの交換など、日常的な操作のすべてを、プリンタの前面側から行えます。
・プリンタ側面の排気口は、設置する場所に合わせて風向きを調整できます。

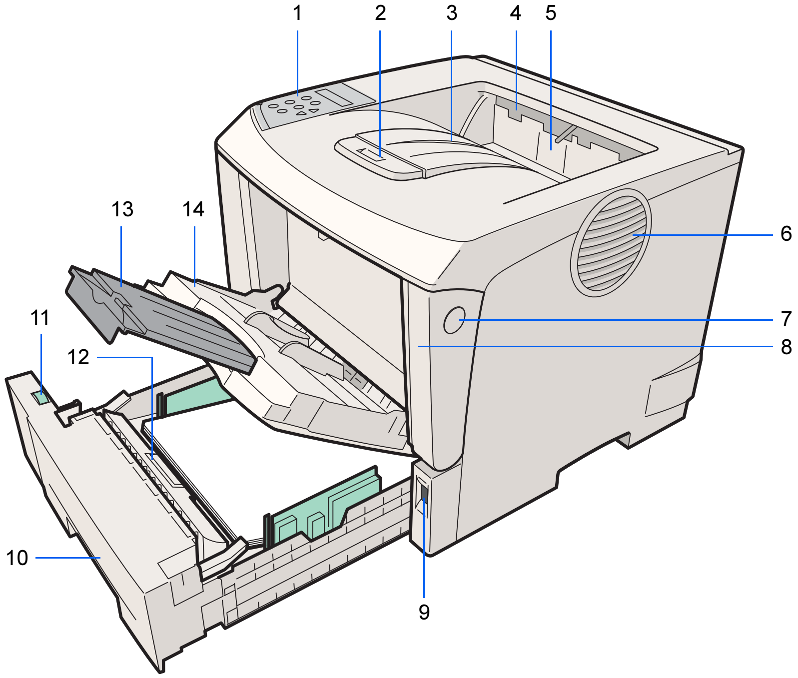
■SVF 帳票基盤ソリューションと連携

ウイングアーク テクノロジーズ株式会社製「Report Director Enterprise」、「SVF for Java Print」使用時は、プリンタの「機種」を「EPSON ESC/Page」にすることで、本製品への印刷が可能です。

2 各部の名称と機能

本製品の各部の名称と機能は、次のとおりです。

前面



1 オペレータパネル

操作に必要なスイッチ、表示ランプ、および液晶ディスプレイがあります。
詳しくは、「オペレータパネルの操作」（→ P.97）をご覧ください。

2 排紙延長トレイ

A4 より大きいサイズ（リーガル（8 ½ × 14）サイズ、ユーザ定義サイズ）の用紙を印刷するときに引き出します。また、大量に印刷する場合も、引き出して使用します。

3 排紙トレイ

排紙口から排出された用紙が、印刷面を下にして積み重なっていきます。

4 排紙口

印刷された用紙が、印刷面を下にして排出されます。

5 排紙口カバー

詰まった用紙を取り除くときに開きます。

6 排気口

プリンタ内部の温度上昇を防ぐために、空気が排出されます。排気の向きは手動で調整できます。
物を立て掛けたりして排気口をふさがないでください。プリンタ内部の温度が上昇すると、故障の原因になります。

7 前カバーオープンボタン

前カバーを開くときに押します。

8 前カバー

プロセスカートリッジや定期交換部品を交換するときや、詰まった用紙を取り除くときに、前カバーオープンボタンを押して開きます。前カバーを開いたときの状態については、「内部」（→ P.23）をご覧ください。

9 電源スイッチ

電源を入／切します。

10 給紙カセット

A4、A5、B5、レター（8 ½ × 11）、リーガル（8 ½ × 14）サイズの用紙（普通紙）を最大で 500 枚までセットできます。オペレータパネルの液晶ディスプレイやプリンタドライバの画面では、「カセット 1」と表示されます。

11 用紙サイズダイヤル

給紙カセットにセットした用紙のサイズに合わせて、変更します。

12 フリクションパッド

用紙を 1 枚ずつ内部に送るために必要な部品です。

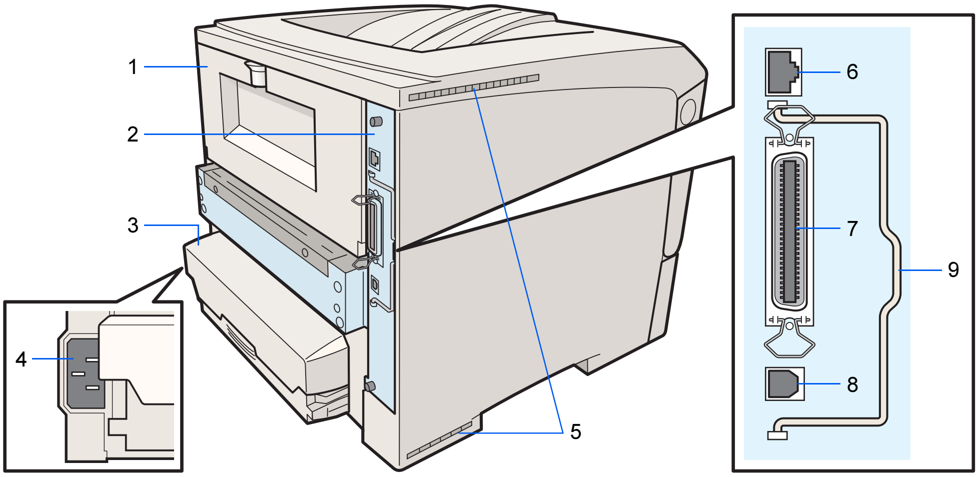
13 給紙延長トレイ

給紙トレイに、B5 より大きいサイズの用紙をセットするときに引き出します。

14 給紙トレイ

普通紙の他に、厚紙、OHP フィルム、ラベル紙、郵便はがき、ユーザ定義サイズの用紙などに印刷するときに使用します。普通紙で最大 100 枚までセットできます。

背面



1 後ろカバー

両面ユニットを取り付けるときや、詰まった用紙を取り除くときに、開いて取り外します。

2 コントローラボード

オプションの拡張 RAM モジュールを取り付けるときに引き出します。

3 給紙カセットカバー

給紙カセットを引き伸ばして使用するときや、両面ユニットを取り付けるときに取り外します。

4 電源コードコネクタ

プリンタ本体の電源ケーブルを接続します。電源ケーブルの片方は、電源コンセントに差し込みます。

5 吸気口

プリンタ内部の温度上昇を防ぐための、空気の取り入れ口です。

物を立て掛けたりして吸気口をふさがないでください。プリンタ内部の温度が上昇すると、故障の原因になります。

6 LAN ケーブルコネクタ

プリンタを LAN 経由で接続するためのコネクタです。

7 パラレルケーブルコネクタ

プリンタとパソコンをパラレルケーブルで接続するためのコネクタです。

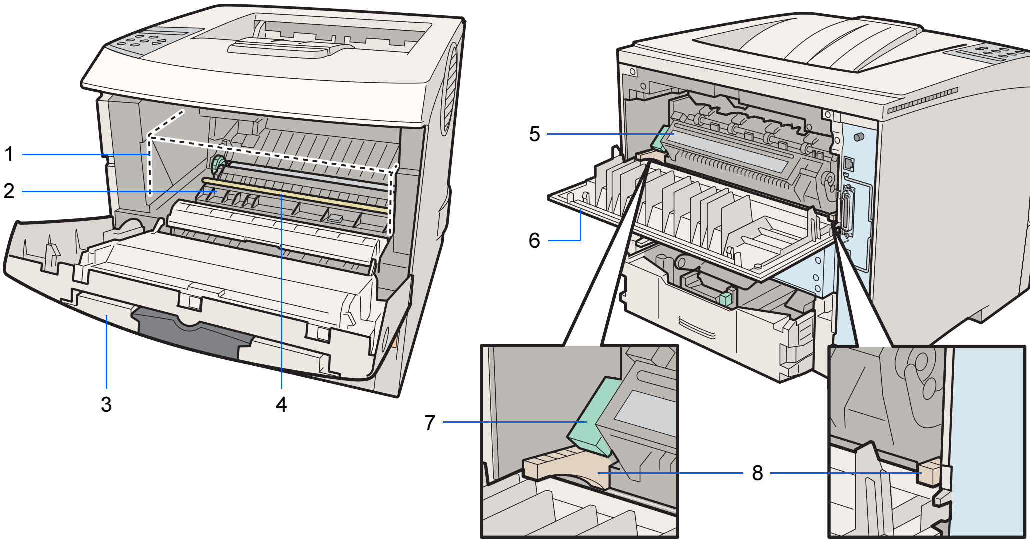
8 USB ケーブルコネクタ

プリンタとパソコンをプリンタ USB ケーブルで接続するためのコネクタです。

9 引き出し用取っ手

コントローラボードを引き出すときに起こします。

内部



1 プロセスカートリッジ

感光ドラム、現像器ユニット、およびトナーから構成される機構です（プロセスカートリッジは点線で示しています）。

2 ガイド板

詰まった用紙を取り除くときに開きます。

3 前カバー

プロセスカートリッジや定期交換部品を交換するときや、詰まった用紙を取り除くときに、前カバーオープンボタンを押して開きます。

4 レジストローラ

用紙を送るための金属製のローラーです。プロセスカートリッジを交換するときなどに、周辺の紙粉を清掃します。

5 定着器

用紙にトナーを定着させる機構です。プリンタ使用時は、高温になっているので手を触れないように注意してください。

6 後ろカバー

両面ユニットを取り付けるときや、詰まった用紙を取り除くときに、開いて取り外します。

7 レバー（緑色）

詰まった用紙を取り除くときに、操作します。用紙を取り除いた後は、必ず元の位置（「□」マークの位置）に戻してください。

8 定着器固定レバー

定着器を取り外すときに上げます。

Memo

2

第 2 章

プリンタを設置・接続する

この章では、本製品を設置し、単体で正しく動作することを確認するまでの注意事項と、パソコンやネットワークに接続する手順を説明します。

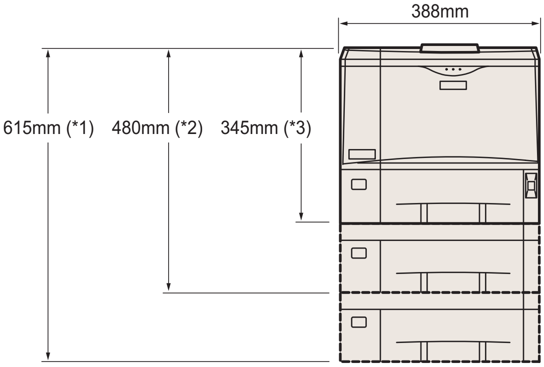
1 設置時の注意事項

本製品を設置し、単体で動作確認する手順については、『設置ガイド』をご覧ください。ここでは、設置時に注意していただきたいことや、補足情報を記載します。

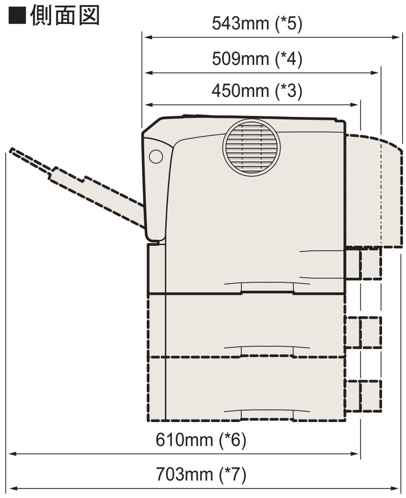
本製品のサイズ

本製品のサイズは次のとおりです。設置時のスペース確認にご利用ください。
また、設置スペースについては、「安全上のご注意」（→ P.7）をご覧ください。

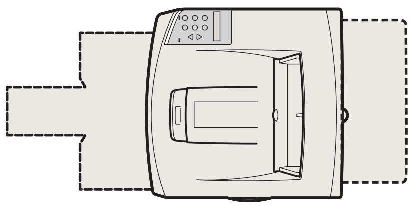
■正面図



■側面図



■上面図



*1 : 拡張給紙ユニット（500枚）を2段搭載時
*2 : 拡張給紙ユニット（500枚）を1段搭載時
*3 : 標準構成時
*4 : 給紙カセットを延長時（リーガルサイズの用紙をセット時）
*5 : 両面ユニットを搭載時
*6 : 給紙トレイ（給紙延長トレイ含む）を展開時
*7 : 給紙トレイ（給紙延長トレイ含む）を展開、両面ユニットを搭載時

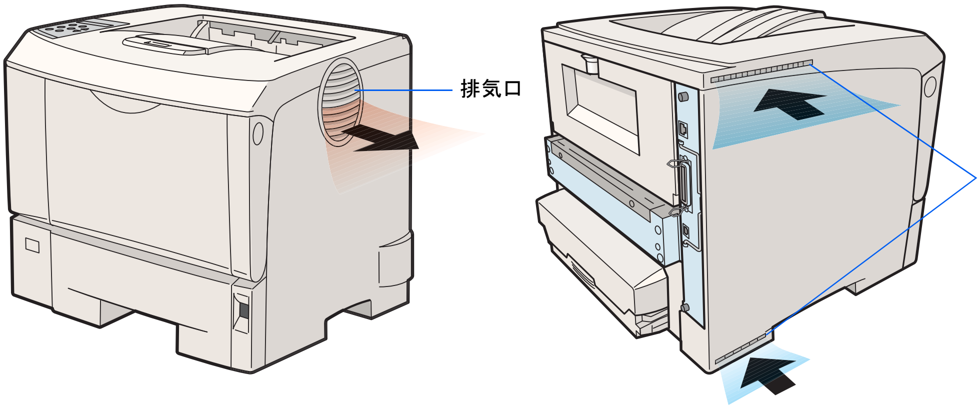
設置～動作確認までの注意事項

設置時

安全に快適に本製品をご利用いただくために、「安全上のご注意」（→ P.7）と共に、次の点に注意して設置してください。

- ご使用いただける環境範囲は次のとおりです。
  温度：10 ～ 32 ℃、湿度：15 ～ 80%RH
  また、いつも良い状態でご使用いただける温度・湿度（推奨温度／推奨湿度）は、温度：15 ～ 25 ℃、湿度：30 ～ 70%RH です。
  温度 32 ℃のときは湿度 54%RH 以下、湿度が 80%RH 以下のときは温度 28 ℃以下でご使用ください（ただし、結露しないこと）。
  冷えきった部屋を暖房器具などで急激に暖めると、機械の内部に水滴が付着し部分的に印刷できない場合があります。室温になじませてから使用してください。
- サーバー接続などにより本製品の 24 時間運用や無人運用をする場合は、不慮の事故に対する安全性を高める必要から、適切な防災対策（耐震対策、煙感知機、温度センサーなど）が施された場所に設置してください。
  また、防災管理者（警備員、管理人など）が建物内に待機していることも必要です。
- 本製品を前後左右に 5 ㎜以上傾けないでください。
  トナーがこぼれるなど故障の原因となります。
- 本製品は凹凸のない、平らな場所に設置してください。
  斜行などにより印字ずれが大きくなったり、故障の原因となったりします。
- ラジオの雑音、テレビやディスプレイ（CRT）のチラツキやゆがみなどの電波や磁気による障害が発生し、原因が本製品であると考えられる場合は、本製品の電源を切って障害がなくなるかどうか確認してください。電源を切ると電波や磁気による障害がなくなるようであれば、次の方法を組み合わせて障害を防止してください。
  - プリンタとラジオ、テレビ、ディスプレイ（CRT）の距離を離してみる。
  - プリンタとラジオ、テレビ、ディスプレイ（CRT）の位置や向きを変えてみる。
  - プリンタとラジオ、テレビ、ディスプレイ（CRT）の電源を別系統のものに変えてみる。
  - 受信アンテナやアンテナ線の配置を変えてみる（アンテナが屋外にある場合は電気店にご相談ください）。
  - ラジオやテレビのアンテナ線を同軸ケーブルに変えてみる。
- 化学薬品や油分を使用または保管している環境では、本製品を使用しないでください。故障の原因となります。
- プリンタや他の機器の電源コードに本製品を載せないでください。

・本製品の右側面には排気口、左側面には吸気口があります。
吸気口、排気口をふさがないよう、壁から充分離して設置してください。設置スペースについては、「安全上のご注意」(→ P.7) をご覧ください。



・本製品を設置する台は、本製品の底面全体が充分載る大きさのものを準備してください。
・移転など、本製品を今後運搬する可能性がある場合は、梱包箱を保管しておくと便利です。

重要

超音波加湿器をご使用のお客様へ

超音波加湿器を使用するときに水道水や井戸水を使用すると、水中の不純物が大気中に放出されて本製品の内部に付着し、画像不良の原因となります。使用時は、純水など不純物を含まない水のご使用をお勧めします。

プロセスカートリッジ取り付け時

⚠注意

・プロセスカートリッジは、本製品専用品を取り付けてください。専用品以外のプロセスカートリッジを取り付けると、プロセスカートリッジおよびプリンタ本体の故障の原因となるおそれがあります。

プロセスカートリッジを取り扱うときは、次の点にご注意ください。
・直射日光や強い光に当てないでください。
・プロセスカートリッジの取り付け作業は、強い光が当たる場所を避け、できるだけ 5 分以内で終了してください。
・トナーは人体に無害ですが、手や衣服に付いたときにはすぐに洗い流してください。
・感光体（ドラム）の表面には絶対に手を触れないでください。
・トナーシールは水平にまっすぐ引き抜いてください。斜めに引くと、途中でテープが切れてしまうことがあります。
・プロセスカートリッジを振ったり、傾けたり、衝撃を与えたりしないでください。トナー漏れ、印刷障害、故障の原因になります。

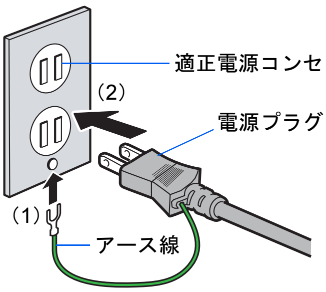
電源コード接続時・電源投入時

⚠警告

- 電源コードを接続するときは、必ず電源スイッチをオフ（「Off」側）にしてください。電源を切らずに接続すると、感電の原因になります。
- 電源プラグから出ているアース線は、必ず次のいずれかに接続してください。
  電源コンセントのアース線端子
  銅片等を 650 ㎜以上地中に埋めたもの
  D 種（旧：第 3 種）接地工事を行っている接地端子
- 危険ですので、次の箇所にアース線を接続しないでください。
  ガス管（引火や爆発の危険があります。）
  電話専用アース線および避雷針（落雷時に大量の電流が流れる場合があり危険です。）
  水道管や蛇口（配管の途中がプラスチックなどになっている場合は、アースの役目を果たしません。）
- プリンタや他の機器の電源コードに本製品を載せないでください。電源コードが傷つき、感電・火災・故障の原因になります。

本製品の電圧定格値は、AC100V です。

上記の定格は、プリンタの後部にある製造銘板に表示してあります。使用するコンセントの電圧が、プリンタの定格電圧と一致するか確認してください。



2 パソコンやネットワークに接続する

本製品をパソコンやネットワークに接続する方法を説明します。お使いの環境に合わせて接続方法を選択してください。

POINT

・接続、運用形態は、次の基準を目安に選択してください。
　・LAN ケーブルで接続
　　プリンタの設置場所を自由に動かしたい場合や、インターネットを利用して印刷する場合に選択します。LAN ケーブルを利用するとデータの転送速度が高速になります。
　・パラレルケーブル／プリンタ USB ケーブルで接続
　　1 台のパソコンからのみ印刷する場合や、プリンタ用に IP アドレスを使いたくない場合に選択します。より速く印刷したい場合は、プリンタ USB ケーブルによる接続をお勧めします。
・サーバー経由で印刷すると、クライアント側の設定／管理が比較的容易になります。また、大規模なネットワークに適しています。
・本製品は、パラレル／ USB ／ LAN ケーブルを同時に接続できます。
　接続時は、「複数のポートに同時接続するときの注意事項」（→ P.32）もあわせてご覧ください。

LAN ケーブル接続の場合

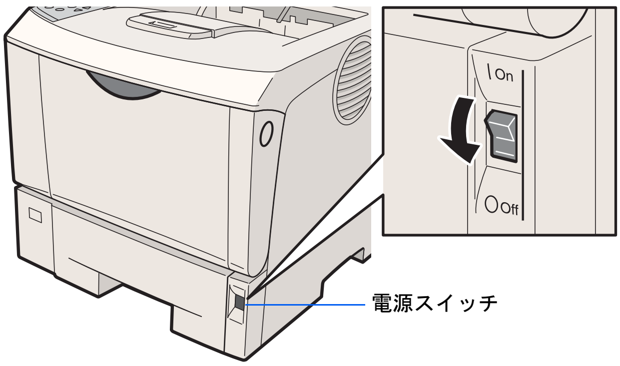
本製品をネットワーク経由で接続するときは、ハブユニットとツイストペアケーブルで接続します。通信速度に応じた適切なケーブルを選択してください。

表：利用できる LAN ケーブル

通信速度	利用できる LAN ケーブル
1000Base-T	エンハンスドカテゴリー 5 以上に対応したツイストペアケーブル
100Base-TX	カテゴリー 5 以上に対応したツイストペアケーブル
10Base-T	カテゴリー 3 以上に対応したツイストペアケーブル

また、「LAN 接続時の注意事項」（→ P.32）もあわせてお読みください。

1 電源スイッチを「Off」側に倒し、プリンタの電源を切ります。



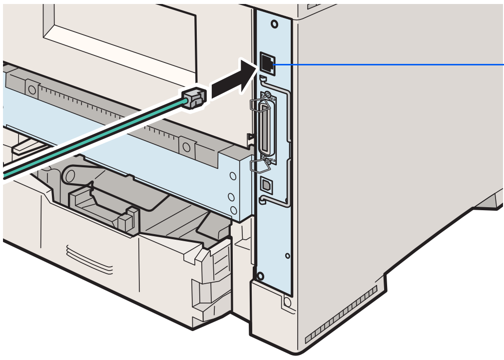
重要

・オペレータパネルにエラーメッセージが表示されているときは、表示内容に従った処置をしてから電源を切ってください。エラーメッセージの表示内容と対処方法については、「オペレータパネルに表示されるメッセージ」（→ P.166）をご覧ください。

2

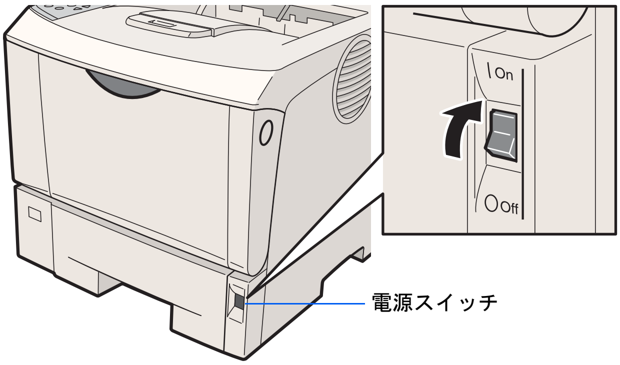
2 LAN ケーブルを、プリンタ背面の LAN ケーブルコネクタに差し込みます。

ハブユニット側の接続は、ハブユニットのマニュアルをご覧ください。



3 電源スイッチを「On」側に倒し、プリンタの電源を入れます。

電源が入らない場合は、「こんなときには」（→ P.133）をご覧ください。



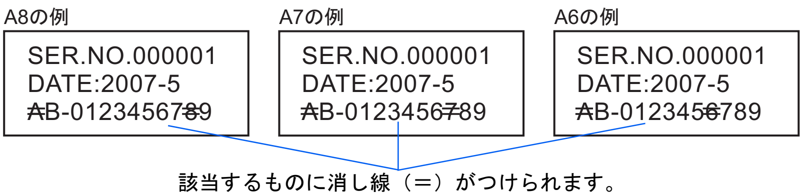
この後は、「ソフトウェアガイド」の「第 2 章 ネットワークを利用したプリンタの接続」をご覧ください。

POINT

・LAN ケーブルで接続した場合は、本製品に IP アドレスを設定する必要があります。
IP アドレスは、オペレータパネルから直接設定します。オペレータパネルの操作方法については、「IP アドレスの設定」（→ P.117）の「IPv4 の場合」（→ P.117）または「IPv6 の場合」（→ P.118）をご覧ください。
なお、IPv4 アドレス環境の場合は、「Printia LASER プリンタユーティリティ」に格納されている「IP アドレス設定ユーティリティ 2」からも設定できます。「IP アドレス設定ユーティリティ 2」については「ソフトウェアガイド」をご覧ください。

LAN 接続時の注意事項

- LAN ケーブルをハブユニットに接続しても、ハブユニット側や本製品のリンクランプが点灯せず、ネットワークサーバーなどに接続できなかったり、印刷速度が低下したりすることがあります。
  このようなときは、プリンタの Ethernet タイプの設定を変更してください。本製品では Ethernet タイプとして「自動」「100Mbps Full」「100Mbps Half」「10Mbps」の中から選択できます（本製品の「10Mbps」は「10Mbps Half」を意味します）。本製品のオペレータパネルのメニューモードで、「ショキ セッテイ」→「LAN セッテイ」→「Ethernet タイプ」を選択し、値を変更してください。オペレータパネルの操作方法については、「操作方法」（→ P.104）をご覧ください。プリンタの Ethernet タイプを変更しても改善されない場合は、プリンタを接続しているハブユニットの設定も変更してみてください。ハブユニットの Ethernet タイプの設定方法については、お使いのハブユニットのマニュアルをご覧ください。
- ハブユニットに STP（スパニングツリープロトコル）の設定がある場合は、本製品を接続するポートの STP を「無効」に設定することをお勧めします。
  「有効」に設定している場合は、なんらかの要因でネットワーク通信が途切れると、通信が再開されるまでに数十秒程度を要する場合があります。また、プリンタの IP アドレスが他の装置で使用されているときに検出できないことがあります。詳しくはハブユニットのマニュアルをご覧ください。
- ハブユニット LH1100 と接続する場合は、次の点にご注意ください。
  - ケーブル長 100m のツイストペアケーブルは使用しないでください。100m のツイストペアケーブルでは、ネットワークのサーバーなどに接続できないことがあります。
  - ハブユニットのラベルに「A8」以降の表記がある必要があります。「A7」や「A6」の表記がある場合は、「ハードウェア修理相談センター」（→ P.202）にご相談ください。
    ラベルはハブユニットの底面に貼られており、次のように表記されています。



複数のポートに同時接続するときの注意事項

本製品は、LAN 経由でサーバプリンタとして動作すると共に、他のパソコンをパラレルポートや USB ポートにそれぞれ接続することができます。
複数のポートにプリンタを接続したときは、次の点にご注意ください。

- ポートは、自動で切り替えることができます。ただし、プリンタの状態によっては、ポートの自動切り替えが働かない場合や、切り替えに時間がかかる場合があります。
- 使用中のポートがある場合、他のポートは使用できません。複数のポートを同時に使用していて、パソコンの画面に「印刷エラー」などが表示された場合は、印刷中のパソコンからの印刷が完了してから印刷を再開してください。
- 「Printianavi2」、および「Printianavi ネットワークポートモニタ」を使用して複数台のパソコンから同時に印刷した場合、複数台のうちの 1 台が印刷中のときは、残りのパソコンには「プリンタが他で使用中のため待ち合わせています。」とメッセージが表示されます。
- 使用中のポートで未印刷データがある場合、他のポートには切り替わりません。
- ポートの切り替え時間については、「設定項目一覧」（→ P.107）の「ポート　セッテイ」の「タイムアウト　ジカン」をご覧ください。

重要

- 印刷中は、プリンタから他のケーブルを抜き差ししないでください。

パラレルケーブル接続の場合

⚠警告

・パラレルケーブルを接続するときは、必ず本製品とパソコンの電源を切ってください。電源を切らずに接続すると、感電の原因になります。

⚠注意

・接続時はこのマニュアルをよく読み、間違いがないようにしてください。誤った接続状態で使用すると、本製品およびパソコンが故障する原因になることがあります。

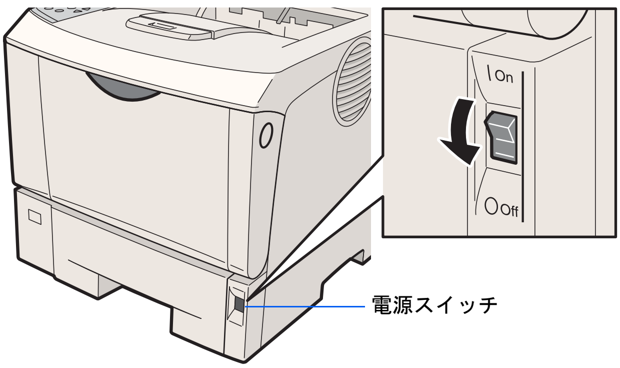
重要

・お使いの OS により、パラレルケーブルの接続を先に行うか、プリンタドライバのインストールを先に行うかが異なります。
  ・7/2008 R2 の場合
  『ソフトウェアガイド』の「第 3 章 ネットワークを利用しないプリンタの接続」をご覧になり、プリンタドライバをインストールしてから、パラレルケーブルを接続してください。
  ・2008（R2 以外）/Vista/2003/XP/2000 の場合
  パラレルケーブルを接続してから、『ソフトウェアガイド』の「第 3 章 ネットワークを利用しないプリンタの接続」をご覧になり、プリンタドライバをインストールしてください。
・パソコンとプリンタの接続に使用するパラレルケーブルは、1.5m 以下のシールドケーブルをお使いください。

POINT

・パラレルケーブル接続時の環境は、次のとおりです。
  ・パソコン：双方向パラレルインターフェースをサポートする PC/AT 互換機
  ・OS：7/2008/Vista/2003/XP/2000
・本製品には、パラレルケーブルは添付されていません。別売ケーブルをお使いください。詳しくは、「プリンタケーブル」（→ P.40）をご覧ください。

1 電源スイッチを「Off」側に倒し、プリンタの電源を切ります。また、パソコンの電源も切ります。

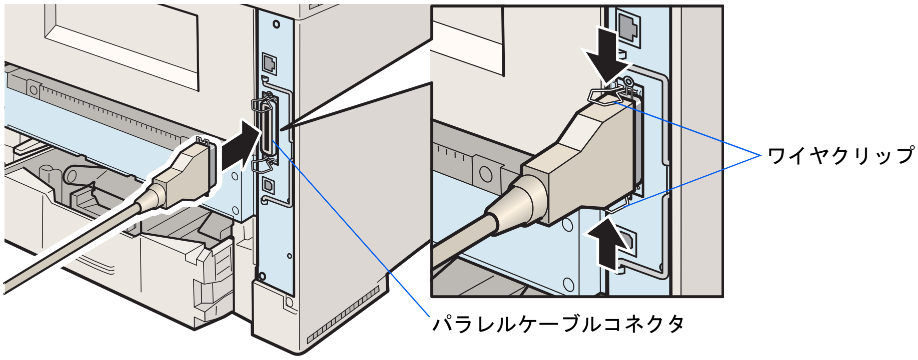


重要

・オペレータパネルにエラーメッセージが表示されているときは、表示内容に従った処置をしてから電源を切ってください。エラーメッセージの表示内容と対処方法については、「オペレータパネルに表示されるメッセージ」（→ P.166）をご覧ください。

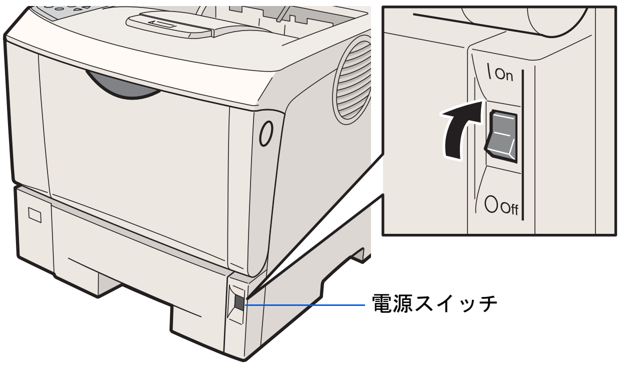
2 **パラレルケーブルを、プリンタ背面のパラレルケーブルコネクタに差し込み、両側のワイヤクリップで固定します。**

パソコン側の接続は、パソコンのマニュアルをご覧ください。



3 **電源スイッチを「On」側に倒し、プリンタの電源を入れます。**

電源が入らない場合は、「こんなときには」（→ P.133）をご覧ください。



4 **パソコンの電源を入れて、Windows を起動します。**

プリンタ USB ケーブル接続の場合

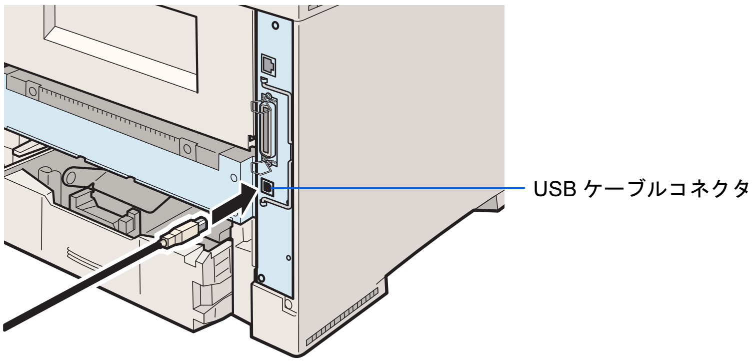
USB インターフェースをサポートする PC/AT 互換機に接続できます。対応 OS は、7/2008/Vista/2003/XP/2000 です。
なお、本製品にプリンタ USB ケーブルは添付されていません。別売ケーブルをお使いください。詳しくは、「プリンタ USB ケーブル」（→ P.41）をご覧ください。

重要

- お使いの OS により、プリンタ USB ケーブルの接続を先に行うか、プリンタドライバのインストールを先に行うかが異なります。
  - 7/2008 R2 の場合
    『ソフトウェアガイド』の「第 3 章 ネットワークを利用しないプリンタの接続」をご覧になり、プリンタドライバをインストールしてから、プリンタ USB ケーブルを接続してください。
  - 2008（R2 以外）/Vista/2003/XP/2000 の場合
    プリンタ USB ケーブルを接続してから、『ソフトウェアガイド』の「第 3 章 ネットワークを利用しないプリンタの接続」をご覧になり、プリンタドライバをインストールしてください。
- パソコンとプリンタの接続に使用するプリンタ USB ケーブルは、5m 以下のシールドケーブルをお使いください。
- 印刷中にプリンタ USB ケーブルを抜き差ししないでください。
- USB ハブを使用する場合は、パソコンと直接接続された USB ハブに接続してください。
- 本製品と接続したプリンタ USB ケーブルのもう一方は、パソコン本体の USB コネクタ、またはセルフパワータイプの USB ハブ（電源コードや AC アダプタにより電源が供給されるタイプのハブ）のコネクタに接続してください。上記以外の USB コネクタに接続すると、正常に動作しない場合があります。
- USB2.0 でお使いになるには、パソコンが USB2.0 に対応している必要があります。

1 **プリンタ USB ケーブルを、プリンタ背面の USB ケーブルコネクタに差し込みます。**

パソコン側の接続は、パソコンのマニュアルをご覧ください。



Memo

3

第 3 章

オプションを取り付ける

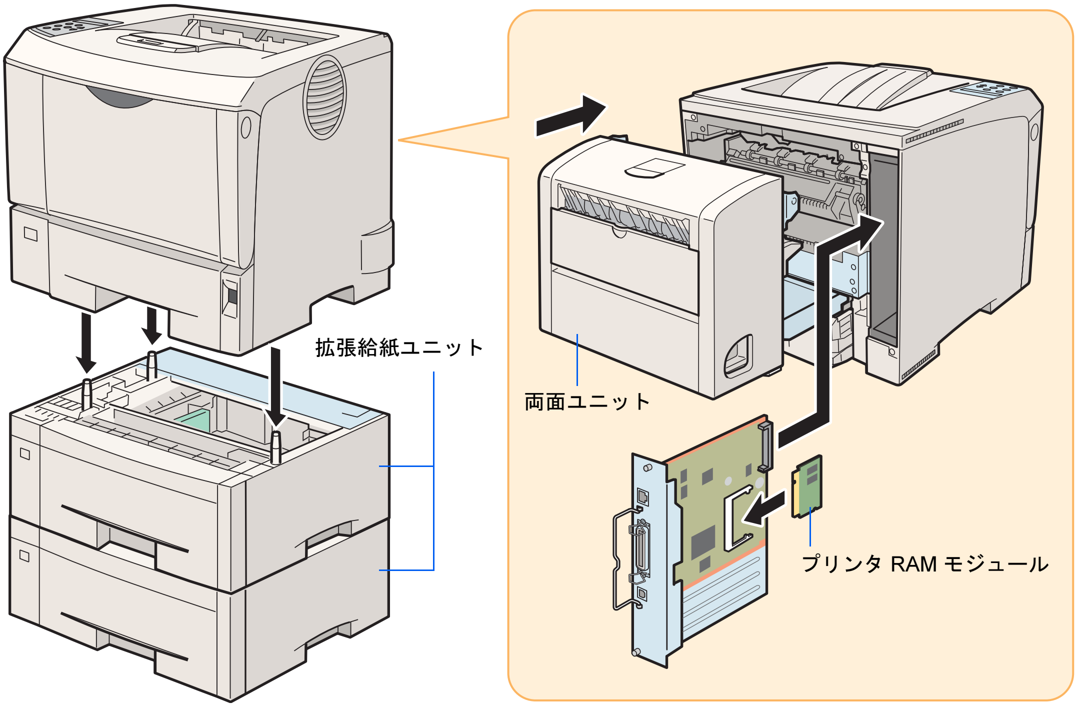
本製品のオプションには、プリンタ RAM モジュール、両面ユニット、および拡張給紙ユニットがあります。この章では、これらのオプションの取り付け方法を説明します。

1　取り付け可能なオプションとご注意

本製品に取り付け可能なオプションと、取り付け時に注意していただきたいことを説明します。

取り付け可能なオプション

本製品には、次のオプションを取り付け可能です。必要に応じてご購入ください。
なお、オプション品の情報は、このマニュアルを発行した時点のものです。
最新情報は、富士通製品情報ページ（http://www.fmworld.net/biz/）でご確認ください。



拡張給紙ユニット

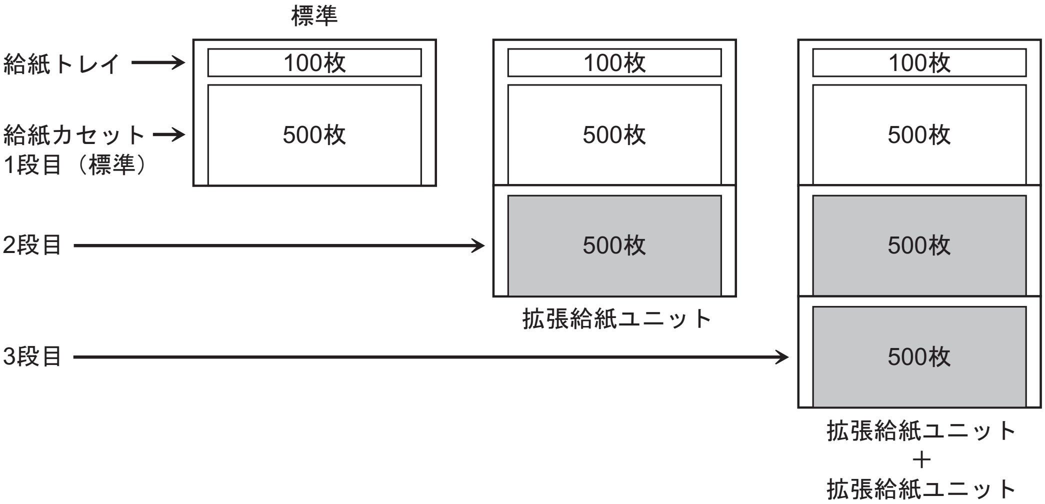
2 段目、3 段目の給紙ユニットとして使用できます。大量文書の印刷時にご利用ください。

表：拡張給紙ユニット

品名	型名	内容
拡張給紙ユニット	XL-EF50ME	収容枚数は約 500 枚（64g/ m^2 の用紙の場合）です。

■取り付け形態

拡張給紙ユニットは、1 段目（標準）の給紙カセットとあわせて、次の取り付け形態を選択できます。



重要

・印刷中は、給紙カセットを引き抜かないでください。エラーや紙詰まりが発生する原因となります。用紙をセットする場合は、印刷が終了するまでお待ちください。

POINT

・異なるサイズの用紙を、同時に 1 つの給紙カセットにセットすることはできません。

両面ユニット

本製品背面に取り付けることで、A4（SEF）、A5（SEF）、B5（SEF）、レター（SEF）、リーガル（SEF）サイズの用紙を両面印刷できるようになります。

表：両面ユニット

品名	型名	内容
両面ユニット	XL-DUPME	両面印刷用のユニットです。

プリンタ RAM モジュール

「コントローラボード」（→ P.22）に取り付けます。プリンタ RAM モジュールを増設することにより、すべての用紙サイズ、解像度、両面印刷の組み合わせで確実に印刷できるようになります。また、部単位印刷可能なページ数が増えます。

表：プリンタ RAM モジュール

品名	型名	内容
プリンタ RAM モジュール - 256MB	XL-EM256MC	RAM を 256MB 搭載したメモリモジュールです。

■プリンタ RAM モジュールの有無と印刷可能範囲

プリンタ RAM モジュールの有無により、印刷できる用紙サイズが異なります。搭載量と印刷可能範囲の対応は、次の表のとおりです。

表：プリンタ RAM モジュール搭載量と印刷可能範囲の対応

	64MB（プリンタ RAM モジュールなし）				320MB（プリンタ RAM モジュールあり：256MB）			
用紙サイズ / 解像度 (dpi)	片面		両面		片面		両面	
	300	600	300	600	300	600	300	600
Legal	○	○	○	▲	○	○	○	○
Letter	○	○	○	○	○	○	○	○
A4	○	○	○	○	○	○	○	○
B5	○	○	○	○	○	○	○	○
A5	○	○	○	○	○	○	○	○
はがき	○	○	－	－	○	○	－	－
ユーザ定義サイズ	○	○	－	－	○	○	－	－

○：どのデータも確実に印刷できます。
▲：データの内容によっては、印刷できない場合があります（プロテクトモード使用時は印刷できません）。
－：印刷できません。
解像度、プロテクトモード：プリンタドライバで設定します。詳しくは、プリンタドライバのヘルプ、または「ソフトウェアガイド」の「第 5 章 プリンタドライバの機能と利用方法」をご覧ください。

プリンタケーブル

本製品とパソコンを接続します。
接続インターフェースに応じて、パラレルケーブル、またはプリンタ USB ケーブルを使用できます。本製品にはプリンタケーブルは添付されていませんので、次の別売ケーブルをお使いください。

■パラレルケーブル

表：パラレルケーブル

品名	型名	内容
プリンタケーブル	FMV-CBL716	FMV シリーズ、各社 PC/AT 互換機に接続できます。

■プリンタ USB ケーブル

表：プリンタ USB ケーブル

品名	型名	内容
プリンタUSBケーブル	XL-CBLU2G	7/2008/Vista/2003/XP/2000 が動作するパソコンに接続できます。本ケーブルは USB2.0 に対応しています。

重要

・プリンタケーブルは、次の長さのシールドケーブルをお使いください。
　・パラレルケーブル：1.5m 以下
　・プリンタ USB ケーブル：5m 以下

認証印刷ユニット

プリンタと USB で接続し、指紋認証によるセキュリティ印刷を行うことができます。

表：認証印刷ユニット

品名	型名	内容
SecureLoginPrint	XL-SE100F	Vista/XP が動作するパソコンに接続できます。 ［注］：64 ビット版 /x64 Edition には対応していません。

取り付け時のご注意

オプションを取り付けるときは、次の点をお守りください。

⚠警告

・オプションを接続する場合には、当社推奨品以外の機器は接続しないでください。
　当社推奨品以外を接続すると、感電・火災・故障の原因になります。

⚠注意

・オプション類の取り付け、取り外しを行うときは、指定された場所以外のネジは外さないでください。指定された場所以外のネジを外すと、けがや故障の原因になることがあります。

重要

・オプション品の取り付け、取り外しを行うときは、必ず電源を切った状態で作業してください。

2 プリンタ RAM モジュールの取り付け

プリンタ RAM モジュールの取り付け・取り外し方法は次のとおりです。

警告

・プリンタ RAM モジュールの取り付けおよび取り外しは、電源スイッチが「Off」側に倒れていることを確認し、電源コードをコンセントから抜いてから行ってください。
電源を切らずに作業すると、感電または故障の原因になります。

重要

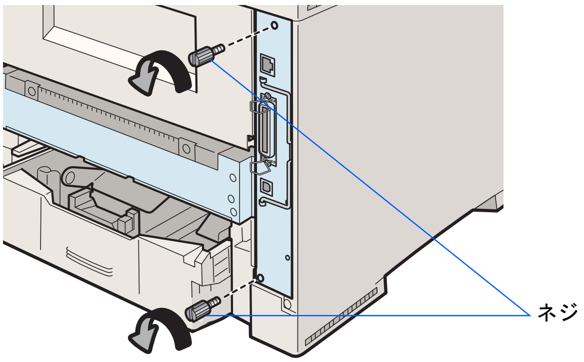
・静電気によってプリンタ RAM モジュールが破壊されないように、次の点にご注意ください。
  ・本製品に取り付ける直前まで、袋からモジュールを取り出さないでください。
  ・モジュールに触れる前に、金属製のもの（ロッカーなど）に触れて、人体の静電気を取り除いてください。
  ・モジュールを持つときは、必ずモジュールの端を持ってください。モジュールの電気回路部品および配線部分には、手を触れないでください。

取り付け

1 プリンタの電源を切り、ケーブル類を取り外します。

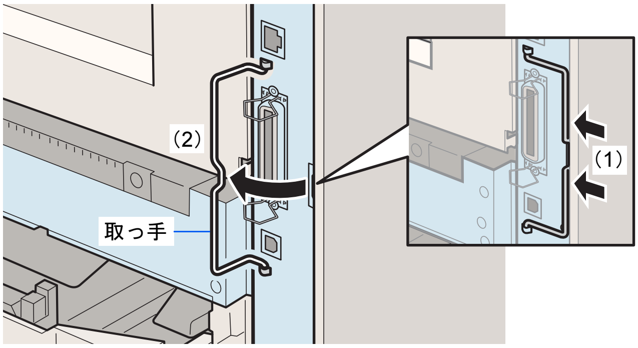
・電源スイッチを「Off」側に倒します。
・電源コンセントおよび電源コードコネクタから、電源コードを抜きます。
・パラレルケーブル、LAN ケーブル、およびプリンタ USB ケーブルを外します。

2 コントローラボードを固定しているネジ（2ヶ所）を取り外します。



3 コントローラボードの取っ手を起こします。

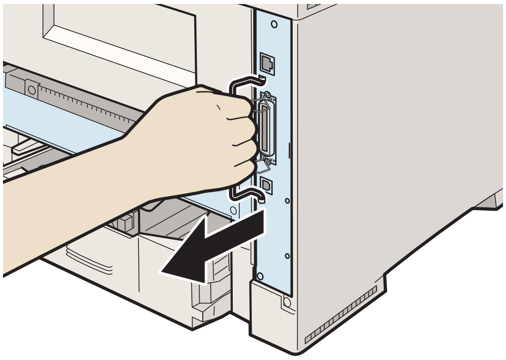
1. 収納されている取っ手を、矢印方向から押し込んで外します。
2. 取っ手を手前に引いて、起こします。



重要

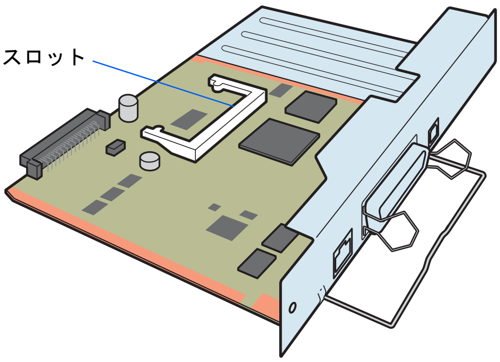
・取っ手を起こすときは、複数の指を使い、爪を割らないように充分に気をつけてください。

4 取っ手を持ち、コントローラボードをゆっくりと引き抜きます。



5 引き抜いたコントローラボードを、机などの平らな場所に置きます。

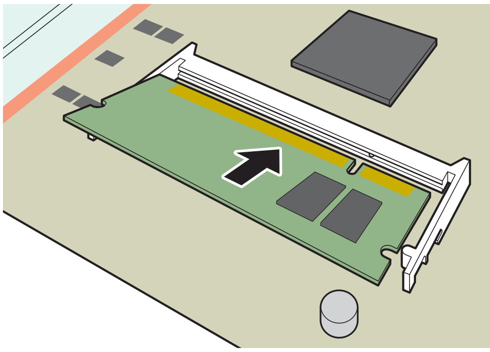
プリンタ RAM モジュールは、イラストで示しているスロットにセットします。



3

6 スロットの溝に合わせて、プリンタ RAM モジュールをゆっくりと差し込みます。

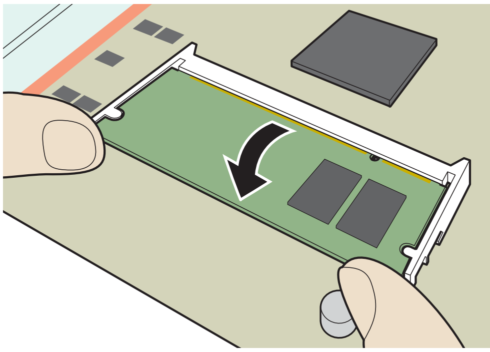
向きに注意して差し込みます。プリンタ RAM モジュールの金色の端子がほとんど見えなくなるまで押し込んでください。



重要

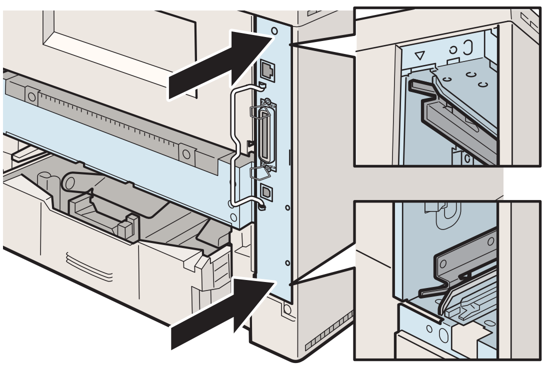
・プリンタ RAM モジュールの基板は壊れやすいので、取り扱いには充分注意してください。

7 プリンタ RAM モジュールをカチッと音がするまで押し倒し、固定します。

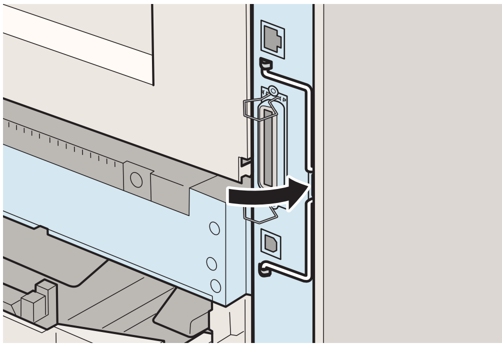


8 コントローラボードを、プリンタ本体の上下のレールに合わせて差し込み、突き当たるまでゆっくりと押し込みます。

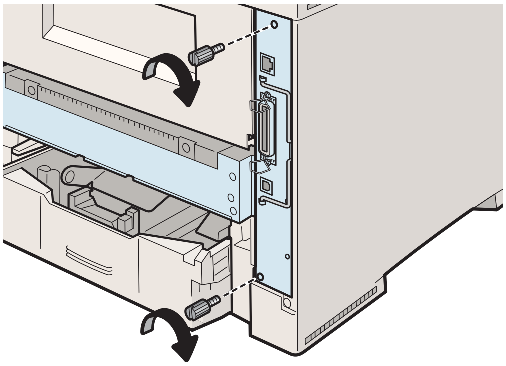
上部のレールは、▽マークを目印にします。



9 **コントローラボードの取っ手を、カチッと音がする位置まで倒し、固定します。**



10 **ネジ（2ヶ所）でコントローラボードを固定します。**



動作確認

次の操作でプリンタ RAM モジュールをチェックし、プリンタが問題なく動作することを確認してください。

1 **プリンタの電源が入っていないこと（電源スイッチが「Off」側に倒れていること）を確認します。**

2 **オペレータパネルの「リセット」スイッチを押しながら、電源スイッチを「On」側に倒して電源を入れます。**

RAM モジュールのチェックが開始されます。

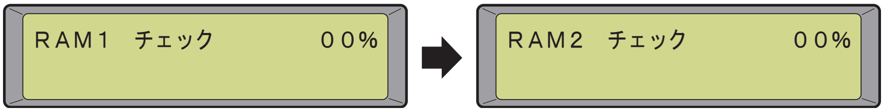
POINT

・「RAM1　チェック」と表示されたら、「リセット」スイッチを放してもかまいません。

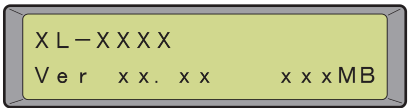
3 オペレータパネルの表示が次のように変化することを確認します。

1. 標準 RAM（RAM1）のチェックが開始された後、増設した RAM モジュール（RAM2）のチェックが開始されます。

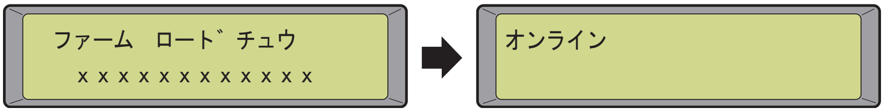
■標準 RAM のチェック開始　　■増設 RAM モジュールのチェック開始



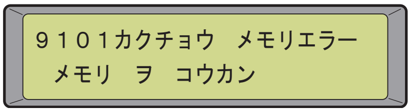
2. RAM モジュールチェック後、増設した RAM 容量（320MB）が表示されることを確認します。



3. ファームがロードされ、「オンライン」と表示されることを確認します。



「オンライン」と表示されれば、RAM モジュールに問題はありません。
次のメッセージが表示された場合は、増設したプリンタ RAM モジュールが正常に取り付けられているか確認してください。



その他のメッセージが表示された場合は、「オペレータパネルに表示されるメッセージ」（→P.166）をご覧ください。

重要

・プリンタRAMモジュールを増設した場合は、必ずプリンタドライバでオプションの設定を行ってください。設定方法は「ソフトウェアガイド」の「第 5 章 プリンタドライバの機能と利用方法」をご覧ください。

取り外し

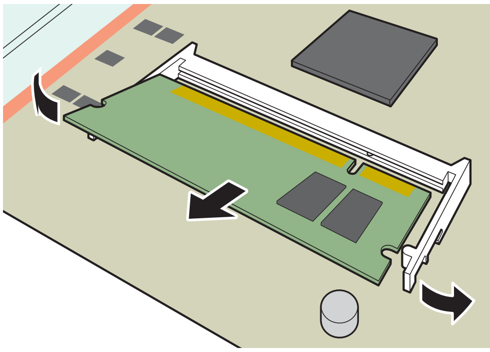
1 **電源を切り、ケーブル類を取り外します。**

・電源スイッチを「Off」側に倒します。
・電源コンセントおよび電源コードコネクタから、電源コードを抜きます。
・パラレルケーブル、LAN ケーブル、およびプリンタ USB ケーブルを外します。

2 **コントローラボードをプリンタ本体から引き抜き、机などの平らな場所に置きます。**

詳しくは、「取り付け」（→ P.42）の手順 2 〜手順 5 をご覧ください。

3 **左右のレバーを開いてロックを外し、プリンタ RAM モジュールを手前に引き抜きます。**



4 **コントローラボードをプリンタ本体に取り付けます。**

詳しくは、「取り付け」（→ P.42）の手順 8 〜手順 10 をご覧ください。

3

3 拡張給紙ユニットの取り付け

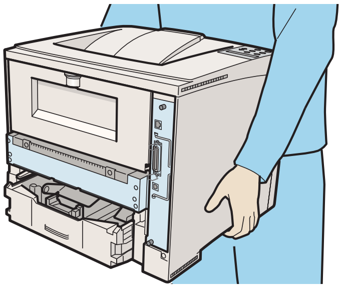
拡張給紙ユニットの取り付け・取り外し方法は次のとおりです。拡張給紙ユニットは、最大２段まで取り付けることができます。

警告

・拡張給紙ユニットの取り付けおよび取り外しは、電源スイッチが「Off」側に倒れていることを確認し、電源コードをコンセントから抜いてから行ってください。
電源を切らずに作業すると、感電または故障の原因になります。

注意

・拡張給紙ユニットは、本製品専用品を取り付けてください。指定外の拡張給紙ユニットを取り付けると、拡張給紙ユニットおよびプリンタ本体の故障の原因になります。
・拡張給紙ユニットの金属部分に手を触れる場合は、充分に注意してください。手を傷つけるおそれがあります。
・プリンタと拡張給紙ユニットの間に指をはさまないように注意してください。けがの原因になることがあります。
・本製品は本体（消耗品を含む）で約 17.5kg の重さがあります。
プリンタを持ち上げるときは、腰を痛めないように充分に膝を折り、左右にあるくぼみをしっかりと持ってください。くぼみ以外を持って持ち上げることは絶対にしないでください。落下によりけがの原因になることがあります。
また、移動する際は足元に何も置かないようにしてください。転倒のおそれがあります。



・取り付け時は、指をはさまないように注意してください。

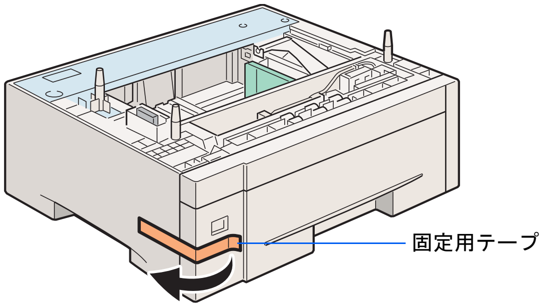
取り付け

1 プリンタの電源を切り、ケーブル類を取り外します。

・電源スイッチを「Off」側に倒します。
・電源コンセントおよび電源コードコネクタから、電源コードを抜きます。
・パラレルケーブル、LAN ケーブル、およびプリンタ USB ケーブルを外します。

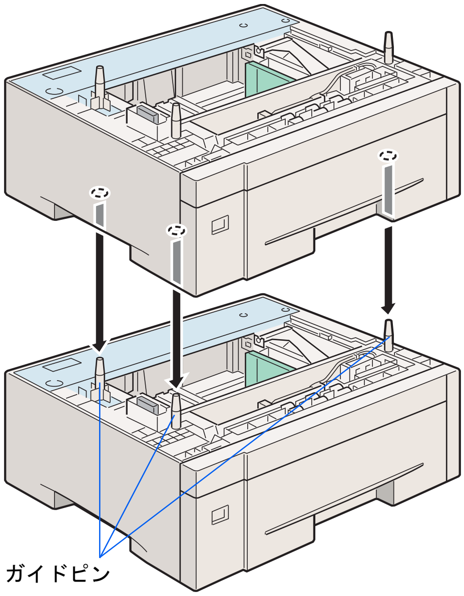
2 拡張給紙ユニットを梱包箱から取り出します。

3 拡張給紙ユニットを平らな場所に置き、固定用テープをはがします。

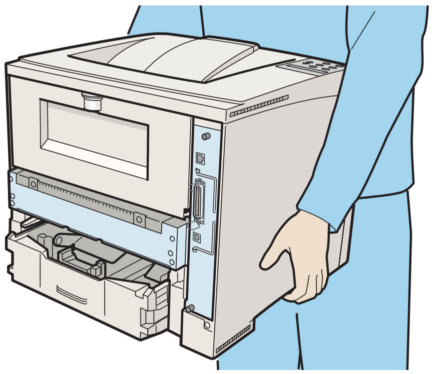


4 拡張給紙ユニットを 2 段取り付ける場合は、下図のようにして拡張給紙ユニットどうしを組み合わせます。

上段にする拡張給紙ユニットの底面にある穴に、下段にする拡張給紙ユニットのガイドピン（3ヶ所）を合わせてはめ込みます。

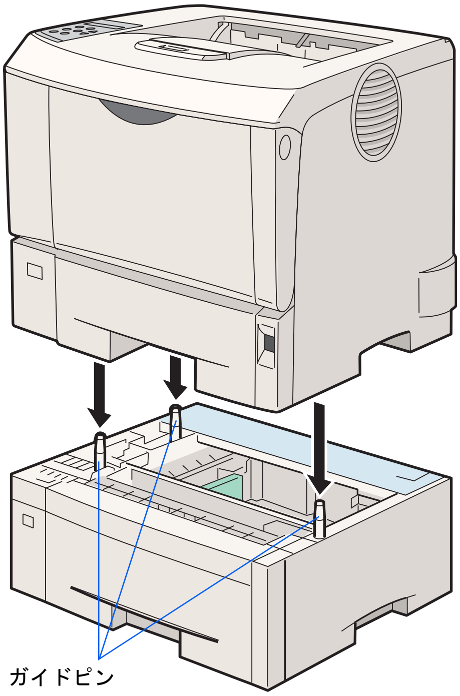


5 プリンタ本体下部のくぼみに手をかけ、プリンタ本体を持ち上げます。



6 プリンタ本体を拡張給紙ユニットの上にゆっくりおろします。

プリンタ本体と拡張給紙ユニットの角を合わせます。拡張給紙ユニットの上面にあるガイドピン（3ヶ所）が、プリンタ本体底面の穴に差し込まれるようにしてください。

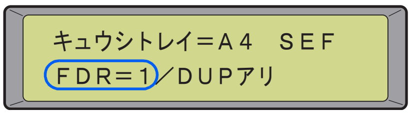


重要

・拡張給紙ユニットを取り付けた場合は、必ずプリンタドライバでオプションの設定を行ってください。
設定方法は『ソフトウェアガイド』の「第 5 章 プリンタドライバの機能と利用方法」をご覧ください。

POINT

・拡張給紙ユニットを取り付けた場合は、次のいずれかの操作を行い、取り付けた拡張給紙ユニットをプリンタが認識していることを確認してください。
  ・オペレータパネルの液晶ディスプレイの表示が「オンライン」、またはプリンタが節電状態のときに、「▶」スイッチを押します。
  液晶ディスプレイ下段の、「FDR」と表示されている部分を確認してください。

  拡張給紙ユニットを 1 段取り付けたときは「FDR=1」、2 段取り付けたときは「FDR=2」と表示されます。「FDR ナシ」と表示されている場合は、拡張給紙ユニットが正しく取り付けられているか確認してください。
  確認後は、オペレータパネルのいずれかのスイッチを押してください。液晶ディスプレイの表示が「オンライン」に戻ります。
  ・設定の一覧（→ P.115）を印刷し、「システム情報」欄の給紙口情報を確認してください。
  取り付けた段数に応じて、次のように印刷されます。印刷されない場合は、拡張給紙ユニットが正しく取り付けられているか確認してください。
    ・1 段取り付けたとき :「カセット 1 ＝（用紙サイズ）」「カセット 2 ＝（用紙サイズ）」
    ・2 段取り付けたとき :「カセット 1 ＝（用紙サイズ）」「カセット 2 ＝（用紙サイズ）」「カセット 3 ＝（用紙サイズ）」

取り外し

1 **電源を切り、ケーブル類を取り外します。**

・電源スイッチを「Off」側に倒します。
・電源コンセントおよび電源コードコネクタから、電源コードを抜きます。
・パラレルケーブル、LAN ケーブル、およびプリンタ USB ケーブルを外します。

2 **「取り付け」（→ P.48）と逆の手順で、拡張給紙ユニットを取り外します。**

3

4 両面ユニットの取り付け

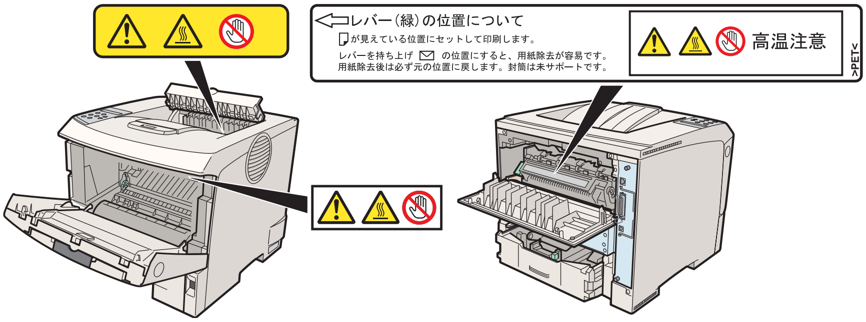
両面ユニットの取り付け・取り外し方法は次のとおりです。

⚠警告

・両面ユニットの取り付けおよび取り外しは、電源スイッチが「Off」側に倒れていることを確認し、電源コードをコンセントから抜いてから行ってください。
電源を切らずに作業すると、感電または故障の原因になります。

⚠注意

・プリンタを使用した直後は、定着器が非常に熱くなっています。「高温注意」をうながすラベルが貼ってある箇所（定着器やその周辺）には、絶対に触れないでください。
やけどの原因になることがあります。



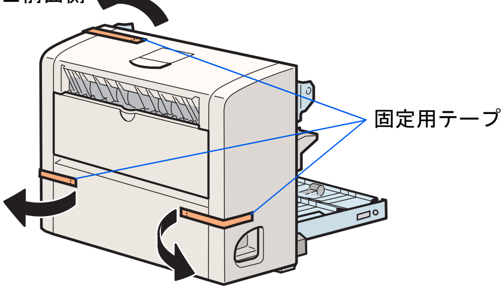
取り付け

1 プリンタの電源を切り、ケーブル類を取り外します。

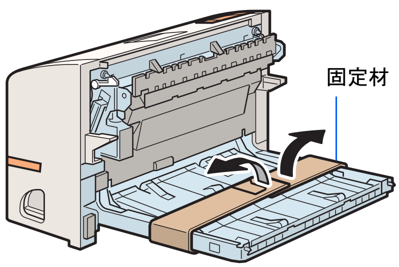
・電源スイッチを「Off」側に倒します。
・電源コンセントおよび電源コードコネクタから、電源コードを抜きます。
・パラレルケーブル、LAN ケーブル、およびプリンタ USB ケーブルを外します。

2 両面ユニットを梱包箱から取り出し、固定用テープと固定材を取り除きます。

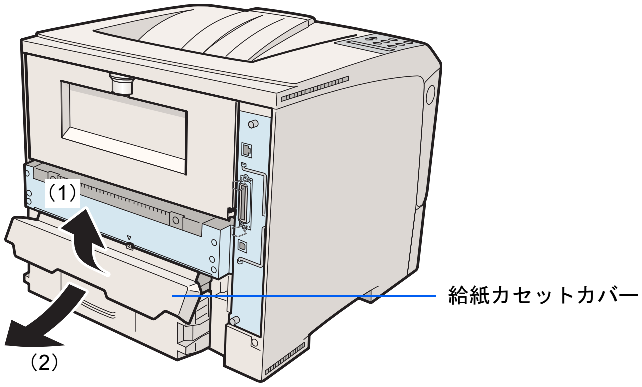
■前面側



■背面側



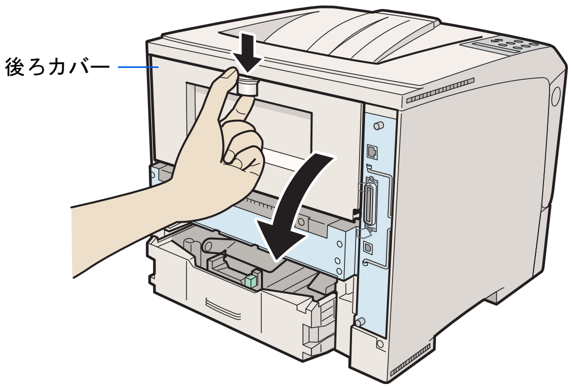
3 給紙カセットカバーを取り付けている場合は、（1）給紙カセットカバーの下部を少し引き上げ、（2）本体背面から取り外します。



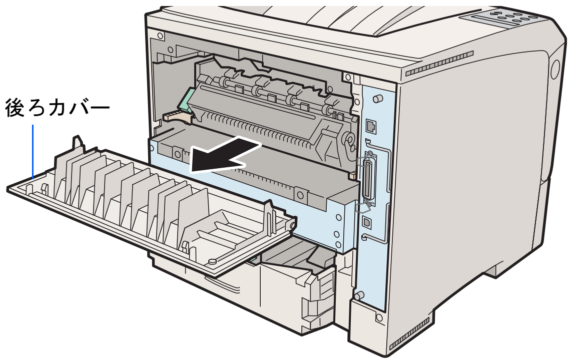
重要

・取り外したカバーは、両面ユニットを取り外した後に必要となります。紛失しないよう、大切に保管してください。

4 後ろカバーを開きます。



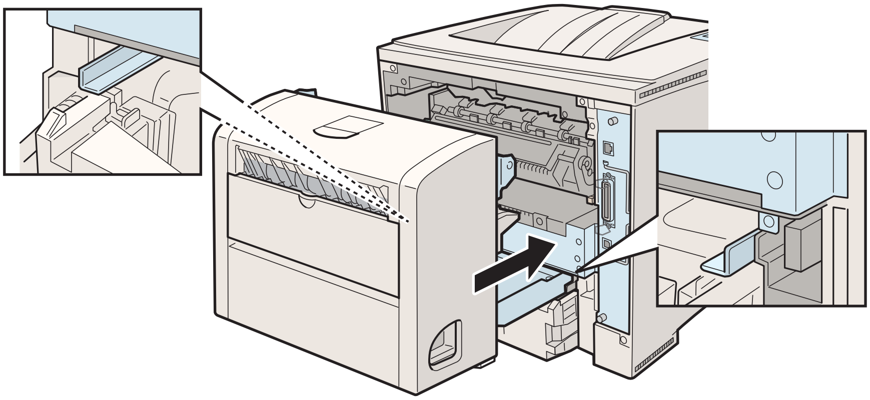
5 後ろカバーを水平方向に取り外します。



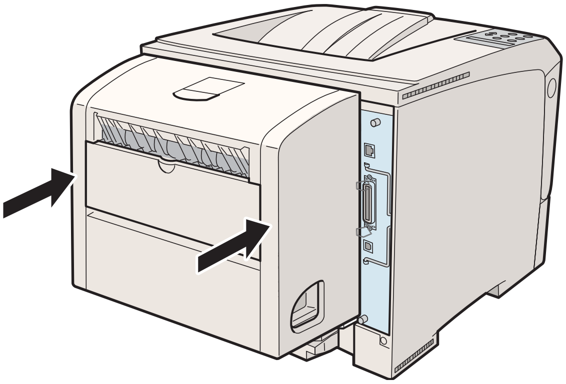
重要

・取り外したカバーは、両面ユニットを取り外した後に必要となります。紛失しないよう、大切に保管してください。

6 両面ユニットを、プリンタ本体背面にあるレールに沿って差し込みます。



7 両面ユニットをしっかりとプリンタ本体に押し込みます。

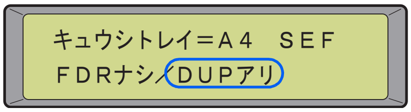


重要

・両面ユニットを取り付けた場合は、必ずプリンタドライバでオプションの設定を行ってください。
設定方法は『ソフトウェアガイド』の「第 5 章 プリンタドライバの機能と利用方法」をご覧ください。

POINT

・両面ユニットを取り付けた場合は、次のいずれかの操作を行い、取り付けた両面ユニットをプリンタが認識していることを確認してください。
  ・オペレータパネルの液晶ディスプレイの表示が「オンライン」、またはプリンタが節電状態のときに、「▶」スイッチを押します。
  液晶ディスプレイの下段に「DUP アリ」と表示されていることを確認してください。



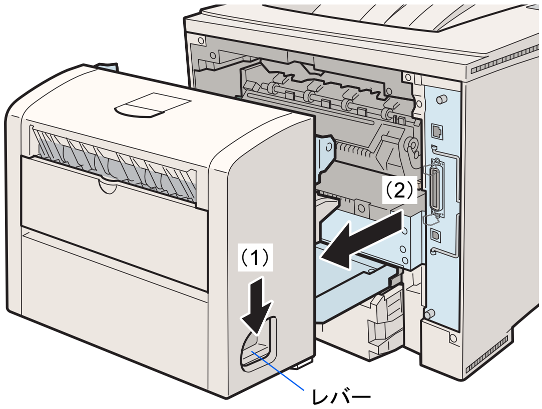
  「DUP ナシ」と表示されている場合は、両面ユニットが正しく取り付けられているか確認してください。確認後は、オペレータパネルのいずれかのスイッチを押してください。液晶ディスプレイの表示が「オンライン」に戻ります。
  ・設定の一覧（→ P.115）を印刷し、「システム情報」欄に「両面ユニット＝あり」と印刷されていることを確認してください。「両面ユニット＝なし」と印刷された場合は、両面ユニットが正しく取り付けられているか確認してください。

取り外し

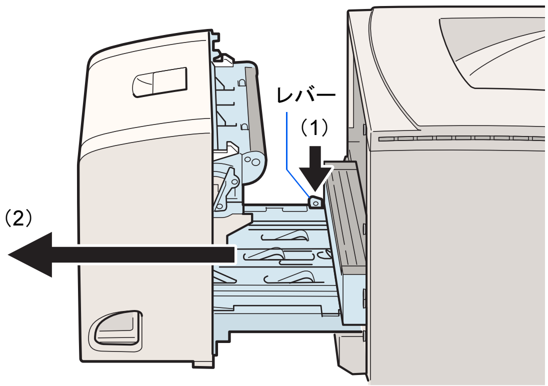
1 **電源を切り、ケーブル類を取り外します。**

- 電源スイッチを「Off」側に倒します。
- 電源コンセントおよび電源コードコネクタから、電源コードを抜きます。
- パラレルケーブル、LAN ケーブル、およびプリンタ USB ケーブルを外します。

2 **(1) 両面ユニット側面のレバーを押し下げて、(2) 両面ユニットを止まる位置まで引き出します。**



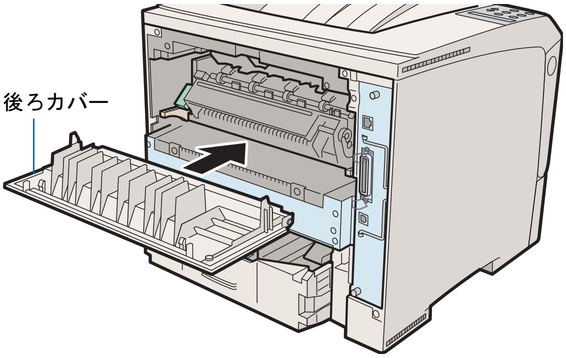
3 **(1) 両面ユニットの底板にあるレバーを押しながら、(2) 両面ユニットを引き抜きます。**



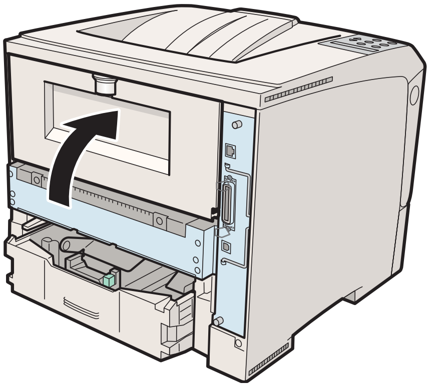
3

4 プリンタ本体に後ろカバーを取り付けます。

プリンタ内部の溝に沿わせて、水平に取り付けてください。

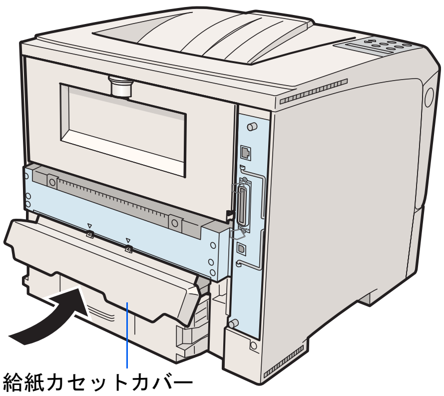


5 後ろカバーを閉じます。



6 給紙カセットを引き伸ばして使用していない場合は、給紙カセットカバーを取り付けます。

給紙カセットカバー上部にある突起部分（△マーク）をプリンタ背面の▽マークに合わせて差し込み、矢印方向に押し込んで固定してください。



POINT

・給紙カセットを引き伸ばして使用している場合は、給紙カセットカバーを取り付けることはできません。

4

運用編

第 4 章

日常の操作

この章では、本製品を使って印刷するときに必要となる、用紙のセットやプロセスカートリッジの交換などの日常的な操作について説明します。

1　用紙をセットする

給紙カセット（オプションの拡張給紙ユニットを含む）と、給紙トレイに用紙をセットする方法を説明します。

重要

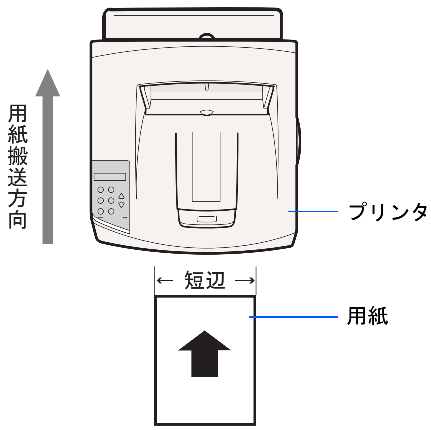
- 「使用できる用紙」（→ P.126）と、「使用できない用紙」（→ P.130）を事前にご確認ください。
- 厚紙、郵便はがき、ラベル紙は、給紙トレイにセットしてください。給紙カセット、および拡張給紙ユニット（オプション）にはセットできません。詳しくは「給紙方法と用紙のサイズ」（→ P.126）をご覧ください。
- 用紙の種類やサイズを頻繁に変更する場合は、給紙トレイをご使用ください。
- 印刷中は、給紙カセットを引き抜かないでください。エラーや紙詰まりが発生する原因となります。用紙をセットする場合は、印刷が終了するまでお待ちください。ただし、給紙トレイであれば、印刷中であっても用紙をセットすることができます。

POINT

- 異なるサイズの用紙を、同時に 1 つの給紙カセットや、給紙トレイにセットすることはできません。

用紙をセットする向きについて

給紙カセット（オプションの拡張給紙ユニットを含む）や給紙トレイに定型サイズの用紙をセットするときは、用紙を「縦送り」されるように置きます。
「縦送り」とは、用紙の短辺が、用紙搬送方向に対して垂直に位置している状態です。「SEF（Short Edge Feed）」や「」とも表記されます。

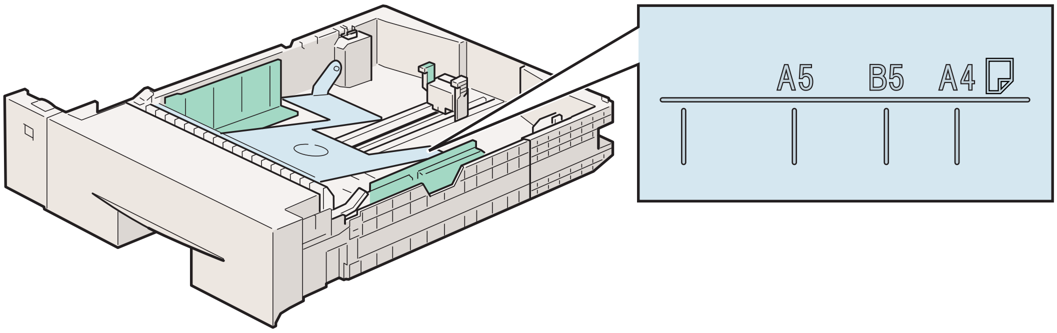


用紙サイズについて

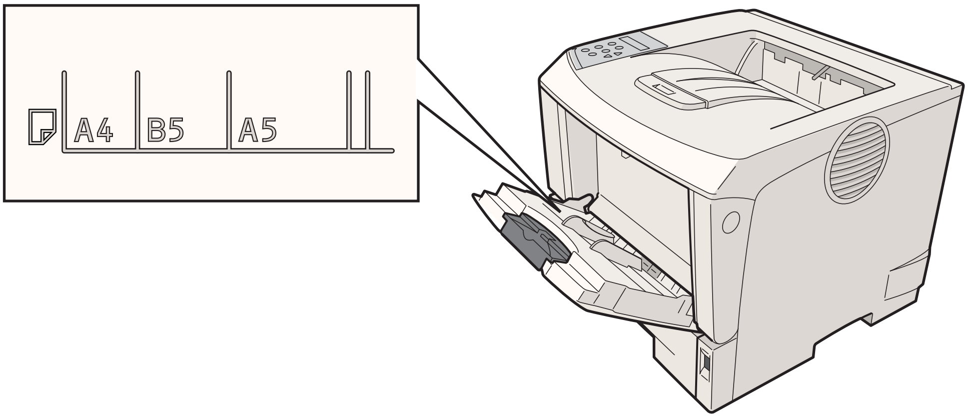
用紙サイズと送り方向の刻印

給紙カセットや給紙トレイには、用紙サイズが刻印されており、セットする用紙に合わせて延長部を伸縮したり、縦／横の用紙ガイドを移動したりするときの目安にします。

■ 給紙カセットの刻印位置



■ 給紙トレイの刻印位置



用紙サイズの表記

このマニュアルで「レター」、「リーガル」、「ユーザ定義サイズ」と記載している用紙サイズは、給紙カセットの用紙サイズダイヤル上、またはプリンタドライバ上では次のように表記されています。

表：用紙サイズ表記の対応表

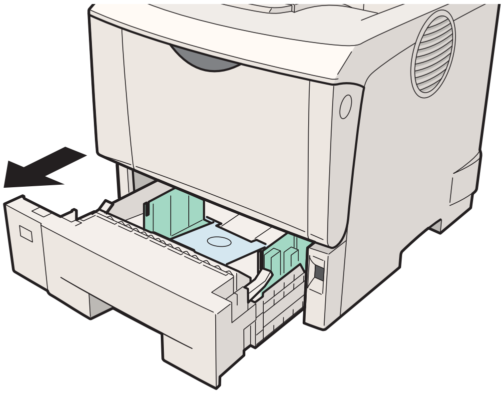
このマニュアルでの表記	用紙サイズダイヤルの表記	プリンタドライバでの表記
レター	8 ½ × 11（前面窓には「レター」と表示）	Letter
リーガル	8 ½ × 14（前面窓には「リーガル」と表示）	Legal
ユーザ定義サイズ	*	ユーザ定義サイズ

給紙カセットに用紙をセットする

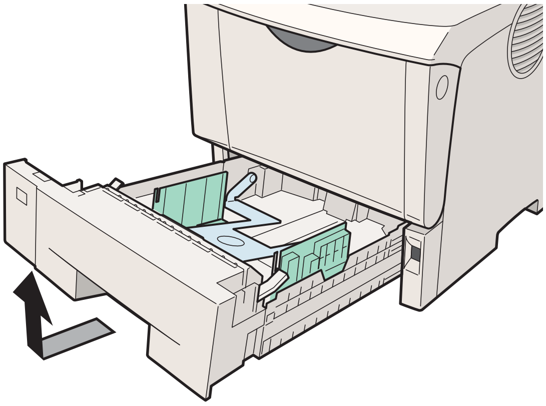
ここでは、給紙カセット（オプションの拡張給紙ユニットを含む）に用紙をセットする手順を説明します。

A4、A5、B5、レター、ユーザ定義サイズの場合

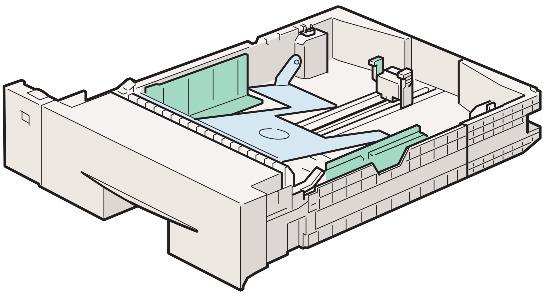
1 **給紙カセットを、止まる位置までゆっくりと引き出します。**



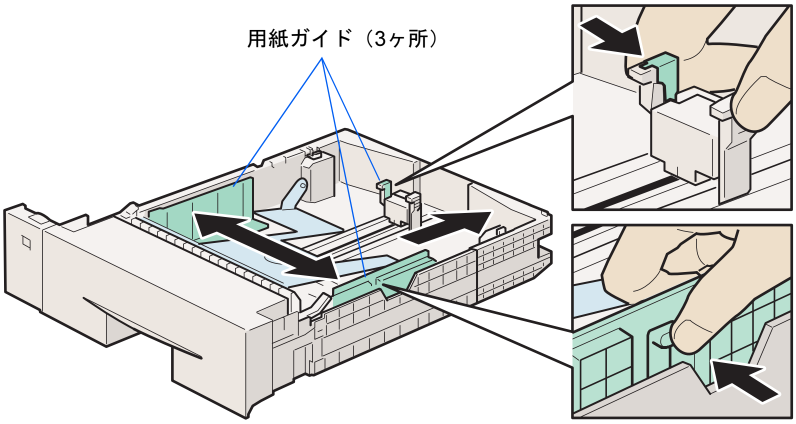
2 **給紙カセットの前面を持ち上げ、引き抜きます。**



3 **給紙カセットを平らな場所に置きます。**

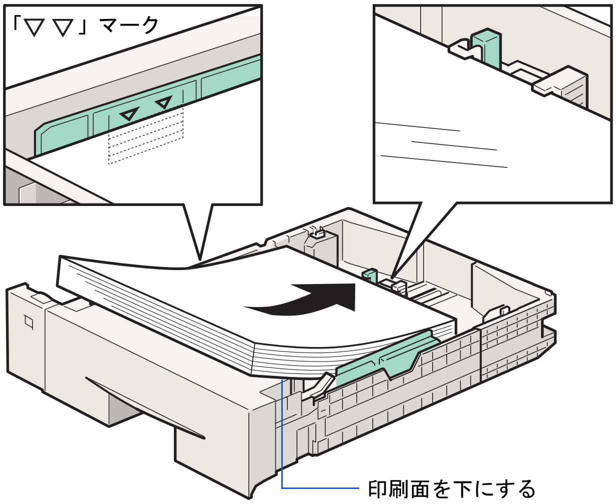


4 用紙ガイド（3ヶ所）の緑色のクリップをつまみながら、セットする用紙サイズの位置まで移動します。



5 用紙の四隅を揃え、印刷する面（包装された用紙の開封面）を下にしてセットします。

給紙カセットにセットできる用紙は、500 枚（64g/ ㎡の用紙の場合）までです。
左右の用紙ガイドにある、「▽ ▽」マークのラインを越えないようにしてください。

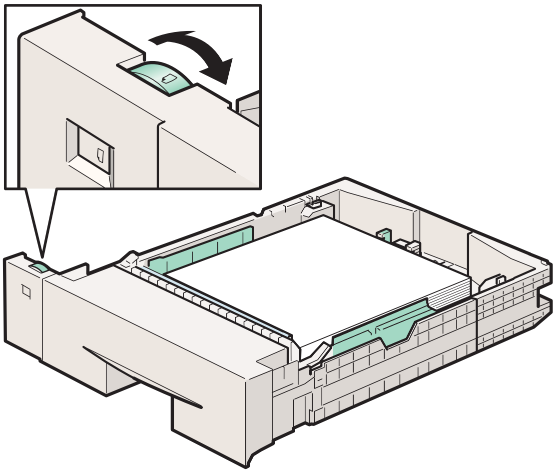


重要

- 反り、シワ、折り目の入った用紙は使用しないでください。
- 用紙ガイドは、セットした用紙の端面にしっかりと合わせてください。用紙ガイドと用紙の端面にすきまがあると、印刷位置のずれや傾きが発生する原因となります。
  ただし、用紙が曲がるほど強く押しつけると、給紙が正しく行われない原因となりますので、触れる程度としてください。

6 用紙サイズダイヤルの表示を、セットした用紙サイズに合わせます。

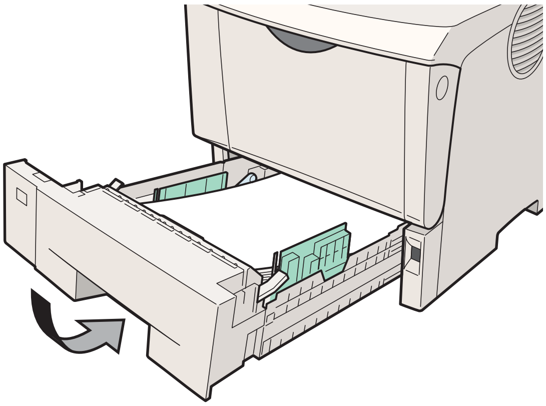
用紙サイズダイヤルは、「カチッ」と音がするまで回してください。



POINT

- レターサイズの用紙をセットした場合は、用紙サイズダイヤルの表示を「8 ½ × 11」に合わせてください。
- ユーザ定義サイズの用紙をセットした場合は、用紙サイズダイヤルの表示を「＊」に合わせてください。

7 前面を持ち上げるようにして給紙カセットを差し込み、奥までゆっくりと押し込みます。



重要

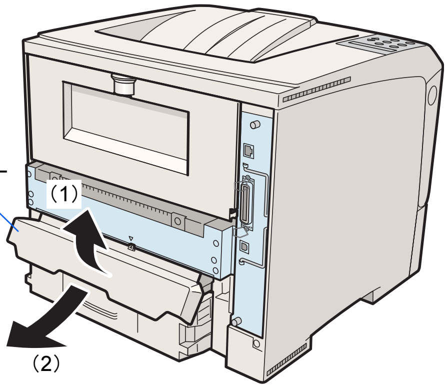
- 用紙をセットした給紙カセットを、勢いよく押し込まないでください。用紙ガイドがずれて、印刷位置のずれや傾きが発生する原因となります。
- 給紙カセットは奥に突き当たるまで押し込んでください。突き当たるまで押し込んでいないと、カセットなしと認識されたり、紙が詰まったりする原因となります。

リーガルサイズの場合

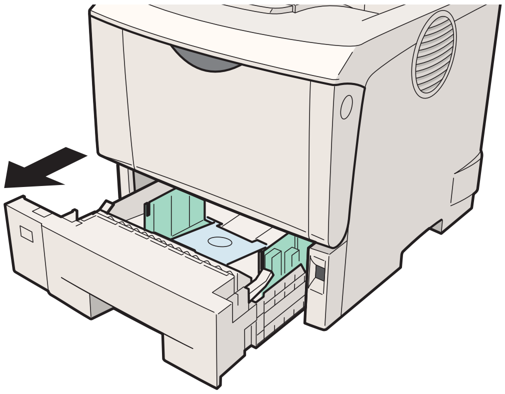
リーガルサイズの用紙をセットする場合は、給紙カセットの延長部を引き出します。

1 **プリンタ本体背面にある、給紙カセットカバーを取り外します。**

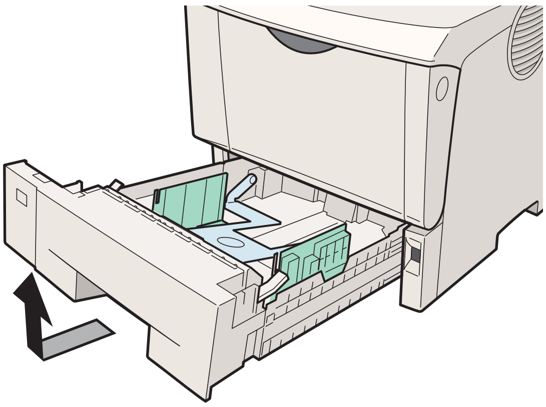
1. 給紙カセットカバーの下部を少し持ち上げます。
2. 手前に引いて取り外します。



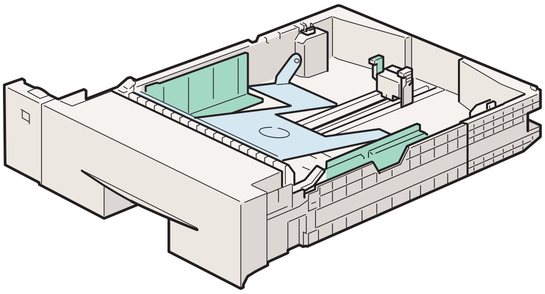
2 **給紙カセットを、止まる位置までゆっくりと引き出します。**



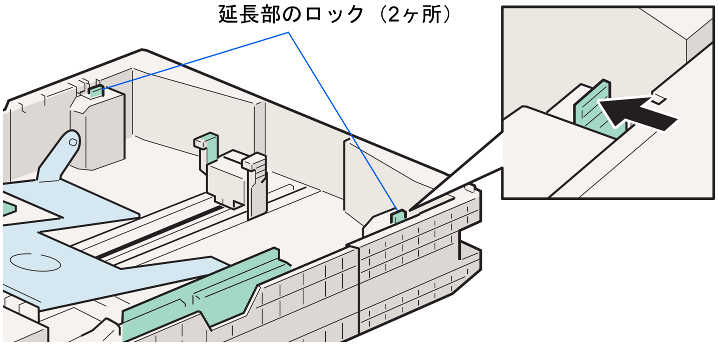
3 **給紙カセットの前面を持ち上げ、引き抜きます。**



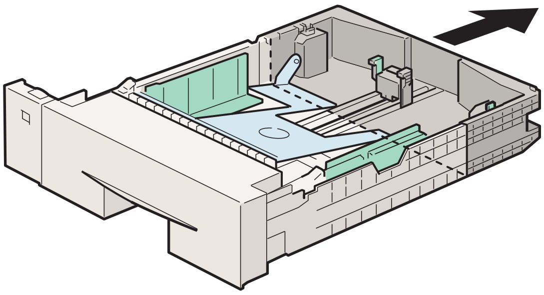
4 給紙カセットを平らな場所に置きます。



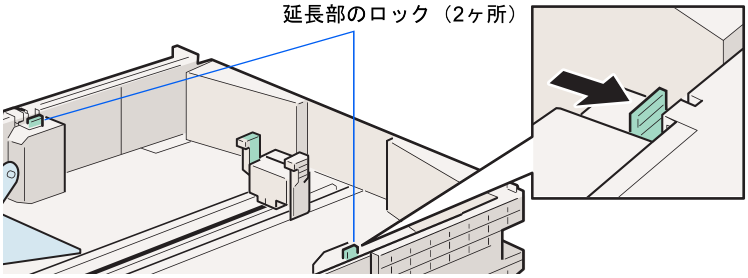
5 延長部のロック（2ヶ所）を、内側にスライドさせて外します。



6 延長部を引き出します。



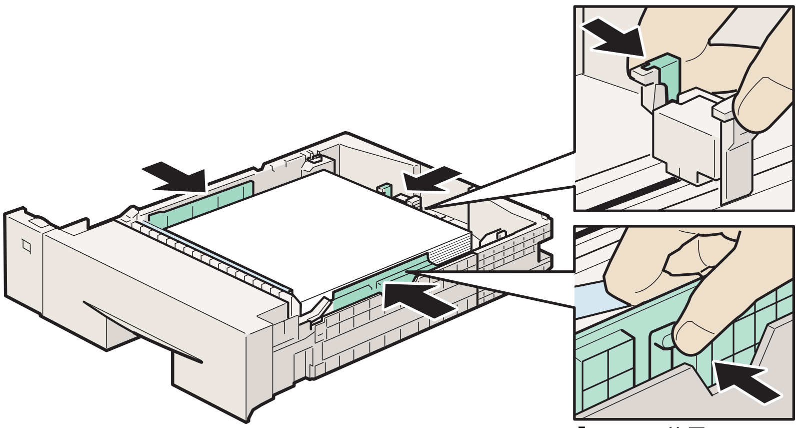
7 延長部のロック（2ヶ所）を外側にスライドさせて、固定します。



重要

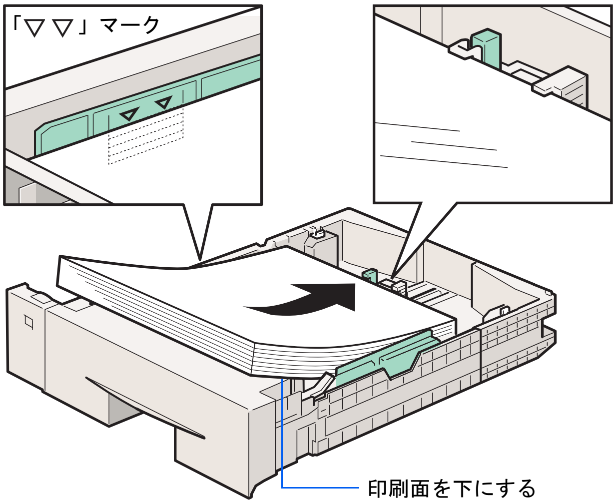
・延長部はしっかりと固定してください。延長部が固定されていないと、用紙が正しく搬送されないことがあります。

8 用紙ガイド（3ヶ所）の緑色のクリップをつまみながら、リーガルサイズ（8 ½ × 14）の位置まで移動します。



9 用紙の四隅を揃え、印刷する面（包装された用紙の開封面）を下にしてセットします。

給紙カセットにセットできる用紙は、500 枚（64g/ ㎡の用紙の場合）までです。
左右の用紙ガイドにある、「▽ ▽」マークのラインを越えないようにしてください。

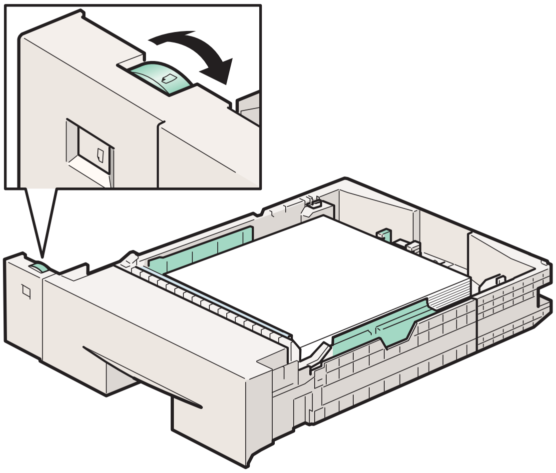


重要

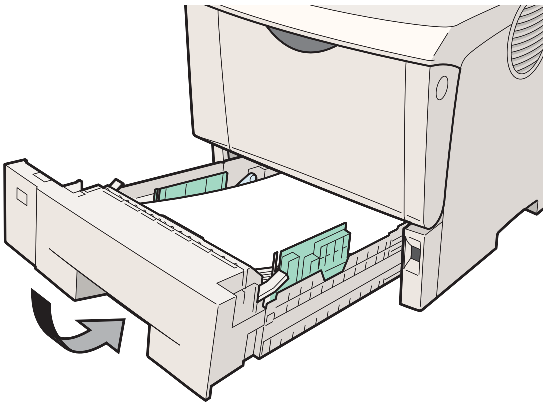
- 反り、シワ、折り目の入った用紙は使用しないでください。
- 用紙ガイドは、セットした用紙の端面にしっかりと合わせてください。用紙ガイドと用紙の端面にすきまがあると、印刷位置のずれや傾きが発生する原因となります。
  ただし、用紙が曲がるほど強く押しつけると、給紙が正しく行われない原因となりますので、触れる程度としてください。

10 用紙サイズダイヤルの表示を、リーガルサイズ（8 ½ × 14）に合わせます。

用紙サイズダイヤルは、「カチッ」と音がするまで回してください。



11 前面を持ち上げるようにして給紙カセットを差し込み、奥までゆっくりと押し込みます。



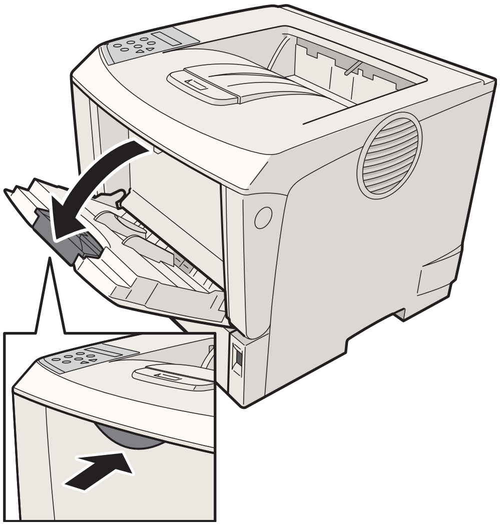
重要

- 用紙をセットした給紙カセットを、勢いよく押し込まないでください。用紙ガイドがずれて、印刷位置のずれや傾きが発生する原因となります。
- 給紙カセットは奥に突き当たるまで押し込んでください。突き当たるまで押し込んでいないと、カセットなしと認識されたり、紙が詰まったりする原因となります。

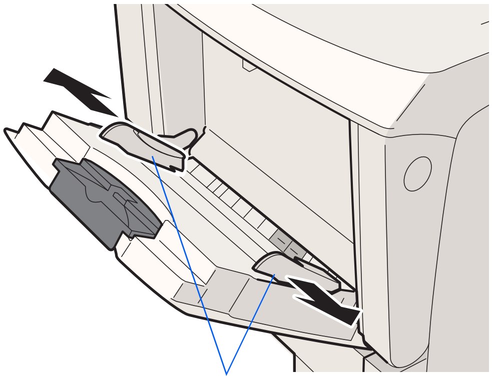
給紙トレイにセットする

ここでは、給紙トレイに用紙をセットする手順について説明します。

1 **給紙トレイの上部を押して、開きます。**



2 **サイドガイドを、セットする用紙サイズの目盛りに合わせます。**



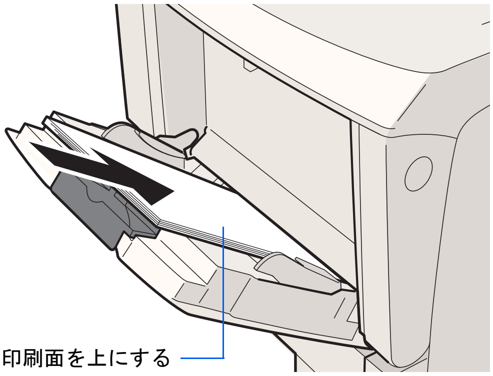
重要

・給紙トレイには「□A5」（A5 サイズ横送り）の刻印もありますが、オペレータパネルで指定できる用紙サイズは、「A5 SEF」（A5 サイズ縦送り）のみです。この刻印に合わせて横送り方向で用紙をセットした場合は、「オペレータパネルの設定」（→ P.68）で「ユーザテイギ」を指定してください。

4

3 用紙の四隅を揃え、印刷する面（包装された用紙の開封面）を上にして、差し込み口に軽く突き当たるまで入れます。

給紙トレイにセットできる用紙の枚数は、用紙の種類によって異なります。
詳しくは「給紙方法と用紙のサイズ」（→ P.126）をご覧ください。



重要

- 反り、シワ、折り目の入った用紙は、使用しないでください。
- 収容枚数を超える用紙をセットしないでください。
- サイドガイドは、セットした用紙の端面にしっかりと合わせてください。サイドガイドと用紙の端面にすきまがあると、印刷位置のずれや傾きが発生する原因となります。
ただし、用紙が曲がるほど強く押しつけると、給紙が正しく行われない原因となりますので、触れる程度としてください。

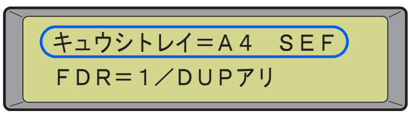
続いて、オペレータパネルで用紙サイズの設定を行います。

オペレータパネルの設定

給紙トレイに用紙をセットした場合は、オペレータパネルの設定が必要になります。
給紙トレイで印刷できる用紙のサイズについては、「給紙方法と用紙のサイズ」（→ P.126）をご覧ください。
ここでは、A5SEF サイズの用紙を設定する方法を説明します。

POINT

- ご購入時、給紙トレイの用紙サイズは「A4 SEF」に設定されています。
- 給紙トレイの用紙サイズを確認するには、オペレータパネルの液晶ディスプレイの表示が「オンライン」、またはプリンタが節電状態のときに、「▶」スイッチを押します。液晶ディスプレイ上段に、現在の用紙サイズが表示されます。



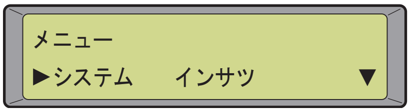
確認後は、オペレータパネルのいずれかのスイッチを押してください。液晶ディスプレイの表示が「オンライン」に戻ります。

1 給紙トレイに、A5 サイズの用紙を縦送り方向（ ）でセットします。

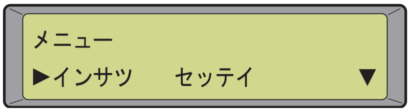
2 オペレータパネルを次のように操作し、用紙サイズを「A5 SEF」に切り替えます。

オペレータパネルについて詳しくは、「オペレータパネルの操作」(→ P.97) をご覧ください。

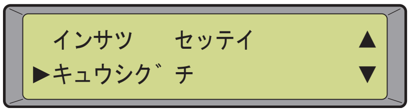
1. オペレータパネルの「メニュー」スイッチを押し、メニューモードにします。



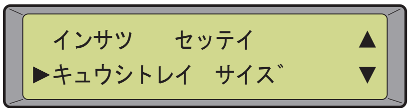
2. 「▶」スイッチを 2 回押して「インサツ　セッテイ」を表示します。



3. 「▼」スイッチを押して「キュウシグチ」を表示します。



4. 「▶」スイッチを 3 回押して「キュウシトレイ　サイズ」を表示します。



5. 「▼」スイッチを押して「*A4 SEF」を表示します。



6. A5 サイズ縦送り（SEF）の場合は、「▶」スイッチを 2 回押して「A5 SEF」を表示します。その他のサイズの場合は、セットする用紙サイズが表示されるまで「▶」スイッチを押します。



7. 「設定」スイッチを押してから、「オンライン」スイッチを押します。

   A5 サイズ縦送り（SEF）のモードに切り替わります。



4

2 印刷する

アプリケーションで作成したデータを実際に印刷するときの操作は、お使いのアプリケーションによって異なりますが、ここでは一例を説明します。

1 印刷を行う前に、プリンタドライバをインストールします。

インストール方法は、『ソフトウェアガイド』をご覧ください。

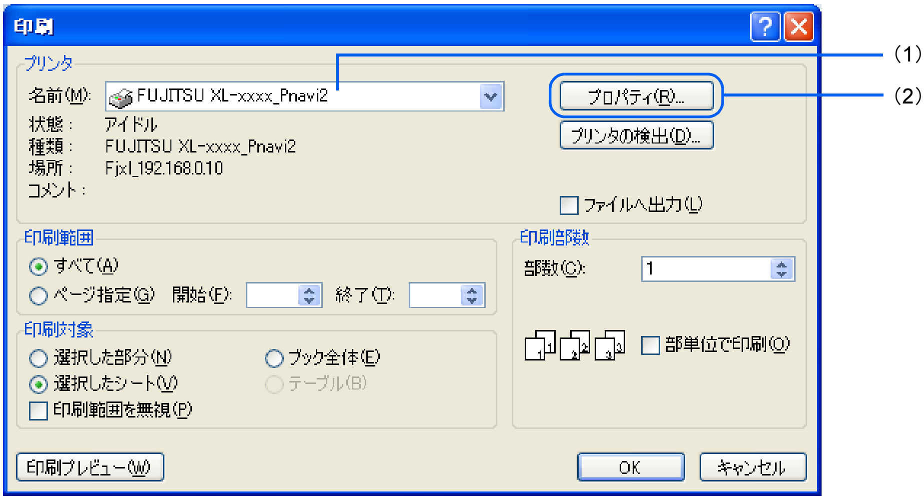
2 本製品が印刷できる状態であることを確認します。

・正しく接続されているか
・本製品の電源が入っているか
・用紙がセットされているか（「用紙をセットする」(→ P.58)）

3 「ファイル」メニュー→「印刷」の順にクリックします。

「印刷」ウィンドウが表示されます。

4 (1) プリンタが正しく選択されていることを確認し、(2)「プロパティ」をクリックします。



POINT

・アプリケーションによっては、「プロパティ」が「詳細設定」と表示されたり、プロパティウィンドウのタブが「印刷」ウィンドウ内に表示されたりします。詳しくは、お使いのアプリケーションのマニュアルをご覧ください。

5 各項目を設定し、「OK」をクリックします。



各設定項目について詳しくは、プリンタドライバの「ヘルプ」、または「ソフトウェアガイド」の「第 5 章 プリンタドライバの機能と利用方法」をご覧ください。

6 「印刷」ウィンドウで「OK」をクリックします。

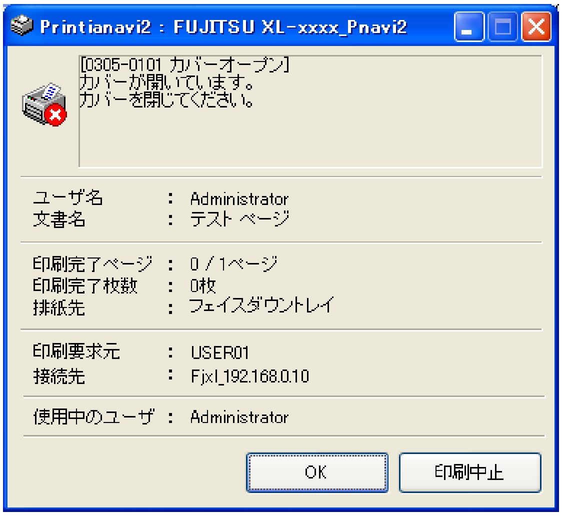
印刷が開始されます。

正常に印刷できないときは、「こんなときには」（→ P.133）をご覧ください。

プリンタの状態確認（ポップアップ）

Printianavi 機能を使うと、本製品の状態をパソコン上で確認できます。

Printianavi 機能は、印刷が実行されると本製品のモニタを開始します。本製品でエラーが発生すると、エラーの内容と対処方法が、パソコンの画面にポップアップ表示されます。



Printianavi 機能によるエラー情報をポップアップ表示にするための設定、およびポップアップについて詳しくは、プリンタドライバの「ヘルプ」、または「ソフトウェアガイド」の「第 5 章 プリンタドライバの機能と利用方法」をご覧ください。

3 印刷を中止する

印刷開始後（オペレータパネルのオンラインランプが点滅、または液晶ディスプレイに「データアリ」と表示されている場合）に、印刷を中止する方法を説明します。

印刷を中止するには、パソコンから中止する方法と、本製品のオペレータパネルから中止する方法の 2 通りがあります。

パソコンの画面から中止する（双方向通信が有効なとき）

パソコンから印刷を中止するときの操作は、プリンタのプロパティウィンドウの「Printianavi2」タブの表示方法の設定によって異なります。
詳しくは、プリンタドライバの「ヘルプ」、または「ソフトウェアガイド」の「第 5 章 プリンタドライバの機能と利用方法」をご覧ください。

ポップアップ表示のとき

「印刷中止」をクリックします。



エラー時ポップアップ表示または最小化のとき

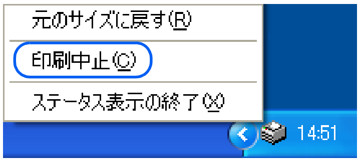
画面右下の通知領域（タスクトレイ）のアイコンをダブルクリックし、表示されたウィンドウで「印刷中止」をクリックします。





POINT

・画面右下の通知領域（タスクトレイ）のアイコンを右クリックし、表示されるメニューで「印刷中止」をクリックして、印刷を中止することもできます。

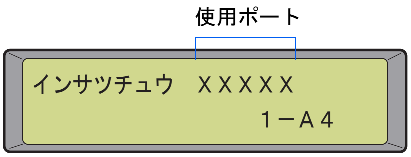


オペレータパネルから中止する

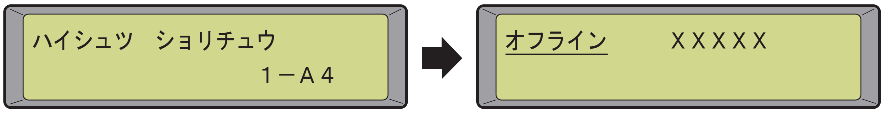
オペレータパネルでプリンタをオフライン状態に切り替えて、リセットの操作をします。リセットすると、本製品はプリンタ内の未印刷データを消去し、パソコンから残りデータを受信しながら、印刷ジョブを削除します。
Printia XL ドライバから印刷しているときは、印刷ジョブの終了を検出するとリセット（初期化）を終了します。

1 印刷中に「オンライン」スイッチを押します。

オペレータパネルの操作について詳しくは、「オペレータパネルの操作」（→ P.97）をご覧ください。

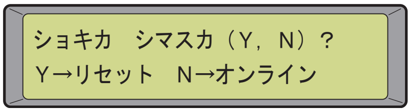


オペレータパネルに「ハイシュツ ショリチュウ」と表示されて印刷中の用紙が排出され、オフライン状態になります。



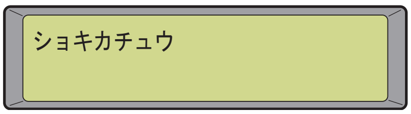
2 「リセット」スイッチを押します。

「ショキカ シマスカ（Y,N）？」と表示されます。このとき、「オンライン」スイッチを押すと、リセットせずに印刷を再開できます。



3 再度「リセット」スイッチを押します。

「ショキカチュウ」と表示され、初期化されます。



受信データがあると、オンラインランプが点滅します。
初期化が終了すると、オンライン状態に戻ります。

POINT

- プリンタの接続方法や使用しているパソコンによっては、印刷ジョブが完全には削除できず、オンライン状態に戻った後、文字化けなどのトラブルが発生することがあります。「Printianavi2」を使用しているときは、パソコン上の Printianavi2 メッセージ上から「印刷中止」または「印刷打ち切り」を行うことをお勧めします。

4 プロセスカートリッジの交換と注意事項

プロセスカートリッジの交換方法と、使用時の注意事項を説明します。

プロセスカートリッジを交換する

プロセスカートリッジ 1 本あたりの印刷量の目安は、LB109A が約 6000 ページ、LB109B が約 12000 ページ、装置添付のプロセスカートリッジ（LB109 スターター）が、約 3000 ページです。

POINT

- 印刷量の目安は、次のテスト条件で算出したものです。
  - LB109 スターター：印字率 5%
  - LB109A、LB109B：JIS X6931(ISO/IEC19752)

トナー残量が少なくなると、プロセスカートリッジの交換をうながすメッセージが液晶ディスプレイに表示されます。また、低印字率での運用環境では、トナー残量が充分にあっても、感光体（ドラム）の寿命が近づいたり、感光体（ドラム）の寿命に達したりすると、プロセスカートリッジの交換をうながすメッセージが液晶ディスプレイに表示されることがあります。メッセージが表示されたら、新しいプロセスカートリッジに交換してください。
プロセスカートリッジの有効期限は、製造から 2 年間（開封後は 1 年間）です。安定した画質を維持するために、有効期限内での使用をお勧めします。

⚠警告

- プロセスカートリッジを火中に投じないでください。トナー粉が跳ねてやけどの原因になります。
- 使用済みのプロセスカートリッジを処分するときは、当社の回収サービス（→ P.81）をご利用ください。
- トナーが目や口に入らないように注意してください。
  プロセスカートリッジの交換時などにトナーが手に付いた場合は、速やかに洗い落としてください。万一、目や口に入った場合は、ただちに医師と相談してください。
- プロセスカートリッジを保管する場合は、小さなお子様がトナーを誤って飲むことがないように、小さなお子様の手が届かない所に置いてください。万一、お子様がトナーを飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。
- 前カバーを開くときに、カバーとプリンタ本体に手をはさまないように注意してください。けがをすることがあります。
- プロセスカートリッジを分解したり、改造したりしないでください。

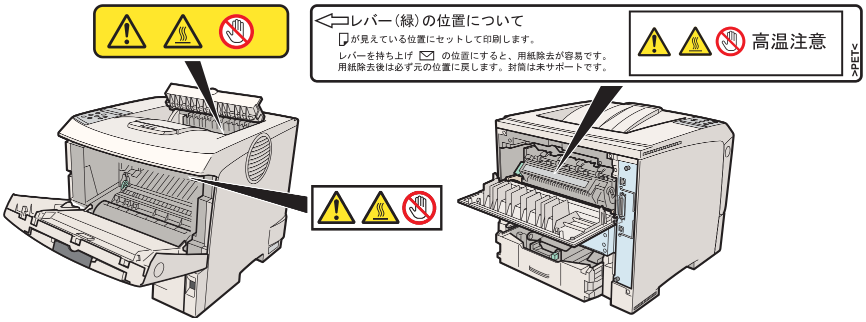
⚠注意



- プロセスカートリッジは、本製品専用品を取り付けてください。指定外のプロセスカートリッジを取り付けると、プロセスカートリッジおよびプリンタ本体の故障の原因になります。
- プロセスカートリッジを交換するときは、トナーが飛散しないように注意してください。
また、飛散した場合は、トナーが皮膚や衣服に付いたり、トナーを吸引したりしないよう注意してください。



- プリンタを使用した直後は、定着器が非常に熱くなっています。「高温注意」をうながすラベルが貼ってある箇所（定着器やその周辺）には、絶対に触れないでください。
やけどの原因になることがあります。



交換に関する留意事項

プロセスカートリッジの交換に際しては、次の点に注意してください。

- プロセスカートリッジは振ったり、傾けたり、衝撃を与えたりしないでください。トナー漏れ、印刷障害、故障の原因になります。
- 直射日光や強い光（約 1500 ルクス以上）に当てないでください。通常の室内灯の下でも 5 分以上は放置しないでください。
- 感光体（ドラム）表面には絶対に手を触れないでください。
- 立てたり、裏返しにしたりして置かないでください。
- トナーは人体に無害ですが、手や衣服に付いたときにはすぐに洗ってください。
- 常に、予備のプロセスカートリッジを用意しておいてください。
- 次のメッセージが表示されたときは、プロセスカートリッジの寿命が近づいています。新しいプロセスカートリッジを用意してください。

```
オンライン
カートリッジ゛　ジ゛ュンビ゛
```

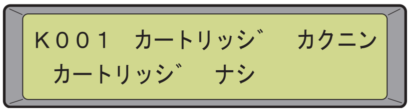
このメッセージが表示されてから、プロセスカートリッジの寿命（「カートリッジ　ジュミョウ」というメッセージが表示されます）までに印刷可能なページ数は、次のとおりです。

- A4 用紙、印字率 5%の場合で、約 200 ページ以内
ただし、あくまでも目安であり、用紙種類や印刷条件などによって異なります。

- プロセスカートリッジの寿命に達した場合、次のようなエラーメッセージが液晶ディスプレイに表示されます。このメッセージが表示されると、装置の故障を防ぐため、本製品は動作が停止し、印刷できなくなります。新しいプロセスカートリッジに交換してください。

```
K005　カートリッジ゛　エラー
　カートリッジ゛　ジ゛ュミョウ
```

- プロセスカートリッジがセットされていない、セットされたプロセスカートリッジが使用できない場合は、次のようなエラーメッセージが液晶ディスプレイに表示されます。また、純正品以外のプロセスカートリッジをセットした場合も、次のメッセージが表示される可能性があります。



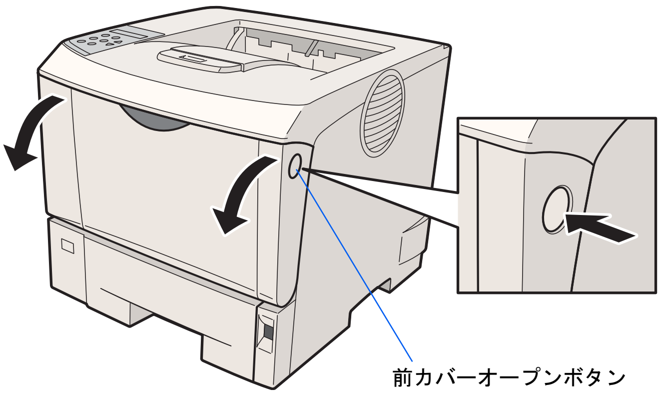
- プロセスカートリッジ内のトナーがかたよっていると、交換をうながすメッセージが液晶ディスプレイに表示されることがあります。
- 交換をうながすメッセージが液晶ディスプレイに表示されない場合でも、次のようなときはプロセスカートリッジの交換が必要です。
  - 縦のカスレや部分的なカスレがあり、適切な用紙に替えて印刷しても改善されないとき
  - 不鮮明な印刷状態が発生し、適切な用紙に替えて印刷しても改善されないとき

交換方法

重要

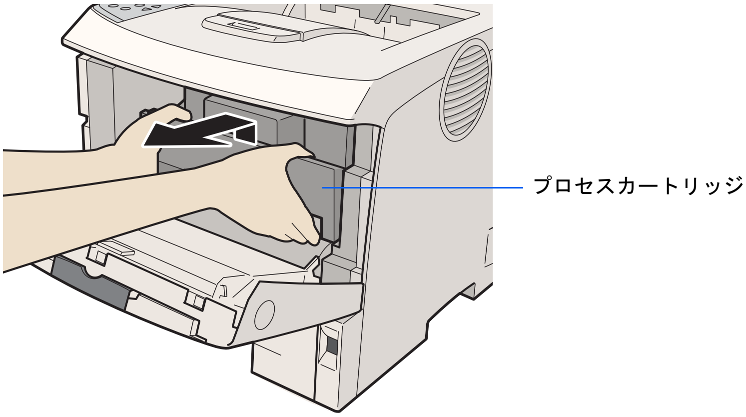
- プロセスカートリッジは斜めに立て掛けたり、逆さまにしたりしないでください。また、トナーで汚さないよう、取り出したプロセスカートリッジを置く場所には、あらかじめ紙などを敷いておいてください。

1 **前カバーオープンボタンを押して、前カバーを開きます。**



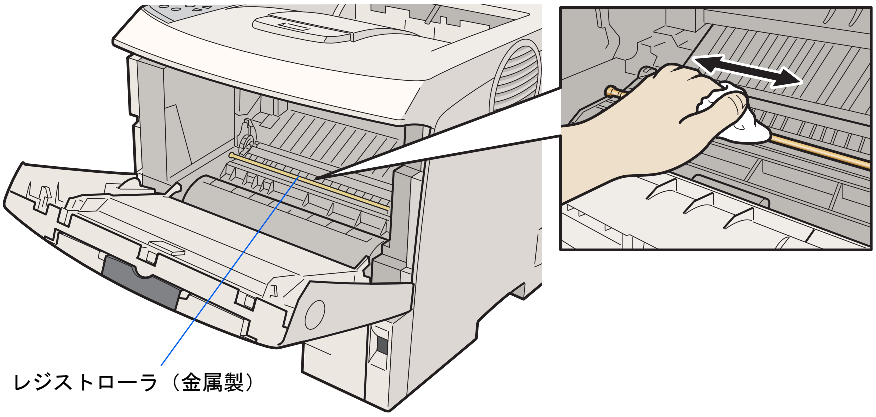
2 プロセスカートリッジの取っ手を持ち、少し持ち上げながら手前に引き抜きます。

取り外したプロセスカートリッジを処分するときは、当社の回収サービス（「使用済みカートリッジの回収サービス」（→ P.81））をご利用ください。



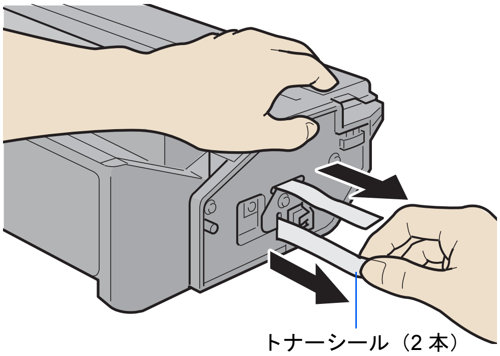
3 プリンタ内部を点検します。

・紙片が残っていれば取り除きます。
・ほこり、汚れ、こぼれたトナーは、乾いた清潔な柔らかい布で拭き取ります。
・レジストローラ周辺の紙粉は、水で濡らして固く絞った柔らかい布で拭き取ります。



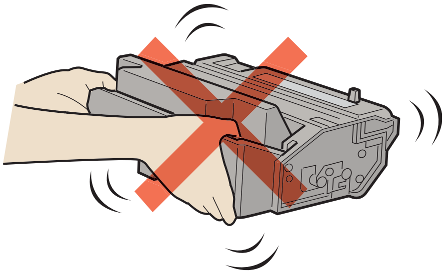
4 新しいプロセスカートリッジを梱包箱から取り出します。

5 プロセスカートリッジを水平な場所に置き、トナーシール（2 本）を水平にまっすぐ引き抜きます。



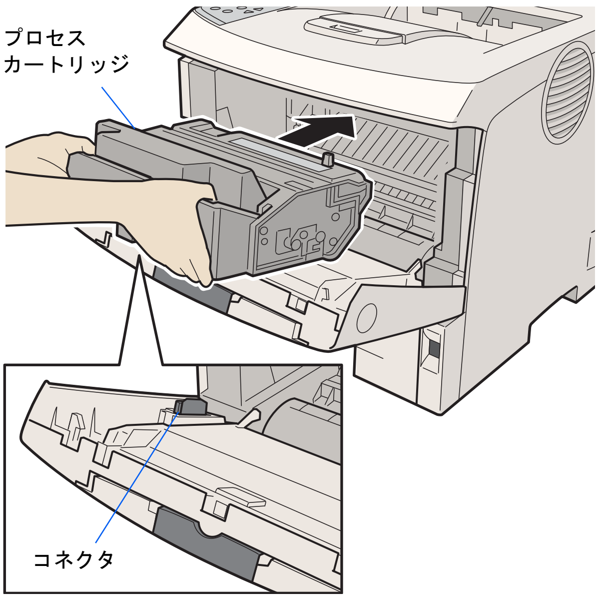
重要

- トナーシールを引き抜くときは、水平にまっすぐ引き抜いてください。斜めに引くと、途中でテープが切れてしまうことがあります。トナーシールの全長は、約 60cm です。
- プロセスカートリッジを振ったり、傾けたり、衝撃を与えたりしないでください。トナー漏れ、印刷障害、故障の原因になります。

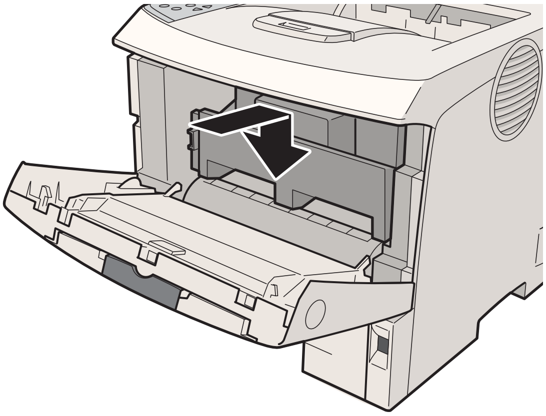


6 プロセスカートリッジの取っ手を持ち、プリンタ内部に静かに挿入します。

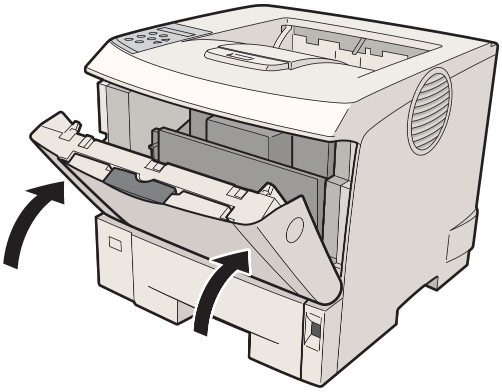
前カバーにあるコネクタにぶつけないよう、注意してください。



7 **奥に突き当たったところで、プロセスカートリッジを押し下げます。**



8 **前カバーを閉じます。**



POINT

・前カバーが閉じない場合は、プロセスカートリッジが正しく取り付けられていません。プロセスカートリッジを取り付け直してください。

使用済みカートリッジの回収サービス

富士通グループでは大切な資源を上手に使う循環型社会の実現を目指し、使用済みカートリッジを無償で回収しております。
回収した使用済みカートリッジは大切な資源として、最終的に部材の再使用や再資源化を行っております。
当社の活動主旨にご賛同いただける場合には、『エコ受付センター』までご連絡ください。

・エコ受付センター
　通話料無料：0120-300-693
　平日 8:40 〜 12:00 および 13:00 〜 17:30（土曜・日曜・祝日・年末年始を除く）

ご協力をお願いいたします。

プロセスカートリッジの取り扱いと保管

取り扱い上のご注意

プロセスカートリッジを取り扱うときは、次の点に注意してください。

- 直射日光や強い光（約 1500 ルクス以上）に当てないでください。通常の室内灯の下でも 5 分以上は放置しないでください。
- プロセスカートリッジをプリンタから外した場合は、強い光に当てないよう、梱包されていた袋に入れるか、厚い布などに包んでください。
- 寒い所から暖かい所に移動した場合は、1 時間以上室温に慣らしてから使用してください。
- 立てたり、裏返しにしたりして置かないでください。
- トナーは人体に無害ですが、手や衣服に付いたときにはすぐに洗ってください。
- プロセスカートリッジを強く振ったり、衝撃を与えたりしないでください。トナーがこぼれることがあります。
- 感光体（ドラム）表面には絶対に手を触れないでください。
- トナーは掃除機で吸い取らないでください（トナーに対応した業務用掃除機は使用できます)。

保管上のご注意

プロセスカートリッジを保管するときは、次の点にご注意ください。

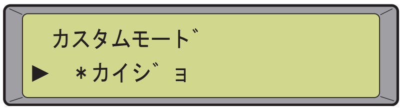
- 使用するまでは開封しないでください。万一、開封してしまった場合は、梱包されていた袋に入れ、保管してください。
- 直射日光を避け、次の環境で保管してください。
  温度範囲 0 ～ 35 ℃、湿度範囲 15 ～ 80%RH（ただし、結露のないこと）
- 高温多湿になる場所には置かないでください。
- 立てたり、裏返しにしたりして置かないでください。
- CRT 画面、ディスクドライブ、フロッピーディスクなど、磁気を帯びたものの近くに置かないでください。
- 小さなお子様の手が届かない所に保管してください。

カスタムモードについて

純正品以外のプロセスカートリッジをセットした場合は、交換した直後であるにも関わらず、「カートリッジ　ジュミョウ」（→ P.77）が表示されることがあります。このような場合は、「カスタムモード」に設定することで継続使用が可能になります。
ただし、「カスタムモード」は品質保証外のモードであり、本来の性能が発揮できない場合があります。そのまま使い続けると、装置が故障する原因となることがあります。また、「カスタムモード」時の装置故障への対応につきましては、保守契約または保証期間内であっても有償修理となりますので、ご留意ください。
本製品を「カスタムモード」に設定するには、次のように操作します。

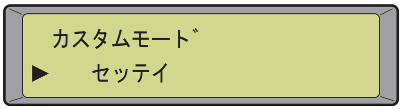
1 **「カートリッジ　ジュミョウ」と表示中、またはオンライン状態（待機状態）のときに、「▼」スイッチを 3 秒以上押し続けます。**

液晶ディスプレイの表示が次のようになります。



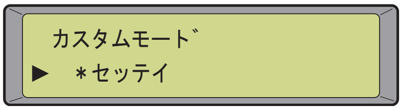
2 **「▶」スイッチを押します。**

下段に「セッテイ」と表示されます。



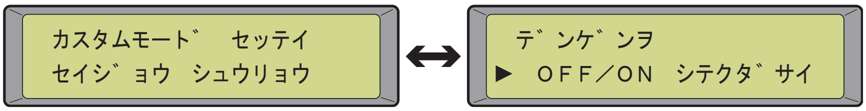
3 **「設定」スイッチを押します。**

「セッテイ」の前に＊が付きます。



4 **「オンライン」スイッチを押します。**

次のようなメッセージが交互に表示されます。



5 **プリンタの電源を切り、入れ直します。**

プリンタの再起動後、「カスタムモード」が設定された状態になります。

5 プリンタを清掃する

プリンタを良好な状態に保ち、いつもきれいな印刷ができるように、約 1ヶ月に 1 回、プリンタ本体周辺を清掃してください。また、プロセスカートリッジ交換時や紙詰まりの処置時には、プリンタ内部を点検してください。

⚠ 注意

・プリンタの清掃を行う場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

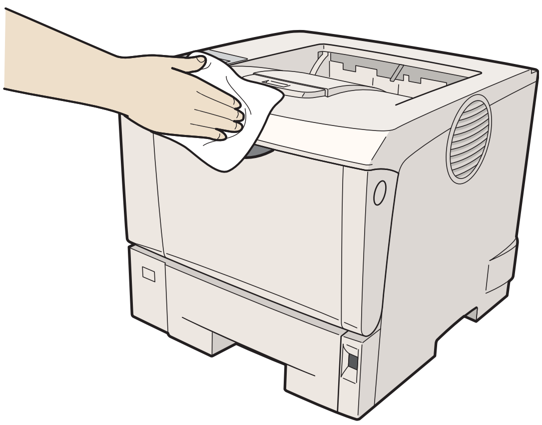
・電源スイッチを切らずにプリンタの清掃を行うと、やけどや感電の原因になることがあります。

重要

- 清掃時には、次の点にご注意ください。
  - プリンタを使用した直後は、プリンタ内部が非常に熱くなっています。10 分くらいたって内部の温度が下がってから作業してください。
  - 水または中性洗剤以外は、絶対に使用しないでください。ベンジン、シンナーなど揮発性のものを使用すると、カバーの変色や変形のおそれがあります。
  - 油をさす必要はありません。注油はしないでください。
  - トナーは掃除機で吸い取らないでください（トナーに対応した業務用掃除機は使用できます）。
  - 清掃用スプレー（可燃性物質を含むもの）は使用しないでください。

プリンタ外部を清掃する

カバー表面の汚れは、水または薄めた中性洗剤を含ませて固く絞った布で拭き取ります。その後、柔らかい乾いた布で拭きます。



プリンタ内部を清掃する

プリンタ内部の清掃方法を、清掃場所ごとに説明します。

内部の点検

紙詰まりの処置や、プロセスカートリッジを交換（→ P.78）するときは、プロセスカートリッジを取り付ける前に、内部を点検してください。

1 プリンタの前カバーを開いてプロセスカートリッジを引き抜き、プリンタ内部を点検します。

・紙片が残っていれば取り除きます。
・ほこり、汚れ、こぼれたトナーは、乾いた清潔な柔らかい布で拭き取ります。
・レジストローラ周辺の紙粉は、水で濡らして固く絞った柔らかい布で拭き取ります。

詳しくは、「交換方法」（→ P.78）の手順 1 ～手順 3 をご覧ください。

2 プロセスカートリッジを元通りに取り付けて、プリンタの前カバーを閉じます。

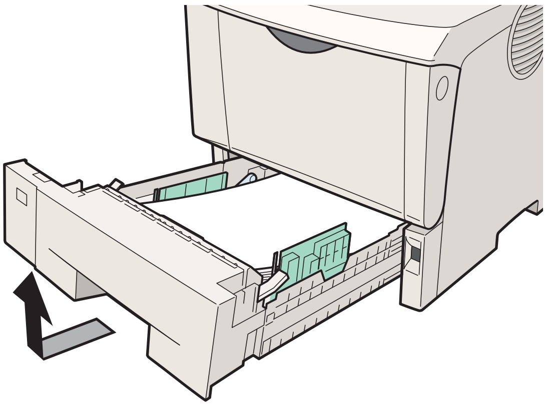
詳しくは、「交換方法」（→ P.78）の手順 6 ～手順 8 をご覧ください。

フリクションパッドの清掃

給紙カセット（オプションの拡張給紙ユニットを含む）のフリクションパッドが紙粉で汚れていると、用紙が多重送りされたり、詰まったりする原因になります。給紙カセットを引き抜いて、フリクションパッドを清掃してください。

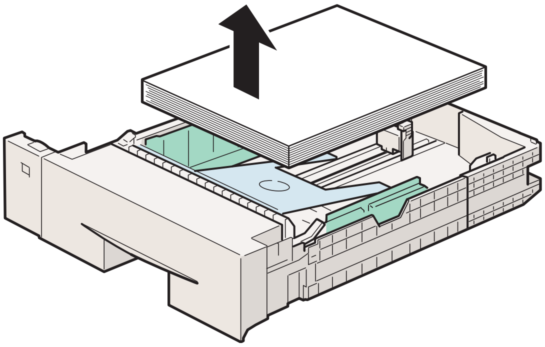
1 給紙カセットを引き抜きます。

止まる位置までゆっくりと引き出してから、前面を持ち上げて引き抜いてください。

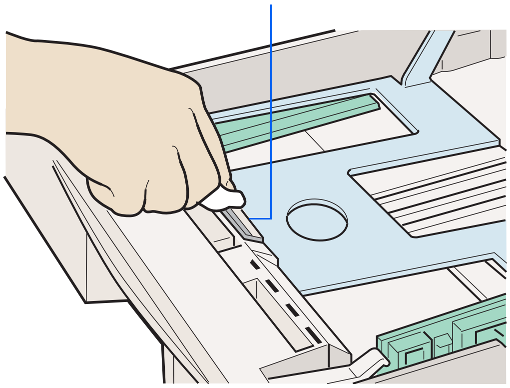


4

2 用紙をセットしている場合は取り除きます。



3 水で濡らして固く絞った柔らかい布で、フリクションパッドをていねいに拭きます。

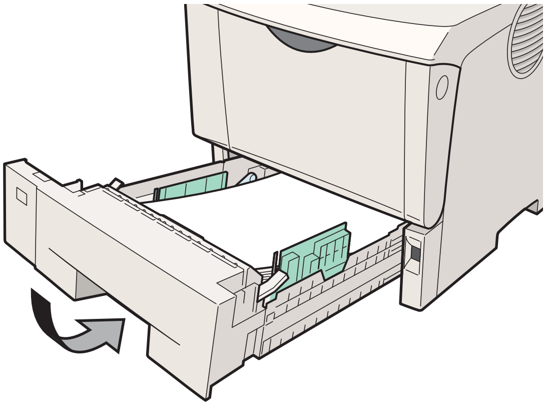


重要

・水以外は使用しないでください。

4 必要に応じて、用紙を元通りにセットします。

5 前面を持ち上げるようにして給紙カセットを差し込み、奥までゆっくりと押し込みます。



重要

・用紙をセットした給紙カセットを、勢いよく押し込まないでください。用紙ガイドがずれて、印刷位置のずれや傾きが発生する原因となります。
・給紙カセットは奥に突き当たるまで押し込んでください。突き当たるまで押し込んでいないと、カセットなしと認識されたり、紙が詰まったりする原因となります。

給紙コロの清掃

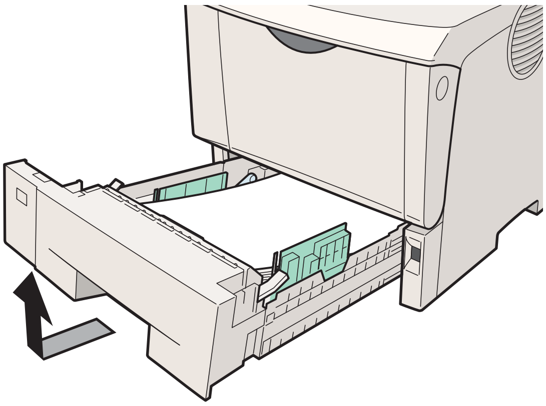
プリンタ本体の奥にある給紙コロが紙粉で汚れていると、用紙が正しく給紙されなかったり、詰まったりする原因になります。給紙カセットを引き抜いて、給紙コロを清掃してください。

POINT

・ここでは、プリンタ本体の給紙コロの清掃手順を示していますが、オプションの拡張給紙ユニットの給紙コロも同様の手順で清掃できます。

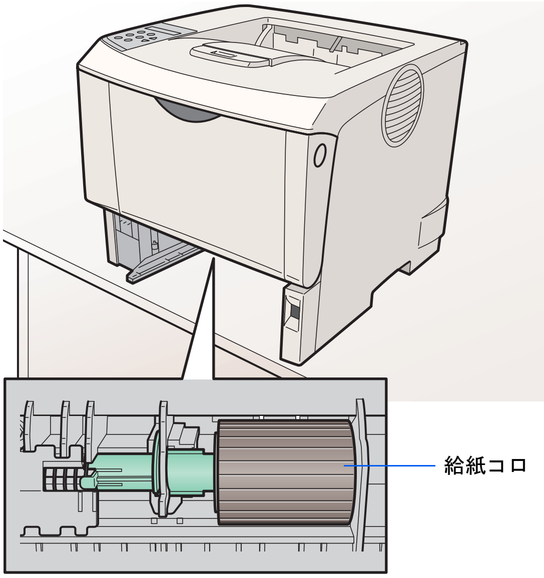
1 給紙カセットを引き抜きます。

止まる位置までゆっくりと引き出してから、前面を持ち上げて引き抜いてください。

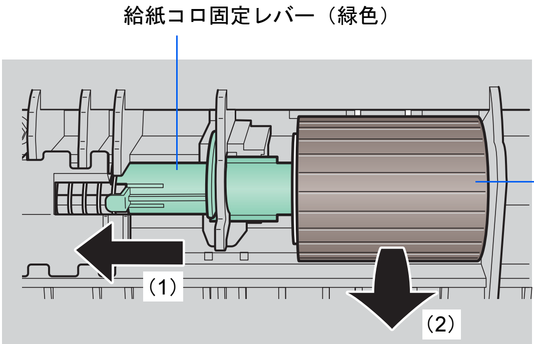


2 必要に応じて、「プリンタを移動するとき」（→ P.92）に記載している手順に従い、プリンタ本体を平らな机の上など、「給紙コロを取り外し／取り付けやすい場所」に移動させます。

給紙コロは、イラストで示している位置にあります。



3 給紙コロを手で押さえてから、（1）給紙コロ固定レバー（緑色）を左側にスライドさせて、（2）給紙コロを取り外します。



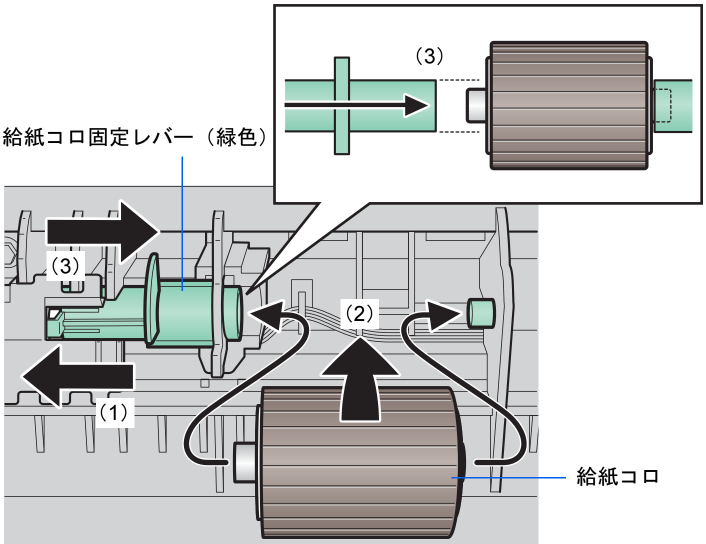
4 水で濡らして固く絞った柔らかい布で、給紙コロのゴム部分をていねいに拭きます。

重要

・水以外は使用しないでください。ゴムが破損することがあります。

5 給紙コロを元通りに取り付けます。

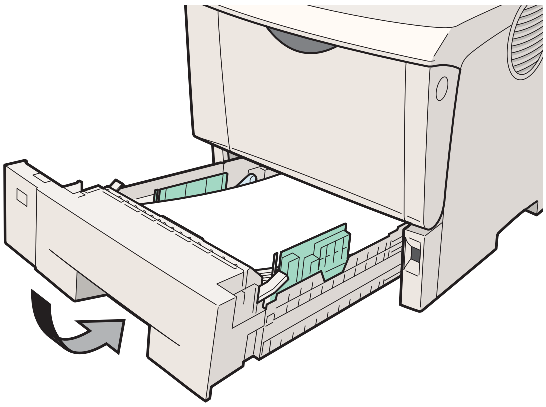
1. 給紙コロ固定レバー（緑色）を左側にスライドさせます。
2. 給紙コロをくぼみに入れます。
3. 給紙コロ固定レバー（緑色）を右側にスライドさせ、給紙コロの軸に差し込みます。



重要

・給紙コロ固定レバー（緑色）の先端が、給紙コロの軸を完全に覆っていることを確認してください。覆っていない場合は、給紙コロを回しながら給紙コロ固定レバー（緑色）を左に軽く戻し、固定し直してください。

6 前面を持ち上げるようにして給紙カセットを差し込み、奥までゆっくりと押し込みます。



重要

・給紙カセットは奥に突き当たるまで押し込んでください。突き当たるまで押し込んでいないと、カセットなしと認識されたり、紙が詰まったりする原因となります。

レジストローラの清掃

プリンタ本体内部のレジストローラ周辺が紙粉で汚れていると、用紙が正しく給紙されなかったり、詰まったりする原因になります。前カバーを開けて、レジストローラを清掃してください。

清掃手順については、プロセスカートリッジの「交換方法」(→ P.78) を参考にしてください。

6 プリンタを長時間使用しないとき

1 週間以上プリンタを使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いておきます。また、用紙を給紙トレイや給紙カセットから取り出し、湿気やほこりの少ない場所に保管します。

警告

・電源プラグは絶対に濡れた手で触らないでください。感電の原因となるおそれがあります。

・電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張ると電源コードの芯線が露出したり、断線したりして、火災・感電の原因になることがあります。

1 プリンタの電源スイッチを「Off」側に倒します。電源コードを電源コンセントおよびプリンタの電源コードコネクタから抜きます。

重要

・エラーメッセージが表示されているときは、オペレータパネルのメッセージに従った処置をしてから電源を切ってください。エラーメッセージの表示内容と対処方法については、「オペレータパネルに表示されるメッセージ」(→ P.166)をご覧ください。

2 用紙を取り出します。

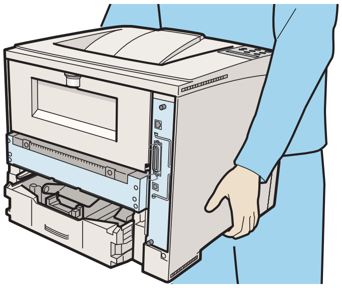
給紙カセットから用紙を取り出し、湿気やほこりのない場所に保管します。用紙の保管については、「使用できる用紙と保管方法」(→ P.125)をご覧ください。

7 プリンタを移動するとき

プリンタを運搬したり、移動したりするときには、次の点に注意してください。

注意

・本製品は本体（消耗品を含む）で約 17.5kg の重さがあります。
プリンタを持ち上げるときは、腰を痛めないように充分に膝を折り、左右にあるくぼみをしっかりと持ってください。くぼみ以外を持って持ち上げることは絶対にしないでください。落下によりけがの原因になることがあります。
また、移動する際は足元に何も置かないようにしてください。転倒のおそれがあります。



POINT

・オプション品の拡張給紙ユニット、および両面ユニットを取り付けているプリンタを移動する場合には、プリンタ本体から拡張給紙ユニットや両面ユニットを取り外します。
なお、プリンタ本体およびオプション品は傷が付かないように梱包してから運搬してください。移転など、プリンタを長距離移動する可能性がある場合は、梱包材を保管しておくと便利です。

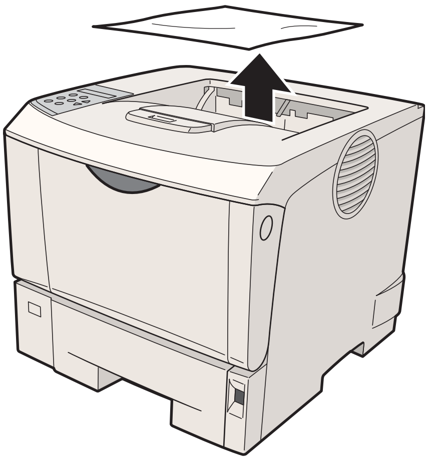
近くに移動する

プリンタを設置していた机を変えたり、となりの部屋に移動させたりする場合は、次の手順に従ってください。

1 電源を切り、ケーブル類を取り外します。

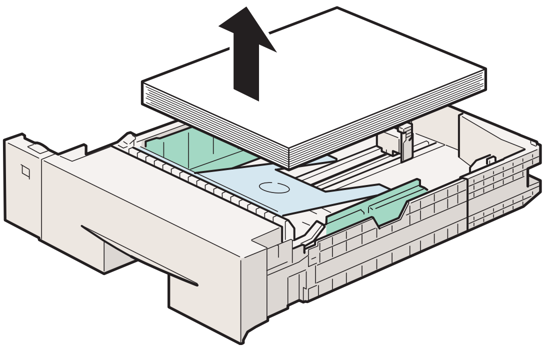
・電源スイッチを「Off」側に倒します。
・電源コンセントおよび電源コードコネクタから、電源コードを抜きます。
・パラレルケーブル、LAN ケーブル、およびプリンタ USB ケーブルを外します。

2 排紙トレイに用紙がある場合は、取り除きます。



3 給紙カセットと給紙トレイから用紙を取り除きます。

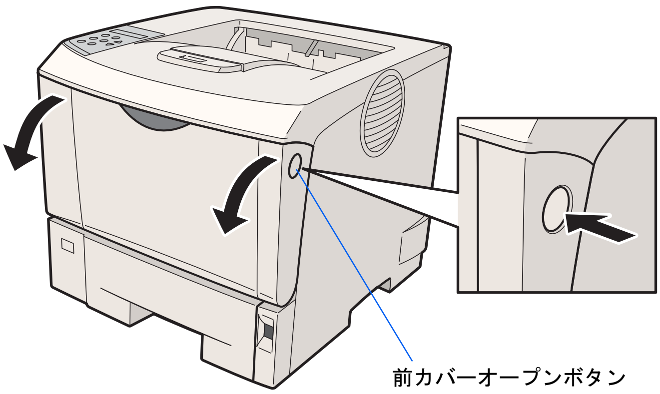
取り除いた用紙は、湿気やほこりのない場所に保管します。用紙の保管については、「使用できる用紙と保管方法」（→ P.125）をご覧ください。



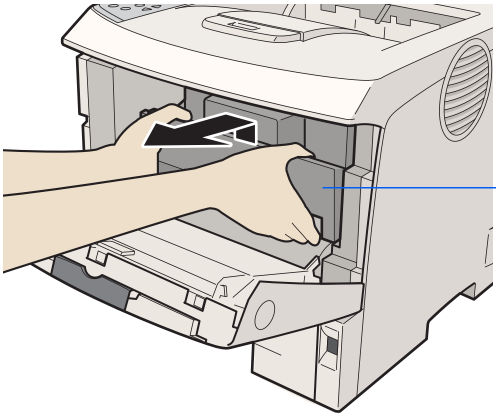
POINT

・用紙の入っている給紙カセットは重いため、注意してプリンタから抜いてください。

4 前カバーオープンボタンを押して、前カバーを開きます。



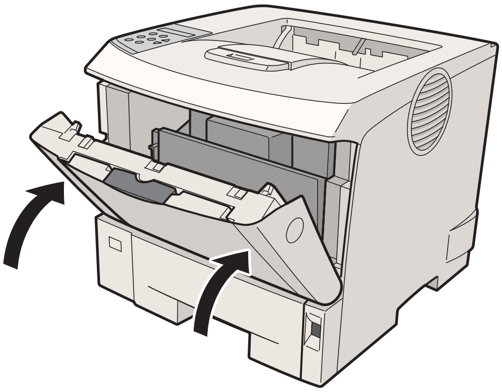
5 プロセスカートリッジの取っ手を持ち、少し持ち上げながら手前に引き抜きます。



重要

- プロセスカートリッジは、直射日光や強い光（約 1500 ルクス以上）に当てないでください。通常の室内灯の下でも、5 分以上放置する場合は、プロセスカートリッジを梱包されていた袋に入れるか、厚い布などで包んでください。
- プロセスカートリッジは斜めに立て掛けたり、逆さまにしたりしないでください。また、トナーで汚さないよう、取り出したプロセスカートリッジを置く場所には、あらかじめ紙などを敷いておいてください。
- プロセスカートリッジを振ったり、傾けたり、衝撃を与えたりしないでください。トナー漏れ、印刷障害、故障の原因になります。

6 前カバーを閉じます。



7 適切な場所に設置し直します。

設置方法については、『設置ガイド』をご覧ください。

梱包して運搬する

本製品を運搬するときは、取り付けてある付属品などを外し、もう一度梱包する必要があります。次の手順に従ってください。

1 **「近くに移動する」（→ P.92）をご覧になり、用紙やプロセスカートリッジなどを取り外します。**

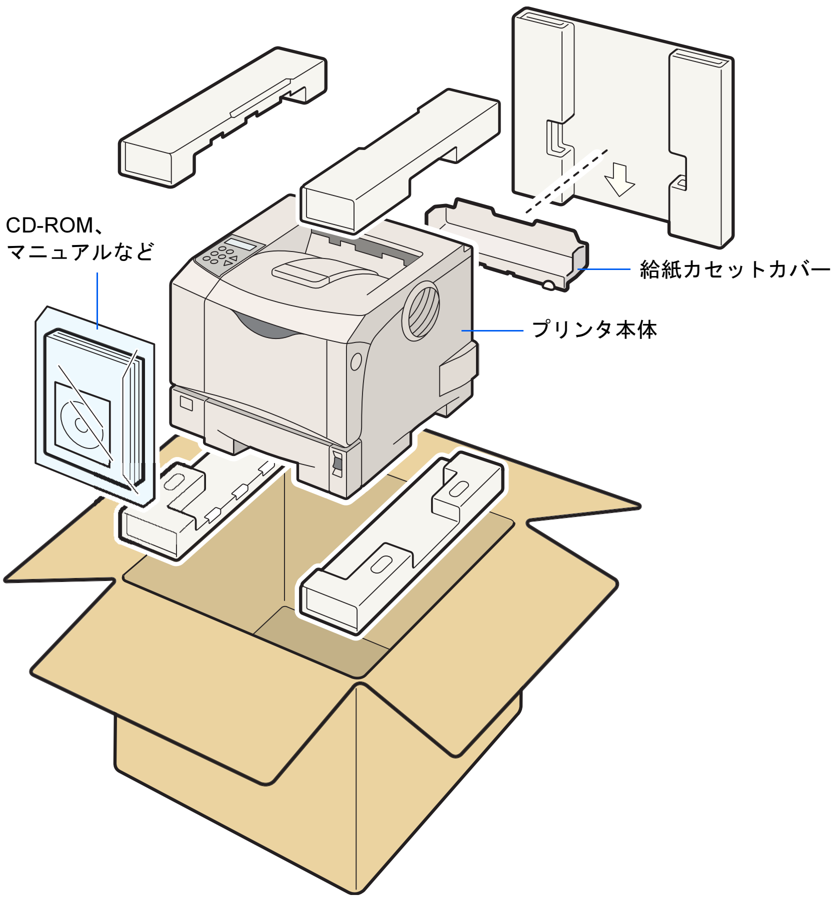
重要

- **プロセスカートリッジを取り付けたまま運搬すると、トナーでプリンタ内部が汚れることがあります。必ず取り外してください。**

2 **次の図のように梱包し直して、運搬します。**

精密機械のため、梱包や運搬するときは次の点に注意し、ていねいに取り扱ってください。

- 梱包時は、ご購入時に使用していた梱包材を使用してください。
- 取り出したプロセスカートリッジは、梱包されていた袋などに入れて運搬してください。プロセスカートリッジの取り扱いについては、「プロセスカートリッジの取り扱いと保管」（→ P.82）をご覧ください。



Memo

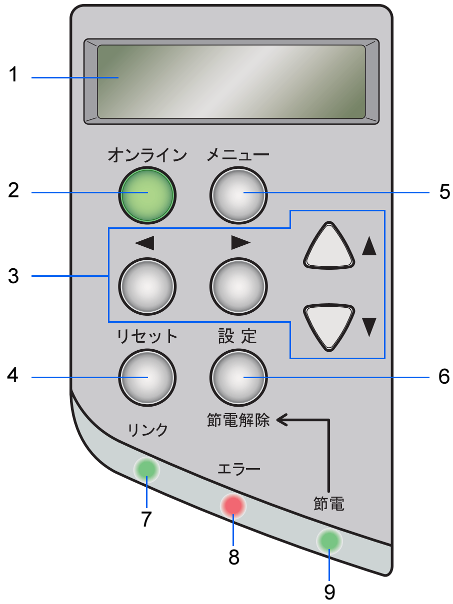
第 5 章

オペレータパネルの操作

この章では、液晶ディスプレイに表示される内容と、オペレータパネルの操作方法について説明します。

1 各部の名称と機能

オペレータパネルには、操作に必要なスイッチ、表示ランプ、および液晶ディスプレイがあります。ここでは、オペレータパネルの機能を説明します。



1 液晶ディスプレイ

プリンタの状態を知らせるメッセージや設定項目などが表示されます（1 行 16 文字の 2 段に表示されます）。

2 オンラインランプ／オンラインスイッチ

オンラインランプは、プリンタが印刷できる状態かどうかを次のように知らせます。なお、オンラインスイッチを押すと、「オンライン」「オフライン」が切り替わります。

- 点灯：印刷できる状態、または印刷中です。
- 点滅：データ受信中です。
- 消灯：印刷できない状態です。

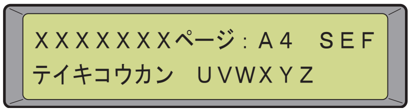
3 ▲▼◀▶スイッチ

メニューモードのときに、設定項目および設定値の選択に使用します。詳しくは、「操作方法」（→ P.104）をご覧ください。

POINT

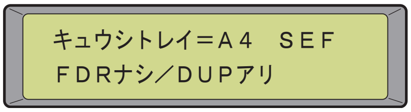
・液晶ディスプレイの表示が「オンライン」、またはプリンタが節電状態のときに、「▶」「◀」スイッチを押すと、プリンタの装置構成、総印刷ページ数、定期交換部品状態などが、液晶ディスプレイに表示されます。

・「◀」スイッチを 押したときの表示



総印刷ページ数（A4 SEF）、定期交換部品の状態を確認できます。
メッセージの意味は、「定期交換部品について」（→ P.3）をご覧ください。

・「▶」スイッチを 押したときの表示



給紙トレイの用紙サイズや、オプションの拡張給紙ユニット、両面ユニットが装着されているかどうかを確認できます。
メッセージの意味は、「取り付け」（→ P.48）の手順の最後、または「取り付け」（→ P.52）の手順の最後に記載されている「Point」をご覧ください。

確認後は、オペレータパネルのいずれかのスイッチを押してください。液晶ディスプレイの表示が「オンライン」に戻ります。

4 リセットスイッチ

印刷を中止します。また、テスト印刷（連続印刷）を中断します。

5 メニュースイッチ

プリンタをメニューモードにします。メニューモードでは、プリンタに関する各種の設定を行います。メニューモードを終了するときも使用します。詳しくは、「操作方法」（→ P.104）をご覧ください。

6 設定スイッチ／節電解除スイッチ

・メニューモードのときに、選択した値を有効にします。また、印刷中止の確認など、プリンタが一時停止している印刷を続行します。
・節電ランプ点灯中に押すと、節電を解除します。
・オペレータパネルの液晶ディスプレイの表示が「オンライン」のときに、「設定」スイッチを押すと、総印刷ページ数、プリンタの装置構成が、液晶ディスプレイに表示されます。



プリンタが「節電」状態のときは、「設定」スイッチを 1 回押して節電状態を解除し、再度設定スイッチを押してください。
確認後は、オペレータパネルのいずれかのスイッチを押してください。液晶ディスプレイの表示が「オンライン」に戻ります。

POINT

・「エミュレーションセッテイ」（→ P.110）で「ESC/P」に設定している場合は、プリンタがオフライン状態のときに押すと、未処理のデータを印刷します。

7 リンクランプ

ネットワークと接続されている状態かどうかを知らせます。

・点灯：ネットワークと接続されていることを示します。

・消灯：ネットワークと接続されていないことを示します。

8 エラーランプ

プリンタの異常を知らせます。

・点灯：プリンタでエラーが発生していることを示します。

・消灯：プリンタが正常に印刷できる状態であることを示します。

9 節電ランプ

節電ランプは、プリンタの節電状態を次のように知らせます。

・点灯：プリンタは節電状態です。節電解除スイッチを押すと、節電状態を解除します。

・消灯：プリンタは節電状態ではありません。

2 液晶ディスプレイの表示内容

液晶ディスプレイは、プリンタの設定状態や、エラーが発生したときの内容などを表示するものです。1 行 16 文字で 2 段に表示されます。
エラーが発生すると「エラー」ランプが点灯し、液晶ディスプレイにエラーメッセージが表示されます。

POINT

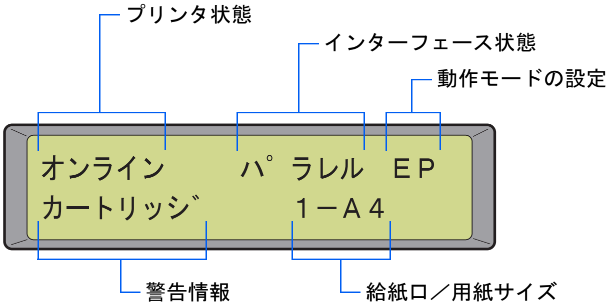
・メッセージ（エラーを含む）の表示内容と対処方法については、「オペレータパネルに表示されるメッセージ」（→ P.166）をご覧ください。

電源を入れたときの表示内容

本製品の電源を入れると、プリンタが動作するために必要な診断が行われます。診断が終わり、プリンタを使用できるようになると、液晶ディスプレイに「オンライン」と表示されます。

オンライン（印刷できる状態）時の表示内容

印刷可能状態のときに液晶ディスプレイに表示される内容について説明します。



表：表示内容一覧

項目	表示内容	説明
プリンタ状態	プリンタの状態が表示されます。	
	オンライン	オンライン状態または印刷データを受信中です。
	オフライン	オフライン状態です。
	インサツチュウ	印刷を行っています。
	ジュンビ	ウォームアップ中です。
インターフェース状態	データを受信したポート状態が表示されます（データを受信していないときは表示されません）。	
	パラレル	パラレルポート経由でパソコンと通信しています。
	LAN	LAN ポート経由でパソコンと通信しています。
	USB	USB ポート経由でパソコンと通信しています。
動作モードの設定	プリンタの動作モードが表示されます。エミュレーション設定が「ESC/P」の場合は、Printia XL ドライバからの印刷時、動作モードを自動で切り替えます（初期値はエミュレーション設定「カイジョ」）。	
	EP	ESC/P モード
	HX	HEX ダンプ印刷モード
	表示なし	Printia XL ドライバの印刷動作中です。
	MW	Printia XL ドライバを使用した部単位印刷時のメモリ書き込み中です。
	MR	Printia XL ドライバを使用した部単位印刷時のメモリ読み出し中です。
警告情報	警告情報が表示されます。詳しくは、「警告メッセージ一覧」（→ P.176）をご覧ください。	
	表示なし	警告なし
	データアリ	未処理データがある状態です。［注 1］
	カセットカクニンn	カセットなし状態です。
	カートリッジ	プロセスカートリッジの交換時期が近づいた状態です。［注 2］
	テイキコウカン［注 3］	定期交換部品の交換時期です。 詳しくは、「定期交換部品について」（→ P.196）をご覧ください。
	ソウチジュミョウ［注 4］	プリンタが装置寿命に近づいた状態です。 残り寿命が 20%（消耗率 80%）になると、20%、10%、0% と 10% 単位で残り寿命を表示します。

表：表示内容一覧

項目	表示内容	説明
給紙口／用紙サイズ	印刷中の給紙口と用紙サイズが表示されます。	
	【給紙口】	
	1-	給紙カセット 1 から、給紙、印刷中です。
	2-	給紙カセット 2 から、給紙、印刷中です。
	3-	給紙カセット 3 から、給紙、印刷中です。
	M-	給紙トレイから、給紙、印刷中です。
	【用紙サイズ】	
	A4	A4 用紙を給紙、印刷中です。
	A5	A5 用紙を給紙、印刷中です。
	A6	A6 用紙を給紙、印刷中です。
	B5	B5 用紙を給紙、印刷中です。
	LG	リーガル用紙を給紙、印刷中です。
	LTR	レター用紙を給紙、印刷中です。
	ハガキ	郵便はがきを給紙、印刷中です。
	ユーザ	ユーザ定義サイズの用紙を給紙、印刷中です。

注 1 ：「エミュレーションセッテイ」（→ P.110）を「ESC/P」に設定している場合は、次の表示になります。
「データガ　アリマス」

注 2 ：オンライン／オフライン中は、次の表示になります。
「カートリッジ　ジュンビ」：プロセスカートリッジの交換準備
「カートリッジ　コウカン」：プロセスカートリッジの交換時期

注 3 ：オンライン／オフライン中は、次の表示になります。
「テイキコウカン」

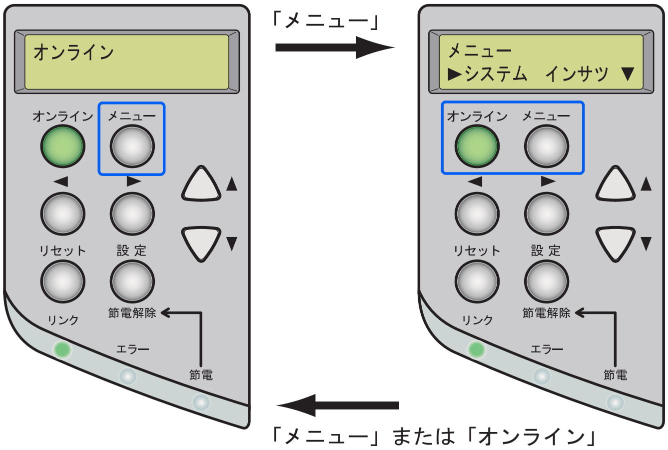
注 4 ：オンライン／オフライン中は、次の表示になります。
「ソウチジュミョウ　ノコリ xx%」（xx：20、10）

3　操作方法

プリンタの設定を変えたり、設定内容を確認したりするときの操作方法について説明します。設定の変更や確認は、メニューモードで行います。

基本的な操作方法

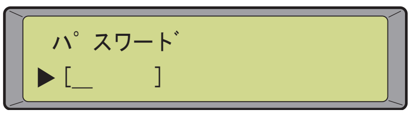
メニューモードに入るときは、「メニュー」スイッチを押します。
メニューモードを終了させるには、「メニュー」または「オンライン」スイッチを押します。



メニューモードでは、目的の設定値を上位のレベルから順に選んで表示し、設定します。設定値までのレベルの深さは項目によって異なります。

POINT

- プリンタがオフライン状態、オンライン状態のいずれの場合も、「メニュー」スイッチを押せばメニューモードに移行します。ただし、印刷の途中（オペレータパネルのオンラインランプが点滅、または液晶ディスプレイに「データアリ」と表示されている場合）は、メニューモードには移行できません。
- 電源を入れてからしばらくたつと、オペレータパネルの節電ランプが点灯し、プリンタが節電状態になりますが、メニューモードに移行できます。
- オペレータパネルの操作を制限している場合は、次の画面が表示され、パスワードの入力が必要になります。詳しくは、「オペレータパネルの操作制限」（→ P.123）をご覧ください。



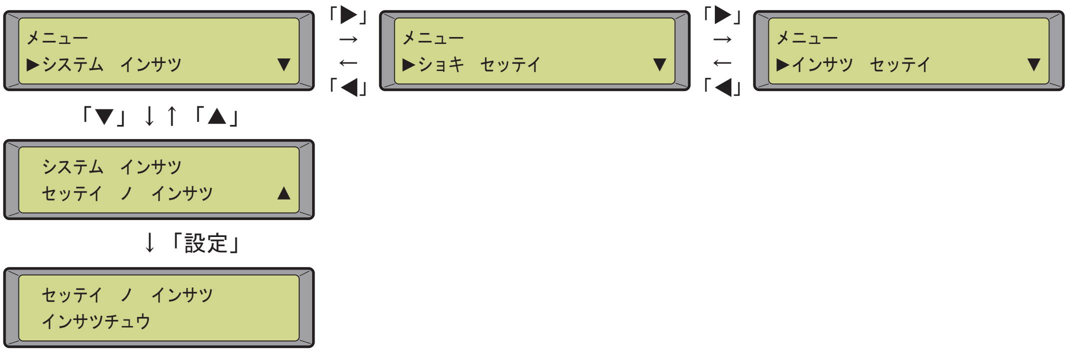
使用するスイッチ

メニューモードでは、次のスイッチを使用します。

表：使用するスイッチ

スイッチ	説明
「◀」または「▶」スイッチ	同じレベルで項目を切り替えます。設定する値を変えたいときにも使用します。
「▲」または「▼」スイッチ	上のレベルまたは下のレベルに移動します。
「設定」スイッチ	表示された値に設定するときや、メニュー印刷、テスト印刷を行うときに押します。

■各スイッチによる切り替え例

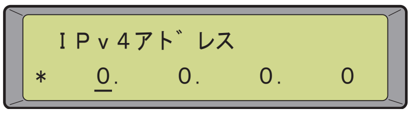


スイッチの使い分けと設定例

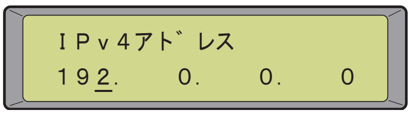
「◀」「▶」スイッチをカーソルの移動に使用している場合は、設定値は「▲」「▼」スイッチを使用します。

IPv4 アドレスの設定を例に、設定方法を説明します。

1 **「◀」「▶」スイッチで、設定するブロックにカーソルを移動します。**

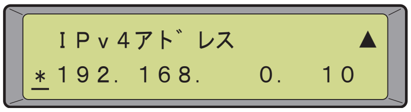


2 **「▲」（加算）、「▼」（減算）スイッチで値を設定します。**



5

3 **各ブロックの設定が終わったら「◀」「▶」スイッチでカーソルを左端に移動し、「設定」スイッチを押します。**



4 **「メニュー」スイッチ、または「オンライン」スイッチを押します。**

プリンタのリセット

「IP アドレス設定」および「LAN 設定」内の設定値を変更し、「メニュー」スイッチまたは「オンライン」スイッチでメニューモードを終了した場合、本製品はリセットされます。

テスト印刷（連続印刷）の終了

「テスト印刷」の連続印刷は、「リセット」スイッチを押すと終了します。

設定項目一覧

メニューモードで設定できる項目の一覧は次のとおりです。設定値に記載された「*」および数値は、ご購入時に登録される初期設定を示します。
各項目を選択して値を設定する方法については、「基本的な操作方法」（→ P.104）をご覧ください。

表：設定項目一覧

レベル 1	レベル 2	レベル 3	レベル 4	設定値		機能（範囲）
システム　インサツ	セッテイ　ノ　インサツ					現在のプリンタの設定内容を印刷します。
	HEX ダンプインサツ［注 1］					ヘキサダンプ形式で印刷します。
	テスト　インサツ				5%サンプル	A4 サイズ縦送り（SEF）、300dpi で印字率約 5% のテスト印刷（→ P.116）をします。
					ESC/P　インサツ［注 1］	ESC/P モードで使用する文字をエミュレーション解像度でテスト印刷します。
	ショウモウヒン　レポート					消耗品の交換履歴および、警告発生の履歴レポートを印刷します。詳しくは、「消耗品の管理」（→ P.123）をご覧ください。
ショキ　セッテイ	IPv4 アドレス　セッテイ［注 2］	DHCP ジドウシュトク		*	セッテイ	IPv4 アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを DHCP により自動取得します。
					カイジョ	IPv4 アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを DHCP により自動取得しません。
		IPv4 アドレス［注 3］			XXX.XXX.XXX.XXX	IPv4 アドレスを設定します。
		サブネットマスク［注 3］			XXX.XXX.XXX.XXX	サブネットマスクを設定します。
		ゲートウェイ［注 3］			XXX.XXX.XXX.XXX	ゲートウェイを設定します。 ゲートウェイを使用しない場合は、0.0.0.0 に設定してください。
	LAN セッテイ	MAC アドレス			表示	MAC アドレスを表示します。
		Ethernet タイプ［注 7］		*	ジドウ	自動検出して動作します。
					100Mbps Full	100Mbps（Full）で動作します。
					100Mbps Half	100Mbps（Half）で動作します。
					10Mbps	10Mbps で動作します。
		TCP/IPv4　プロトコル		*	ユウコウ	TCP/IPv4 を有効にします。
					ムコウ	TCP/IPv4 を無効にします。
		TCP/IPv6　プロトコル			ユウコウ	TCP/IPv6 を有効にします。
				*	ムコウ	TCP/IPv6 を無効にします。

5

表：設定項目一覧

レベル 1	レベル 2	レベル 3	レベル 4		設定値	機能（範囲）
ショキ　セッテイ	LAN セッテイ	ポートバンゴウ［注 2］	インサツポートバンゴウ		9313	印刷を行うときに使用するポート番号を設定します。 ［1 ～ 65535］
			ケンサクポートバンゴウ		9313	ネットワーク内のプリンタを検索するときに使用するポート番号を設定します。 ［1 ～ 65535］
		サービスセッテイ［注 2］［注 9］	プリンタケンサク	*	ユウコウ	ネットワーク内のプリンタを検索する機能を有効にします。
					ムコウ	ネットワーク内のプリンタを検索する機能を無効にします。
			インターネットサービス	*	ユウコウ	Webブラウザでプリンタの状態を確認することや設定を更新することができます。
					ムコウ	Web ブラウザでのプリンタの状態確認や、設定が無効になります。
			SNMP	*	ユウコウ	SNMP を有効にします。
					ムコウ	SNMP を無効にします。
			プリンタキドウツウチ	*	テイキ　ツウチ	プリンタ起動後、15 秒ごとにネットワークに通知します。
					キドウジノミ	プリンタ起動時のみ、ネットワークに通知します。
					ムコウ	プリンタ起動時にネットワークに通知しません。
			BPP インサツ	*	ユウコウ	Printianavi ネットワークポートモニタでの LAN ポート印刷を有効にします。
					ムコウ	Printianavi ネットワークポートモニタでの LAN ポート印刷を無効にします。
			IPP インサツ	*	ユウコウ	IPP による印刷を有効にします。
					ムコウ	IPP による印刷を無効にします。
			LPR インサツ	*	ユウコウ	LPR 印刷を有効にします。
					ムコウ	LPR 印刷を無効にします。
			RAW インサツ	*	ユウコウ	RAW 印刷を有効にします。
					ムコウ	RAW 印刷を無効にします。
		アクセスカンリ［注 2］［注 8］［注 10］			ユウコウ	プリンタにアクセスするホストをIPv4アドレスで制限します（IPv4 アドレスの範囲は「Printia LASER Internet Service」で設定します）。
				*	ムコウ	プリンタへのアクセスを制限しません。
	ポートセッテイ	パラレルポート　セッテイ	ソウホウコウモード	*	セッテイ	双方向インターフェースを有効にします。
					カイジョ	双方向インターフェースを無効にします。
			INIT ジュシン	*	ユウコウ	INIT 信号を受信したときの初期化動作を有効にします。
					ムコウ	INIT 信号を受信したときの初期化動作を無効にします。
			タイムアウトジカン		30 ビョウ	一定時間印刷しなかった場合に、他のポートからの印刷を可能にするときのタイムアウト時間を設定します。 ［10 ～ 3600 秒］10 秒単位
		USB ポートセッテイ	タイムアウトジカン		30 ビョウ	一定時間印刷しなかった場合に、他のポートからの印刷を可能にするときのタイムアウト時間を設定します。 ［10 ～ 3600 秒］10 秒単位

表：設定項目一覧

レベル 1	レベル 2	レベル 3	レベル 4	設定値	機能（範囲）
ショキ セッテイ	カンリ／ショキカ	メニューソウサ セイゲン［注 9］		セッテイ	オペレータパネルをロックし、パスワードの入力を要求します。
				* カイジョ	オペレータパネルの操作が有効になります。
		LAN ショキカ			LAN に関する設定値をご購入時の値に戻します。
		セッテイショキカ			すべての設定値をご購入時の値に戻します（LAN に関する設定を除きます）。
		パスワードヘンコウ			オペレータパネルをロックしているときに要求されるパスワードを変更します。パスワードは 4 桁以内の数字を入力します。
		ショウモウヒンリレキショキカ			消耗品レポートに表示される消耗品の交換履歴および警告発生履歴をクリアします。
	ソノタノセッテイ	セツデン ジカン		* 1 プン	設定した時間が経過すると、節電状態に遷移します。
				15 フン	
				30 プン	
				60 プン	
				240 プン	
		ブザー		* ON	エラー時にブザーを鳴動させます。
				OFF	エラー時にブザーを鳴動させません。
		タッチオン		* ON	スイッチを押したときに、タッチ音を鳴らします。
				OFF	スイッチを押したときに、タッチ音を鳴らしません。
		インジノウドチョウセイ		0	印刷濃度を設定します。 [-6～3]数値が大きくなると濃くなります。
		シュソウサホウコウ イチ	キュウシトレイ	0.0 mm	給紙トレイ、各カセット、両面ユニットのスキャンする方向（横ライン）の位置を調整します。 ［-3.5 ～ 3.5 ㎜］0.5 ㎜単位
			カセット 1		
			カセット 2［注 4］		
			カセット 3［注 4］		
			リョウメンユニット［注 5］		「リョウメンユニット」の中にレベル 5 として、次のメニューがあります（設定値および設定範囲は他のメニューと同じです）。 ・キュウシトレイ ・カセット 1 ・カセット 2 ・カセット 3

表：設定項目一覧

レベル 1	レベル 2	レベル 3	レベル 4	設定値		機能（範囲）
ショキセッテイ	ソノタ　ノ セッテイ	フクソウサ ホウコウ　イチ	キュウシトレイ		0.0 mm	給紙トレイ、各カセット、両面ユニットの紙送り方向（縦ライン）の位置を調整します。 ［-3.5 ～ 3.5 ㎜］0.5 ㎜単位
			カセット 1			
			カセット 2［注 4］			
			カセット 3［注 4］			
			リョウメンユニット［注 5］			「リョウメンユニット」の中にレベル 5 として、次のメニューがあります（設定値および設定範囲は他のメニューと同じです）。 ・キュウシトレイ ・カセット 1 ・カセット 2 ・カセット 3
		エミュレーションセッテイ		*	カイジョ	プリンタを XL ドライバモードで動作させます。
					ESC/P［注 11］	プリンタを ESC/P エミュレーションモードで動作させます。
		カートリッジ　ジュンビ		*	ゾッコウ	プロセスカートリッジの交換時期が近づいても印刷を停止しません。
					テイシ	プロセスカートリッジの交換時期が近づくと印刷を停止します。
インサツセッテイ	キュウシグチ			*	カセット 1	標準の給紙カセットから給紙します。
					カセット 2［注 4］	2 段目の給紙ユニット（拡張給紙ユニット上段）から給紙します。
					カセット 3［注 4］	3 段目の給紙ユニット（拡張給紙ユニット下段）から給紙します。
					キュウシトレイ	給紙トレイから給紙します。
	ジドウキュウシ　セッテイ	キュウシトレイ		*	ユウコウ	自動給紙を行います。
		カセット 1			ムコウ	自動給紙を行いません。
		カセット 2［注 4］				
		カセット 3［注 4］				

表：設定項目一覧

レベル 1	レベル 2	レベル 3	レベル 4	設定値		機能（範囲）
インサツセッテイ	ヨウシ　シュルイ	キュウシトレイ		*	ドライバユウセン	ドライバで設定した用紙種類に設定します。
		カセット 1			フツウ	用紙種類を普通紙／再生紙（→ P.126）に設定します。
					アツガミ	用紙種類を厚紙（→ P.126）に設定します。なお、厚紙は、給紙トレイからのみ印刷可能です。
					OHP	用紙種類を OHP（→ P.126）に設定します。なお、OHP フィルムは、給紙トレイとカセット 1 から印刷可能です。また、OHP フィルムは 1 枚ずつセットしてください。
					ラベルシ 1	用紙種類をラベル紙 1（→ P.126）に設定します。なお、ラベル紙 1 は、給紙トレイからのみ印刷可能です。
					ラベルシ 2	用紙種類をラベル紙 2（→ P.126）に設定します。なお、ラベル紙 2 は、給紙トレイからのみ印刷可能です。
	キュウシトレイ　サイズ			*	A4 SEF	A4 サイズを縦置きに設定します。
					B5 SEF	B5 サイズを縦置きに設定します。
					A5 SEF	A5 サイズを縦置きに設定します。
					A6 SEF	A6 サイズを縦置きに設定します。
					リーガル SEF	リーガルサイズを縦置きに設定します。
					レター SEF	レターサイズを縦置きに設定します。
					ハガキ SEF	はがきサイズを縦置きに設定します。
					ユーザテイギ	ユーザ定義サイズに設定します。このときの用紙サイズは、「ユーザテイギ　サイズ」（→ P.111）で設定します。
	キュウシトレイドウサ			*	サイズ ウワガキ スル	プリンタの電源を切っても、プリンタドライバで指定した用紙サイズの情報が保持されます。
					サイズ ウワガキ シナイ	プリンタの電源を切ると、プリンタドライバで指定した用紙サイズの情報が破棄されます。
	ユーザテイギ　サイズ ［注 1］	ユーザテイギ　ハバ			216 mm	給紙トレイにセットする、ユーザ定義サイズ用紙の横の長さを指定します。［90 ～ 216 ㎜］1 ㎜単位
		ユーザテイギ　ナガサ			364 mm	給紙トレイにセットする、ユーザ定義サイズ用紙の縦の長さを指定します。［140 ～ 364 ㎜］1 ㎜単位
	リョウメンインサツ［注 5］			*	カイジョ	システム印刷時およびESC/P印刷時に両面印刷を行いません（片面印刷）。
					セッテイ	システム印刷時およびESC/P印刷時に両面印刷を行います。

5

表：設定項目一覧

レベル 1	レベル 2	レベル 3	レベル 4	設定値		機能（範囲）
インサツセッテイ	インサツ　ホウコウ［注 1］			*	タテ	用紙の短い辺に対して平行に印刷します。上端／左端の余白は固定になります。
					タテヨハク	用紙の短い辺に対して平行に印刷します。縦余白設定で設定した余白を付けて印刷します。
					ヨコ	用紙の長い辺に対して平行に印刷します。上端／左端の余白は固定になります。
					ヨコヨハク	用紙の長い辺に対して平行に印刷します。横余白設定で設定した余白を付けて印刷します。
	シュクショウ　インサツ［注 1］			*	100%	縮小せずに印刷します。
					75%	75% に縮小して印刷します。
					70%	70% に縮小して印刷します。
					リストインサツ A4	ストックフォーム用の印刷データを 75% に縮小して A4 用紙に横方向で印刷します。
	コピー　マイスウ［注 1］				1 マイ	印刷する部数を設定します。［1 ～ 999 枚］
	トジシロ　ホウコウ［注 1］			*	チョウヘントジ	長辺側をとじしろとします。
					タンペントジ	短辺側をとじしろとします。
	トジシロモード［注 1］			*	ヒダリ／ウエ　トジ	左側、または上側をとじます。
					ミギ／シタ　トジ	右側、または下側をとじます。
	トジシロリョウ［注 1］	オモテ			0 mm	表面のとじしろ量を設定します。［0 ～ 30 ㎜］1 ㎜単位
		ウラ［注 5］			0 mm	裏面のとじしろ量を設定します。［0 ～ 30 ㎜］1 ㎜単位
	スムージング［注 1］			*	セッテイ	印刷結果をなめらかにします。
					カイジョ	印刷結果をなめらかにしません。
	トナーセーブ［注 1］			*	カイジョ	トナーを節約しません。
					セッテイ	輪郭部分はそのままに、濃度を抑えて印刷し、トナーの消費を約 50% 節約します。［注 12］試し印刷など、印刷品質にこだわらないときにご利用ください。
	データ　ナシ　インサツ［注 1］			*	カイジョ	データのないページを印刷しません。
					セッテイ	データのないページを印刷します。
	タイマー　カンシ　インサツ［注 1］			*	カイジョ	タイマー監視印刷を行いません。
					30 ビョウ	監視時間を 30 秒にします。
					10 ビョウ	監視時間を 10 秒にします。

表：設定項目一覧

レベル 1	レベル 2	レベル 3	レベル 4	設定値	機能（範囲）
EP モード セッテイ［注 1］	モジ　コード			* カタカナ	カタカナコード表を使用します。詳しくは「エミュレーション編」をご覧ください。
				グラフィック	拡張グラフィックコード表を使用します。詳しくは「エミュレーション編」をご覧ください。
	キュウシ　イチ［注 6］			* 8.5 mm	印刷開始位置を用紙の上辺から 8.5 ㎜に設定します。
				22 mm	印刷開始位置を用紙の上辺から 22 ㎜に設定します。
	ミギ　マージン　イチ			* ヨウシ　ハバ	用紙幅に合わせて右マージンを設定します。右マージンは、使用する用紙サイズの印刷領域右端までです。
				136 ケタ	用紙サイズに関係なく 136 桁（13.6 インチ）に設定します。用紙幅が 136 桁に満たない場合、印刷領域を超えた部分は印刷されません。
	ANK モジ			* ローマン	ANK 文字の書体をローマンにします。
				サンセリフ	ANK 文字の書体をサンセリフにします。
	カンジ　ショタイ			* ミンチョウ	漢字の書体を明朝体にします。
				ゴシック	漢字の書体をゴシック体にします。
	CR コード			* CR ノミ	CR 動作（復帰のみ）を行います。
				CR & LF	CR 動作（復帰）と LF 動作（改行）を行います。
	タテ　ヨハク	タテ　ジョウタン　ヨハク		8.5 mm	縦印刷のときの上端余白を設定します。［給紙位置［注 6］～ 50.0 ㎜］0.1 ㎜単位
		タテ　サタン　ヨハク		5.0 mm	縦印刷のときの左側余白を設定します。［5.0 ～ 50.0 ㎜］0.1 ㎜単位
	ヨコ　ヨハク	ヨコ　ジョウタン　ヨハク		8.5 mm	横印刷のときの上端余白を設定します。［給紙位置［注 6］～ 50.0 ㎜］0.1 ㎜単位
		ヨコ　サタン　ヨハク		5.0 mm	横印刷のときの左側余白を設定します。［5.0 ～ 50.0 ㎜］0.1 ㎜単位
	インジ　イチ　チョウセイ	タテ　インジ　イチ		0.0 mm	印刷時の縦印字位置を設定します。［-30.0 ㎜～ 30.0 ㎜］0.1 ㎜単位
		ヨコ　インジ　イチ		0.0 mm	印刷時の横印字位置を設定します。［-30.0 ㎜～ 30.0 ㎜］0.1 ㎜単位

5

表：設定項目一覧

レベル 1	レベル 2	レベル 3	レベル 4	設定値	機能（範囲）
ホシュ　メニュー	インサツ ページスウ			XXXXXXX ページ	総印刷ページ数を表示します。
	A4　SEF　カンサン			XXXXXXX ページ	A4 サイズ縦送り（SEF）換算ページ数を表示します。
	メモリ　ヨウリョウ			XXX MB	標準メモリおよび増設メモリの合計のメモリ容量を表示します。
	メイン　ROM　ハンスウ			Ver XX.XX	プリンタのファームウェアの版数を表示します。
	ネットワーク ハンスウ			Ver XX.XX	ネットワーク版数を表示します。
	エンジン ROM　ハンスウ			Ver X.XX	プリンタのハードウェア制御プログラムの版数を表示します。
	エンジン　ステータス			STATUS XX=XX	サービス員がメンテナンスのために使用する装置情報です。
	NV コード			X-XXX-XXX	サービス員がメンテナンスのために使用する装置情報です。
	カートリッジ ステータス			XX=XX	サービス員がメンテナンスのために使用する装置情報です。
	カートリッジ ジョウホウ			ジョウホウ =XX	サービス員がメンテナンスのために使用する装置情報です。
	USB　ステータス			表示	USB の接続状態を表示します（HIGH SPEED、FULL SPEED、未接続）。
	LAN　ステータス			a.bbb.ccc.dd	LAN の通信状態を表示します。 「TCP/IP の動作確認」（→ P.119）をご覧ください。
	IPv4 アドレス ヒョウジ ［注 2］			IPv4　アドレス	現在の IPv4 アドレスを表示します。
				サブネットマスク	現在のサブネットマスクを表示します。
				ゲートウェイ	現在のゲートウェイを表示します。
	ソフトスイッチ	ソフトスイッチ　X-X		* OFF	サービス員がメンテナンスのために使用する装置情報です。 変更しないでください。
				ON	

注 1　：　「エミュレーション設定」で「解除」を選択している場合は、表示されません。
アプリケーションで Printia XL ドライバを使用して印刷する場合には、オペレータパネルの設定は無効になります。プリンタドライバ側で設定してください。詳しくは、プリンタドライバの「ヘルプ」、または「ソフトウェアガイド」の「第 5 章 プリンタドライバの機能と利用方法」をご覧ください。

注 2　：　「TCP/IP プロトコル」が「無効」のときは、表示されません。

注 3　：　「DHCP 自動取得」が「設定」のときは、表示されません。

注 4　：　拡張給紙ユニット（オプション）を取り付けているときに表示されます。

注 5　：　両面ユニット（オプション）を取り付けているときに表示されます。

注 6　：　給紙位置が余白の最小値となります。

注 7　：　Ethernet タイプを設定した場合、電源を切ってから数秒経過後に再び電源を入れてください。

注 8　：　「Printia LASER Internet Service」のアクセス許可リストの許可設定がすべて「無効」になっているときは表示されません。

注 9　：　設定について詳しくは、「セキュリティに関する設定」（→ P.122）をご覧ください。
設定を無効にした場合について詳しくは、「ソフトウェアガイド」の「第 8 章 Web ブラウザによるプリンタの管理（Printia LASER Internet Service）」の説明をご覧ください。

注 10　：　機能について詳しくは「IP アドレスによるアクセス管理」（→ P.122）をご覧ください。

注 11　：　ウイングアーク テクノロジーズ株式会社製「Report Director Enterprise」、「SVF for Java Print」使用時に、プリンタの機種を「EPSON ESC/Page」にして印刷するときは、エミュレーション設定を「ESC/P」にします。
なお、プリンタの機種を「Dot Printer」（ ESC/P）や「FUJITSU VSP」（FM シーケンス）にして印刷することはできませんので、ご注意ください。

注 12　：　JIS X 6931(ISO/IEC19752) 標準テストパターンを使用した場合のトナーセーブ率です。トナーセーブ率は、印刷データの内容によって変わります。

4 代表的な設定項目とその操作方法

ここでは、オペレータパネルで行える、代表的な機能の設定方法や操作方法について説明します。

設定の一覧印刷

プリンタおよび LAN ポートの、現在の設定内容の一覧を印刷します。設定の一覧は、メニューモードの「システム　インサツ」→「セッテイ　ノ　インサツ」で印刷します。

■印刷例

FUJITSU　XL－xxxx

システム情報

装置号機	= XXXXXXXXX		
総印刷ページ数	= XXXXXXXページ	メインＲＯＭ版数	= Ver XX.XX
A4SEF換算ページ数	= XXXXXXXページ	ネットワーク版数	= Ver XX.XX
／装置寿命ページ数	／XX万ページ	エンジンＲＯＭ版数	= Ver XX.XX
電源投入後総印刷ページ数	= XXXXXXXページ	カートリッジ情報	= XX
装置寿命カウンタ	= 残り　XX%　(消耗率　XXX%)	メモリ容量	= XXMB
定期交換カウンタ		ＵＳＢステータス	= HIGH SPEED
定着器	= 残り　XX%　(消耗率　XXX%)	両面ユニット	= あり
転写ローラ	= 残り　XX%　(消耗率　XXX%)	給紙口情報	
給紙コロ（給紙トレイ）	= 残り　XX%　(消耗率　XXX%)	給紙トレイ	
給紙コロ（給紙カセット１）	= 残り　XX%　(消耗率　XXX%)	カセット１	= A4 SEF（縦置き）
給紙コロ（給紙カセット２）	= 残り　XX%　(消耗率　XXX%)	カセット２	= A4 SEF（縦置き）
給紙コロ（給紙カセット３）	= 残り　XX%　(消耗率　XXX%)	カセット３	= A4 SEF（縦置き）

IPアドレス設定

ＩＰｖ４アドレス設定		ＩＰｖ６アドレス設定	
ＤＨＣＰ自動取得	= 解除	リンクローカル	= XXXX:XXXX:XXXX:XXXX:XXXX:XXXX:XXXX:XXXX
ＩＰアドレス	= XXX.XXX.　X.XXX	グローバル	= XXXX:XXXX:XXXX:XXXX:XXXX:XXXX:XXXX:XXXX
サブネットマスク	= XXX.XXX.XXX.　X	ゲートウェイ	= XXXX:XXXX:XXXX:XXXX:XXXX:XXXX:XXXX:XXXX
ゲートウェイ	= 　X.　X.　X.　X		

LAN設定

ＭＡＣアドレス	= XXXXXXXXXXXX	サービス設定	
Ｅｔｈｅｒｎｅｔタイプ	= 自動認識	プリンタ検索	= 有効
ＴＣＰ／ＩＰｖ４プロトコル	= 有効	インターネットサービス	= 有効
ＴＣＰ／ＩＰｖ６プロトコル	= 有効	ＳＮＭＰ	= 有効
印刷ポート番号	= XXXXX	プリンタ起動通知	= 起動時のみ
検索ポート番号	= XXXXX	ＢＰＰ印刷	= 有効
ＴＣＰ／ＩＰｖ４動作状態	= X（IPv4アドレス要求中）	ＩＰＰ印刷	= 有効
ＴＣＰ／ＩＰｖ６動作状態	= X（IPv6グローバルアドレス要求）	ＬＰＲ印刷	= 有効
ＬＡＮステータス	= X.XXX.XXX.XX	ＲＡＷ印刷	= 有効
アクセス管理	= 有効		
プリンタのＵＲＬ（IPv4）	= http://XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX		
プリンタのＵＲＬ（IPv6）	= http://XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX		

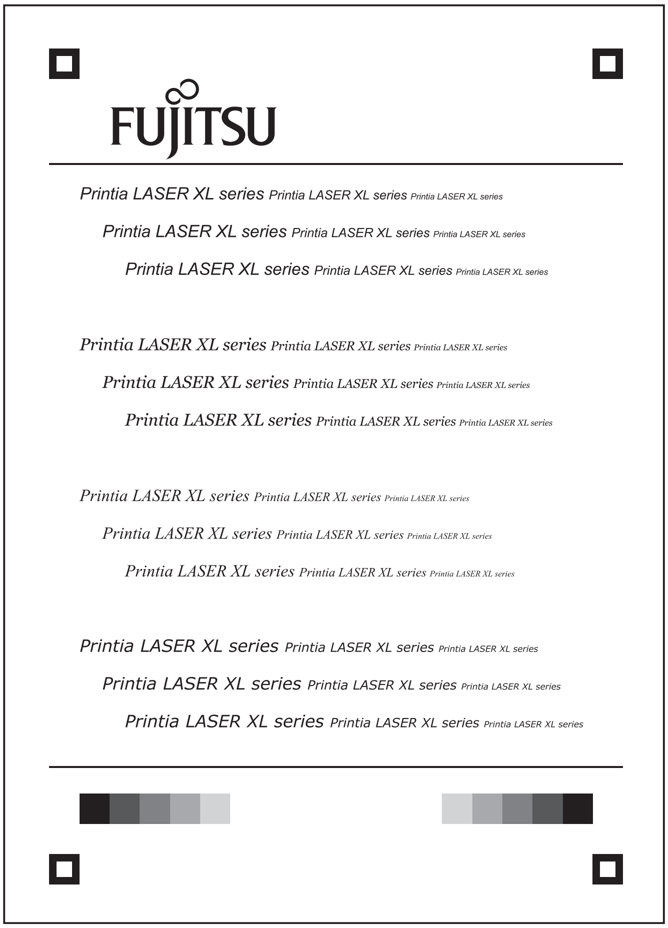
POINT

- 印刷は、現在設定されている方法で行われます。A4 サイズの用紙を基準とし、A4 より小さい用紙がセットされているときは、自動的に縮小して印刷します。ただし、はがき、A6、A5 サイズより小さいユーザ定義サイズの用紙は印刷できません。
  印刷した場合は「サイズフソク」と表示されますので、オペレータパネルに表示されたサイズの用紙をセットして再度印刷するか、いったん印刷をキャンセルして、他の用紙サイズに変更してから、再度印刷してください。
- 用紙がない場合は「ヨウシ ナシ」と表示されますので、用紙を補給してください。
- 印刷を中止する場合は、「リセット」スイッチを押してください。
- LAN 設定で「TCP/IPv4 プロトコル」または「TCP/IPv6 プロトコル」を「ムコウ」にしたとき、LAN 設定内容は印刷されません。
  また、「エミュレーションセッテイ」を「ムコウ」にしたときは、エミュレーション設定の内容は表示されません。

テスト印刷（印字率約 5% サンプル）

300dpi で印字率約 5%のサンプルを印刷します。印字率約 5%のサンプルは「システム　インサツ」→「テスト　インサツ」→「5%サンプル」で印刷します。

■印刷例



IP アドレスの設定

プリンタに IP アドレスを設定する方法を説明します。設定方法は、IPv4 アドレス環境か、IPv6 アドレス環境かにより異なります。

IPv4 の場合

本製品に IP アドレスを設定する場合、次の 2 種類の方法があります。ご使用の環境に合わせていずれかの方法で設定してください。

・プリンタに直接設定する手動設定

・プリンタの電源を入れたときに DHCP サーバから自動的に取得する自動取得設定

なお、IP アドレスの設定は、ネットワークに接続されたパソコンから、添付の「Printia LASER プリンタユーティリティ」に収められているソフトウェアを使用して行うこともできます。ソフトウェアによる設定方法については、「ソフトウェアガイド」の「第 2 章 ネットワークを利用したプリンタの接続」をご覧ください。

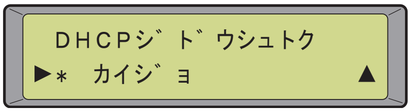
■ 手動設定の場合

設定は、メニューモードの「ショキ　セッテイ」→「IPv4 アドレス　セッテイ」で、まず「DHCP ジドウシュトク」を解除してから、IPv4 アドレスの設定を行います。

メニューモードで DHCP 自動取得の画面を表示し、次の手順で設定してください。

1　DHCP 自動取得を解除します。

「▶」または「◀」スイッチを押して、「カイジョ」と表示させます。「設定」スイッチを押すと「*」が表示され、値が設定されます。初期設定は「* セッテイ」です。

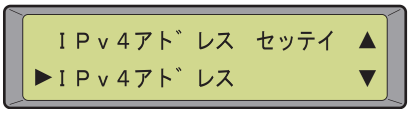


2　IP アドレスを設定します。

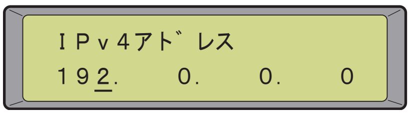
1.「▲」スイッチを押して、次の表示にします。



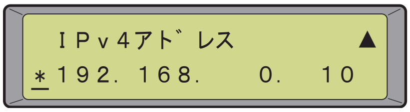
2.「▶」スイッチを押して「IP アドレス」と表示し、「▼」スイッチを押します。



3.「▶」または「◀」スイッチを押して IP アドレスを変更するブロック（IP アドレス 1 ～ 4）を選択して、「▲」「▼」スイッチで値を設定します。



4. 各ブロックすべてを設定したら「設定」スイッチを押し、カーソルが * に移動しているのを確認します（この操作では、IP アドレスはまだ反映されません）。



サブネットマスク、ゲートウェイアドレスの設定を行うときは、「▲」スイッチを押して手順 2 の表示に戻した後、「▶」「◀」スイッチを押して「サブネットマスク」「ゲートウェイ」とそれぞれ表示された状態で手順3～手順4の操作を行ってください。

3 設定を終了します。

設定が終わったら「メニュー」スイッチを押し、本製品に設定値を反映します。
設定値反映後、プリンタが再起動しオンライン状態に戻ります。

■DHCP による自動取得の場合

メニューモードの「ショキ　セッテイ」→「IPv4 アドレス　セッテイ」→「DHCP ジドウシュトク」が「* セッテイ」になっていることを確認します。いったん本製品の電源を切ってから、DHCP サーバと本製品をネットワークに接続し、本製品の電源を入れてください。プリンタの起動時に IPv4 アドレスを DHCP サーバから取得します。

POINT

- DHCP により TCP/IP 構成情報を自動的に取得する場合は、本製品の電源を再度入れたときに同じ IP アドレスを取得できるように、DHCP サーバにクライアントの予約を行ってください。予約のときに必要となるプリンタの MAC アドレスについては、メニューモードの「ショキ　セッテイ」→「LAN セッテイ」→「MAC アドレス」をご覧になるか、設定の一覧を印刷してください。
- DHCP による自動取得の場合、IP アドレスの取得までにかかる時間はネットワーク環境によって異なります。
  取得した IP アドレスは、メニューモードの「ホシュ　メニュー」→「IPv4 アドレス　ヒョウジ」で確認することができます。
- IPv4 アドレスが取得できなかった場合や、表示された IPv4 アドレスが以前手動設定した値の場合は、メニューモードの「ショキ　セッテイ」→「IPv4 アドレス セッテイ」→「DHCP ジドウシュトク」（「手動設定の場合」（→ P.117）の手順 1 ～手順 2 参照）が「* セッテイ」になっているか確認します。「* カイジョ」の場合は、「* セッテイ」に変更してください（初期値は「* セッテイ」です）。
  設定変更後、メニューモードを解除するとプリンタが再起動し、IPv4 アドレスの取得を行います。

IPv6 の場合

■設定方法

本製品には、「リンクローカルアドレス」、「グローバルアドレス」と呼ばれる、2 種類の IPv6 アドレスを設定できます。

- リンクローカルアドレス
  同一ネットワーク内での通信に使用されるアドレスです。リンクローカルアドレスは、メニューモードの「ショキ　セッテイ」→「LAN セッテイ」→「TCP/IPv6 プロトコル」を「ユウコウ」に設定すると、「fe80::」から始まるプレフィックスと本製品の MAC アドレスが用いられ、自動的に設定されます。
  なお、本製品に設定できるリンクローカルアドレスは 1 つです。

・グローバルアドレス
インターネット経由の通信に使用されるアドレスです。グローバルアドレスの設定には、RA（Router Advertisement）と呼ばれるパケットを送信できるルーターとの接続が必要です。グローバルアドレスは、ルーターから送信された RA に含まれるプレフィックスと本製品の MAC アドレスが用いられ、自動的に設定されます。
なお、本製品に設定できるグローバルアドレスは 1 つです。

重要

・リンクローカルアドレスは、ルーターを越えた通信はできません。
・グローバルアドレスは、DHCPv6 を用いたステートフルアドレスを設定できません。ステートレスアドレスのみ設定できます。

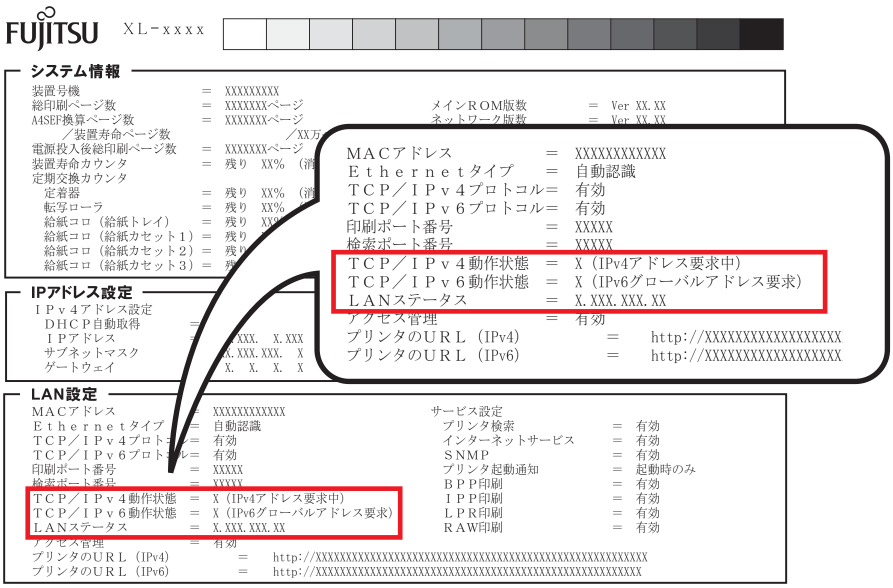
■自動設定された IPv6 アドレスの確認方法

自動設定された IPv6 アドレスは、メニューモードの「システム　インサツ」→「セッテイ　ノ　インサツ」で設定一覧を印刷し、「IP アドレス設定」内の「IPv6 アドレス設定」欄で確認できます。

TCP/IP の動作確認

5

TCP/IP が正常に動作しているかどうかの確認は、メニューモードの「システム　インサツ」→「セッテイ　ノ　インサツ」を行い、「LAN 設定」の「TCP/IP vX 動作状態」および「LAN ステータス」を確認してください。



TCP/IPv4 動作状態

表：TCP/IPv4 の動作状態一覧

コード	内容と処置
0	TCP/IPv4 は正常に動作しています。
1	IPv4 アドレス、またはサブネットマスクの設定に誤りがあります。設定内容が正しいか確認してください。
2	DHCP により TCP/IPv4 構成情報を取得中です。
3	DHCP による TCP/IPv4 構成情報の取得要求がタイムアウトしました。 LAN ケーブルが正しく接続されているか、または DHCP サーバの電源が入っているか確認してください。
4	DHCP による TCP/IPv4 構成情報のリース更新が拒否されました。 いったん電源を切り、再び入れてください。
5	DHCP による TCP/IPv4 構成情報のリース更新要求がタイムアウトしました。 LAN ケーブルが正しく接続されているか、または DHCP サーバの電源が入っているか確認してください。
6	IPv4 アドレスが他のホストで使用されています。 他のホストの設定を確認し、重複していない IPv4 アドレスを設定してください。 DHCP で IPv4 アドレスを自動取得している場合は、電源を再度入れてください。 STP（スパニングツリープロトコル）の設定があるハブユニットを使用している場合は、本製品を接続するポートの STP を「無効」に設定してください。「有効」に設定していると、プリンタの IPv4 アドレスが他の装置で使用されているときに検出できないことがあります。
9	その他不明の状態です。 考えられる主な原因に、ゲートウェイの設定に誤りがある可能性があります。

TCP/IPv6 動作状態

表：TCP/IPv6 の動作状態一覧

コード	内容と処置
0	TCP/IPv6 は正常に動作しています。
1	IPv6 グローバルアドレス取得中です。

LAN ステータス

LAN の接続状態を「a.bbb.ccc.dd」の形式で表示します。各部の意味は次のとおりです。

表：LAN ステータス一覧

各部	意味
a	ネットワークに接続されているかどうかを表します。 ・1：ネットワークに接続されています。 ・0：ネットワークに接続されていません。LAN ケーブルが正しく接続されているか確認してください。
bbb	プリンタのデータ転送能力を表します。 それぞれ左から、 ・1 桁目…1000Base-T（0：Half/Full 無効／ 2：Full 有効） ・2 桁目…100Base-TX（0 : Half/Full 無効／ 1 : Half 有効／ 2 : Full 有効／ 3 : Half/Full 有効） ・3 桁目…10Base-T（0：Half/Full 無効／ 1：Half 有効／ 3：Half/Full 有効） 注：メニューモードの「LAN セッテイ」→「Ethernet タイプ」で設定を変更できます。
ccc	ハブなど、プリンタの接続先のデータ転送能力を表します。 それぞれ左から、 ・1 桁目…1000Base-T（0 : Half/Full 無効／ 1 : Half 有効／ 2 : Full 有効／ 3 : Half/Full 有効） ・2 桁目…100Base-TX（0 : Half/Full 無効／ 1 : Half 有効／ 2 : Full 有効／ 3 : Half/Full 有効） ・3 桁目…10Base-T（0：Half/Full 無効／ 1：Half 有効／ 2：Full 有効／ 3：Half/Full 有効） 注：ハブによっては「000」と表示される場合があります。このときは、ハブのマニュアルで転送能力を確認してください。
dd	現在プリンタがどの転送速度で接続しているかを表します。 それぞれ左から、 ・1 桁目…0：Half ／ 1：Full ・2 桁目…0：10Mbps ／ 1：100Mbps ／ 2：1000Mbps 注：a が 0 のときは、「――」と表示されます。

セキュリティに関する設定

ここでは、本製品を使用する場合に設定できるセキュリティ機能について説明します。

POINT

- セキュリティに関するすべての機能は、「Printia LASER Internet Service」から設定することができます。詳しくは、『ソフトウェアガイド』の「第 8 章 Web ブラウザによるプリンタの管理（Printia LASER Internet Service)」をご覧ください。
「サービス管理」の「インターネットサービス」を無効に設定した場合など、「Printia LASER Internet Service」からの設定が行えないときは、オペレータパネルで設定を行ってください。

ポート／サービスの管理

ネットワークサービスと印刷や検索に使用するポートの有効／無効を設定します。
設定は、メニューモードの「ショキ　セッテイ」→「LAN セッテイ」→「サービス　セッテイ」から行います。

POINT

- 各設定を無効にした場合について詳しくは、『ソフトウェアガイド』の「第 8 章 Web ブラウザによるプリンタの管理（Printia LASER Internet Service)」のネットワークサービスの説明をご覧ください。

IP アドレスによるアクセス管理

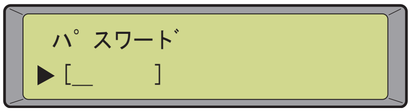
プリンタにアクセスできるパソコン（IP アドレス）を制限するかしないかを設定します。設定は、メニューモードの「ショキ　セッテイ」→「LAN セッテイ」→「アクセスカンリ」から行います。

POINT

- IP アドレスを制限する場合は、あらかじめ「Printia LASER Internet Service」のネットワークサービス設定でアクセス許可リストの設定を行っておく必要があります。詳しくは、『ソフトウェアガイド』の「第 8 章 Web ブラウザによるプリンタの管理（Printia LASER Internet Service)」をご覧ください。
- IPv6 環境では、本機能は使えません。

オペレータパネルの操作制限

管理者以外のユーザーによるプリンタの設定変更を防止するために、オペレータパネルからのメニューモードの操作をパスワード（4 桁以内の数字）で制限します。
設定は、メニューモードの「ショキ　セッテイ」→「カンリ／ショキカ」→「メニューソウサ　セイゲン」から行います。
パスワードの初期値は、「9999」です。パスワードの変更は、メニューモードの「ショキセッテイ」→「カンリ／ショキカ」→「パスワード　ヘンコウ」から行ってください。
「メニューソウサ　セイゲン」を有効にすると、オペレータパネルでメニューモードに移行するときにパスワードの入力を要求されます。



「▶」または「◀」スイッチを押してパスワードを入力する桁を選択し、「▲」または「▼」スイッチで値を設定した後、「設定」スイッチを押してください。

POINT

- パスワードを忘れた場合は、次のいずれかの方法で対処してください。
  - 「Printia LASER Internet Service」で新しいパスワードを設定
    「管理者モード」→「オプション情報」→「管理者情報」の「オペレータパネル操作制限のパスワードの変更」で新しいパスワードを設定してください。詳しくは、『ソフトウェアガイド』の「第 8 章 Web ブラウザによるプリンタの管理（Printia LASER Internet Service）」をご覧ください。
  - オペレータパネル操作制限無効モードで起動
    「メニュー」スイッチと「設定」スイッチを同時に押しながら、本製品の電源を入れると、オペレータパネル操作制限機能を無効にしてプリンタが起動します。この場合は、メニューモードに入る前のパスワード入力が必要ありません。パスワードの変更で新しいパスワードを設定し直してください。

消耗品の管理

プリンタのプロセスカートリッジなど、消耗品の警告発生履歴の保存と出力を行うことができます。

POINT

- プロセスカートリッジの交換時期が近づいたときには印刷を停止し、通知する方法もあります。メニューモードの「ショキ　セッテイ」→「ソノタ　ノ　セッテイ」→「カートリッジ　ジュンビ」で「テイシ」を選択してください。
- 「Printia LASER Internet Service」の「E メール送信設定」を利用すると、消耗品や定期交換部品の交換要求、ハードエラーの発生などを、E メールで受信することができます。
  詳しくは、『ソフトウェアガイド』の「第 8 章 Web ブラウザによるプリンタの管理（Printia LASER Internet Service）」をご覧ください。

■履歴の保存

履歴は最大 500 件まで自動的に保存されます。500 件以上になった場合は、古いものから順に削除され、最新の 500 件を保存します。

■履歴の出力

履歴は次の方法で出力できます。

・レポート印刷

メニューモードの「システム　インサツ」→「ショウモウヒン　レポート」で消耗品履歴レポートの印刷を行います。

消耗品履歴レポートの出力例

```
XL-XXXX  消耗品履歴レポート

装置情報
MACアドレス : xxxxxxxxxxxx        装置号機番号:xxxxxx
ROM版数     : Ver xx.xx

[ID] [総印刷ページ数] [A4SEF換算ページ数] [電源投入時間]    [ログ情報]        [要因]
0XX   XXXXXXXX          XXXXXXXX              XXXXXXXX      定期交換部品      定着器警告発生
0XX   XXXXXXXX          XXXXXXXX              XXXXXXXX      定期交換部品      定着器警告解除
  :
0XX   XXXXXXXX          XXXXXXXX              XXXXXXXX      カートリッジ      交換エラー発生
0XX   XXXXXXXX          XXXXXXXX              XXXXXXXX      装置寿命          寿命残り20%
```

POINT

・「電源投入時間」では、電源が入れられていた累積時間が表示されます。単位は、時間になります。

・「Printia LASER Internet Service」による CSV ファイル出力

「管理者モード」→「オプション情報」→「消耗品履歴の保存」で CSV ファイルとして保存することができます。詳しくは、「ソフトウェアガイド」の「第 8 章 Web ブラウザによるプリンタの管理（Printia LASER Internet Service）」をご覧ください。

■履歴の消去

履歴は、メニューモードの「ショキ　セッテイ」→「カンリ／ショキカ」→「ショウモウヒンリレキショキカ」で「ジッコウ」を選択すると消去できます。

6

第 6 章

使用できる用紙と保管方法

この章では、本製品で使用できる用紙とその保管方法について説明します。

1 使用できる用紙

本製品で使用できる用紙について、給紙方法、用紙サイズ、および用紙の種類ごとに説明します。

給紙方法と用紙のサイズ

給紙方法と用紙サイズの関係は、次の表のとおりです。

表：給紙方法と用紙サイズ

給紙方法	タイプ	重量	収容可能枚数	サイズ
給紙トレイ	普通紙（再生紙含む）	60 ～ 105g/ ㎡	約 100 枚（64g/ ㎡の用紙の場合）	A4SEF、B5SEF、A5SEF、A6SEF、リーガル SEF、レター SEF、ユーザ定義サイズ（幅 90 ～ 216 ×長さ 140 ～ 364 ㎜）
	厚紙	106 ～ 162g/ ㎡	サイドガイドの上限線まで	
	ラベル紙 1	64 ～ 105g/ ㎡	サイドガイドの上限線まで	
	ラベル紙 2	106 ～ 162g/ ㎡		
	郵便はがき	190g/ ㎡	約 40 枚	ハガキ SEF
	OHP フィルム	—	1 枚ずつ	A4SEF、レター SEF
給紙カセット（標準）	普通紙（再生紙含む）	60 ～ 105g/ ㎡	約 500 枚（64g/ ㎡の用紙の場合）	A4SEF、B5SEF、A5SEF、リーガル SEF、レター SEF、ユーザ定義サイズ（幅 140 ～ 216 ×長さ 160 ～ 356 ㎜）
	OHP フィルム	—	1 枚ずつ	A4SEF、レター SEF
拡張給紙ユニット（オプション）	普通紙（再生紙含む）	60 ～ 105g/ ㎡	約 500 枚（64g/ ㎡の用紙の場合）	A4SEF、B5SEF、A5SEF、リーガル SEF、レター SEF、ユーザ定義サイズ（幅 140 ～ 216 ×長さ 160 ～ 356 ㎜）

重要

- 用紙を大量にご購入する前に、サンプル用紙で試し印刷を行い、支障がないことを確認することをお勧めします。
- はがきは、郵便はがきを使用してください。あらかじめ印刷されたはがきや反りのあるはがきを使用すると、走行不良が発生することがあります。
- ラベル紙、郵便はがきは、給紙トレイからのみ印刷できます。
- ラベル紙を印刷する場合は、ラベル紙の重量に応じて、プリンタドライバで「用紙種類」の設定を切り替えてください。重量が 64 ～ 105g/ ㎡の場合は「ラベル紙 1」を、106 ～ 162g/ ㎡の場合は「ラベル紙 2」を選択してください。
- プリンタドライバおよびオペレータパネルで設定した用紙のサイズと、実際に使用する用紙のサイズは、必ず一致させてください。異なるサイズの用紙に印刷した場合、本製品が故障するおそれがあります。
- 厚紙を印刷する場合は、プリンタドライバで「用紙種類」の設定を「厚紙」に切り替えてください。
  指でこすると、印字がはがれることがありますので、「普通紙」は選択しないでください。
- ユーザ定義サイズ用紙に印刷する場合は、プリンタドライバの用紙サイズ設定を、「ユーザ定義サイズ」にしてください。印刷する用紙とプリンタドライバで設定した用紙サイズが異なっていると、本製品が故障するおそれがあります。
- ユーザ定義サイズ用紙に印刷する場合は、用紙の幅と長さの組み合わせにより、印刷速度が異なります。
  詳しくは、「ユーザ定義サイズの用紙を印刷する場合の印刷速度」（→ P.190）をご覧ください。

- リーガル、および A4SEF より用紙長の長いユーザ定義サイズの用紙を印刷した場合は、A4SEF 換算ページ数が増える場合があります。
- OHP フィルム、ラベル紙、郵便はがきは拡張給紙ユニットから印刷できません。
- OHP フィルムは、1 枚ずつセットし、印刷してください。
- 用紙の種類やサイズを頻繁に変更する場合は、給紙トレイをご使用ください。
- 再生紙を使用する場合は、次の点にご注意ください。
  - 湿度が高い環境では用紙が吸湿するため、印刷時に紙詰まりやシワ、折れ、印字乱れなどが発生する場合があります。高湿度環境下では、包装紙から必要な分だけ用紙を取り出して使用してください。
    また、夜間／休日などのプリンタ停止時は、給紙カセット／給紙トレイに用紙を放置しないでください。プリンタから用紙を取り出して包装紙に戻し、密閉して保管してください。
  - 「再生紙」は銘柄によって吸湿の傾向が異なります。特に、夏場の空調が入らないような高温・高湿環境で使用する場合は、事前に同様の環境で充分な確認を行ったうえで、銘柄を選定してください。
  - ユーザ定義サイズ用紙の印刷において、シワ／斜行／角折れ／二重送り／紙詰まりなどが発生する場合があります。印刷する前に、用紙のカール／反りを直してから用紙をセットしてください。
    また、高温／高湿環境や低温／低湿環境を避けて、保管／運用してください。
  - 用紙の状態によっては、紙詰まりやカールが発生する場合があります。
    用紙を裏返して印刷する面を変えることで軽減できる場合がありますので、お試しください。改善されない場合は、「用紙保管上のご注意」（→ P.132）をご確認ください。

使用できる用紙の種類

普通紙

本製品では、PPC 用紙および普通紙を使用できます。本製品での印刷に適した普通紙の仕様について、次の表でご確認ください。
一般の市販品には、本製品に適さないものもあります。できるだけサプライ用紙をご使用ください。サプライ用紙について詳しくは、「サプライ品一覧」（→ P.198）をご覧ください。

表：推奨する普通紙の仕様

項目	測定方法	推奨仕様 ［注 1］
坪量	－	64 ～ 68g/ ㎡
連量	－	55 ～ 58 kg
紙厚	JIS P-8118	88 ～ 94 μ m
密度	－	0.68 ～ 0.74g/cm³
平滑度	JIS P-8119	表：23 ～ 47 秒、裏：20 ～ 37 秒
剛度	JIS P-8143	縦：70 ～ 123cm³/100、横：28 ～ 60cm³/100
水分	JIS P-8127	4 ～ 5%
摩擦係数	JIS P-8147	静止：0.45 ～ 0.75、動：0.40 ～ 0.70
紙質	－	中性紙
すき目方向	－	縦（用紙搬送方向）

注 1　：　開封直後の用紙を常温常湿環境（23 ℃、50%RH）で測定した値

6

プレプリント紙、カラー紙

カラー紙の着色顔料やプレプリント用のインクは、耐熱性で230 ℃でも変質せず、紙質は普通紙と同等のものを使用してください。プレプリント用紙に耐熱性の低いインクを使用した場合やインクが乾いていない状態で用紙を使用した場合、インクが本製品の定着器、感光ドラムおよびローラなどに付着し、印字品質の低下、紙詰まり、装置破損の原因となります。また、インクや紙粉の影響により、用紙搬送/印刷/定着に関係する部品が汚損/変質/摩耗する場合があります。定期的に清掃、または部品の交換を行ってください。

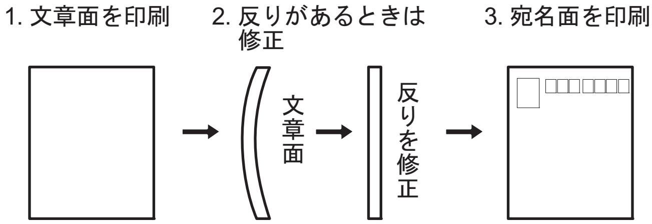
重要

- 金属混入インク、導電性インク、コールドセットインク、ラバーベースインクで印刷された用紙は絶対に使用しないでください。
- 印刷枠を設ける場合、次の印刷位置のバラツキを充分考慮に入れて設計してください。
  - 位置精度:A4 サイズで± 2 mm程度(普通紙推奨用紙の場合)
  - 用紙の傾き:100 mmあたり± 1 mm程度(普通紙推奨用紙の場合)
  - 画像の伸縮:100 mmあたり± 1 mm程度(普通紙推奨用紙の場合)

  [注]:普通紙推奨用紙以外の用紙では、バラツキはより大きくなります。

郵便はがき

郵便はがきは、郵便局から発売されている通常はがきをご使用ください(ただし、絵入りはがき、インクジェット用はがきは除く)。はがきに印刷するときは、文章面→宛名面の順に片面ずつ印刷してください(両面印刷機能には、対応していません)。
宛名面→文章面の順で印刷すると、はがきの反りの影響できれいに印刷できないことがあります。反りがあるときは上向きに約 2 mm以内の反りになるように修正してから印刷してください。



郵便はがきをセットするときは、次の点に留意してください。

- 印刷面を上にしてセットしてください。
- 給紙トレイに縦送り(SEF)でセットしてください。
- 使用するアプリケーションの設定内容と印刷方向に合わせて郵便はがきをセットしてください。試し印刷で方向を確認されることをお勧めします。

OHP フィルム

定着時の熱(約 230 ℃)で溶けたり、変質したりしないものを使用してください。
本製品で使用できるOHP フィルムについては、「サプライ品一覧」(→P.198)をご覧ください。

POINT

- OHP フィルムは、給紙カセット(標準)および給紙トレイで印刷できます。
- OHP フィルムは、1 枚ずつセットし、印刷してください。

ラベル紙

ツルツルした台紙面が表面になく､台紙全体がラベルで覆われているレーザプリンタ用のものを使用してください。また、粘着剤が定着時の熱（約 230 ℃）で溶けたり変質したりしないものを使用してください。
本製品で使用できるラベル紙については、「サプライ品一覧」（→ P.198）をご覧ください。

重要

- OHP フィルムやラベル紙を使用するときは、レーザプリンタ用のものをご購入ください。市販品の中には本製品に適さないものがありますので、試し印刷などで確認したうえで使用してください。
- ラベル紙は、給紙トレイからのみ印刷できます。

6

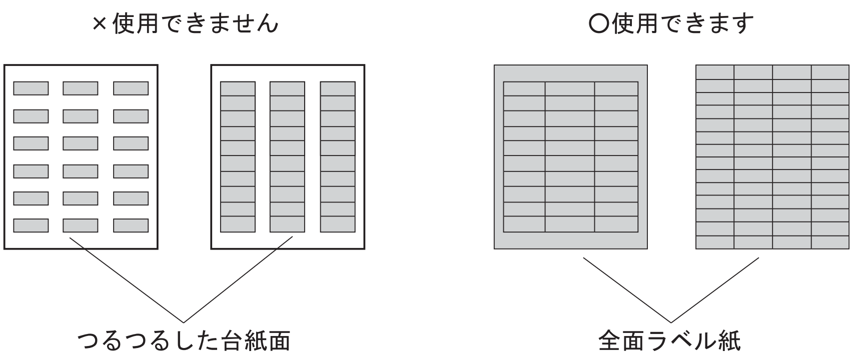
2 使用できない用紙

次の用紙は、本製品では使用できません。

本製品で使用できない用紙

次の用紙は、紙詰まりを起こしたり、本製品の故障の原因となったり、またはきれいに印刷できなかったりしますので、使用しないでください。

- 厚すぎる用紙や、薄すぎる用紙
- 湿っている用紙や、濡れている用紙
- 一度印刷された用紙
- 貼り合わせた用紙や、糊などが付いている用紙
- 反り、シワ、折り目のある用紙や、破れている用紙
- カールしている用紙
- 静電気で密着している用紙
- 長方形以外の用紙や、バインダー用の穴またはミシン目のある用紙
- 表面を加工、または特殊なコーティングを行った用紙（感熱紙、カーボン紙、メールシール紙など）
- 大量のタルク成分を含んだ用紙（オフセット印刷用の用紙など）や酸性紙（中性紙を使用してください）
- 用紙の全面または大部分にあらかじめ印刷されているプレプリント用紙
- インクに導電材料（金属、カーボンなど）を使用したり、230 ℃の熱でガスが発生したりするインクを使用したプレプリント用紙
- 230 ℃の熱で溶けたり、変質したりする用紙
- ステープラ、クリップ、リボン、テープなどが付いている用紙
- ざら紙や繊維質の多い用紙など、表面がなめらかでない用紙
- 裁断部のバリが大きい用紙
- 紙粉の多い用紙
- インクジェット専用紙、インクジェット用 OHP フィルム、インクジェット用はがき
- カラーページプリンタ用の OHP フィルム
- 封筒
- 台紙全体がラベルで覆われてなく、かつレーザプリンタ用以外のラベル紙



両面印刷で使用できない用紙

次の用紙は両面印刷では使用できません。

・厚紙（106g/ ㎡～ 162g/ ㎡）、OHP フィルム、ラベル紙、ユーザ定義サイズ用紙、郵便はがき、A6 サイズ用紙

給紙カセットで使用できない用紙

ラベル紙、郵便はがき、厚紙、A6 サイズ用紙は、給紙カセットでは使用できません。給紙トレイを使用してください。

3 用紙保管上のご注意

用紙は水分を吸収しやすい特性をもっているため、非常に変化しやすいものです。製造条件を厳重に管理して製造した用紙でも、保管状態が悪いと品質が損なわれ、印刷品質や紙送りなどに悪い影響を与えます。次の保管上の注意事項を守って、最良の状態に保ってください。

保管場所

用紙は次のような場所に保管してください。

- 暗く、湿気の少ない、平らな書棚のような場所
- 平らなパレットの上
- 温度 20 ℃、湿度 50%RH の環境

■保管場所として適さない場所

次のような場所は避けてください。

- 床の上（直接置く）
- 直射日光の当たる場所
- 外壁の内側の近く
- 段差や、曲がりのある場所
- 静電気が発生する場所
- 過度の温度上昇と、急激な温度変化のある場所
- 複写機、空調機、ヒーター、ダクトの近く

保管方法

次のような状態で保管してください。

- 開封後の残りの用紙は、ほこりが付かないよう、包装してあった紙に包む
- 本製品を長期間にわたり使用しないときは、給紙カセットや給紙トレイから用紙を抜き取り、包装してあった紙に包む

POINT

- 長時間放置した用紙を使用した場合、次のような現象が発生し、うまく印刷できない場合があります。
  - 印刷した用紙が丸まり、排出不良となる
  - 印刷した用紙にシワが発生する
  - 紙詰まりが発生する
- 再生紙を使用する場合は、次の点にご注意ください。
  - 湿度が高い環境では用紙が吸湿するため、印刷時に紙詰まりやシワ、折れ、印字乱れなどが発生する場合があります。高湿度環境下では、包装紙から必要な分だけ用紙を取り出して使用してください。
    また、夜間／休日などのプリンタ停止時は、給紙カセット／給紙トレイに用紙を放置しないでください。プリンタから用紙を取り出して包装紙に戻し、密閉して保管してください。
  - 「再生紙」は銘柄によって吸湿の傾向が異なります。特に、夏場の空調が入らないような高温・高湿環境で使用する場合は、事前に同様の環境で充分な確認を行ったうえで、銘柄を選定してください。

7

第 7 章

こんなときには

この章では、故障が発生したと思われるとき、紙詰まりのとき、各種メッセージが表示されたときの対処方法について説明します。

1 紙詰まりになったとき

紙詰まりが発生したときの対処方法は、次のとおりです。

紙詰まり発生時の状態と発生場所

発生時の状態

紙詰まりが発生するとメッセージランプが点灯し、液晶ディスプレイに「カミヅマリ」と表示されます。また、エラーメッセージには、「キュウシトレイ」「プリンタナイブ」などのように紙詰まりが発生した場所も表示されます。
紙詰まりに関するエラーメッセージと対処時の参照先については、次の表をご覧ください。

表：エラーメッセージ一覧

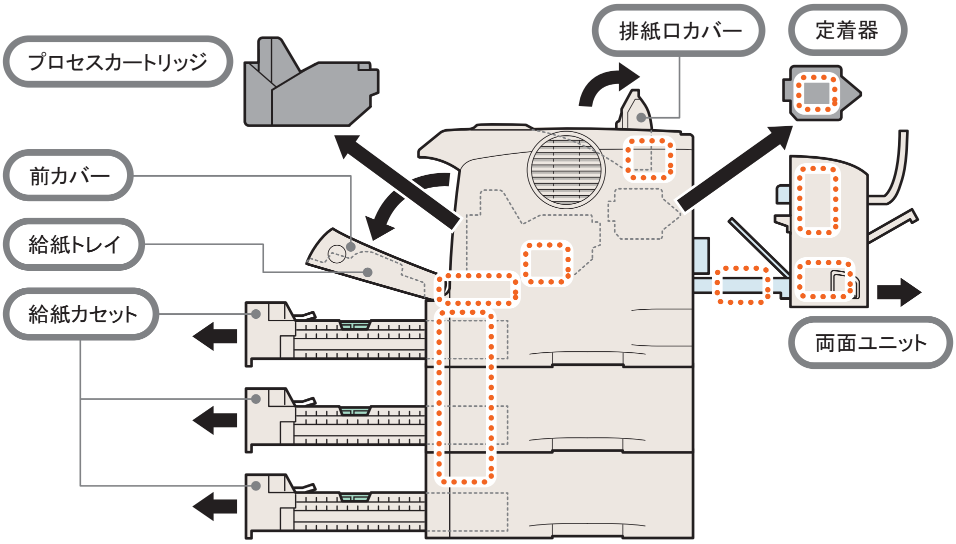
<table>
<tr><th>表示メッセージ</th><th>参照先</th></tr>
<tr><td>2241　カミヅマリ
プリンタナイブ</td><td>・「給紙トレイで詰まった用紙を取り除く」（→ P.140）
・「プリンタ内部に詰まった用紙を取り除く」（→ P.144）
参照先の取り除き方で、詰まった用紙が取り除けない場合は、「詰まった用紙を取り除けない、または見当たらない場合」（→ P.151）をご覧ください。</td></tr>
<tr><td>2242　カミヅマリ
プリンタナイブ</td><td>・「給紙カセット付近で詰まった用紙を取り除く」（→ P.138）
参照先の取り除き方で、詰まった用紙が取り除けない場合は、「詰まった用紙を取り除けない、または見当たらない場合」（→ P.151）をご覧ください。</td></tr>
<tr><td>2243　カミヅマリ
プリンタナイブ</td><td rowspan="3">・「給紙カセット付近で詰まった用紙を取り除く」（→ P.138）
・「プリンタ内部に詰まった用紙を取り除く」（→ P.144）
・「両面ユニットに詰まった用紙を取り除く」（→ P.147）
参照先の取り除き方で、詰まった用紙が取り除けない場合は、「詰まった用紙を取り除けない、または見当たらない場合」（→ P.151）をご覧ください。</td></tr>
<tr><td>2244　カミヅマリ
プリンタナイブ／リョウメン
［注］「／リョウメン」は、両面ユニットを取り付けている場合に表示されます。</td></tr>
<tr><td>2245　カミヅマリ
プリンタナイブ</td></tr>
<tr><td>2252　カミヅマリ
カセット 2</td><td rowspan="2">・「給紙カセット付近で詰まった用紙を取り除く」（→ P.138）
参照先の取り除き方で、詰まった用紙が取り除けない場合は、「詰まった用紙を取り除けない、または見当たらない場合」（→ P.151）をご覧ください。</td></tr>
<tr><td>2253　カミヅマリ
カセット 3</td></tr>
<tr><td>2261　カミヅマリ
リョウメン／ハイシグチ
［注］両面ユニットを取り付けている場合
または
2261　カミヅマリ
ハイシグチ／プリンタナイブ
［注］両面ユニットを取り付けていない場合</td><td rowspan="2">・「排紙口付近で詰まった用紙を取り除く」（→ P.142）
・「プリンタ内部に詰まった用紙を取り除く」（→ P.144）
・「両面ユニットに詰まった用紙を取り除く」（→ P.147）
参照先の取り除き方で、詰まった用紙が取り除けない場合は、「詰まった用紙を取り除けない、または見当たらない場合」（→ P.151）をご覧ください。</td></tr>
<tr><td>2262　カミヅマリ
ハイシグチ／リョウメン
［注］「／リョウメン」は、両面ユニットを取り付けている場合に表示されます。</td></tr>
</table>

表：エラーメッセージ一覧

表示メッセージ	参照先
2273　カミヅマリ リョウメン／プリンタナイブ ［注］「リョウメン／」は、両面ユニットを取り付けている場合に表示されます。	・「プリンタ内部に詰まった用紙を取り除く」（→ P.144） ・「両面ユニットに詰まった用紙を取り除く」（→ P.147） 参照先の取り除き方で、詰まった用紙が取り除けない場合は、「詰まった用紙を取り除けない、または見当たらない場合」（→ P.151）をご覧ください。
2274　カミヅマリ リョウメン　ユニット	
2275　カミヅマリ リョウメン　ユニット	
2276　カミヅマリ リョウメン　ユニット	
2277　カミヅマリ リョウメン　ユニット	
2278　カミヅマリ リョウメン／プリンタナイブ ［注］「リョウメン／」は、両面ユニットを取り付けている場合に表示されます。	
2440　ヨウシノコリ プリンタナイブ	・「給紙カセット付近で詰まった用紙を取り除く」（→ P.138） ・「給紙トレイで詰まった用紙を取り除く」（→ P.140） 参照先の取り除き方で、詰まった用紙が取り除けない場合は、「詰まった用紙を取り除けない、または見当たらない場合」（→ P.151）をご覧ください。
2450　ヨウシノコリ カセット 2	
2451　ヨウシノコリ カセット 3	
2460　ヨウシノコリ ハイシグチ	・「排紙口付近で詰まった用紙を取り除く」（→ P.142） ・「プリンタ内部に詰まった用紙を取り除く」（→ P.144） 参照先の取り除き方で、詰まった用紙が取り除けない場合は、「詰まった用紙を取り除けない、または見当たらない場合」（→ P.151）をご覧ください。
2470　ヨウシノコリ リョウメン　ユニット	・「プリンタ内部に詰まった用紙を取り除く」（→ P.144） ・「両面ユニットに詰まった用紙を取り除く」（→ P.147） 参照先の取り除き方で、詰まった用紙が取り除けない場合は、「詰まった用紙を取り除けない、または見当たらない場合」（→ P.151）をご覧ください。
2471　ヨウシノコリ リョウメン　ユニット	
2472　ヨウシノコリ リョウメン　ユニット	

発生場所

次の図の⬚で囲まれた位置で、紙詰まりが発生する可能性があります。



※拡張給紙ユニット、両面ユニットはオプション品です。

紙詰まりを防ぐために

紙詰まりを防ぐため、次の点を確認してください。

- プリンタを水平に設置する
- 適切な用紙を使用する（縦目の用紙をお勧めします）
- 給紙カセットや給紙ユニットに用紙を正しくセットする
- カールしていない用紙を使用する
- 給紙カセットを奥に突き当たるまで、しっかりと押し込む

詰まった用紙の取り除き方

オペレータパネルで紙詰まりが発生した場所を確認し、以降で説明する部位ごとの取り除き方をご覧になり、詰まった用紙を取り除いてください。

詰まった用紙をすべて取り除いてカバーを閉じると、印刷可能状態になり、紙詰まりが発生したページから印刷が再開されます。

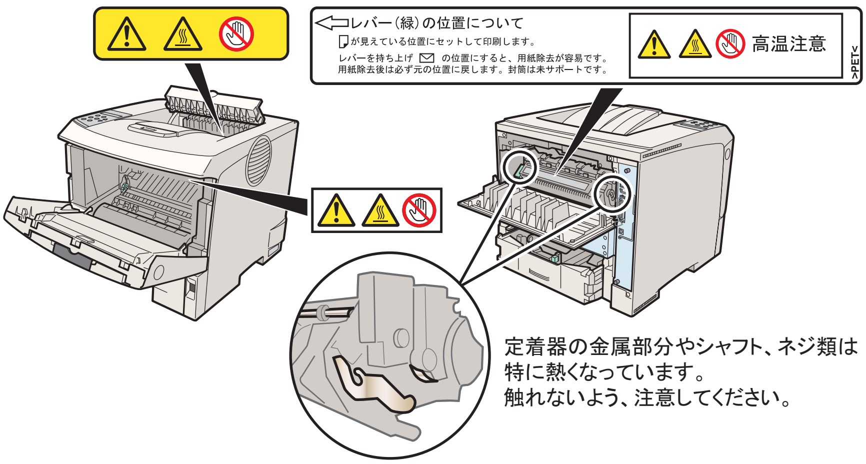
重要

- 詰まった用紙を取り除くときは、破れないように両端を持ってゆっくりと引き出してください。
- 給紙カセットや給紙トレイに詰まった用紙を取り除いた後は、必ず前カバーを一度開き、閉じてください。
- カバーを開くと、オペレータパネルのメッセージが「xxxx　カバーオープン」エラー表示になります。カバーを開く前に紙詰まりのエラーメッセージ内容を確認してください。
また、カバーを閉じると、エラーメッセージ内容が変わる場合があります。
- 詰まった用紙を取り除いてカバーを閉じてもメッセージが消えないときは、用紙がまだ残っています。再度点検して、詰まった用紙を完全に取り除いてください。

⚠注意

- 詰まった用紙を取り除いたり故障処置を行ったりするときは、次の点に注意してください。
  ネックレスやネクタイなどを身に着けていると、プリンタ内部に巻き込まれ、けがの原因になることがあります。必ず外してから操作してください。
  プリンタの突起部分などに触れないように注意してください。けがの原因になることがあります。
- 詰まった用紙を取り除くときは、プリンタ内部に紙片が残らないようすべて取り除いてください。
  紙片が残ったままになっていると火災などの原因になることがあります。
  なお、定着器やローラ部に用紙が巻き付いているときには無理に取らないで、「ハードウェア修理相談センター」（→ P.202）にご連絡ください。

- 詰まった用紙を取り除くときは、次の点に注意してください。
  プリンタを使用した直後は、定着器が非常に熱くなっています。「高温注意」をうながすラベルが貼ってある箇所（定着器の金属部分、シャフト、ネジ類、およびその周辺）には、絶対に触れないでください。やけどの原因になることがあります。
  なお、詰まった用紙を取り除くときに、定着器を取り外す必要がある場合は、後ろカバーを開けて（両面ユニットを取り付けている場合は、両面ユニットを取り外して）1 時間以上待ち、定着器が常温になってから、定着器の取っ手を持って取り外してください。定着器を取り外した後も、金属部分には触れないでください。



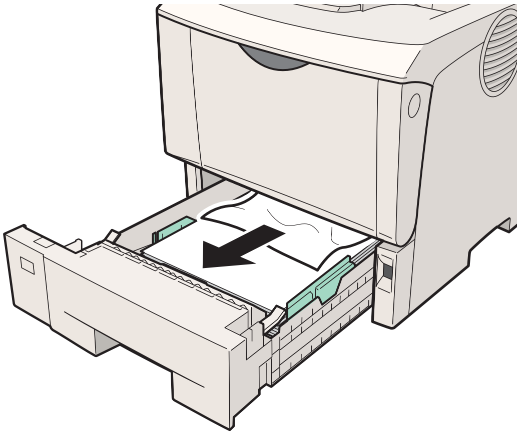
7

給紙カセット付近で詰まった用紙を取り除く

給紙カセット付近（オプションの拡張給紙ユニットを含む）で詰まった用紙は、次の手順で取り除きます。

1 **給紙カセットを止まる位置までゆっくりと引き出し、詰まった用紙を取り除きます。**

詰まった用紙は、破れないように両端を持ってゆっくりと引き出してください。

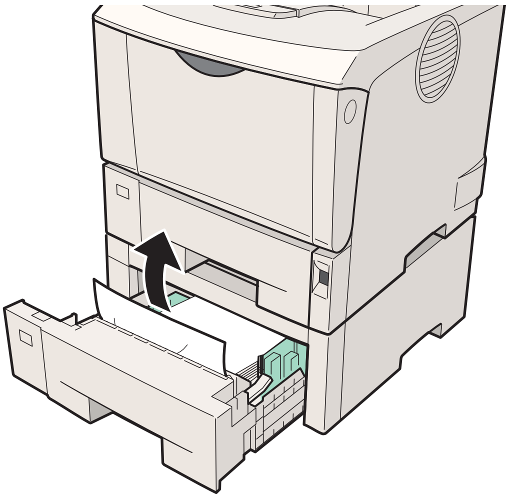


■詰まった用紙を取り除けない、または見当たらない場合

無理に引き出そうとせず、プリンタの背面側から取り除きます。「詰まった用紙を取り除けない、または見当たらない場合」（→ P.151）をご覧ください。

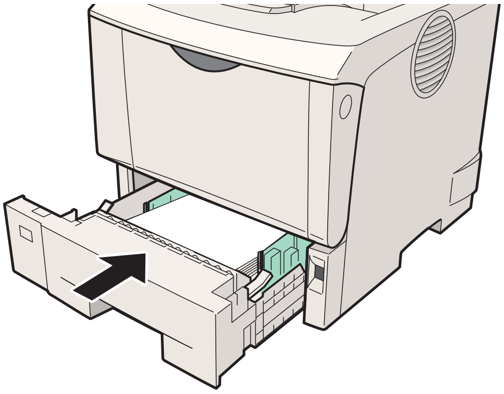
重要

・オプションの拡張給紙ユニットを取り付けている場合は、すべてのカセットを引き出して確認してください。カセットの前方が、用紙の搬送路になっているため、この部分に用紙が詰まっていることがあります。

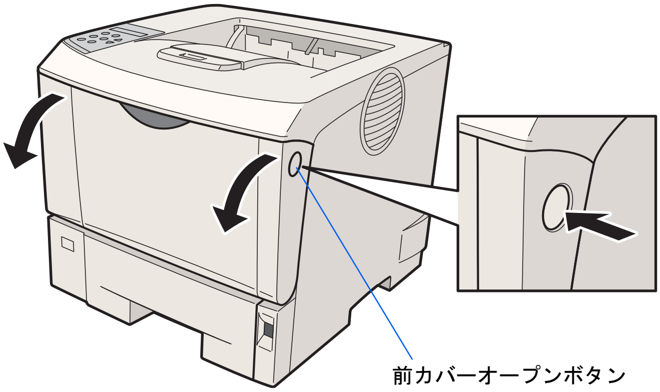


・用紙が破れた場合は、紙片が残っていないかどうかを確認してください。
・セットしてある用紙の中にシワのあるものがあれば、取り除いてください。
・セットしてある用紙が乱れている場合は、整えてください。

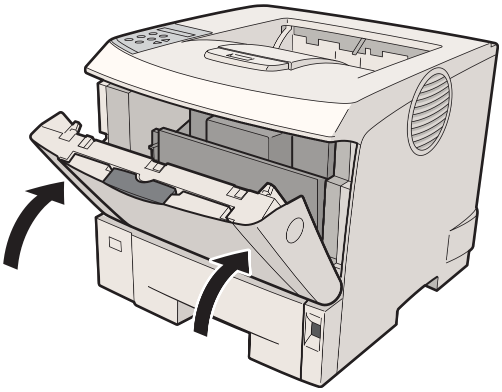
2 給紙カセットを奥までゆっくりと押し込みます。



3 前カバーオープンボタンを押して、前カバーを開きます。



4 前カバーを閉じます。



POINT

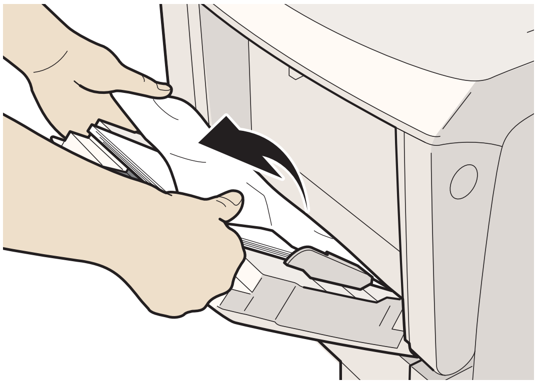
- 前カバーを開閉しないと、エラーは解除されません。
- 前カバーを開くと､オペレータパネルのメッセージが「0001 カバーオープン マエカバー」と表示されます。
  また、前カバーを閉じると、エラーメッセージ内容が変わる場合があります。

給紙トレイで詰まった用紙を取り除く

給紙トレイで詰まった用紙は、次の手順で取り除きます。

1 **詰まった用紙、およびセットしてある用紙をすべて取り除きます。**

詰まった用紙は、破れないように両端を持ってゆっくりと引き出してください。



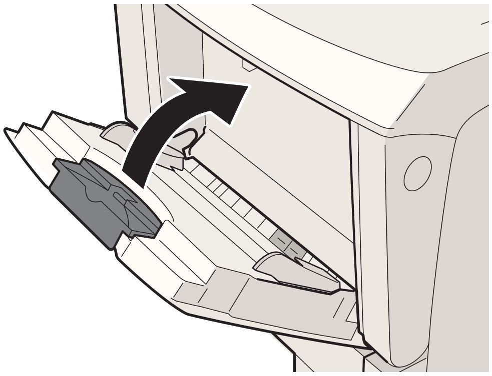
■詰まった用紙を取り除けない、または見当たらない場合

無理に引き出そうとせず、プリンタの背面側から取り除きます。「詰まった用紙を取り除けない、または見当たらない場合」（→ P.151）をご覧ください。

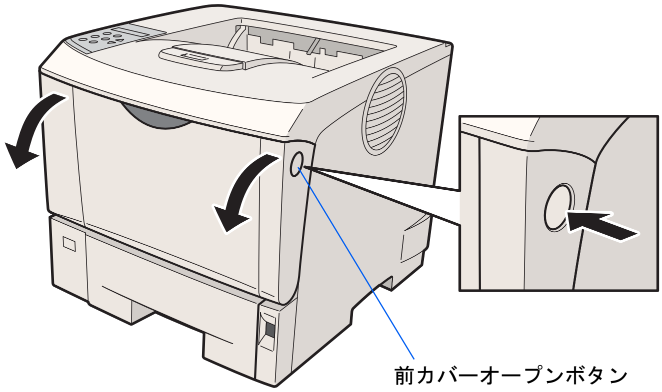
重要

・用紙が破れた場合は、紙片が残っていないかどうかを確認してください。

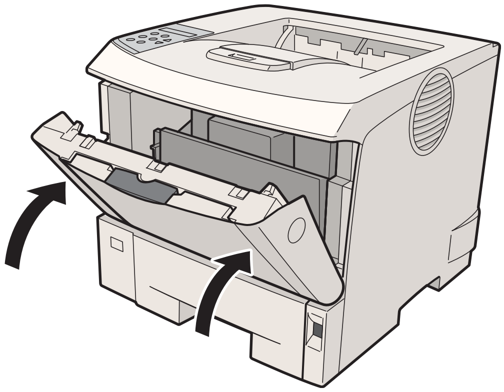
2 **給紙トレイを閉じます。**



3 前カバーオープンボタンを押して、前カバーを開きます。



4 前カバーを閉じます。



POINT

- 前カバーを開閉しないと、エラーは解除されません。
- 前カバーを開くと､オペレータパネルのメッセージが｢0001 カバーオープン マエカバー｣と表示されます。
  また、前カバーを閉じると、エラーメッセージ内容が変わる場合があります。

5 給紙トレイを開き、用紙をセットし直します。

詳しくは、「給紙トレイにセットする」（→ P.67）をご覧ください。

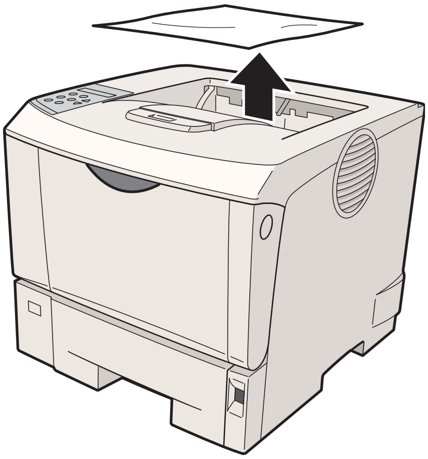
重要

- 反り、シワ、折り目の入った用紙は、使用しないでください。
- 収容枚数を超える用紙をセットしないでください。
- サイドガイドは、セットした用紙の端面にしっかりと合わせてください。サイドガイドと用紙の端面にすきまがあると、印刷位置のずれや傾きが発生する原因となります。
  ただし、用紙が曲がるほど強く押しつけると、給紙が正しく行われない原因となりますので、触れる程度としてください。

排紙口付近で詰まった用紙を取り除く

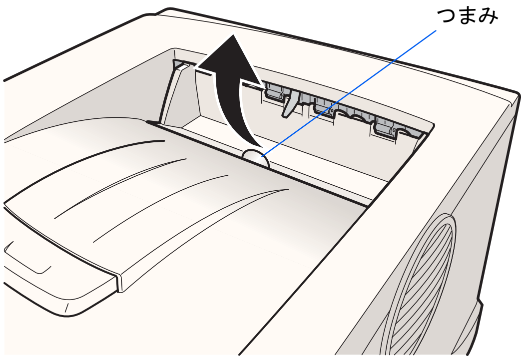
排紙口付近で詰まった用紙は、次の手順で取り除きます。

1 **排紙トレイに用紙がある場合は、取り除きます。**



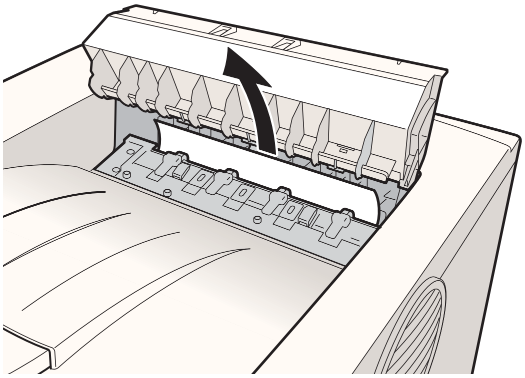
2 **排紙口カバーを開きます。**

つまみを持ち、「OPEN」の矢印の方向（手前）に引き上げてください。



3 詰まった用紙を取り除きます。

詰まった用紙は、破れないように両端を持ってゆっくりと引き出してください。



■詰まった用紙を取り除けない、または見当たらない場合

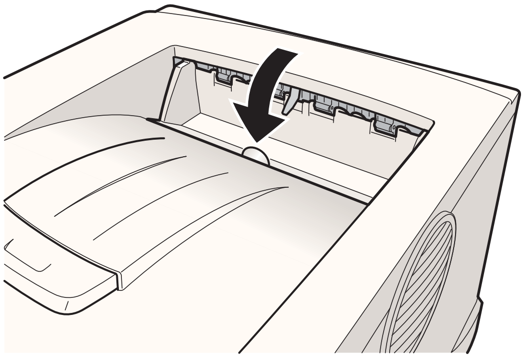
無理に引き出そうとせず、プリンタの背面側から取り除きます。「詰まった用紙を取り除けない、または見当たらない場合」（→ P.151）をご覧ください。

重要

・用紙が破れた場合は、紙片が残っていないかどうかを確認してください。

4 排紙口カバーを閉じます。

カチッと音がするまで押し込んでください。



7

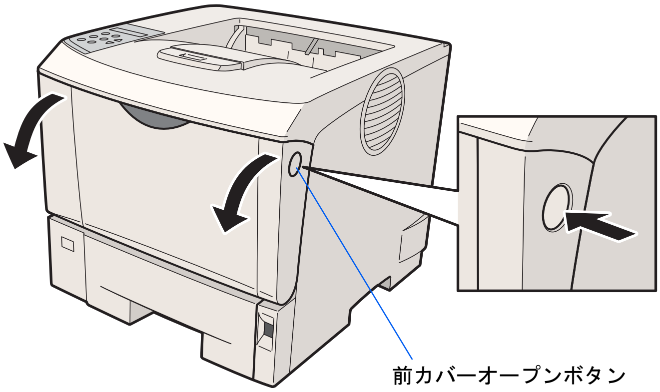
プリンタ内部に詰まった用紙を取り除く

プリンタ内部に詰まった用紙は、次の手順で取り除きます。

POINT

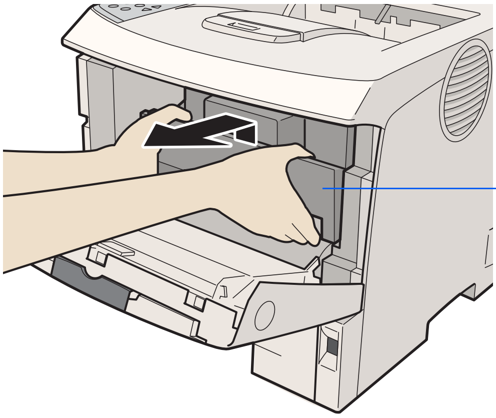
・給紙トレイに用紙をセットしている場合は、いったん用紙を取り除き、給紙トレイを閉じてください。

1 **前カバーオープンボタンを押して、前カバーを開きます。**



2 **プロセスカートリッジの取っ手を持ち、少し持ち上げながら手前に引き抜きます。**

取り外したプロセスカートリッジを処分するときは、当社の回収サービス（「使用済みカートリッジの回収サービス」（→ P.81））をご利用ください。

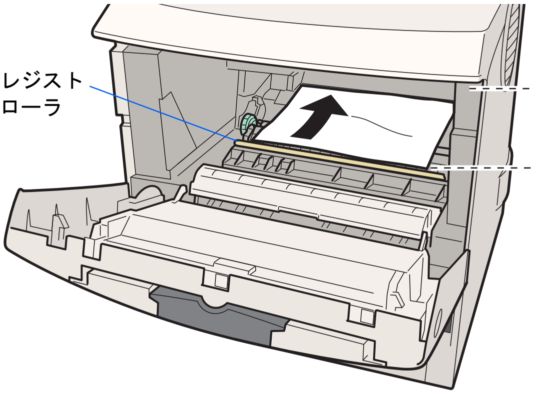


重要

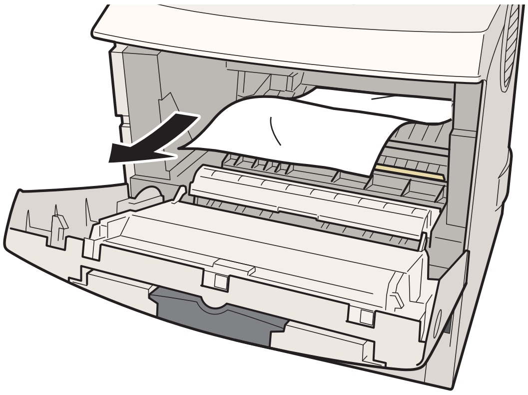
・プロセスカートリッジは、直射日光や強い光（約 1500 ルクス以上）に当てないでください。通常の室内灯の下でも、5 分以上放置する場合は、プロセスカートリッジを梱包されていた袋に入れるか、厚い布などで包んでください。
・トナーで汚さないよう、取り出したプロセスカートリッジを置く場所には、あらかじめ紙などを敷いておいてください。また、斜めに立て掛けたり、逆さまにしたりしないでください。
・プロセスカートリッジを振ったり、傾けたり、衝撃を与えたりしないでください。トナー漏れ、印刷障害、故障の原因になります。

3 詰まった用紙を取り除きます。

1. 用紙の後端が、レジストローラから外れるまで、本体奥の方向に用紙を送ります。



2. 用紙の後端を持ち、レジストローラの上をまたぐようにして、手前に引き出します。
   手やレジストローラにトナーが付着しないように注意しながら、破れないように両端を持ってゆっくりと引き出してください。



■詰まった用紙を取り除けない、または見当たらない場合

無理に引き出そうとせず、プリンタの背面側から取り除きます。「詰まった用紙を取り除けない、または見当たらない場合」（→ P.151）をご覧ください。

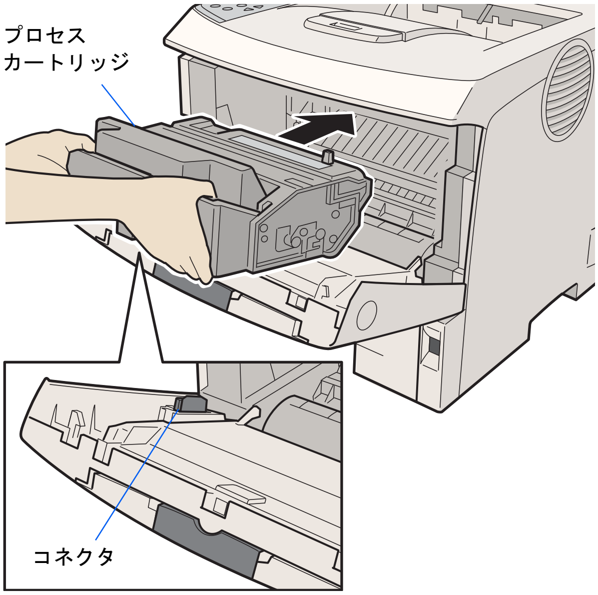
重要

・用紙が破れた場合は、紙片が残っていないかどうかを確認してください。

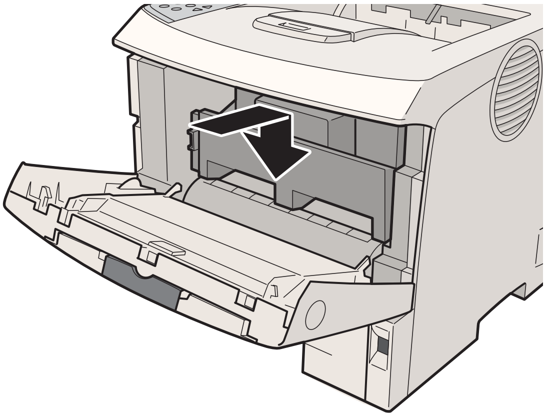
7

4 プロセスカートリッジの取っ手を持ち、プリンタ内部に静かに挿入します。

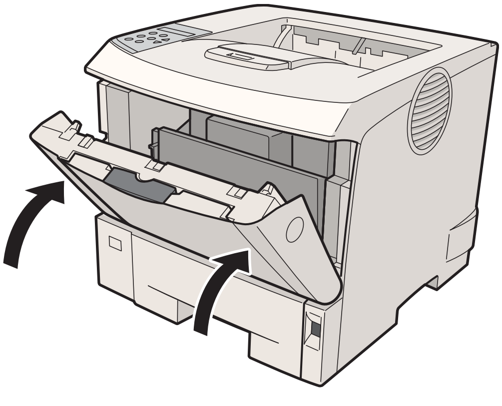
前カバーにあるコネクタにぶつけないよう、注意してください。



5 奥に突き当たったところで、プロセスカートリッジを押し下げます。



6 前カバーを閉じます。



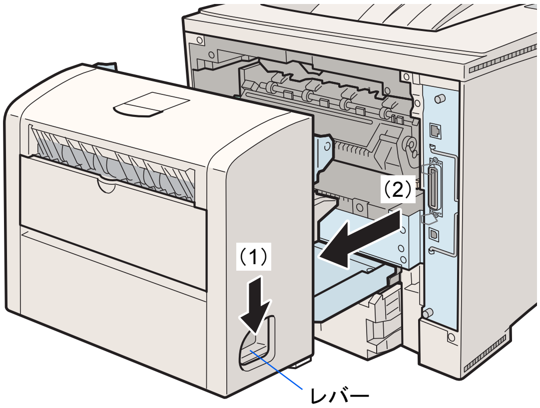
POINT

・前カバーが閉じない場合は、プロセスカートリッジが正しく取り付けられていません。プロセスカートリッジを取り付け直してください。

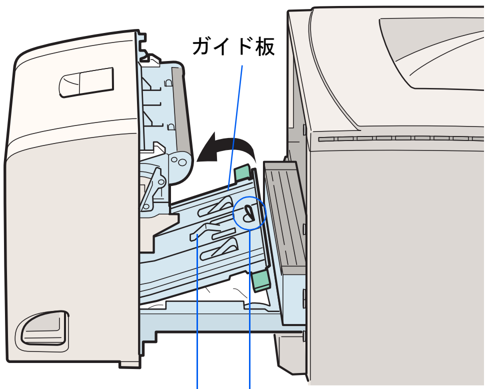
両面ユニットに詰まった用紙を取り除く

両面ユニット内に詰まった用紙は、次の手順で取り除きます。

1 **（1）両面ユニット側面のレバーを押し下げて、（2）両面ユニットを止まる位置まで引き出します。**



2 **両面ユニットのガイド板を、イラストで示した位置にあるつまみ（　）を持って開きます。**

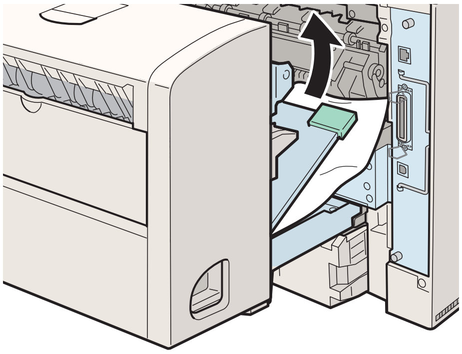


重要

・ガイド板の中央部分にある、アース板を持って開かないでください。

3 詰まった用紙を取り除きます。

詰まった用紙は、破れないように両端を持ってゆっくりと引き出してください。



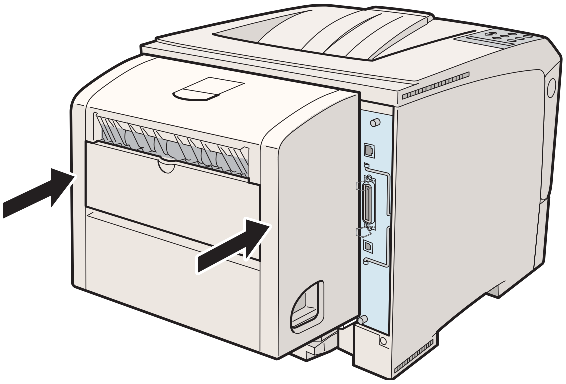
■詰まった用紙を取り除けない、または見当たらない場合

無理に引き出そうとせず、プリンタの背面側から取り除きます。「詰まった用紙を取り除けない、または見当たらない場合」（→ P.151）をご覧ください。

重要

・用紙が破れた場合は、紙片が残っていないかどうかを確認してください。

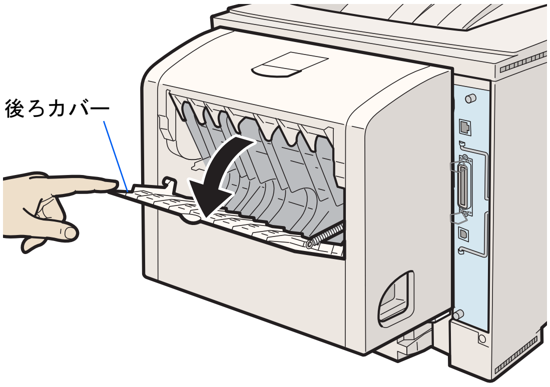
4 両面ユニットをしっかりとプリンタ本体に押し込みます。



5 液晶ディスプレイに表示されていた、紙詰まりに関するエラーメッセージが消えたかどうか、確認します。

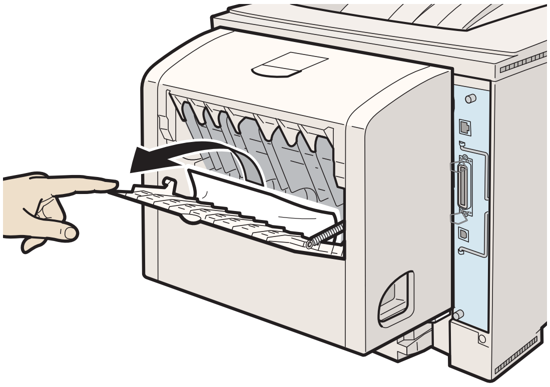
詰まった用紙をすべて取り除けた場合は、エラーメッセージの表示が消えます。
エラーメッセージの表示が消えない場合は、次の手順に進んでください。

6 両面ユニットの後ろカバーを開きます。



7 内部を確認し、詰まった用紙があれば取り除きます。

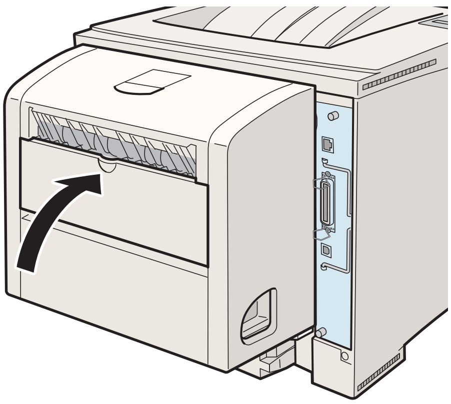
詰まった用紙は、破れないように両端を持ってゆっくりと引き出してください。



重要

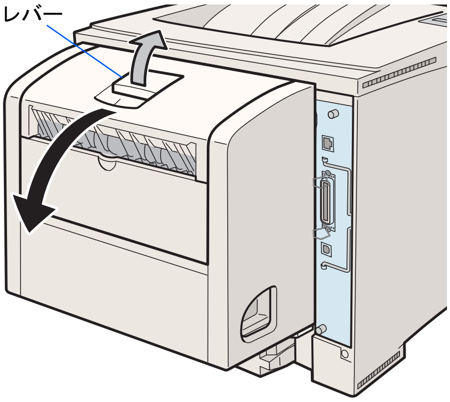
・用紙が破れた場合は、紙片が残っていないかどうかを確認してください。

8 両面ユニットの後ろカバーを閉じます。



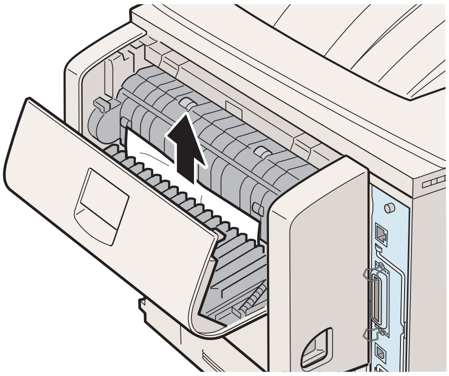
9 両面ユニットの上カバーを開きます。

カバー上部にあるレバーを引き上げながら、手前に開いてください。



10 内部を確認し、詰まった用紙があれば取り除きます。

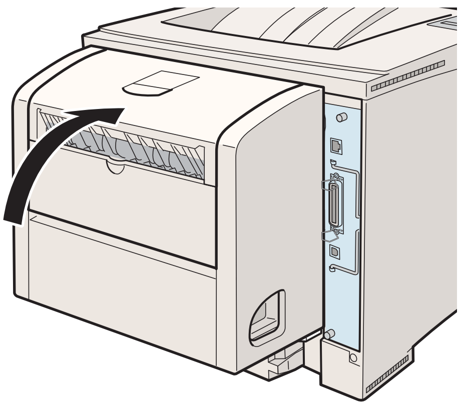
詰まった用紙は、破れないように両端を持ってゆっくりと引き出してください。



重要

・用紙が破れた場合は、紙片が残っていないかどうかを確認してください。

11 両面ユニットの上カバーを閉じます。



12 液晶ディスプレイに表示されていた、紙詰まりに関するエラーメッセージが消えたかどうか、確認します。

詰まった用紙をすべて取り除けた場合は、エラーメッセージの表示が消えます。
エラーメッセージの表示が消えない場合は、プリンタ内部にまだ用紙が残っている可能性があります。「プリンタ内部に詰まった用紙を取り除く」（→ P.144）をご覧になり、プリンタ内部に詰まった用紙がないか確認してください。

13 オプションの拡張給紙ユニットを取り付けている場合は、カセットを引き出して、用紙の搬送部分に詰まった用紙がないか確認します。

詳しくは、「給紙カセット付近で詰まった用紙を取り除く」（→ P.138）の手順 1 内の「重要」をご覧ください。

詰まった用紙を取り除けない、または見当たらない場合

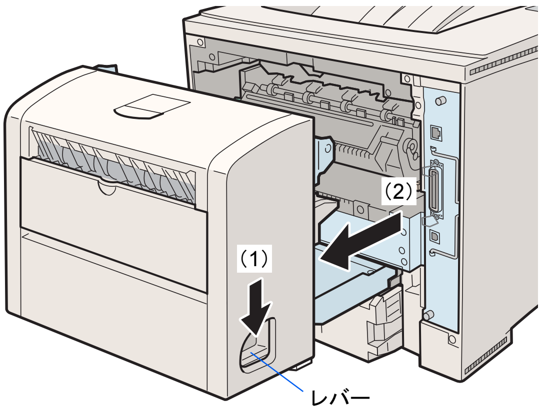
詰まった用紙を取り除けない場合や、用紙が見当たらない場合は、プリンタの背面側から取り除きます。

1 両面ユニット、または後ろカバーを取り外します。

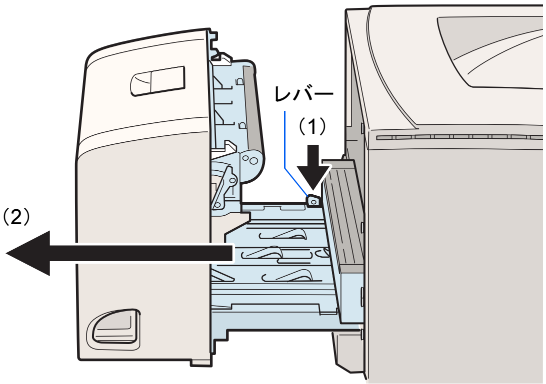
■ 両面ユニットを取り付けている場合

両面ユニットを取り付けている場合は、両面ユニットを取り外します。

1. （1）両面ユニット側面のレバーを押し下げて、（2）両面ユニットを止まる位置まで引き出します。

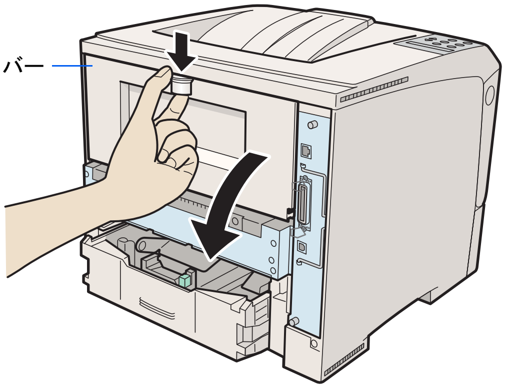


2. （1）両面ユニットの底板にあるレバーを押しながら、（2）両面ユニットを引き抜きます。

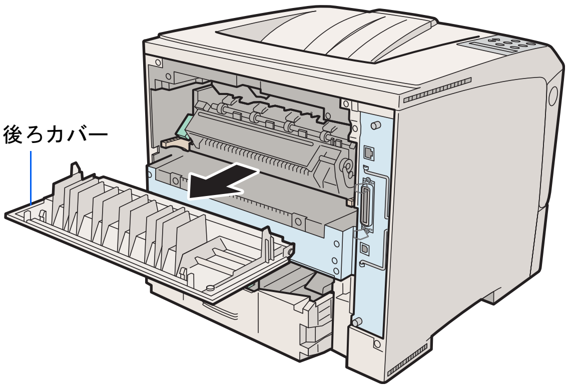


■両面ユニットを取り付けていない場合

1. 後ろカバーを開きます。



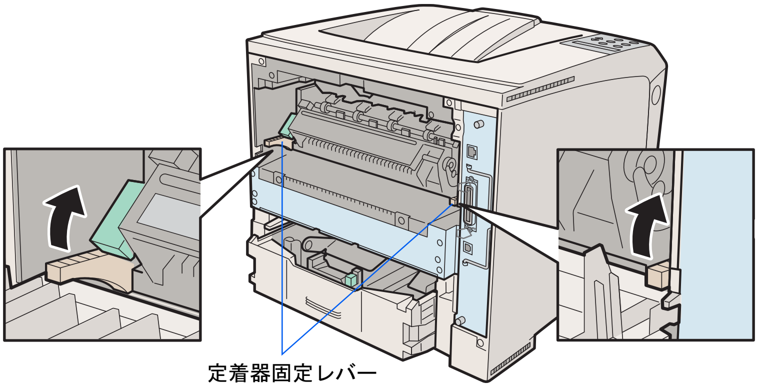
2. 後ろカバーを水平方向に取り外します。



重要

・取り外したカバーは、後で元通りに取り付けます。紛失しないよう、大切に保管してください。

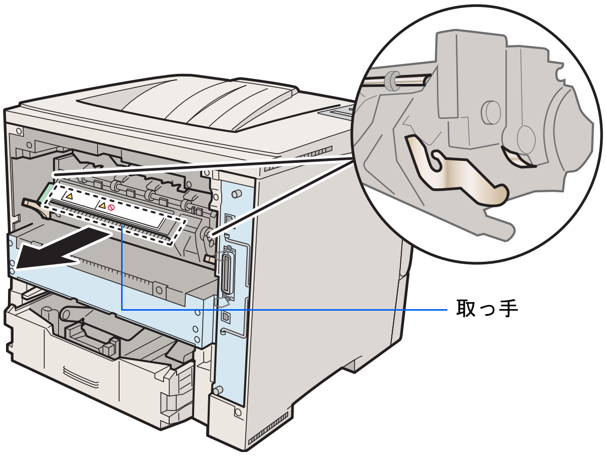
2 定着器が常温になるまで 1 時間以上待ってから、定着器の左右にある定着器固定レバーを上げて、定着器のロックを解除します。



重要

・定着器の金属部分やシャフト、ネジ類は、非常に高温となっており、直接触れるとやけどすることがあります。常温になるまで、1 時間以上お待ちください。

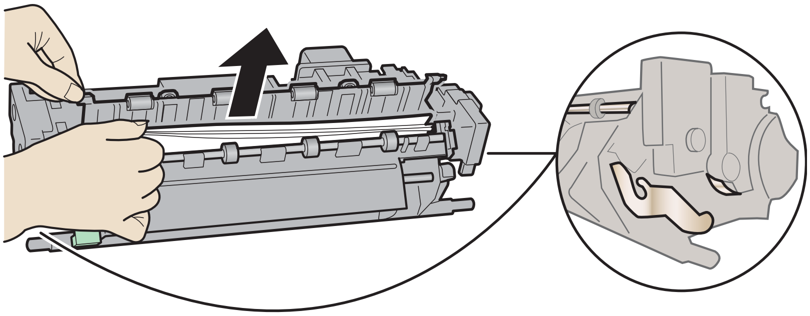
3 定着器の取っ手（警告ラベルの下、イラストの点線で囲んでいる部分）を持って、定着器を取り外します。



重要

・定着器の金属部分やシャフト、ネジ類は、高温となっています。触れないように注意しながら、取っ手を持って取り外してください。取り外した後も、金属部分には触れないでください。

4 定着器のカバーを開いて、詰まった用紙を取り除きます。

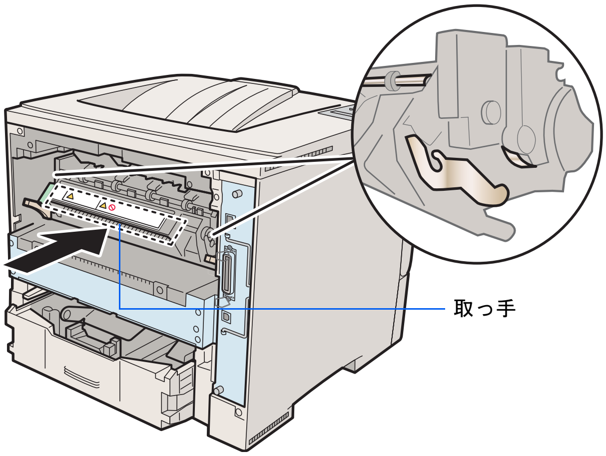


重要

・定着器の金属部分やシャフト、ネジ類は、高温となっています。触れないように注意しながら、詰まった用紙を取り除いてください。

5 定着器のカバーをしっかりと閉めます。

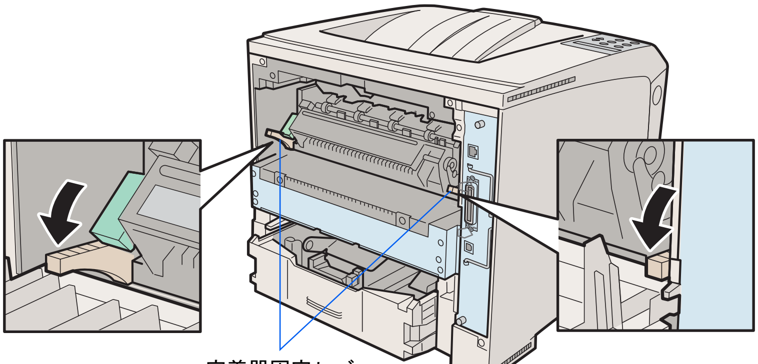
6 定着器の取っ手（警告ラベルの下、イラストの点線で囲んでいる部分）を持って、プリンタ内部に挿入します。



重要

・定着器の金属部分やシャフト、ネジ類は、高温となっています。触れないように注意しながら、取っ手を持って挿入してください。

7 定着器固定レバーを倒して、定着器を固定します。



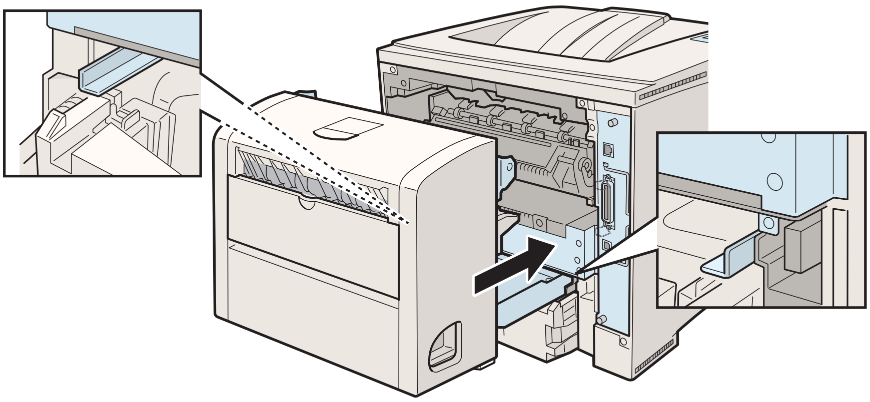
重要

- 定着器の金属部分やシャフト、ネジ類は、高温となっています。触れないように注意してください。
- 定着器固定レバーは、止まるまで倒して、定着器を確実に固定してください。
  定着器が固定されていないと、紙詰まりが発生する場合があります。

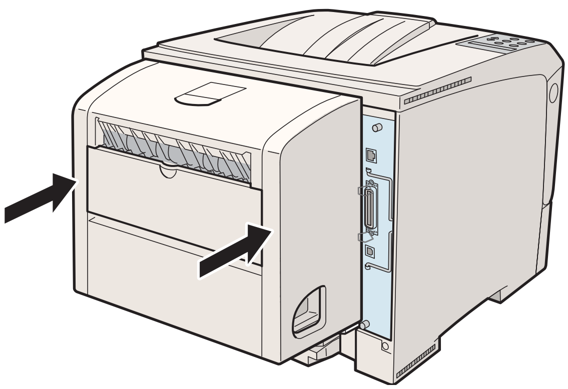
8 両面ユニット、または後ろカバーを取り付けます。

■両面ユニットを取り付ける場合

1. 両面ユニットを、プリンタ本体背面にあるレールに沿って差し込みます。



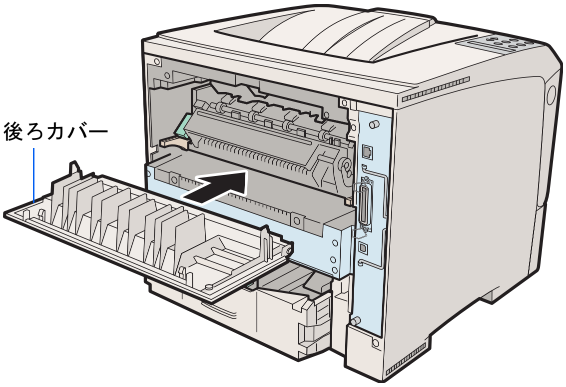
2. 両面ユニットをしっかりとプリンタ本体に押し込みます。



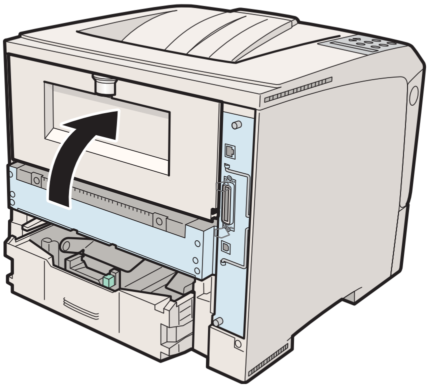
■後ろカバーを取り付ける場合

1. プリンタ本体に後ろカバーを取り付けます。

   プリンタ内部の溝に沿わせて、水平に取り付けてください。



2. 後ろカバーを閉じます。



9 オプションの拡張給紙ユニットを取り付けている場合は、カセットを引き出して、用紙の搬送部分に詰まった用紙がないか確認します。

詳しくは、「給紙カセット付近で詰まった用紙を取り除く」（→ P.138）の手順 1 内の「重要」をご覧ください。

2 故障かなと思ったとき

故障かなと思っても、故障ではないことがよくあります。まず、次の各項目をご確認ください。

POINT

・パソコンのアプリケーションからの印刷時やネットワーク経由で使用時のトラブルについては、『ソフトウェアガイド』の「第 9 章 こんなときには」をご覧ください。

表：確認項目

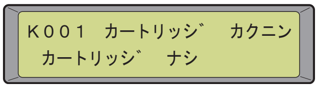
こんなとき	よくある例	ここをお調べください	参照先
電源が入らない 電源を入れてもすぐに切れる	・電源コードの抜け ・停電 ・コンセントに問題あり ・電圧が違う	・電源コードを確実に差し込み、電源が入っている（「On」側に倒れている）ことを確認してください。 ・他の電気製品が動作することを確認してください。 ・コンセントの電圧を調べてください。	・「安全上のご注意」（→ P.7） ・『設置ガイド』 ・「各部の名称と機能」（→ P.20）
印刷されない	・プリンタの電源が入っていない。 ・LAN ケーブル、パラレルケーブル、プリンタ USB ケーブルが抜けている。 ・オンライン状態でない。	・LAN ケーブル、パラレルケーブル、プリンタ USB ケーブルが外れていないか確認してください。 ・「オンライン」ランプが点灯し、「オンライン」と表示されていることを確認してください。	・『設置ガイド』 ・「LAN ケーブル接続の場合」（→ P.30） ・「パラレルケーブル接続の場合」（→ P.33） ・「プリンタ USB ケーブル接続の場合」（→ P.35）
正しい用紙をセットしているのに、エラーが表示される	・給紙カセットの用紙サイズダイヤルの設定と、セットした用紙のサイズが異なっている。 ・給紙トレイの用紙サイズ設定と、セットした用紙サイズが異なっている。	・Printianavi 機能を利用してプリンタの状態を表示し、カセットの用紙サイズを確認してください。 ・給紙カセットの用紙サイズダイヤルを確認してください。 ・給紙トレイの用紙サイズ設定が、正しいかどうか確認してください。	・「ソフトウェアガイド」 ・「用紙をセットする」（→ P.58）
オペレータパネルのスイッチが機能しない	オペレータパネルの操作が制限されている。	オペレータパネルの操作制限を解除してください。	「オペレータパネルの操作制限」（→ P.123）
オペレータパネルのスイッチがときどき機能しない	・スイッチを確実に押していない。 ・プリンタの状態で効かないスイッチがある。	スイッチの中央部をしっかり押してください。	「オペレータパネルの操作」（→ P.97）
異常音がする	・プリンタ内部に用紙くずやクリップなどの異物がある。 ・給紙カセットの装着が不完全。 ・両面ユニットの装着が不完全。	・プリンタ内部を点検してください。 ・給紙カセットを完全に装着してください。 ・両面ユニットを完全に装着してください。	・「用紙をセットする」（→ P.58） ・「紙詰まりになったとき」（→ P.134） ・「両面ユニットの取り付け」（→ P.52）

7

表：確認項目

こんなとき	よくある例	ここをお調べください	参照先
用紙が傾く、破れる、詰まる	・用紙が正しくセットされていない。 ・用紙が適切でない。 ・プリンタが水平でない。 ・給紙コロ、レジストローラ、フリクションパッドが汚れている。 ・一度印刷された用紙を使用している。 ・裏紙を使用している。 ・給紙トレイや給紙カセットの用紙ガイドが正しくセットされていない。	それぞれの状態をよく確認し、適切な処置を行ってください。用紙やプリンタの設置状態に異常がなければ、給紙コロ、レジストローラ、フリクションパッドを清掃してください。	・「安全上のご注意」(→ P.7) ・「使用できる用紙と保管方法」(→ P.125) ・「プリンタを清掃する」(→ P.84)
用紙が二重送りされる	・用紙どうしがくっついてしまう。 ・フリクションパッド、給紙コロが汚れている。 ・一度印刷された用紙を使用している。 ・裏紙を使用している。	それぞれの状態をよく確認し、適切な処置を行ってください。 ・OHP フィルムの場合は 1 枚ずつセットして印刷してください。 ・フリクションパッド、給紙コロが汚れていないか確認してください。	・「用紙をセットする」(→ P.58) ・「使用できる用紙と保管方法」(→ P.125) ・「プリンタを清掃する」(→ P.84)
紙詰まりが発生した	・用紙がくっつきやすい。 ・用紙が正しくセットされていない。 ・用紙が適切でない。 ・プリンタが水平でない。 ・給紙コロ、レジストローラ、フリクションパッドが汚れている。 ・一度印刷された用紙を使用している。 ・裏紙を使用している。 ・印刷中に給紙カセットを引き抜いた。 ・給紙カセットが正しくセットされていない。	それぞれの状態をよく確認し、適切な処置を行ってください。 ・給紙コロ、レジストローラ、フリクションパッドを清掃してください。 ・「縦目」の用紙をお勧めします。	・「安全上のご注意」(→ P.7) ・「使用できる用紙と保管方法」(→ P.125) ・「紙詰まりになったとき」(→ P.134) ・「プリンタを清掃する」(→ P.84)
給紙カセットの出し入れができない	・印刷中に電源を切った。 ・紙詰まりが発生している。	それぞれの状態をよく確認し、適切な処置を行ってください。 ・電源を「Off」側に倒して切り、数秒経過後に入れてください。 ・オプションの拡張給紙ユニットを取り付けている場合は、カセット内の用紙の搬送路に、用紙が詰まっていることがあります。	・『設置ガイド』 ・「紙詰まりになったとき」(→ P.134)
エラーメッセージが表示され、印刷されない	—	エラーメッセージの内容を確認し、適切な処置を行ってください。	「オペレータパネルに表示されるメッセージ」(→ P.166)
裏面が汚れる	・プリンタ内の用紙搬送路が汚れている。 ・給紙コロ、レジストローラ、フリクションパッドが汚れている。 ・一度印刷された用紙を使用している。 ・裏紙を使用している。	数枚テスト印刷して、汚れがとれたかどうか判断してください。 オペレータパネルでプリンタをメニューモードにして、テスト印刷をしてください。	・「プリンタを清掃する」(→ P.84) ・「基本的な操作方法」(→ P.104) ・「使用できる用紙と保管方法」(→ P.125)
用紙がないのにブザーが鳴らない	・ブザーが鳴らない設定にしている。 ・給紙トレイから用紙を補給している。	・オペレータパネルでプリンタをメニューモードにして、ブザーの設定値を「ON」にしてください。 ・給紙トレイからの印刷時は、ブザーは鳴りません。	「基本的な操作方法」(→ P.104)

表：確認項目

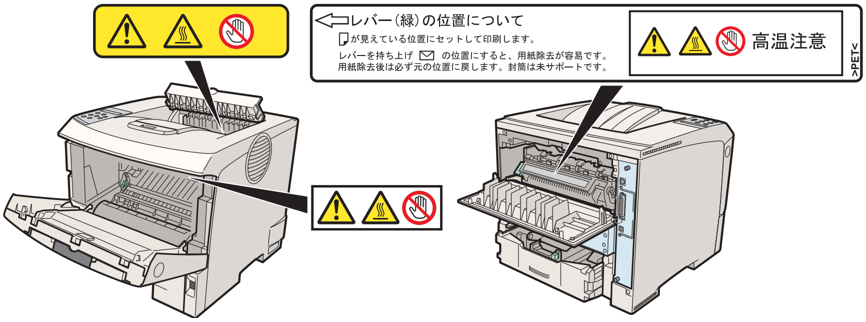
こんなとき	よくある例	ここをお調べください	参照先
給紙カセットに用紙をセットしてあるのに、「ヨウシナシ」とエラーが表示される	給紙カセットにセットされた用紙が、たわんでいる、またはカールしている。	給紙カセット内の用紙、および用紙ガイドが正しくセットされていることを確認してください。	「給紙カセットに用紙をセットする」（→ P.60）
プロセスカートリッジを取り付けても、「カートリッジ　ナシ」とエラーが表示される	・他社製のプロセスカートリッジを取り付けている。 ・プロセスカートリッジが故障している。	・他社製のプロセスカートリッジを使用していないか確認してください。 ・前カバーを開いている場合には、前カバーを閉じてください。 純正のプロセスカートリッジを使用していて、次のエラーメッセージが表示される場合にはプロセスカートリッジが故障しています。新しいプロセスカートリッジに交換してください。 	「プロセスカートリッジを交換する」（→ P.76）
印刷開始時や印刷中にジュンビと表示される	印刷終了後、すぐに異なる用紙設定の印刷を開始した。	定着器の温度調整中であり、プリンタの異常ではありません。しばらく待つと印刷が再開されます。	―
・液晶ディスプレイの表示が判読できない ・プリンタの動作が安定しない ・ハングアップする	静電気による誤作動が起きた。	アースが正しく接続されていることを確認してください。	「安全上のご注意」（→ P.7）
連続印刷にもかかわらず、印刷速度が遅い、または遅くなる	アプリケーション側で印刷処理に時間がかかっている。	・解像度を下げてみてください。 ・他のアプリケーションと印刷速度を比べてみてください。	「ソフトウェアガイド」
	・連続で 101 ページ以上の両面印刷をしている。 ・用紙幅 171 ㎜未満の用紙を使用している。	定着器の温度調整中であり、プリンタの異常ではありません。	―
	ユーザ定義サイズの用紙を使用している。	・定着器の温度調整中であり、プリンタの異常ではありません。 ・用紙サイズによっては、印刷が遅くなる場合があります。	「ユーザ定義サイズの用紙を印刷する場合の印刷速度」（→ P.190）
・ネットワークに接続できない（オペレータパネルのリンクランプが点灯しない） ・ネットワーク経由での印刷速度が遅い	・LAN ケーブルが抜けている。 ・通信速度に適していないLANケーブルを使用している。 ・プリンタ、もしくはハブユニットの Ethernet タイプが一致していない。	・LAN ケーブルが外れていないか確認してください。 ・通信速度に適した LAN ケーブルをご使用ください。 ・プリンタ、またはハブユニットの Ethernet タイプを変更してください。印刷速度が向上する場合があります。 Ethernet タイプには速度（自動、100Mbps、10Mbps）、双方向モード（Full、Half）があります。	「LAN ケーブル接続の場合」（→ P.30）

3 印刷品質が低下したとき

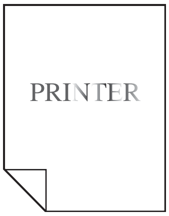
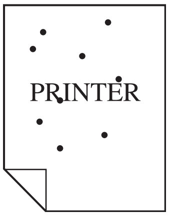
印刷品質が低下したときの処置について説明します。
ここで説明する処置を行っても印刷品質が改善されない場合や、記載以外の現象が起きた場合は、「ハードウェア修理相談センター」（→ P.202）にご連絡ください。

⚠注意

- プリンタを使用した直後は、定着器が非常に熱くなっています。「高温注意」をうながすラベルが貼ってある箇所（定着器やその周辺）には、絶対に触れないでください。
  やけどの原因になることがあります。

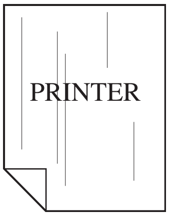
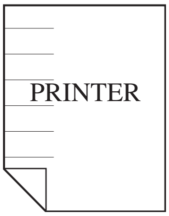
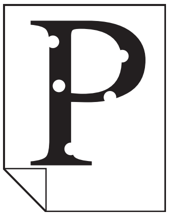
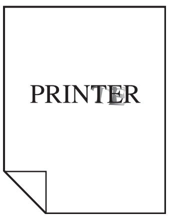


表：確認項目

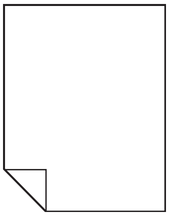
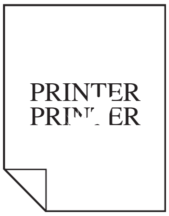
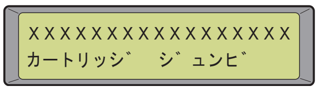
こんなとき	よくある例	ここをお調べください	参照先
印刷が薄い（かすれる、不鮮明）  	印字濃度の設定が適正でない。	印字濃度を調整してください。オペレータパネルでプリンタをメニューモードにして、「ソノタ　ノ　セッテイ」の「インジノウドチョウセイ」で設定してください。	「オペレータパネルの操作」（→ P.97）
	用紙が湿気を含んでいる。	新しい用紙に交換してください。	「用紙をセットする」（→ P.58）
	プロセスカートリッジの交換時期。オペレータパネルに次のメッセージが表示される。 XXXX　カートリッジ゛　コウカン	新しいプロセスカートリッジに交換してください。なお、左記のメッセージが表示される前には、次のメッセージが表示されて、プロセスカートリッジの寿命が近づいていることが通知されます。 オンライン カートリッジ゛　ジ゛ュンビ゛ このメッセージが表示されてから、左記のメッセージが表示されるまでの印刷可能ページ数の目安は、約 200 ページ以内です。	「プロセスカートリッジを交換する」（→ P.76）
	プロセスカートリッジが劣化、または損傷している。		
	プリンタドライバで選択している「用紙種類」の設定が正しくない。	プリンタドライバの「用紙種類」の設定を、お使いの用紙の種類に合わせてください。	「使用できる用紙」（→ P.126） 「ソフトウェアガイド」
	定着器の左側にあるレバー（緑色）が、上がった状態になっている。	定着器の左側にあるレバー（緑色）を、下げた状態（「」マークの位置）に戻してください。	「レバー（緑色）」（→ P.23）
	プリンタが傾いている。	プリンタを水平な場所に設置し直してください。また、プリンタの下を確認し、異物がはさまっている場合は取り除いてください。	「設置および移動に関するご注意」（→ P.7）
黒点「・」や黒い小円「。」が印刷される  	使用している用紙が適切でない。	適切な用紙をセットしてください。	・「使用できる用紙」（→ P.126） ・「使用できない用紙」（→ P.130）
	トナー残量が少なくなった。	新しいプロセスカートリッジに交換してください。	「プロセスカートリッジを交換する」（→ P.76）
	プロセスカートリッジが劣化、または損傷している。		
	定期交換部品の交換時期。 オペレータパネルに次のメッセージが表示される。 XXXXXXXXXXXXXXXXX テイキコウカン　XXXXXX	液晶ディスプレイに表示されている定期交換部品を交換してください。	「定期交換部品について」（→ P.196）
	紙詰まりした用紙に未定着のトナーが付着していたため、用紙搬送ローラ、定着器などが汚れている。	オペレータパネルでプリンタをメニューモードにして、テスト印刷を行ってください。数枚印刷してみて、汚れがとれたかどうか判断してください。	・「オペレータパネルの操作」（→ P.97） ・「プリンタ内部を清掃する」（→ P.85） ・「紙詰まりになったとき」（→ P.134）

7

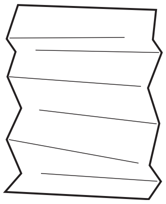
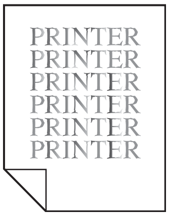
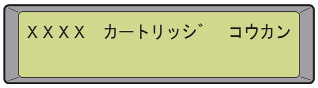
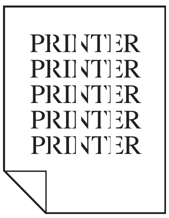
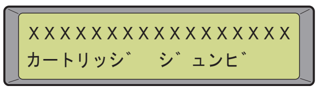
表：確認項目

こんなとき	よくある例	ここをお調べください	参照先
黒線が印刷される 	プロセスカートリッジが劣化、または損傷している。	新しいプロセスカートリッジに交換してください。	「プロセスカートリッジを交換する」（→ P.76）
等間隔に汚れる 	プリンタ内の用紙搬送路が汚れている。	数枚テスト印刷して、汚れがとれたかどうか判断してください。	「オペレータパネルの操作」（→ P.97）
	プロセスカートリッジが劣化、または損傷している。	新しいプロセスカートリッジに交換してください。	「プロセスカートリッジを交換する」（→ P.76）
黒く塗りつぶされた部分に白点がある 	使用している用紙が適切でない。	適切な用紙をセットしてください。	・「使用できる用紙」（→ P.126） ・「使用できない用紙」（→ P.130）
	プロセスカートリッジが劣化、または損傷している。	新しいプロセスカートリッジに交換してください。	「プロセスカートリッジを交換する」（→ P.76）
	プリンタドライバで選択している「用紙種類」の設定が正しくない。	プリンタドライバの「用紙種類」の設定を、お使いの用紙の種類に合わせてください。	「使用できる用紙」（→ P.126） 「ソフトウェアガイド」
	定着器の左側にあるレバー（緑色）が、上がった状態になっている。	定着器の左側にあるレバー（緑色）を、下げた状態（「」マークの位置）に戻してください。	「レバー（緑色）」（→ P.23）
	プリンタが傾いている。	プリンタを水平な場所に設置し直してください。また、プリンタの下を確認し、異物がはさまっている場合は取り除いてください。	「設置および移動に関するご注意」（→ P.7）
指でこすると、印字がはがれる 	用紙が湿気を含んでいる。	新しい用紙に交換してください。	「用紙をセットする」（→ P.58）
	使用している用紙が適切でない。 一度印刷された用紙を使用している。 裏紙を使用している。	適切な用紙をセットしてください。	・「使用できる用紙」（→ P.126） ・「使用できない用紙」（→ P.130）
	結露している。	プリンタを室温に充分になじませてください。	―
	プリンタドライバで選択している「用紙種類」の設定が正しくない。	プリンタドライバの「用紙種類」の設定を、お使いの用紙の種類に合わせてください。	「使用できる用紙」（→ P.126） 「ソフトウェアガイド」
	定着器の左側にあるレバー（緑色）が、上がった状態になっている。	定着器の左側にあるレバー（緑色）を、下げた状態（「」マークの位置）に戻してください。	「レバー（緑色）」（→ P.23）

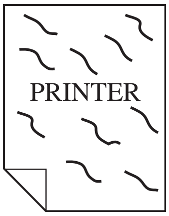
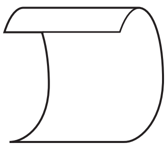
表：確認項目

こんなとき	よくある例	ここをお調べください	参照先
用紙全体に黒色が付いて印刷される 	プロセスカートリッジが劣化、または損傷している。	新しいプロセスカートリッジに交換してください。	「プロセスカートリッジを交換する」(→P.76)
	プリンタ内の高圧電源などの故障が考えられる。	「ハードウェア修理相談センター」にご連絡ください。	「ハードウェア修理相談センター」(→P.202)
	プロセスカートリッジが正しくセットされていない。	プロセスカートリッジを正しくセットしてください。	「プロセスカートリッジを交換する」(→P.76)
何も印刷されない 	プロセスカートリッジのトナーシールが完全に引き抜かれていない。	トナーシールを 2 本とも引き抜きます。	「プロセスカートリッジを交換する」(→P.76)
	一度に複数枚の用紙が搬送されている。	・用紙をいったん取り出し、よくさばいてから再度セットしてください。 ・フリクションパッドが汚れている可能性があります。フリクションパッドを清掃してみてください。	・「用紙をセットする」(→ P.58) ・「プリンタ内部を清掃する」(→ P.85)
	プロセスカートリッジが正しくセットされていない。	プロセスカートリッジを正しくセットしてください。	「プロセスカートリッジを交換する」(→P.76)
	プロセスカートリッジが寿命、劣化、または損傷している。	新しいプロセスカートリッジに交換してください。	
	プリンタ内の高圧電源などの故障が考えられる。	「ハードウェア修理相談センター」にご連絡ください。	「ハードウェア修理相談センター」(→P.202)
	定着器の左側にあるレバー（緑色）が、上がった状態になっている。	定着器の左側にあるレバー（緑色）を、下げた状態（「」マークの位置）に戻してください。	「レバー（緑色）」(→P.23)
白抜けが起こる  	用紙が湿気を含んでいる。	新しい用紙に交換してください。	「用紙をセットする」(→ P.58)
	使用している用紙が適切でない。	適切な用紙をセットしてください。	・「使用できる用紙」(→ P.126) ・「使用できない用紙」(→ P.130)
	トナーシールの切れはしが、プロセスカートリッジ内に残っている。	新しいプロセスカートリッジに交換してください。	「プロセスカートリッジを交換する」(→P.76)
	プロセスカートリッジの交換時期。オペレータパネルに次のメッセージが表示される。  		
	プリンタドライバで選択している「用紙種類」の設定が正しくない。	プリンタドライバの「用紙種類」の設定を、お使いの用紙の種類に合わせてください。	「使用できる用紙」(→P.126) 「ソフトウェアガイド」
	定着器の左側にあるレバー（緑色）が、上がった状態になっている。	定着器の左側にあるレバー（緑色）を、下げた状態（「」マークの位置）に戻してください。	「レバー（緑色）」(→P.23)

表：確認項目

こんなとき	よくある例	ここをお調べください	参照先
用紙にシワが付く 	用紙のセットが適切でない。	用紙を正しくセットしてください。	「用紙をセットする」（→ P.58）
	用紙が湿気を含んでいる。	新しい用紙に交換してください。	「用紙をセットする」（→ P.58）
	使用している用紙が適切でない。	適切な用紙をセットしてください。	・「使用できる用紙」（→ P.126） ・「使用できない用紙」（→ P.130）
	一度印刷された用紙を使用している。		
	裏紙を使用している。		
	プリンタドライバで選択している「用紙種類」の設定が正しくない。	プリンタドライバの「用紙種類」の設定を、お使いの用紙の種類に合わせてください。特に、薄い用紙や再生紙はシワが付きやすい傾向があります。	「使用できる用紙」（→ P.126） 「ソフトウェアガイド」
文字がにじむ 	用紙が湿気を含んでいる。	新しい用紙に交換してください。	「用紙をセットする」（→ P.58）
	使用している用紙が適切でない。	適切な用紙をセットしてください。	・「使用できる用紙」（→ P.126） ・「使用できない用紙」（→ P.130）
	プロセスカートリッジが劣化、または損傷している。	新しいプロセスカートリッジに交換してください。	「プロセスカートリッジを交換する」（→ P.76）
	プロセスカートリッジの交換時期。オペレータパネルに次のメッセージが表示される。 		
	プリンタドライバで選択している「用紙種類」の設定が正しくない。	プリンタドライバの「用紙種類」の設定を、お使いの用紙の種類に合わせてください。	「使用できる用紙」（→ P.126） 「ソフトウェアガイド」
	定着器の左側にあるレバー（緑色）が、上がった状態になっている。	定着器の左側にあるレバー（緑色）を、下げた状態（「」マークの位置）に戻してください。	「レバー（緑色）」（→ P.23）
縦長に白抜けする 	プロセスカートリッジが劣化、または損傷している。	新しいプロセスカートリッジに交換してください。	「プロセスカートリッジを交換する」（→ P.76）
	プロセスカートリッジの交換時期。オペレータパネルに次のメッセージが表示される。 		
	プリンタドライバで選択している「用紙種類」の設定が正しくない。	プリンタドライバの「用紙種類」の設定を、お使いの用紙の種類に合わせてください。	「使用できる用紙」（→ P.126） 「ソフトウェアガイド」
	定着器の左側にあるレバー（緑色）が、上がった状態になっている。	定着器の左側にあるレバー（緑色）を、下げた状態（「」マークの位置）に戻してください。	「レバー（緑色）」（→ P.23）

表：確認項目

こんなとき	よくある例	ここをお調べください	参照先
不要なトナーが付く 	印字濃度の設定が適正でない。	印字濃度を調整してください。オペレータパネルでプリンタをメニューモードにして、「ソノタ　ノ　セッテイ」の「インジノウドチョウセイ」で設定してください。	「オペレータパネルの操作」(→ P.97)
	使用している用紙が適切でない。	適切な用紙をセットしてください。	・「使用できる用紙」(→ P.126) ・「使用できない用紙」(→ P.130)
	一度印刷された用紙を使用している。		
	裏紙を使用している。		
	プロセスカートリッジが劣化、または損傷している。	新しいプロセスカートリッジに交換してください。	「プロセスカートリッジを交換する」(→ P.76)
	紙詰まりした用紙に未定着のトナーが付着していたため、レジストローラ、定着器などが汚れている。	オペレータパネルでプリンタをメニューモードにして、テスト印刷を行ってください。数枚印刷してみて、汚れがとれたかどうか判断してください。	・「オペレータパネルの操作」(→ P.97) ・「プリンタ内部を清掃する」(→ P.85) ・「紙詰まりになったとき」(→ P.134)
太い文字や図形に影が出る 	解像度、ディザ、明るさの設定が適切でない。	プリンタドライバの「グラフィックス」タブで、解像度、ディザ、明るさを調整してください。	「ソフトウェアガイド」
	一度印刷された用紙を使用している。	適切な用紙をセットしてください。	・「使用できる用紙」(→ P.126) ・「使用できない用紙」(→ P.130)
	裏紙を使用している。		
	プロセスカートリッジが劣化、または損傷している。	新しいプロセスカートリッジに交換してください。	「プロセスカートリッジを交換する」(→ P.76)
用紙がカールする 	用紙のセットが適切でない。	用紙を正しくセットしてください。	「用紙をセットする」(→ P.58)
	用紙の表裏を間違っている。	用紙の表裏を間違えていないか確認してください。用紙に表裏の表示がない場合は、印刷面を入れ替えて印刷してみてください。包装された用紙は、開封面が印刷面です。	「用紙をセットする」(→ P.58)
	用紙が湿気を含んでいる。	新しい用紙に交換してください。	「用紙をセットする」(→ P.58)
	プリンタドライバで選択している「用紙種類」の設定が正しくない。	プリンタドライバの「用紙種類」の設定を、お使いの用紙の種類に合わせてください。	「使用できる用紙」(→ P.126) 「ソフトウェアガイド」
	「横目」の用紙を使っている。	「縦目」の用紙に変更すると、改善される場合があります。	「使用できる用紙」(→ P.126)

4 メッセージ一覧

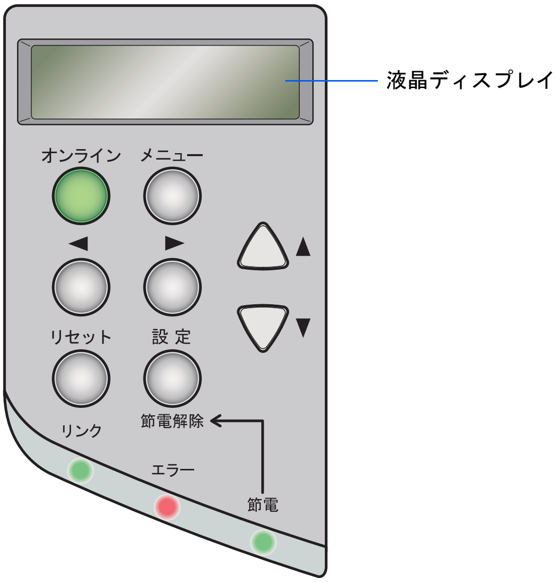
オペレータパネルの液晶ディスプレイに表示されるメッセージと、「Printianavi2」、および「Printia LASER Internet Service」利用時に表示されるメッセージについて、表示内容と対処方法を説明します。

・「オペレータパネルに表示されるメッセージ」（→ P.166）

・「Windows 画面に表示されるメッセージ一覧」（→ P.178）

オペレータパネルに表示されるメッセージ

プリンタでエラーなどが発生すると、オペレータパネルの液晶ディスプレイにメッセージが表示されます。次の表に従って処置してください。



エラーメッセージ一覧

表：エラーメッセージ一覧

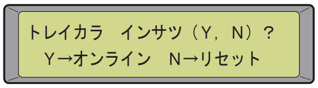
表示メッセージ	表示内容と処置	参照先
0001　カバーオープン マエカバー	前カバーが開いていると表示されます。 前カバーを閉じてください。	－
0004　カバーオープン ウシロカバー	後ろカバーが開いていると表示されます。 後ろカバーを閉じてください。	－
0005　カバーオープン ハイシカバー	排紙口カバーが開いていると表示されます。 排紙口カバーを閉じてください。	－
0023　カバーオープン リョウメンカバー	両面ユニットの上カバーが開いていると表示されます。 両面ユニットの上カバーを閉じてください。	－

表：エラーメッセージ一覧

表示メッセージ	表示内容と処置	参照先
1007　カセット　ナシ カセット　ヲ　イレテクダサイ	自動給紙で印刷したときに、いずれかの給紙カセットがセットされていないと表示されます（メニューモードで給紙トレイの自動給紙設定（→ P.110）を「ムコウ」（無効）に設定しているとき）。給紙カセットをセットすると、印刷を開始します。	「用紙をセットする」（→ P.58）
1021　カセット　ナシ カセット 1　ヲ　イレテクダサイ	給紙カセットを指定して印刷したときに、いずれかの給紙カセットがセットされていないと表示されます。 給紙カセットをセットすると、印刷を開始します。	
1022　カセット　ナシ カセット 2　ヲ　イレテクダサイ		
1023　カセット　ナシ カセット 3　ヲ　イレテクダサイ		
1100　ヨウシナシ ccccccc →キュウシトレイ	給紙トレイを指定して印刷したときに、給紙トレイに用紙がない、または印刷中に用紙がなくなった場合に表示されます。 「ccccccc」に表示されたサイズの用紙を給紙トレイにセットすると印刷を開始します。定形外の用紙の場合、「ヨウシナシ」を検知するまでに数十秒かかる場合があります。	
1101　ヨウシナシ ccccccc →カセット 1	給紙カセット 1 を指定して印刷したときに、給紙カセット 1 に用紙がない、または印刷中に用紙がなくなった場合に表示されます。 給紙カセット 1 に、「ccccccc」に表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。	
1102　ヨウシナシ ccccccc →カセット 2	給紙カセット 2 を指定して印刷したときに、給紙カセット 2 に用紙がない、または印刷中に用紙がなくなった場合に表示されます。 給紙カセット 2 に、「ccccccc」に表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。	
1103　ヨウシナシ ccccccc →カセット 3	給紙カセット 3 を指定して印刷したときに、給紙カセット 3 に用紙がない、または印刷中に用紙がなくなった場合に表示されます。 給紙カセット 3 に、「ccccccc」に表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。	
1106　ヨウシナシ ccccccc →トレイ／カセット	自動給紙で印刷したときに、給紙対象の給紙カセットまたは給紙トレイに用紙がない、または印刷中に用紙がなくなった場合に表示されます。 自動給紙対象の給紙カセット（1 ～ 3）または給紙トレイに、「ccccccc」に表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。	
1107　ヨウシナシ ccccccc →カセット	自動給紙で印刷したときに、給紙対象の給紙カセットに用紙がない、または印刷中に用紙がなくなった場合に表示されます（メニューモードで給紙トレイの自動給紙設定を「ムコウ（無効）」に設定しているとき）。 自動給紙対象の給紙カセット（1 ～ 3）に、「ccccccc」に表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。	
1221　サイズフイッチ ccccccc →カセット 1	給紙カセット 1 を指定して印刷したときに、給紙カセット 1 の用紙サイズと印刷データの用紙サイズが異なっていると表示されます。 給紙カセット 1 に、「ccccccc」に表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。	

7

表：エラーメッセージ一覧

表示メッセージ	表示内容と処置	参照先
1222　サイズフイッチ ccccccc →カセット 2	給紙カセット 2 を指定して印刷したときに、給紙カセット 2の用紙サイズと印刷データの用紙サイズが異なっていると表示されます。 給紙カセット 2 に、「ccccccc」に表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。	「用紙をセットする」（→ P.58）
1223　サイズフイッチ ccccccc →カセット 3	給紙カセット 3 を指定して印刷したときに、給紙カセット 3の用紙サイズと印刷データの用紙サイズが異なっていると表示されます。 給紙カセット 3 に、「ccccccc」に表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。	
1226　サイズフイッチ ccccccc →トレイ／カセット	自動給紙で印刷したときに、給紙対象の給紙カセットまたは給紙トレイの用紙サイズと、印刷データの用紙サイズが異なっていると表示されます。 ・給紙カセットの場合 給紙カセット（1 〜 3）に、「ccccccc」に表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。また、給紙カセットの用紙サイズダイヤルが正しく設定されていない場合に表示されることがあります。用紙サイズダイヤルが正しく設定されているか確認してください。 ・給紙トレイの場合 給紙トレイに、「ccccccc」に表示されたサイズの用紙をセットすると、次のようなメッセージが表示されるので、「オンライン」スイッチを押して印刷を開始してください。 	
1227　サイズフイッチ ccccccc →カセット	自動給紙で印刷したときに、給紙対象の給紙カセットの用紙サイズと印刷データの用紙サイズが異なっていると表示されます。 印刷データのサイズの用紙を給紙カセットにセットすると印刷を再開します。	
1240　キュウシトレイニ　cc ccccc　ヲセットゴ　▲ヲオス	給紙トレイを指定して印刷したときに、給紙トレイの用紙サイズと印刷データの用紙サイズが異なっていると表示されます。 給紙トレイに「ccccc」に表示されたサイズの用紙をセットして「▲」スイッチを押すと印刷を開始します。	
1320　サイズカクニン ccccccc →キュウシトレイ	・給紙トレイから印刷を開始したときに指定した用紙サイズと実際に給紙された用紙サイズが異なっていると表示されます。 「ccccccc」に表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。 ・用紙が 2 枚以上重なったり、斜めになったりして給紙されると表示される場合があります。 本製品で使用できる用紙を正しくセットしてください。	・「用紙をセットする」（→ P.58） ・「使用できる用紙」（→ P.126） ・「使用できない用紙」（→ P.130）

表：エラーメッセージ一覧

表示メッセージ	表示内容と処置	参照先
1321　サイズカクニン ccccccc →カセット 1	・カセット1から印刷を開始したときに指定した用紙サイズと実際に給紙された用紙サイズが異なっていると表示されます。 「ccccccc」に表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。 ・用紙が 2 枚以上重なったり、斜めになったりして給紙されると表示される場合があります。 本製品で使用できる用紙を正しくセットしてください。	・「用紙をセットする」（→ P.58） ・「使用できる用紙」（→ P.126） ・「使用できない用紙」（→ P.130）
1322　サイズカクニン ccccccc →カセット 2	・カセット2から印刷を開始したときに指定した用紙サイズと実際に給紙された用紙サイズが異なっていると表示されます。 「ccccccc」に表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。 ・用紙が 2 枚以上重なったり、斜めになったりして給紙されると表示される場合があります。 本製品で使用できる用紙を正しくセットしてください。	
1323　サイズカクニン ccccccc →カセット 3	・カセット3から印刷を開始したときに指定した用紙サイズと実際に給紙された用紙サイズが異なっていると表示されます。 「ccccccc」に表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。 ・用紙が 2 枚以上重なったり、斜めになったりして給紙されると表示される場合があります。 本製品で使用できる用紙を正しくセットしてください。	
1400　サイズフソク A4　SEF →　キュウシトレイ	「設定の印刷」時に給紙トレイに A4 SEF 方向（縦送り）より小さい用紙がセットされているときに表示されます。 給紙トレイに A4 を SEF（縦送り）の用紙をセットするか、リセットスイッチで印刷を中止し、A5 サイズ以上の大きさで再度印刷してください。	「用紙をセットする」（→ P.58）
1640　ミサポートサイズ インサツ　セッテイ　カクニン	「エミュレーションセッテイ」（→ P.110）で「ESC/P」に設定している場合に、未サポートの用紙サイズが指定されると表示されます。「リセット」スイッチを押して印刷を中止し、A5 サイズ以上の大きさで再度印刷してください。	

表：エラーメッセージ一覧

<table>
<tr><th>表示メッセージ</th><th>表示内容と処置</th><th>参照先</th></tr>
<tr><td>2241　カミヅマリ
プリンタナイブ</td><td rowspan="10">紙詰まりが発生すると表示されます。
参照先の取り除き方に従って、詰まった用紙を取り除いてください。参照先の取り除き方で、詰まった用紙が取り除けない場合は、「詰まった用紙を取り除けない、または見当たらない場合」（→ P.151）をご覧ください。
すべて取り除いてカバーを閉じると、印刷可能状態になり、紙詰まりが発生した場所から印刷が再開されます。</td><td>・「給紙トレイで詰まった用紙を取り除く」（→ P.140）
・「プリンタ内部に詰まった用紙を取り除く」（→ P.144）</td></tr>
<tr><td>2242　カミヅマリ
プリンタナイブ</td><td>「給紙カセット付近で詰まった用紙を取り除く」（→ P.138）</td></tr>
<tr><td>2243　カミヅマリ
プリンタナイブ</td><td rowspan="3">・「給紙カセット付近で詰まった用紙を取り除く」（→ P.138）
・「プリンタ内部に詰まった用紙を取り除く」（→ P.144）
・「両面ユニットに詰まった用紙を取り除く」（→ P.147）</td></tr>
<tr><td>2244　カミヅマリ
プリンタナイブ／リョウメン
[注]「／リョウメン」は両面ユニットを取り付けている場合に表示されます。</td></tr>
<tr><td>2245　カミヅマリ
プリンタナイブ</td></tr>
<tr><td>2252　カミヅマリ
カセット2</td><td rowspan="2">「給紙カセット付近で詰まった用紙を取り除く」（→ P.138）</td></tr>
<tr><td>2253　カミヅマリ
カセット3</td></tr>
<tr><td>2261　カミヅマリ
リョウメン／ハイシグチ
[注] 両面ユニットを取り付けている場合
または
2261　カミヅマリ
ハイシグチ／プリンタナイブ
[注] 両面ユニットを取り付けていない場合</td><td rowspan="2">・「排紙口付近で詰まった用紙を取り除く」（→ P.142）
・「プリンタ内部に詰まった用紙を取り除く」（→ P.144）
・「両面ユニットに詰まった用紙を取り除く」（→ P.147）</td></tr>
<tr><td>2262　カミヅマリ
ハイシグチ／リョウメン
[注]「／リョウメン」は両面ユニットを取り付けている場合に表示されます。</td></tr>
<tr><td>2273　カミヅマリ
リョウメン／プリンタナイブ
[注]「リョウメン／」は両面ユニットを取り付けている場合に表示されます。</td><td>・「プリンタ内部に詰まった用紙を取り除く」（→ P.144）
・「両面ユニットに詰まった用紙を取り除く」（→ P.147）</td></tr>
</table>

表：エラーメッセージ一覧

表示メッセージ	表示内容と処置	参照先
2274　カミヅマリ リョウメン　ユニット	（紙詰まりエラー続き）	・「プリンタ内部に詰まった用紙を取り除く」（→ P.144） ・「両面ユニットに詰まった用紙を取り除く」（→ P.147）
2275　カミヅマリ リョウメン　ユニット		
2276　カミヅマリ リョウメン　ユニット		
2277　カミヅマリ リョウメン　ユニット		
2278　カミヅマリ リョウメン／プリンタナイブ ［注］「リョウメン／」は両面ユニットを取り付けている場合に表示されます。		
2440　ヨウシノコリ プリンタナイブ		・「給紙カセット付近で詰まった用紙を取り除く」（→ P.138） ・「給紙トレイで詰まった用紙を取り除く」（→ P.140）
2450　ヨウシノコリ カセット 2		
2451　ヨウシノコリ カセット 3		
2460　ヨウシノコリ ハイシグチ		・「排紙口付近で詰まった用紙を取り除く」（→ P.142） ・「プリンタ内部に詰まった用紙を取り除く」（→ P.144）
2470　ヨウシノコリ リョウメン　ユニット		・「プリンタ内部に詰まった用紙を取り除く」（→ P.144） ・「両面ユニットに詰まった用紙を取り除く」（→ P.147）
2471　ヨウシノコリ リョウメン　ユニット		
2472　ヨウシノコリ リョウメン　ユニット		
5003　トレイフル ハイシトレイ　カクニン	排出用紙が、排紙トレイにたまりすぎている場合に表示されます。 排紙トレイのすべての用紙を取り除くと、印刷を開始／再開します。	－
7002　メモリオーバー 1 ブ　インサツ→セッテイ	部単位印刷を設定して行った印刷のデータ量が、部単位印刷用のメモリ残量より大きい場合に表示されます。 「Printianavi2」使用時は、「設定」スイッチを押す、または 3 秒経過すると 1 部のみ印刷します。「Printianavi2」未使用時は、「設定」スイッチを押すと 1 部のみ印刷します。 ただし、プリントサーバが 7/2008/Vista/2003/XP/2000 環境で「Printianavi2」を使用している場合は、上記メッセージを表示後、部単位印刷が再開されます。	－

表：エラーメッセージ一覧

表示メッセージ	表示内容と処置	参照先
7003　メモリフソク カタメン　インサツ→セッテイ	メモリを増設していない状態で、リーガルサイズの用紙に600dpi で両面印刷しようとすると、次の状態の場合に表示されます。 ・プリンタドライバで「プロテクトモードで印刷する」を ☑ にしている ・プリンタドライバの「プロテクトモードで印刷する」が ☐ のとき、および印刷データの処理に必要なメモリが確保できないとき 「Printianavi2」使用時は、「設定」スイッチを押す、または3 秒経過すると片面で印刷されます。 「Printianavi2」未使用時は、「設定」スイッチを押すと片面で印刷されます。	「プリンタRAMモジュールの取り付け」（→ P.42）
7004　キュウシシテイ　エラー ジドウキュウシ　ムコウ	すべての給紙口に対し、メニューモードの自動給紙設定を「ムコウ（無効）」にしているときに、自動給紙で印刷を行うと表示されます。 給紙口を指定して印刷を行うか、メニューモードの自動給紙設定を「ユウコウ（有効）」にして、印刷をし直してください。	「基本的な操作方法」（→ P.104）
7005　アンダーラン　エラー インサツ　セッテイ　カクニン	印刷中にアンダーランエラーが発生した場合に表示されます（アンダーランエラーは、印刷内容が複雑でプリンタの処理が追いつかない場合に発生します）。 再度印刷するには、メモリを増設する、用紙のサイズを小さくする、またはドライバの解像度を下げてください。メモリを増設するときは、あらかじめ電源を切ってから行ってください。	―
7007　カイゾウドムコウ インサツ　セッテイ　カクニン	プリンタが印刷できない解像度が指定された印刷データを受信した場合に印刷を中止して表示されます。 プリンタドライバの解像度を設定し直してください。	―
7008　データ　エラー インサツデータ　カクニン	印刷処理中にエラーが発生した場合に表示されます。 「Printianavi2」を使用しているときは、自動的に印刷が打ち切られます。	―
7009　データ　エラー インサツデータ　カクニン		
7020　データ　エラー インサツデータ　カクニン		―
7030　ミサポートサイズ インサツセッテイ　カクニン	A3 や B4 など、本製品では未サポートの用紙サイズの印刷データが指定された場合に表示されます。 用紙サイズの指定、および拡大縮小で出力される用紙サイズが正しいか確認してください。	―

表：エラーメッセージ一覧

表示メッセージ	表示内容と処置	参照先
9001　コントローラ　エラー RAM　エラー	ROM および RAM の異常を検出した場合に、「デンゲンヲ　OFF ／ ON　シテクダサイ」というメッセージと交互に表示されます。 いったん電源を切り、再度入れてください。 それでもエラーメッセージが表示される場合は、その内容を「ハードウェア修理相談センター」（→ P.202）へご連絡ください。	―
9003　コントローラ　エラー MAC アドレスエラー		
9004　コントローラ　エラー Flash-ROM エラー		
9005　コントローラ　エラー LSI アクセスエラー		
9006　コントローラ　エラー EEPROM エラー		
9007　コントローラ　エラー プログラム　ROM エラー		
9008　コントローラ　エラー USB　デバイス　エラー		
9101　カクチョウメモリエラー メモリ　ヲ　コウカン		
9102　メモリバス　エラー カクチョウメモリ　トリハズシ		
9103　セッテイメモリ　エラー トウロク　ショキカ　シマス		
9104　ログメモリ　エラー データ　ショキカ　シマス		
9105　プログラム　エラー		
H073　ユニット　カクニン リョウメン　ユニット	・紙詰まりが発生したときに、用紙を取り除くために両面ユニットを取り外した場合に表示されます。詰まった用紙を取り除いたら、両面ユニットを正しくセットしてください。 ・両面ユニットが外れているか、正しく認識されていない場合に表示されます。 いったん電源を切ってから、ユニットが正しく取り付けられているか確認し、再び電源を入れてください。それでもエラーメッセージが表示される場合は、装置の修理が必要です。メッセージ内容を「ハードウェア修理相談センター」（→ P.202）へご連絡ください。	「両面ユニットの取り付け」（→ P.52）
H091　ユニット　カクニン FUSER　ユニット	定着器が外れているか、正しく認識されていない場合に表示されます。いったん電源を切ってから、定着器が正しく取り付けられているか確認し、再び電源を入れてください。それでもエラーメッセージが表示される場合は、装置の修理が必要です。メッセージ内容を「ハードウェア修理相談センター」（→ P.202）へご連絡ください。	「排紙口付近で詰まった用紙を取り除く」（→ P.142）
H092　ユニット　カクニン カクチョウ　キュウシ	拡張給紙ユニットが外れているか、正しく認識されていない場合に表示されます。いったん電源を切ってから、拡張給紙ユニットが正しく取り付けられているか確認し、再び電源を入れてください。それでもエラーメッセージが表示される場合は、装置の修理が必要です。メッセージ内容を「ハードウェア修理相談センター」（→ P.202）へご連絡ください。	「拡張給紙ユニットの取り付け」（→ P.48）

表：エラーメッセージ一覧

表示メッセージ	表示内容と処置	参照先
K001　カートリッジカクニン カートリッジ　ナシ	プロセスカートリッジがセットされていない場合や、セットされたプロセスカートリッジが使用できない場合に表示されます。 プロセスカートリッジをセットしてください。	「プロセスカートリッジを交換する」（→ P.76）
K003　カートリッジコウカン ケイゾク　→　セッテイ	メニューモードで「カートリッジ　ジュンビ」→「テイシ」を設定している場合に、プロセスカートリッジの交換時期（トナー残量が少ない）が近づくと表示されます。本エラーが表示されてからの印字品質は保証できませんので、早急にプロセスカートリッジを交換してください。 なお、本エラーが表示されても、「設定」スイッチを押すことで、一定枚数（10 枚以下）の印刷は可能です。	
K005　カートリッジ　エラー カートリッジ　ジュミョウ	プロセスカートリッジの交換時期（トナー残量がない）になると表示されます。 早急にプロセスカートリッジを交換してください。	
K013　カートリッジコウカン ケイゾク　→　セッテイ	メニューモードで「カートリッジ　ジュンビ」→「テイシ」を設定している場合に、プロセスカートリッジの交換時期（感光体（ドラム）が寿命に近い）が近づくと表示されます。特に、低印字率での運用環境では、トナー残量が充分にあってもプロセスカートリッジの感光体（ドラム）が寿命に近づき、プロセスカートリッジの交換をうながすメッセージが液晶ディスプレイに表示されることがあります。 本エラーが表示されてからの印字品質は保証できませんので、早急にプロセスカートリッジを交換してください。 なお、本エラーが表示されても、「設定」スイッチを押すことで、一定枚数（10 枚以下）の印刷は可能です。	
K014　カートリッジコウカン カートリッジ　ジュミョウ	プロセスカートリッジの交換時期（感光体（ドラム）が寿命に達した）になると表示されます。特に、低印字率での運用環境では、トナー残量が充分にあってもプロセスカートリッジの感光体（ドラム）が寿命に達し、プロセスカートリッジの交換をうながすメッセージが液晶ディスプレイに表示されることがあります。 本エラーが表示されてからの印字品質は保証できませんので、早急にプロセスカートリッジを交換してください。 なお、本エラーが表示されても、「設定」スイッチを押すことで、一定枚数（10 枚以下）の印刷は可能です。	
K041　カートリッジコウカン ケイゾク　→　セッテイ	メニューモードで「カートリッジ　ジュンビ」→「テイシ」を設定している場合に、プロセスカートリッジの交換時期（感光体（ドラム）が寿命に近い、かつトナー残量が少ない）が近づくと表示されます。 本エラーが表示されてからの印字品質は保証できませんので、早急にプロセスカートリッジを交換してください。 なお、本エラーが表示されても、「設定」スイッチを押すことで、一定枚数（10 枚以下）の印刷は可能です。	
K042　カートリッジコウカン カートリッジ　ジュミョウ	プロセスカートリッジの交換時期（感光体（ドラム）が寿命に達した、かつトナー残量が少ない）になると表示されます。 本エラーが表示されてからの印字品質は保証できませんので、早急にプロセスカートリッジを交換してください。 なお、本エラーが表示されても、「設定」スイッチを押すことで、一定枚数（10 枚以下）の印刷は可能です。	

表：エラーメッセージ一覧

<table>
<tr><th>表示メッセージ</th><th>表示内容と処置</th><th>参照先</th></tr>
<tr><td>K043　カートリッジコウカン
カートリッジ　ジュミョウ</td><td>プロセスカートリッジの交換時期（感光体 (ドラム) が寿命に近い、トナー残量がない）になると表示されます。
早急にプロセスカートリッジを交換してください。</td><td rowspan="2">「プロセスカートリッジを交換する」（→ P.76）</td></tr>
<tr><td>K044　カートリッジコウカン
カートリッジ　ジュミョウ</td><td>プロセスカートリッジの交換時期（感光体 (ドラム) が寿命に達した、トナー残量がない）になると表示されます。
早急にプロセスカートリッジを交換してください。</td></tr>
<tr><td>S101　ハード　エラー
ツウシン　エラー</td><td rowspan="20">ハードウェアの異常を検出した場合に、「デンゲン　ヲ OFF ／ ON　シテクダサイ」というメッセージと交互に表示されます。
いったん電源を切り、再度入れてください。
それでもエラーメッセージが表示される場合は、その内容を「ハードウェア修理相談センター」（→ P.202）へご連絡ください。</td><td rowspan="20">－</td></tr>
<tr><td>S102　ハード　エラー
ツウシン　エラー</td></tr>
<tr><td>S103　ハード　エラー
ツウシン　エラー</td></tr>
<tr><td>S107　ハード　エラー
ツウシン　エラー</td></tr>
<tr><td>S108　ハード　エラー
ツウシン　エラー</td></tr>
<tr><td>S109　ハード　エラー
ツウシン　エラー</td></tr>
<tr><td>S10a　ハード　エラー
ツウシン　エラー</td></tr>
<tr><td>S201　ハード　エラー
ツウシン　エラー</td></tr>
<tr><td>S230　ハード　エラー
MCU ボード　エラー</td></tr>
<tr><td>S302　ハード　エラー
プロセスカートリッジ　エラー</td></tr>
<tr><td>S320　ハード　エラー
ROS　エラー</td></tr>
<tr><td>S322　ハード　エラー
ROS　エラー</td></tr>
<tr><td>S326　ハード　エラー
ROS　エラー</td></tr>
<tr><td>S391　ハード　エラー
プロセスカートリッジ　エラー</td></tr>
<tr><td>S500　ハード　エラー
メインモータ　エラー</td></tr>
<tr><td>S541　ハード　エラー
FUSER　エラー</td></tr>
<tr><td>S542　ハード　エラー
FUSER　エラー</td></tr>
<tr><td>S543　ハード　エラー
FUSER　エラー</td></tr>
<tr><td>S544　ハード　エラー
FUSER　エラー</td></tr>
<tr><td>S545　ハード　エラー
FUSER　エラー</td></tr>
</table>

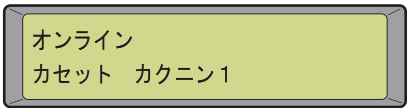
表：エラーメッセージ一覧

表示メッセージ	表示内容と処置	参照先
S546　ハード　エラー FUSER　エラー	（ハードエラー続き）	−
S547　ハード　エラー PSU　エラー		
S590　ハード　エラー FAN　エラー（FUSER）		
S591　ハード　エラー FAN　エラー（PSU）		
S620　ハード　エラー MCU ボード　エラー		
S669　ハード　エラー MCU ボード　エラー		
S688　ハード　エラー ツウシン　エラー		
S901　ハード　エラー MCU ボード　フイッチ		
M202　ハード　エラー タイムアウト　エラー		

警告メッセージ一覧

メンテナンス情報や給紙口のセット状態に関する警告を下段に表示します。
警告メッセージが表示されても、印刷は続けることができます。

・警告メッセージの例



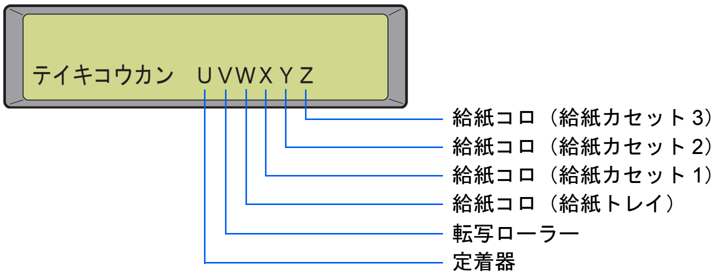
POINT

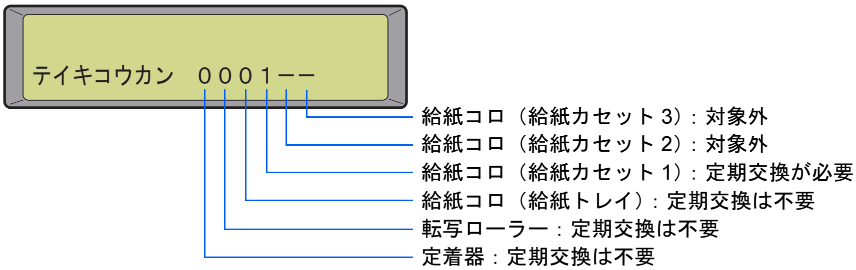
・警告が複数発生している場合は、次の表の該当する警告が、表の上から順番に交互に表示されます。

表：警告メッセージ一覧

表示メッセージ	表示内容と処置
データアリ	未処理データがある状態です。
カートリッジ	プロセスカートリッジの交換時期が近づくと表示されます。新しいプロセスカートリッジをセットしてください。 なお、オンライン／オフライン中は、次の表示になります。 ・「カートリッジ　ジュンビ」：プロセスカートリッジの交換準備
ソウチジュミョウ	本製品の寿命として規定している印刷ページ数に近づいた場合に表示されます。残り寿命が 20%（消耗率 80%）になると、20%、10%、0% と、10% 単位で残り寿命が表示されます。この警告が表示されても、ただちに印刷ができなくなるわけではありませんが、故障頻度が上昇することが予想されます。 また、この警告が表示されなくても、装置導入後 5 年を経過した場合は装置寿命となります。 詳しくは、「本体仕様」（→ P.188）をご覧ください。 なお、オンライン／オフライン中は、次の表示になります。 ・「ソウチジュミョウ　ノコリ xx%　（xx：20、10）」

表：警告メッセージ一覧

<table>
<tr><th>表示メッセージ</th><th>表示内容と処置</th></tr>
<tr><td>テイキコウカン</td><td>定期交換部品の交換時期になると表示されます。「ハードウェア修理相談センター」（→ P.202）へご連絡ください。
なお、オンライン／オフライン中は、次の表示になります。
「テイキコウカン　UVWXYZ」
「UVWXYZ」の部分には、「0」「1」「-」のいずれかの値が表示されます。
・各桁は、定期交換部品を表しています。


・各桁に表示される値は、交換の要否を表しています。
0：定期交換は不要
1：定期交換が必要
-：対象外
・表示例
「UVWXYZ」の部分が「0001--」の場合、次の状態を表します。

</td></tr>
<tr><td>カセットカクニン n</td><td>セットされていない給紙カセットがあると、表示されます。給紙カセットをセットしてください（n：カセット番号）。</td></tr>
</table>

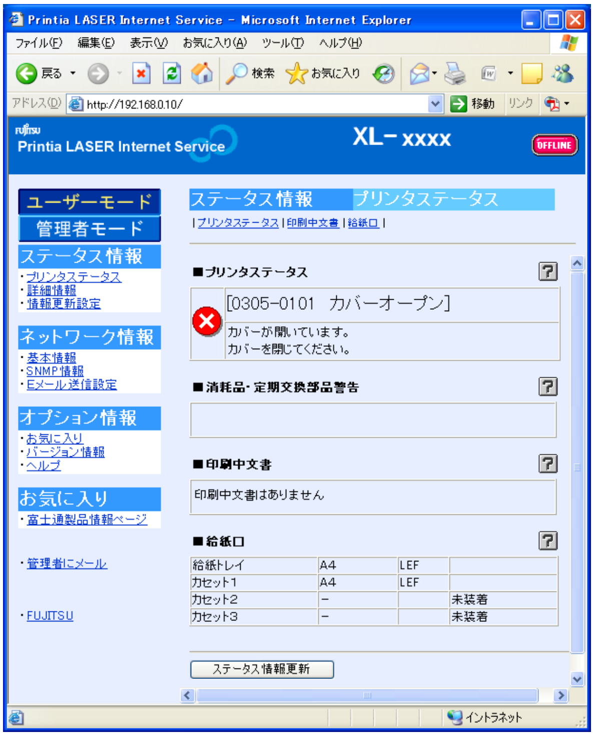
Windows 画面に表示されるメッセージ一覧

「Printianavi2」または「Printia LASER Internet Service」を利用時に、Windows 画面に表示されるメッセージについて、表示内容と対処方法を説明します。
「Printianavi2」および「Printia LASER Internet Service」について詳しくは、「ソフトウェアガイド」をご覧ください。

■「Printianavi2」の場合



■「Printia LASER Internet Service」の場合



表：Windows 画面に表示されるメッセージ一覧
（注：実際の画面では、表中の「表示メッセージ」欄の「****-****」と記載している部分に、「エラー番号」欄の数字が表示されます。）

エラー番号		表示メッセージ	表示内容と処置	参照先
0000	2000	[情報取得中...] しばらくお待ちください。	プリンタの状態情報を取得中に表示されます。	–
0000	2000	通信中	プリンタと通信中に表示されます。	–
0300	0101	[****-**** プリンタリセット] プリンタがリセットされました。	プリンタをオンラインにしてください。	「オペレータパネルの操作」（→ P.97）
0300	0102	[****-**** オフライン] プリンタがオフラインとなっています。		
0300	0103	[****-**** リモート設定中] プリンタがリモート設定中です。	しばらくお待ちください。	–
0300	0104	[****-**** プリンタリセット] プリンタが初期化中です。		–
0301	00**	[****-**** 用紙なし] 指定した用紙がありません。(用紙サイズ) 用紙を補給してください。	自動給紙で印刷したときに、給紙対象の給紙口にカセットがセットされていないと表示されます（メニューモードで給紙トレイの自動給紙設定を「無効」に設定しているとき）。 自動給紙対象の給紙カセットに印刷するサイズの用紙を入れてセットすると印刷を開始します。	「用紙をセットする」（→ P.58）

表：Windows 画面に表示されるメッセージ一覧

（注：実際の画面では、表中の「表示メッセージ」欄の「****-****」と記載している部分に、「エラー番号」欄の数字が表示されます。）

エラー番号		表示メッセージ	表示内容と処置	参照先
0301	01**	[****-**** 用紙なし] 指定した用紙がありません。(用紙サイズ) 用紙を補給してください。	給紙カセット1を指定して印刷したときに、給紙カセット 1 に用紙がない、または印刷中に用紙がなくなった場合に表示されます。 給紙カセット 1 に、表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。	「用紙をセットする」（→ P.58）
0301	02**	[****-**** 用紙なし] 指定した用紙がありません。(用紙サイズ) 用紙を補給してください。	給紙カセット2を指定して印刷したときに、給紙カセット 2 に用紙がない、または印刷中に用紙がなくなった場合に表示されます。 給紙カセット 2 に、表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。	「用紙をセットする」（→ P.58）
0301	03**	[****-**** 用紙なし] 指定した用紙がありません。(用紙サイズ) 用紙を補給してください。	給紙カセット3を指定して印刷したときに、給紙カセット 3 に用紙がない、または印刷中に用紙がなくなった場合に表示されます。 給紙カセット 3 に、表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。	「用紙をセットする」（→ P.58）
0301	10**	[****-**** 用紙なし] 指定した用紙がありません。(用紙サイズ) 用紙を補給してください。	自動給紙で印刷したときに、給紙対象の給紙カセットに用紙がない、または印刷中に用紙がなくなった場合に表示されます（メニューモードで給紙トレイの自動給紙設定を「無効」に設定しているとき）。 自動給紙対象の給紙カセット（1 ～ 3）に、表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。	「用紙をセットする」（→ P.58）
0301	80**	[****-**** 用紙なし] 指定した用紙がありません。(用紙サイズ) 用紙を補給してください。	給紙トレイを指定して印刷したときに、給紙トレイに用紙がない、または印刷中に用紙がなくなった場合に表示されます。 表示されたサイズの用紙を給紙トレイにセットすると印刷を開始します。定形外の用紙の場合、「ヨウシナシ」を検知するまでに数十秒かかる場合があります。	「用紙をセットする」（→ P.58）
0304	9000	[****-**** カセットなし] 給紙カセットがセットされていません。 給紙カセットをセットしてください。	自動給紙で印刷したときに、いずれかの給紙カセットがセットされていないと表示されます（メニューモードで給紙トレイの自動給紙設定（→ P.110）を「ムコウ」（無効）に設定しているとき）。給紙カセットをセットすると、印刷を開始します。	「用紙をセットする」（→ P.58）
0304	9001	[****-**** カセットなし] 給紙カセット 1 がセットされていません。 給紙カセットをセットしてください。	給紙カセットを指定して印刷したときに、いずれかの給紙カセットがセットされていないと表示されます。 給紙カセットをセットすると、印刷を開始します。	「用紙をセットする」（→ P.58）
0304	9002	[****-**** カセットなし] 給紙カセット 2 がセットされていません。 給紙カセットをセットしてください。		
0304	9003	[****-**** カセットなし] 給紙カセット 3 がセットされていません。 給紙カセットをセットしてください。		

表：Windows 画面に表示されるメッセージ一覧
（注：実際の画面では、表中の「表示メッセージ」欄の「****-****」と記載している部分に、「エラー番号」欄の数字が表示されます。）

エラー番号		表示メッセージ	表示内容と処置	参照先
0304	30**	[****-**** 用紙サイズ不一致] プリンタにセットされている用紙が指定したサイズ（用紙サイズ）と違います。 セットされている用紙とプリンタ側の用紙サイズの設定が指定サイズとあっているか確認し、正しくセットしてください。	自動給紙で印刷したときに、給紙対象の給紙カセットまたは給紙トレイの用紙サイズと、印刷データの用紙サイズが異なっていると表示されます。 ・給紙カセットの場合 給紙カセット（1 ～ 3）に、表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。また、給紙カセットの用紙サイズダイヤルが正しく設定されていない場合に表示されることがあります。用紙サイズダイヤルが正しく設定されているか確認してください。 ・給紙トレイの場合 給紙トレイに、表示されたサイズの用紙をセットします。次のメッセージが表示されるので、「オンライン」スイッチを押して印刷を開始してください。 トレイカラ　インサツ（Y，N）？ Y→オンライン　N→リセット	「用紙をセットする」 （→ P.58）
0304	31**	[****-**** 用紙サイズ不一致] 給紙カセット 1 にセットされている用紙が指定したサイズ（用紙サイズ）と違います。 セットされている用紙とプリンタ側の用紙サイズの設定が指定サイズとあっているか確認し、正しくセットしてください。	給紙カセット1を指定して印刷したときに、給紙カセット 1 の用紙サイズと印刷データの用紙サイズが異なっていると表示されます。 給紙カセット 1 に、表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。	「用紙をセットする」 （→ P.58）
0304	32**	[****-**** 用紙サイズ不一致] 給紙カセット 2 にセットされている用紙が指定したサイズ（用紙サイズ）と違います。 セットされている用紙とプリンタ側の用紙サイズの設定が指定サイズとあっているか確認し、正しくセットしてください。	給紙カセット2を指定して印刷したときに、給紙カセット 2 の用紙サイズと印刷データの用紙サイズが異なっていると表示されます。 給紙カセット 2 に、表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。	「用紙をセットする」 （→ P.58）
0304	33**	[****-**** 用紙サイズ不一致] 給紙カセット 3 にセットされている用紙が指定したサイズ（用紙サイズ）と違います。 セットされている用紙とプリンタ側の用紙サイズの設定が指定サイズとあっているか確認し、正しくセットしてください。	給紙カセット3を指定して印刷したときに、給紙カセット 3 の用紙サイズと印刷データの用紙サイズが異なっていると表示されます。 給紙カセット 3 に、表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。	「用紙をセットする」 （→ P.58）
0304	40**	[****-**** 用紙サイズ不一致] 給紙カセットにセットされている用紙が指定したサイズ（用紙サイズ）と違います。 セットされている用紙とプリンタ側の用紙サイズの設定が指定サイズとあっているか確認し、正しくセットしてください。	自動給紙で印刷したときに、給紙対象の給紙カセットの用紙サイズと印刷データの用紙サイズが異なっていると表示されます。 印刷データのサイズの用紙を給紙カセットにセットすると印刷を再開します。	「用紙をセットする」 （→ P.58）
0304	41**	[****-**** 用紙サイズ確認] 給紙カセット 1 の設定サイズ（用紙サイズ）と違う用紙がセットされています。 給紙カセット 1 の用紙を正しくセットし直してください。	カセット 1 から印刷を開始したときに指定した用紙サイズと実際に給紙された用紙サイズが異なっていると表示されます。 表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。	「用紙をセットする」 （→ P.58）
0304	42**	[****-**** 用紙サイズ確認] 給紙カセット 2 の設定サイズ（用紙サイズ）と違う用紙がセットされています。 給紙カセット 2 の用紙を正しくセットし直してください。	カセット 2 から印刷を開始したときに指定した用紙サイズと実際に給紙された用紙サイズが異なっていると表示されます。 表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。	「用紙をセットする」 （→ P.58）

表：Windows 画面に表示されるメッセージ一覧
（注：実際の画面では、表中の「表示メッセージ」欄の「****-****」と記載している部分に、「エラー番号」欄の数字が表示されます。）

エラー番号		表示メッセージ	表示内容と処置	参照先
0304	43**	[****-**** 用紙サイズ確認] 給紙カセット 3 の設定サイズ（用紙サイズ）と違う用紙がセットされています。 給紙カセット 3 の用紙を正しくセットし直してください。	カセット 3 から印刷を開始したときに指定した用紙サイズと実際に給紙された用紙サイズが異なっていると表示されます。 表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。	「用紙をセットする」（→ P.58）
0304	a700	[****-**** 未サポート用紙サイズ] 指定した給紙口に印刷が行えない用紙がセットされています。 給紙トレイの用紙サイズを確認し、セットし直してください。	「エミュレーションセッテイ」（→ P.110）で「ESC/P」に設定している場合に、未サポートの用紙サイズが指定されると表示されます。「リセット」スイッチを押して印刷を中止し、A5 サイズ以上の大きさで再度印刷してください。	「用紙をセットする」（→ P.58）
0304	a8ss	[****-**** 用紙サイズ不足] 指定した給紙口に印刷が行えない用紙がセットされています。 給紙トレイに A4 を SEF 方向（縦送り）にセットし、プリンタ側の用紙サイズ設定スイッチを A4 に合わせると印刷を続行します。	「設定の印刷」時に給紙トレイに A4 SEF 方向（縦送り）より小さい用紙がセットされているときに表示されます。 給紙トレイに A4 を SEF（縦送り）の用紙をセットするか、リセットスイッチで印刷を中止し、A5 サイズ以上の大きさで再度印刷してください。	「用紙をセットする」（→ P.58）
0304	b0**	[****-**** 用紙サイズ不一致] 給紙トレイにセットされている用紙が指定したサイズ（用紙サイズ）と違います。 セットされている用紙とプリンタ側の用紙サイズの設定が指定サイズとあっているか確認し、正しくセットしてください。	給紙トレイを指定して印刷したときに、給紙トレイの用紙サイズと印刷データの用紙サイズが異なっていると表示されます。 給紙トレイに、表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。	「用紙をセットする」（→ P.58）
0304	c0**	[****-**** 用紙サイズ確認] 給紙トレイの設定サイズ（用紙サイズ）と違う用紙がセットされています。 給紙トレイの用紙を正しくセットし直してください。	給紙トレイから印刷を開始したときに指定した用紙サイズと実際に給紙された用紙サイズが異なっていると表示されます。 表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。	「用紙をセットする」（→ P.58）
0305	0003 0005 0102 5002	[****-**** カバーオープン] カバーが開いています。 カバーを閉じてください。	カバーが開いていると表示されます。表示された箇所のカバーを閉じてください。 0003：両面ユニット 0005：排紙口カバー 0102：後ろカバー 5002：前カバー	ー
0313	1002	[****-**** カートリッジ寿命] プロセスカートリッジの交換時期です。	プロセスカートリッジを交換してください。	「プロセスカートリッジを交換する」（→ P.76）
0314	1011 1012 1013 1014 1015 1018 1019 1020 1022 1031 1032 1033 1034 1035 1036	[****-**** 紙詰まり] 紙詰まりが発生しました。 カバーを開け、カセット／プリンタ内／排紙口／両面ユニットに詰まった紙を取り除いた後、カバーを閉じてください。	紙詰まりが発生すると表示されます。 表示されている給紙カセット、プリンタ内部、排紙口、両面ユニットの中を確認してください。	「紙詰まりになったとき」（→ P.134）
0315	2401 2402 2403 2410 2420 2421 2422	[****-**** 用紙残り] 用紙が装置内に残っています。 カバーを開け、カセット／プリンタ内／排紙口／両面ユニットに詰まった紙を取り除いた後、カバーを閉じてください。	紙詰まりが発生すると表示されます。 表示されている給紙カセット、プリンタ内部、排紙口、両面ユニットの中を確認してください。また、プリンタ内で紙詰まりが発生している場合は、給紙トレイにセットされている用紙を取り出し、給紙カセットを取り外してプリンタ内部を確認してください。	「紙詰まりになったとき」（→ P.134）

表：Windows 画面に表示されるメッセージ一覧
（注：実際の画面では、表中の「表示メッセージ」欄の「****-****」と記載している部分に、「エラー番号」欄の数字が表示されます。）

エラー番号		表示メッセージ	表示内容と処置	参照先
0319	0001	[****-**** カートリッジなし] プロセスカートリッジが正しくセットされていません。 プロセスカートリッジをセットし直してください。	プロセスカートリッジがセットされていない場合に表示されます。 プロセスカートリッジをセットしてください。	「プロセスカートリッジを交換する」（→ P.76）
0320	0001	[****-**** トレイフル] 排紙トレイが用紙でいっぱいです。 すべての用紙を取り除いてください。	排出用紙が、排紙トレイにたまりすぎている場合に表示されます。 排紙トレイのすべての用紙を取り除くと、印刷を開始 / 再開します。	−
0330	0106	[****-**** ユニット確認] ユニットが外れています。 プリンタの電源を切り、ユニットを正しく装着してください。	両面ユニットが外れているか、正しく認識されていない場合に表示されます。 いったん電源を切ってから、ユニットが正しく取り付けられているか確認し、再び電源を入れてください。 それでもエラーメッセージが表示される場合は、装置の修理が必要です。メッセージ内容を「ハードウェア修理相談センター」（→ P.202）へご連絡ください。	「両面ユニットの取り付け」（→ P.52）
0330	0108	[****-**** ユニット確認] 定着器が外れています。 定着器を正しくセットしてください。	定着器が外れているか、正しく認識されていない場合に表示されます。 いったん電源を切ってから、定着器が正しく取り付けられているか確認し、再び電源を入れてください。 それでもエラーメッセージが表示される場合は、装置の修理が必要です。メッセージ内容を「ハードウェア修理相談センター」（→ P.202）へご連絡ください。	−
0330	0123	[****-**** ユニット確認] 拡張給紙が外れています。 拡張給紙を正しく装着してください。	拡張給紙ユニットが外れているか、正しく認識されていない場合に表示されます。 いったん電源を切ってから、拡張給紙ユニットが正しく取り付けられているか確認し、再び電源を入れてください。それでもエラーメッセージが表示される場合は、装置の修理が必要です。メッセージ内容を「ハードウェア修理相談センター」（→ P.202）へご連絡ください。	「拡張給紙ユニットの取り付け」（→P.48）
0350	0703	[****-**** 論理エラー] メモリオーバーが発生したため、印刷を一時停止しています。 （部単位印刷） プリンタのオペレータパネルの表示を確認し、対処してください。 一部のみ印刷します。	部単位印刷を設定して行った印刷のデータ量が、部単位印刷用のメモリ残量より大きい場合に表示されます。 「Printianavi2」使用時は、「設定」スイッチを押す、または 3 秒経過すると 1 部のみ印刷します。 「Printianavi2」未使用時は、「設定」スイッチを押すと 1 部のみ印刷します。 ただし、プリントサーバが 7/2008/Vista/2003/XP/2000 環境で「Printianavi2」を使用している場合、上記メッセージを表示後、部単位印刷が再開されます。	−
0350	0704	[****-**** 論理エラー] プリンタメモリが不足しているため、指定した印刷が行えません。 プリンタのオペレータパネルの表示を確認し、対処してください。 片面印刷で続行します。	メモリを増設していない状態で、リーガルサイズの用紙に 600dpi で両面印刷しようとすると、次の状態の場合に表示されます。 ・プリンタドライバで「プロテクトモードで印刷する」を ☑ にしている ・プリンタドライバの「プロテクトモードで印刷する」が □ のとき、および印刷データの処理に必要なメモリが確保できないとき 「Printianavi2」使用時は、「設定」スイッチを押す、または 3 秒経過すると片面で印刷されます。 「Printianavi2」未使用時は、「設定」スイッチを押すと片面で印刷されます。	「プリンタ RAM モジュールの取り付け」（→ P.42）
0350	0706	[****-**** 論理エラー] 印刷中にアンダーランエラーが発生しました。 「プロテクトモードで印刷する」にチェックを付けるか、プリンタドライバの解像度を低く設定し直して、再度印刷してください。	印刷中にアンダーランエラーが発生した場合に表示されます（アンダーランエラーは、印刷内容が複雑でプリンタの処理が追いつかない場合に発生します）。 再度印刷するには、メモリを増設する、用紙のサイズを小さくする、またはドライバの解像度を下げてください。メモリを増設するときは、あらかじめ電源を切ってから行ってください。	−

表：Windows 画面に表示されるメッセージ一覧

（注：実際の画面では、表中の「表示メッセージ」欄の「****-**** 」と記載している部分に、「エラー番号」欄の数字が表示されます。）

エラー番号		表示メッセージ	表示内容と処置	参照先
0350	0708	[****-**** 論理エラー] 印刷できない解像度が指定されました。 印刷先のプリンタ装置にあったプリンタドライバをインストールしてください。	プリンタが印刷できない解像度が指定された印刷データを受信した場合に印刷を中止して表示されます。 プリンタドライバの解像度を設定し直してください。	－
0350	070b 070c 070d	[****-**** 印刷データエラー] 印刷処理中の印刷データにエラーがあります。 ケーブルが正しく接続されていることを確認し、再度印刷を行ってください。	印刷処理中にエラーが発生した場合に表示されます。 「Printianavi2」を使用しているときは、自動的に印刷が打ち切られます。	－
0350	070e	[****-**** 論理エラー] 印刷できない用紙サイズが選択されました。 印刷先のプリンタ装置にあったプリンタドライバをインストールしてください。	本製品以外のドライバから、未サポートの用紙サイズの印刷データが指定された場合に表示されます。 本製品用のプリンタドライバを使用してください。	－
0350	0712	[****-**** 論理エラー] プリンタの給紙口が全て自動給紙無効となっているため、自動給紙が行えません。 プリンタドライバで給紙口を指定するか、プリンタの自動給紙設定を有効にして、再度印刷してください。	すべての給紙口に対し、メニューモードの自動給紙設定を「ムコウ（無効）」にしているときに、自動給紙で印刷を行うと表示されます。 給紙口を指定して印刷を行うか、メニューモードの自動給紙設定を「ユウコウ（有効）」にして、印刷をし直してください。	－
0362	0000 0100 0200 0400 1000 2000 4000 8000	[****-**** 未サポートプリンタ] プリンタドライバが未サポートのプリンタに接続されています。	印刷先のプリンタに適合したプリンタドライバをインストールしてください。	「ソフトウェアガイド」
0420	0002	[****-**** カートリッジ不一致] 装着されたプロセスカートリッジは使えません。 プロセスカートリッジを交換してください。	セットされたプロセスカートリッジが使用できない場合に表示されます。 プロセスカートリッジを交換してください。	「プロセスカートリッジを交換する」（→ P.76）
0420	0003 1002 1003 1006 2001 2002 2007 2008	[****-**** カートリッジ寿命] プロセスカートリッジの交換時期です。 プロセスカートリッジを交換してください。	プロセスカートリッジの交換時期が近づくと表示されます。 交換用のプロセスカートリッジを準備してください。	「プロセスカートリッジを交換する」（→ P.76）
0520	d001 d002 d003 d004 d005 d006 d100 d201 d202 d203 d204 d211 d212 d213 d220	[****-**** 通信エラー] プリンタとの通信がエラーとなりました。	プリンタの電源を入れ直してください。	－

表：Windows 画面に表示されるメッセージ一覧

（注：実際の画面では、表中の「表示メッセージ」欄の「****-****」と記載している部分に、「エラー番号」欄の数字が表示されます。）

エラー番号		表示メッセージ	表示内容と処置	参照先
0700	2102 3001 3002 3003 3004 3006 3007 3008 3009 300a 300b 300c 300d 300e 300f 3010 3015 3017 3018 301a 3101 3102 3103 3107 3108 3109 310a 310b 3110	[****-**** ハードエラー] ハードエラーが発生しました。プリンタの電源を再投入し、再度印刷してください。	ハードウェアの異常を検出すると表示されます。 いったん電源を切り、再度入れてください。 それでもエラーメッセージが表示される場合は、その内容を「ハードウェア修理相談センター」(→ P.202) へご連絡ください。	−
1500	0000	[****-**** 応答なし] プリンタからの応答がありません。	プリンタの電源、およびケーブルを確認してください。	−
1520 〜 1572 1574 〜 1599	****	[****-**** 通信エラー] プリンタとの通信がエラーとなりました。	プリンタの電源を入れ直してください。	−
1573	0000	[****-**** 通信エラー] 印刷の完了を待ち合わせています。	次の印刷を開始してもプリンタが動作しない場合は、プリンタの電源を入れ直してください。	−
1900	0000	[****-**** メモリ不足] メモリ不足が発生しました。	プリンタが接続されているパソコンで、使用していないアプリケーションを終了してください。	−
1901 〜 1999 2900 〜 2999	****	[****-**** システムエラー] システムエラーが発生しました。	プリンタドライバ、「Printianavi ネットワークソフトウェア」をインストールし直してください。 それでもエラーメッセージが表示される場合は、その内容を「ハードウェア修理相談センター」(→ P.202) へご連絡ください。	−
5500 5501 5502 5503 5504 5505	0000	[****-**** 通信エラー] プリンタとの通信がエラーとなりました。	プリンタの電源を入れ直してください。	−
5510	0000	[****-**** 通信エラー] プロキシサーバとの通信でエラーが発生しました。	ネットワーク管理者に連絡し、プロキシサーバで処理できる HTTP リクエストのデータサイズを大きくするよう依頼してください。	−
5511	0000	[****-**** 通信エラー] プリンタとの通信がエラーとなりました。	ポートの設定画面で、接続先のプリンタの URL を確認してください。	「ソフトウェアガイド」
5512 5520	0000	[****-**** 通信エラー] プリンタとの通信がエラーとなりました。	プリンタの電源を入れ直してください。	−

表：Windows 画面に表示されるメッセージ一覧

（注：実際の画面では、表中の「表示メッセージ」欄の「****-****」と記載している部分に、「エラー番号」欄の数字が表示されます。）

エラー番号		表示メッセージ	表示内容と処置	参照先
5521	0000	[****-**** 通信エラー] プリンタとの通信がエラーとなりました。	ポートの設定画面で、接続先のプリンタの URL を確認してください。	「ソフトウェアガイド」
5522 5530 5531 5532	0000	[****-**** 通信エラー] プリンタとの通信がエラーとなりました。	プリンタの電源を入れ直してください。	−
5900 5901	0000	[****-**** システムエラー] システムエラーが発生しました。	いったん印刷を終了し、再度印刷してください。	−
7510	****	[****-**** 情報取得失敗] プリンタからの情報取得ができません。	環境を確認してください。	−

Memo

8

第 8 章

付録

この章では、本製品を使用するときに補助的に必要となることがらについて説明します。

1 仕様

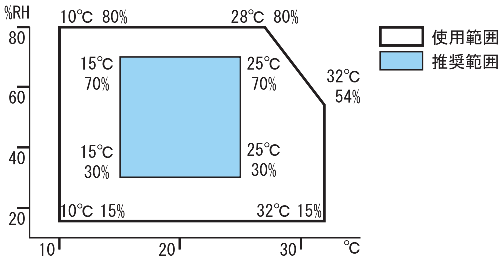
本製品の本体仕様とインターフェース仕様は、次のとおりです。

本体仕様

表：本体仕様

型名	XL-4360					
印刷方式	電子写真方式					
エンジン解像度	300dpi ／ 600dpi					
データ処理解像度	300dpi × 300dpi 600dpi × 600dpi					
スムージング処理	あり					
印刷速度（コピー動作による連続印刷時） 単位：ページ / 分	給紙方法		給紙トレイ	給紙カセット 1	給紙カセット 2	給紙カセット 3
	片面	用紙サイズ	連続印刷時間により、印刷速度が変わります。 0 ～ 1 分 / 1 ～ 2 分 / 2 分～			
		A4SEF	27 / 27 / 27	36 / 36 / 36	34 / 34 / 34	34 / 34 / 34
		B5SEF	30 / 30 / 30	36 / 36 / 36	36 / 36 / 36	36 / 36 / 36
		A5SEF	33 / 25 / 25	35 / 25 / 25	35 / 25 / 25	35 / 25 / 25
		はがき SEF	30 / 23 / 23	―	―	―
		A6SEF	33 / 23 / 23	―	―	―
		ユーザ定義サイズ	14.4 ～ 48.0			
	両面	用紙サイズ	連続印刷ページ数により、印刷速度が変わります。 1 ～ 100 ページ / 101 ページ～			
		A4SEF	30 / 25	33 / 25	33 / 25	33 / 25
		B5SEF	33 / 25	35 / 25	35 / 25	33 / 25
		A5SEF	35 / 25	35 / 24	35 / 24	33 / 25
	・ユーザ定義サイズの用紙の場合は、用紙サイズによって、印刷速度が異なります。 ・用紙幅が 171 ㎜未満の用紙については、定着器の温度調整のため、印刷速度が低下する場合があります。 ・両面印刷時、連続 101 ページ以上印刷すると、印刷速度が低下します。					
用紙サイズ	・給紙トレイ（標準） A4、A5、A6、B5、リーガル、レター、郵便はがき、ユーザ定義サイズ（幅 90 ～ 216 ㎜、長さ 140 ㎜～ 364 ㎜） ・給紙カセット（標準）／拡張給紙ユニット（オプション） A4、A5、B5、リーガル、レター、ユーザ定義サイズ（幅 140 ～ 216 ㎜、長さ 160 ㎜～ 356 ㎜）					
給紙方式［注 2］	給紙カセットによる自動給紙（収容枚数 500 枚、拡張給紙ユニット使用時 1500 枚） 給紙トレイによる自動給紙（収容枚数 100 枚（郵便はがき 40 枚））					
用紙種類	・給紙トレイ（標準） 普通紙（60g/ ㎡～ 105g/ ㎡）、厚紙（106g/ ㎡～ 162g/ ㎡）、OHP フィルム、ラベル紙 1（64g/ ㎡～ 105g/ ㎡）、ラベル紙 2（106g/ ㎡～ 162g/ ㎡）、郵便はがき ・給紙カセット（標準） 普通紙、OHP フィルム ・拡張給紙ユニット（オプション） 普通紙					
排紙方法［注 3］	フェースダウンスタッカ（スタック枚数 250 枚）					
両面印刷（オプション）	用紙種類：普通紙（60g/ ㎡～ 105g/ ㎡） 用紙サイズ：A4、A5、B5、レター、リーガル					
プリンタシーケンス［注 4］	XL プリンタドライバ、ESC/P					
文字・書体	ESC/P 用：ANK、明朝体、ゴシック体					
対応ネットワーク	TCP/IPv4(IPP,HTTP,BPP,LPR,DHCP,SNMP,SMTP,DNS,RAW(Port9100)) TCP/IPv6(IPP,HTTP,LPR,SNMP,RAW(Port9100)) 対応 OS：7/2008/Vista					
インターフェース	IEEE1284 双方向パラレルポート USB2.0 準拠 USB インターフェース 1000Base-T/100Base-TX/10Base-T LAN ポート					

表：本体仕様

型名	XL-4360
使用環境条件	温度 :10 ～ 32 ℃、湿度 :15 ～ 80%RH（推奨紙使用時） 温度 32 ℃のときは湿度 54%RH 以下、湿度が 80%RH 以下のときは温度 28 ℃以下で使用してください（ただし、結露しないこと）。また、その他の用紙については、上記使用温湿度環境で使用されていても、用紙の特性により、充分にプリンタの性能を発揮できない場合があります。 冷えきった部屋を暖房器具などで急激に暖めると、機械の内部に水滴が付着し部分的に印刷できない場合があります。室温になじませてから使用してください。 
電源・電源周波数	AC100V ± 10%、50/60 Hz ± 5%（安定した正弦波であること） ［注］：矩形波が出力される機器に接続すると、故障する場合があります。また、本製品は、突入電流がありますので、UPS に接続しないでください。
定格電流	10A
突入電流	最大突入電流 80A 以下（定着器ヒーター ON 時 突入時間：10m 秒以下）
消費電力	動作時最大 ：940W 以下、節電時 ：3.5W 以下 平均消費電力：約 550W 完全に電力消費をなくすためには、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
ウォームアップ時間	電源投入時：19 秒以下／節電モード復帰時：12 秒以下 (25 ℃ 50%RH、電源電圧 100V 時）
騒音	稼動時 ：58dB(A)、フルオプション時：56dB(A)、待機時：35dB(A)
外形寸法	幅 388 ㎜、奥行き 450 ㎜、高さ 345 ㎜
質量	約 17.5kg（オプションを除く）
耐用期間［注 5］	5 年（8 時間 / 日）または 60 万ページ印刷（A4 サイズ縦送り（ SEF）、片面印刷）のいずれか早いほう

注 1 ： ユーザ定義サイズの用紙に印刷する場合は、「ユーザ定義サイズの用紙を印刷する場合の印刷速度」（→ P.190）に記載の速度で印刷します。

注 2 ： 収容枚数は 64g/ ㎡換算です。

注 3 ： 排紙枚数は 64g/ ㎡換算です。

注 4 ： データ処理解像度
・XL プリンタドライバ：600dpi/300dpi（スムージング時：2400dpi × 600dpi 相当）
・ESC/P:180dpi

注 5 ： 耐用期間は、用紙サイズや用紙種類、印刷条件、オプション構成、プリンタ本体の電源オン・オフおよび節電状態からの復帰に伴う初期化動作の頻度などにより、異なります。
推奨日間印刷ページ数は平均500ページ、推奨月間印刷ページ数は10000ページ以下です（A4サイズ縦送り（ SEF、片面印刷）の場合）。
また、本製品には、有寿命部品、消耗品および定期交換部品が含まれています。詳しくは「有寿命部品／消耗品／定期交換部品／ 24 時間運用について」（→ P.195）をご覧ください。

8

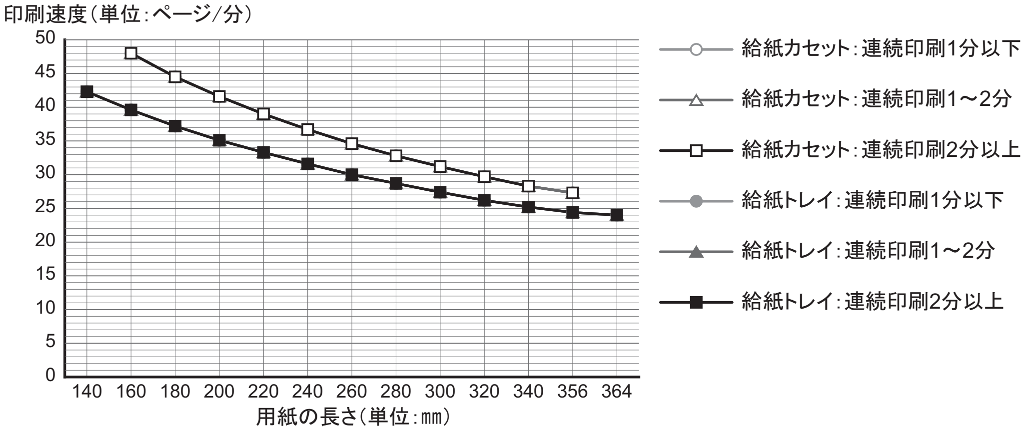
ユーザ定義サイズの用紙を印刷する場合の印刷速度

ユーザ定義サイズの用紙を印刷する場合、次の表とグラフで示すように、用紙の幅と長さの組み合わせにより、印刷速度が異なります。一般的に、用紙の長さが短いほど、印刷速度は速くなります。

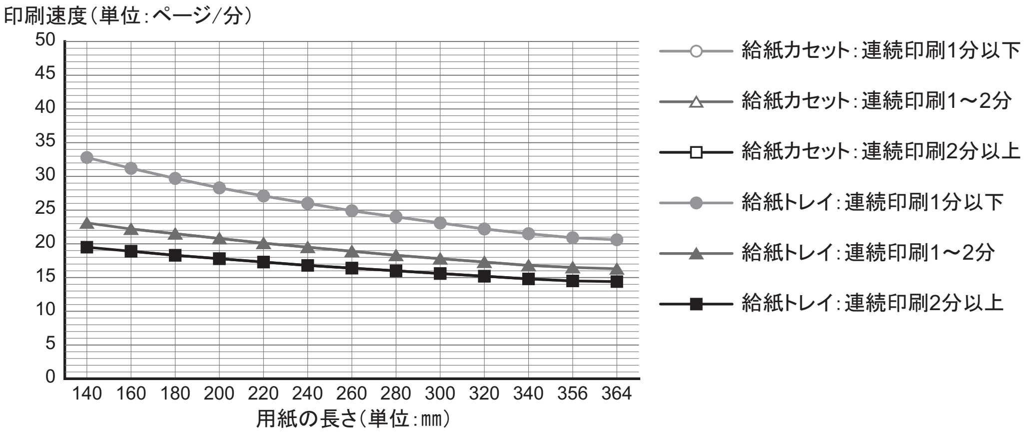
表：ユーザ定義サイズの用紙を印刷する場合の印刷速度

給紙方法	連続印刷時間	用紙の幅による印刷速度（単位：ページ / 分）		グラフの線
		≧ 171 mm（グラフ A を参照）	＜ 171 mm（グラフ B を参照）	
給紙カセット 1 ～ 3	0 ～ 1 分	27.3 ～ 48	20.9 ～ 31.2	
	1 ～ 2 分	27.3 ～ 48	16.5 ～ 22.2	
	2 分～	27.3 ～ 48	14.5 ～ 18.9	
給紙トレイ	0 ～ 1 分	24 ～ 42.3	20.6 ～ 32.8	
	1 ～ 2 分	24 ～ 42.3	16.3 ～ 23.1	
	2 分～	24 ～ 42.3	14.4 ～ 19.5	

グラフ A：印刷速度（用紙の幅≧ 171 mmの場合）



グラフ B：印刷速度（用紙の幅＜ 171 mmの場合）



インターフェース仕様

パソコンとのインターフェースは、パラレルインターフェースおよび USB インターフェースを採用しています。

パラレルインターフェース仕様とコネクタピン配列

・基本仕様

IEEE 1284 に準拠した双方向パラレルインターフェース

・インターフェースコネクタ

プリンタ側：36 極コネクタ（メス）アンフェノール　57-40360 相当品

ケーブル側：36 極コネクタ（オス）アンフェノール　57-30360 相当品

・ケーブル

1.5m 以下のケーブルを使用してください（雑音対策にはツイストペア線を使用し、シールドされていること）。

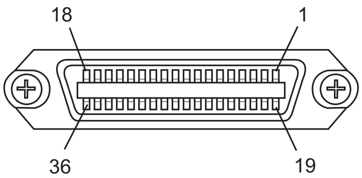
・信号レベル

LOW：0.0V ～ +0.4V HIGH：+2.4V ～ +5.0V

・データ転送方式

8 ビットパラレル

・コネクタピン配列



インターフェースコネクタ（36ピン）

表：コネクタピン仕様

ピン番号	信号名称	発信元
1	＊ Strobe	パソコン
2	Data 1	パソコン
3	Data 2	パソコン
4	Data 3	パソコン
5	Data 4	パソコン
6	Data 5	パソコン
7	Data 6	パソコン
8	Data 7	パソコン
9	Data 8	パソコン
10	＊ Ack	パソコン
11	Busy	プリンタ
12	Perror	プリンタ
13	Select	プリンタ
14	＊ AutoFd	パソコン
15	—	—
16	SG	—
17	FG	—
18	+5Vsignal	プリンタ
19	-RET	—
20	-RET	—
21	-RET	—

表：コネクタピン仕様

ピン番号	信号名称	発信元
22	-RET	―
23	-RET	―
24	-RET	―
25	-RET	―
26	-RET	―
27	-RET	―
28	-RET	―
29	-RET	―
30	-RET	―
31	＊ Init	パソコン
32	＊ Fault	プリンタ
33	-RET	―
34	―	―
35	―	―
36	＊ SelectIn	パソコン

「＊」は、負論理信号であることを示します。
-RET 信号は、すべて SG に接続されています。

USB インターフェース仕様とコネクタピン配列

- 基本仕様

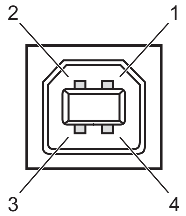
  USB 仕様の Revision2.0 準拠
- インターフェースコネクタ

  プリンタ側：B レセプタクル（メス）
- ケーブル

  XL-CBLU2G または、5m 以下の USB 仕様 Revision2.0 に適合したケーブル
- 伝送モード

  High Speed（最大 480Mbps）、Full Speed（最大 12Mbps）
- 電力制御

  セルフパワーデバイス
- USB ピン配列



表：コネクタピン仕様

ピン番号	信号名称	機能
1	vbus	電源（+5v）
2	D-	データ転送用
3	D+	データ転送用
4	GND	信号グランド

2 オプション品一覧

本製品で使用できるオプション品の一覧は次のとおりです。
なお、オプション品の情報は、このマニュアルを発行した時点のものです。
最新情報は、富士通製品情報ページ（http://www.fmworld.net/biz/）でご確認ください。

拡張給紙ユニット

表：拡張給紙ユニット

品名	型名	内容
拡張給紙ユニット	XL-EF50ME	2 段目、3 段目の給紙ユニットとして使用できます。収容枚数は約 500 枚（64g/ ㎡の用紙の場合）です。

両面ユニット

表：両面ユニット

品名	型名	内容
両面ユニット	XL-DUPME	両面印刷用のユニットです。

プリンタ RAM モジュール

表：プリンタ RAM モジュール

品名	型名	内容
プリンタ RAM モジュール -256MB	XL-EM256MC	RAM を 256MB 搭載したメモリモジュールです。

プリンタケーブル

■パラレルケーブル

表：パラレルケーブル

品名	型名	内容
プリンタケーブル	FMV-CBL716	FMV シリーズ、各社 PC/AT 互換機に接続できます。（1.5m）

■プリンタ USB ケーブル

表：プリンタ USB ケーブル

品名	型名	内容
プリンタUSBケーブル	XL-CBLU2G	7/2008/Vista/2003/XP/2000 が動作するパソコンに接続できます。本ケーブルは USB2.0 に対応しています。（1.5m）

認証印刷ユニット

表：認証印刷ユニット

品名	型名	内容
SecureLoginPrint	XL-SE100F	プリンタと USB で接続し、指紋認証によるセキュリティ印刷を行うことができます。 Vista/XP が動作するパソコンに接続できます。 ［注］：64 ビット版 /x64 Edition には対応していません。

3 有寿命部品／消耗品／定期交換部品／24 時間運用について

有寿命部品、消耗品、定期交換部品、24 時間運用について、留意していただきたい点を説明します。

有寿命部品について

・本製品には、有寿命部品が含まれています。有寿命部品は、使用時間の経過に伴って摩耗、劣化などが進行し、動作が不安定になる場合がありますので、本製品をより長く安定してお使いいただくためには、一定の期間で交換が必要となります。
・有寿命部品の交換時期の目安は、使用頻度や使用環境などにより異なりますが、適切な使用環境（温度 :15 ～ 25 ℃、湿度 :30 ～ 70%RH）において 1 日 8 時間のご使用で約 5 年、または 60 万ページ印刷（A4 サイズ縦送り（SEF））のいずれか早いほうです。なお、この期間はあくまでも目安であり、この期間内に故障しないことをお約束するものではありません。また、長時間連続使用など、ご使用状態によっては、この目安の期間よりも早期に部品交換が必要となる場合があります。
・本製品に使用しているアルミ電解コンデンサは、寿命が尽きた状態で使用し続けると、電解液の漏れや枯渇が生じ、異臭の発生や発煙の原因となる場合がありますので、早期の交換をお勧めします。
・摩耗や劣化などにより有寿命部品を交換する場合は、保証期間内であっても有料となります。なお、有寿命部品の交換は、当社の定める補修用性能部品単位での、修理による交換となります。交換するときは「ハードウェア修理相談センター」（→ P.202）にご連絡ください。
・補修用性能部品の保有期間は、プリンタ本体の製造終了後 5 年間です。
・本製品をより長く安定してご利用いただくために、省電力機能の使用をお勧めします。また、一定時間お使いにならない場合は電源をお切りください。

＜主な有寿命部品一覧＞

光学ユニット、制御基板、電源基板、高圧電源基板、用紙搬送ガイド、用紙搬送ローラ

消耗品について

プロセスカートリッジなどの消耗品（サプライ品）は、その性能／機能を維持するために適時交換が必要となります。なお、交換する場合は、保証期間の内外を問わずお客様ご自身での新品購入ならびに交換となります。
サプライ品については、「サプライ品一覧」（→ P.198）をご覧ください。

定期交換部品について

本製品には、下表の定期交換部品が設定されています。安定してご使用いただくためには、定期的な交換が必要です。交換するときは、ご購入元または「ハードウェア修理相談センター」（→ P.202）にご連絡ください。なお定期交換部品料金および交換作業費は契約保守サービスの料金に含まれています（ご契約によっては有償となりますので、詳しくは弊社担当営業または販売パートナーまでお問い合わせください）。なお、保守サービス未契約のお客様は保証期間の内外を問わず有償となります。保守サービスについて詳しくは、弊社ホームページ「製品サポート」（http://segroup.fujitsu.com/fs/products/）のコーナーをご覧ください。補修用性能部品（保守部品）、定期交換部品の保有期間は、プリンタ本体の製造終了後5年間です。

定期交換部品の交換時期の目安は、以下になります（単位：印刷ページ数）。

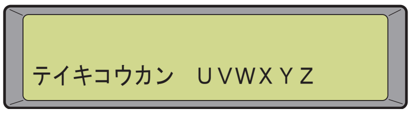
表：定期交換部品の交換時期の目安

定期交換部品	交換時期の目安			
	1ページ／ジョブ	2ページ／ジョブ	3ページ／ジョブ	連続印刷
定着器	～約5万6千	～約6万4千	～約9万	～約9万
転写ローラー				
給紙コロ、フリクションパッド（給紙トレイ用）	～約3万			
給紙コロ、フリクションパッド（各給紙カセット用）	～約9万			

［注］上記は、A4サイズ縦送り（SEF）／片面印刷での目安であり、これ以外の印刷の場合、交換時期がずれることがあります。

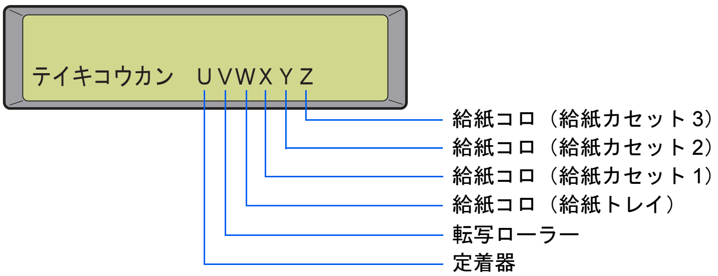
■交換時期に表示される、液晶ディスプレイのメッセージについて

定期交換部品の交換時期になると、オペレータパネルの液晶ディスプレイに、次のようなメッセージが表示されます。



「UVWXYZ」の部分には、「0」「1」「-」のいずれかの値が表示されます。

・各桁は、定期交換部品を表しています。



・各桁に表示される値は、交換の要否を表しています。

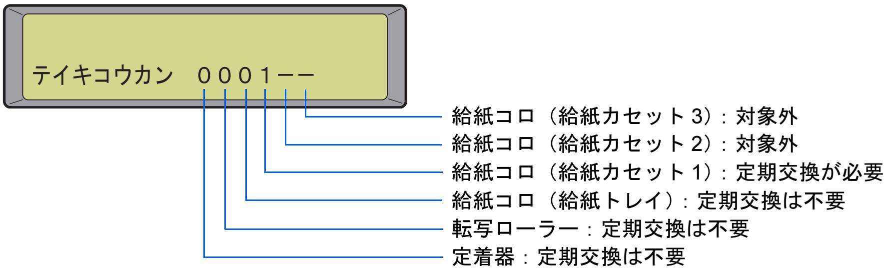
0：定期交換は不要

1：定期交換が必要

-：対象外

・表示例

「UVWXYZ」の部分が「0001--」の場合、次の状態を表します。



24 時間以上の連続運用について

本製品は、24 時間以上の連続運用を前提とした設計にはなっておりません。

24 時間以上の連続運用を行うと、有寿命部品の交換時期の目安となる期間よりも、早期に部品交換が必要となる場合があります。

4 サプライ品一覧

本製品に用意されているサプライ品は次の表のとおりです。
なお、サプライ品の情報は、このマニュアルを発行した時点のものです。
最新情報は、富士通製品情報ページ(http://www.fmworld.net/biz/)でご確認ください。

サプライ品のご購入については、本製品をご購入の販売店、または富士通コワーコ にご相談ください。

- 富士通コワーコお客様総合センター
  通話料無料　0120-505-279
  月曜～金曜 9:00 ～ 17:30（祝日・年末年始を除く）
  URL:http://jp.fujitsu.com/group/coworco/

PPC 用紙および普通紙を使用することができますが、より良い印刷品質が得られるよう、下記の推奨用紙のご使用をお勧めします。

⚠注意

- プロセスカートリッジは、本製品専用品を取り付けてください。指定外のプロセスカートリッジを取り付けると、プロセスカートリッジおよびプリンタ本体の故障の原因になります。

表：サプライ品一覧

商品名		商品番号	備考
普通紙推奨用紙 オフィス用紙 W	A4（T）	0411610	500 枚× 5 冊で 1 ケース
	B5（T）	0411640	
	A5（T）	0411630	
再生オフィス用紙 EC （古紙 40% FSC 認証用紙）	A4	0416410	500 枚× 5 冊で 1 ケース
	B5	0416430	
プロセスカートリッジ LB109A		0894110	印刷量の目安は、約 6000 ページ[注 1]です（JIS X 6931（ISO/IEC19752）に基づく）。 有効期限は、製造から 24ヶ月間（開封後は 1 年間）です。安定した画質を維持するために、有効期限内での使用をお勧めします。
プロセスカートリッジ LB109B		0894120	印刷量の目安は、約 12000 ページ［注 1］です（JIS X 6931（ISO/IEC19752）に基づく）。 有効期限は、製造から 24ヶ月間（開封後は 1 年間）です。安定した画質を維持するために、有効期限内での使用をお勧めします。
レーザプリンタ置台 S-1		0530590	デスクサイド専用置台 外形寸法：400（W）× 560（D）× 210（H）㎜
OA ラベル A4（単票用紙）II	A4	0412270	100 枚× 1 冊

注 1　：　上記枚数はあくまでも目安であり、印刷寿命を保証するものではありません。
また、低印字率での運用環境では、オペレータパネルに「カートリッジ　ジュンビ」または「カートリッジ　コウカン」の警告表示が出る前に、黒筋、薄黒い汚れやカスレが発生する場合があります。
プロセスカートリッジの寿命ですので、新しいプロセスカートリッジに交換してください。

POINT

- プロセスカートリッジは、純正品をご使用ください。リサイクル品や他社製サプライ品を使用すると、印字品質の低下、故障および装置破損の原因となることがあります。
- 100% 再生紙に印刷した場合、シワやカールが発生する場合があります。

5 印刷確認済みの用紙

本製品で印刷確認を行った用紙は、次の表のとおりです。なお、印刷確認は、包装した状態の用紙を、温度 22 ℃、湿度 55 ～ 60% 環境下に 12 時間放置した後、印刷直前に包装紙から取り出して実施しています。

表：印刷確認済みの用紙一覧

メーカー名	品名	備考
富士通コワーコ（株）	オフィス用紙 W（A4Y,A5Y,B5Y）	
	オフィス用紙 MP（A4,B5）	
	コピー用紙 N（A4,B5）	
	再生コピー用紙オゾン R（A4,B5）	古紙 70% 再生紙［注 1］
	偽造防止用紙（A4）	
富士ゼロックス（株）	C2（A4,B5）	
	省資源対応用紙 SP （A4）	
	環境バランス用紙 FR （A4）	古紙 40% 再生紙［注 1］
	リサイクルコピー用紙 G70 （A4）	古紙 70% 再生紙［注 1］
	OHP フィルム GAAA5224（A4）	
（株）リコー	マイペーパー（A4）	
	リコピー PPC 用紙タイプ 6200（A4,A6）	
	マイリサイクルペーパー GP（A4）	古紙 70% 再生紙［注 1］
キヤノン（株）	再生コピー用紙 GF-R100（A4）	古紙 70% 再生紙［注 1］
紀州製紙（株）	ファイン PPC（A4）	
住友スリーエム（株）	OHP フィルム CG3720（A4）	
エーワン（株）	再生ラベル紙 31362（A4）	再生紙［注 1］
	ラベル紙 28362（A4）	
（株）東洋印刷	ラベル紙ナナコピー C20S（A4）	
サンワサプライ（株）	カラーレーザー用ラベル TA-LPCL2（A4）	
郵便事業（株） 郵便局などで発売	郵便はがき	多色刷りはがきは除く

注 1 ： 再生紙は、吸湿しやすい性質をもっており、包装紙から取り出した状態で放置された用紙を使用すると、紙詰まりや用紙シワなどが発生する場合があります。再生紙使用時は、必要枚数のみをプリンタにセットし、残った用紙は元の包装紙に戻して密閉保管してください。

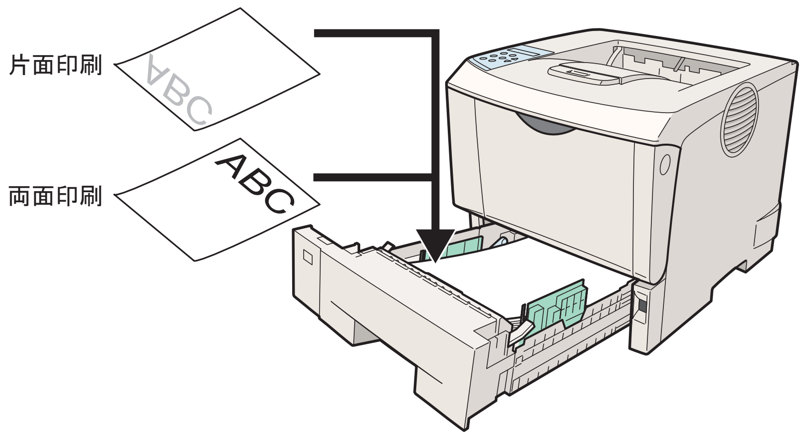
6 用紙の印刷方向と印刷可能領域について

本製品は、給紙カセットや給紙トレイを使い分けることによって、いろいろな用紙を使うことができます。ここでは、給紙方法と用紙サイズとの対応を説明します。

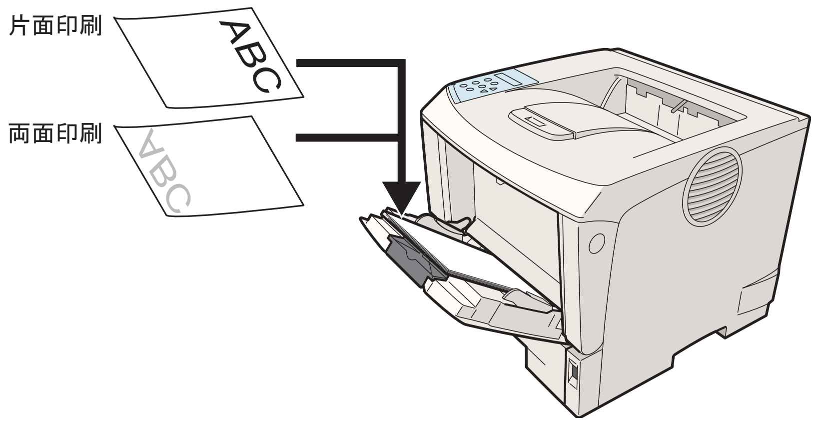
印刷方向

用紙の給紙口の違いや、片面印刷か両面印刷かにより、用紙の印刷方向が異なります。次の図をご覧になり、用紙をセットする向きをご確認ください。

給紙カセットにセットするとき



給紙トレイにセットするとき



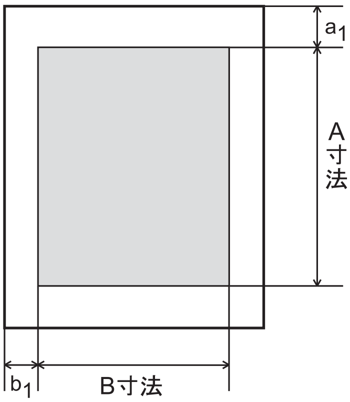
POINT

・用紙方向、印刷の向きに関する設定は、プリンタドライバで設定できます。詳しくは、プリンタドライバのヘルプか、『ソフトウェアガイド』の「第5章 プリンタドライバの機能と利用方法」をご覧ください。

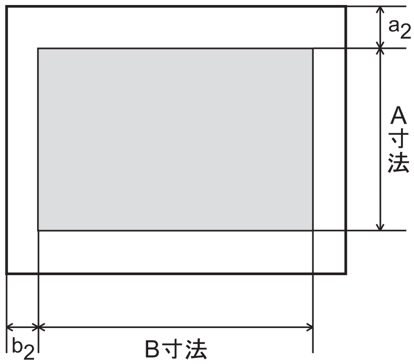
印刷可能領域

本製品で印刷できる、各用紙サイズの印刷可能領域は次のとおりです。

［印刷方向：縦］



［印刷方向：横］



（単位：mm）

Printia XL ドライバ使用時

a1=a2=5 ㎜、b1=b2=5 ㎜

表：印刷可能領域（Printia XL ドライバ使用時）

用紙方向	用紙サイズ	A4	B5	A5	リーガル	レター	はがき
縦方向	A 寸法	287	247	200	346	270	138
	B 寸法	200	172	138	206	206	90
横方向	A 寸法	200	172	138	206	206	90
	B 寸法	287	247	200	346	270	138

ESC/P モード使用時

a1=a2=8.5 ㎜または 22 ㎜（はがき：10 ㎜）、b1=b2=5 ㎜

表：印刷可能領域（ESC/P モード使用時）

用紙方向	用紙サイズ		A4	B5	A5	リーガル	レター	はがき
縦方向	A 寸法	8.5 ㎜時	276.5	236.5	189.5	335	259	128
		22 ㎜時	263	223	176	321.5	245.5	128
	B 寸法		200	172	138	206	206	90
横方向	A 寸法	8.5 ㎜時	189.5	161.5	127.5	195	195	78.5
		22 ㎜時	176	148	114	182	182	78.5
	B 寸法		287	247	200	345	269	138

7 アフターサービスについて

本製品のアフターサービスについて説明します。

- ご購入時に販売店でお渡しする保証書は、大切に保管してください。
- 保証書は日本国内のみで有効です。
- 無償保証期間は、お買い上げ日より 6ヶ月です。詳しくは保証書をご覧ください。
- 本製品の保守部品の最低保有期間は製造終了後 5 年です。ご了承ください。
- 分解、改造などを行わないでください。無償保証の期間内でも無償修理が受けられないことがあります。
- 本製品のご使用にあたっては、純正のサプライ用品をお使いください。純正のサプライ用品以外の用品をお使いになったことによる製品の誤動作および故障に関しては、当社は一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- 故障時は下記にご連絡ください。
  ハードウェア修理相談センター
  通話料無料：0120-422-297
  受付時間：平日 9:00 ～ 17:00（土曜・日曜・祝日および当社指定の休日を除く）
- 本製品の使用に関する技術的なご相談などにつきましては、製品のご購入元、または弊社の担当営業／ SE にお問い合わせください。なお、保守運用支援サービス「SupportDesk」をご契約のお客様は、ご契約のお客様専用の電話やホームページなどで製品に関するご質問を受け付けております。

使用済みプロセスカートリッジの回収サービス

富士通グループでは大切な資源を上手に使う循環型社会の実現を目指し、使用済みカートリッジを無償で回収しております。
回収した使用済みカートリッジは大切な資源として、最終的に部材の再使用や再資源化を行っております。
当社の活動主旨にご賛同いただける場合には、『エコ受付センター』までご連絡ください。

- エコ受付センター
  通話料無料：0120-300-693
  平日 8:40 ～ 12:00 および 13:00 ～ 17:30（土曜・日曜・祝日・年末年始を除く）

ご協力をお願いいたします。

修理装置の返却準備 〜お客様へ〜

「ハードウェア修理相談センター」に連絡した結果、修理装置の返却が必要と判断された場合は、輸送時のトラブル防止のため、次の手順で準備をお願いいたします。

1 **オペレータパネルから設定の一覧を印刷し、設定を復元するときに必要となる情報を控えます。**

詳しくは「設定の一覧印刷」（→ P.115）をご覧ください。

2 **拡張給紙ユニット、両面ユニットを取り付けている場合は、取り外します。**

詳しくは拡張給紙ユニットの「取り外し」（→ P.51）、および両面ユニットの「取り外し」（→ P.55）をご覧ください

3 **「梱包して運搬する」（→ P.95）の手順に従って、本製品の梱包を行います。**

本製品の廃棄について

製品（付属品を含む）を廃棄する場合は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の規制を受けます。

法人、企業のお客様へ

本製品の廃棄については、弊社ホームページ「IT 製品の処分・リサイクル」（http://jp.fujitsu.com/about/csr/eco/products/recycle/recycleindex.html）をご覧ください。

8

索引

さ行

た行

な行

は行

ま行

や行

ら行

ページプリンタ XL-4360
ハードウェアガイド

B5WY-1481-01-00

発 行 日　2009 年 11 月
発行責任　富士通株式会社

Printed in Thailand

FUJITSU

このマニュアルはリサイクルに配慮して印刷されています。
不要になった際は、回収・リサイクルにお出しください。

M0018651